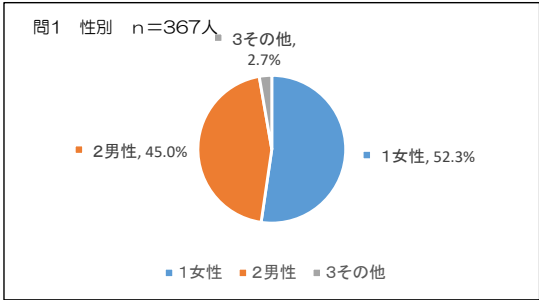


◆あなたご自身について

問1 あなたの性別は。

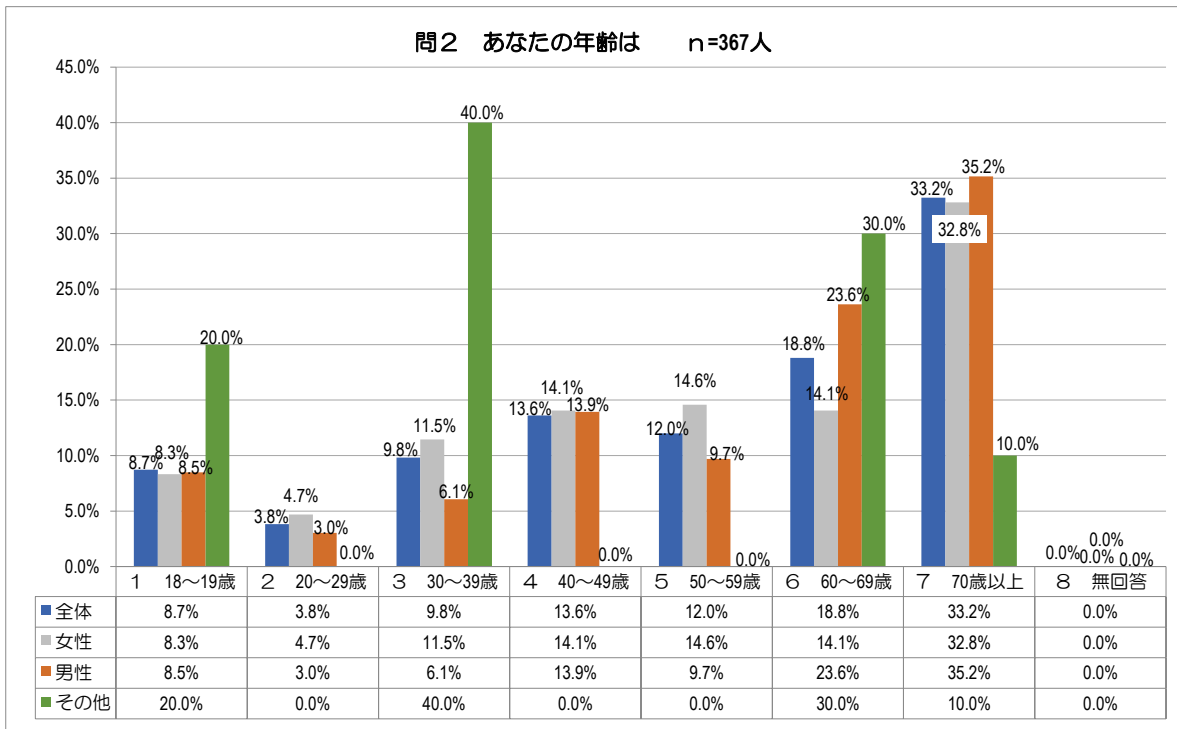
	人数	割合	前回	県
1 女性	192	52.3%	56.6%	58.2%
2 男性	165	45.0%	41.3%	40.1%
3 その他	10	2.7%	2.1%	1.7%
合計	367	100.0%	100.0%	100.0%



女性が52.3%、男性が45.0%、その他が2.7%となっています。
 前回より女性が4.3%少なく、男性が3.7%多くなっています。
 その他の内訳は「女性が男性か答えることに抵抗を感じる」9名、無回答1名となっており
 まとめて「その他」としております。

問2 あなたの年齢は。

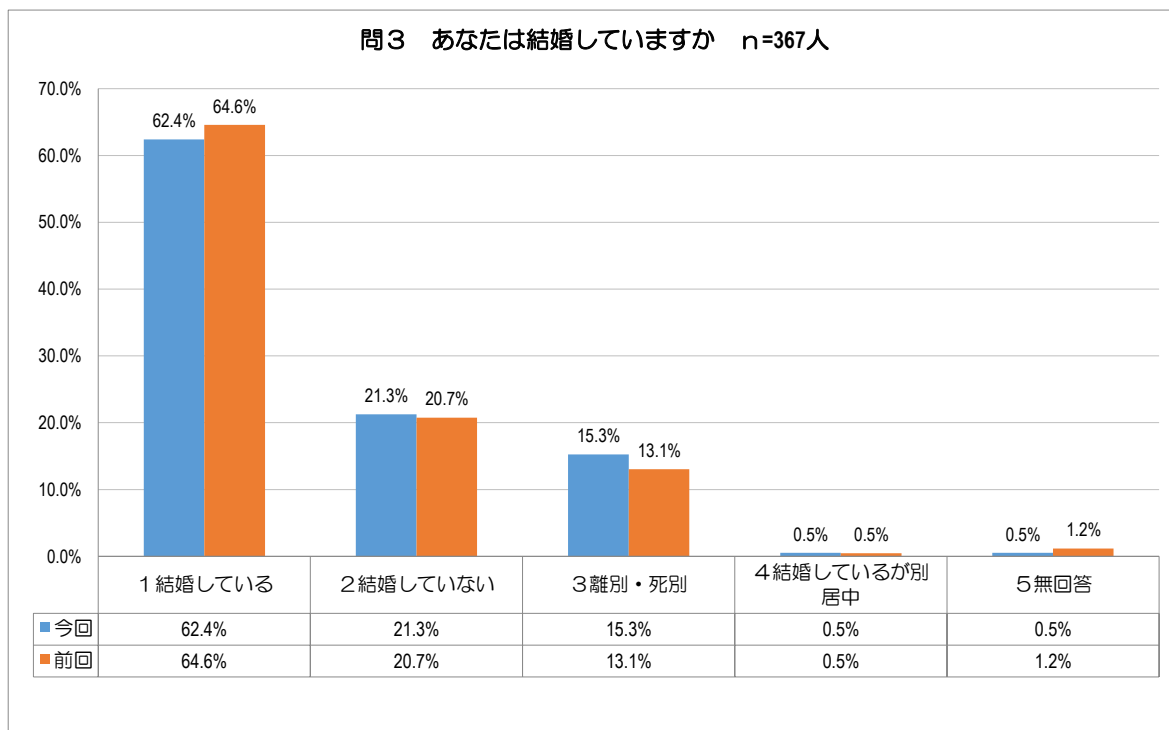
	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1 18～19歳	32	8.7%	16	8.3%	14	8.5%	2	20.0%	7.0%
2 20～29歳	14	3.8%	9	4.7%	5	3.0%	0	0.0%	7.7%
3 30～39歳	36	9.8%	22	11.5%	10	6.1%	4	40.0%	8.9%
4 40～49歳	50	13.6%	27	14.1%	23	13.9%	0	0.0%	12.1%
5 50～59歳	44	12.0%	28	14.6%	16	9.7%	0	0.0%	16.3%
6 60～69歳	69	18.8%	27	14.1%	39	23.6%	3	30.0%	18.4%
7 70歳以上	122	33.2%	63	32.8%	58	35.2%	1	10.0%	28.7%
8 無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.9%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%



全体では70歳以上の方が33.2%で最も多く、次に60歳代が18.8%、50歳代が12.0%、40歳代が13.6%、30歳代が9.8%、20歳代が3.8%、18～19歳が8.7%となっています。若い世代ほど回答が少ない状況にあります。

問3 あなたは現在結婚していますか。

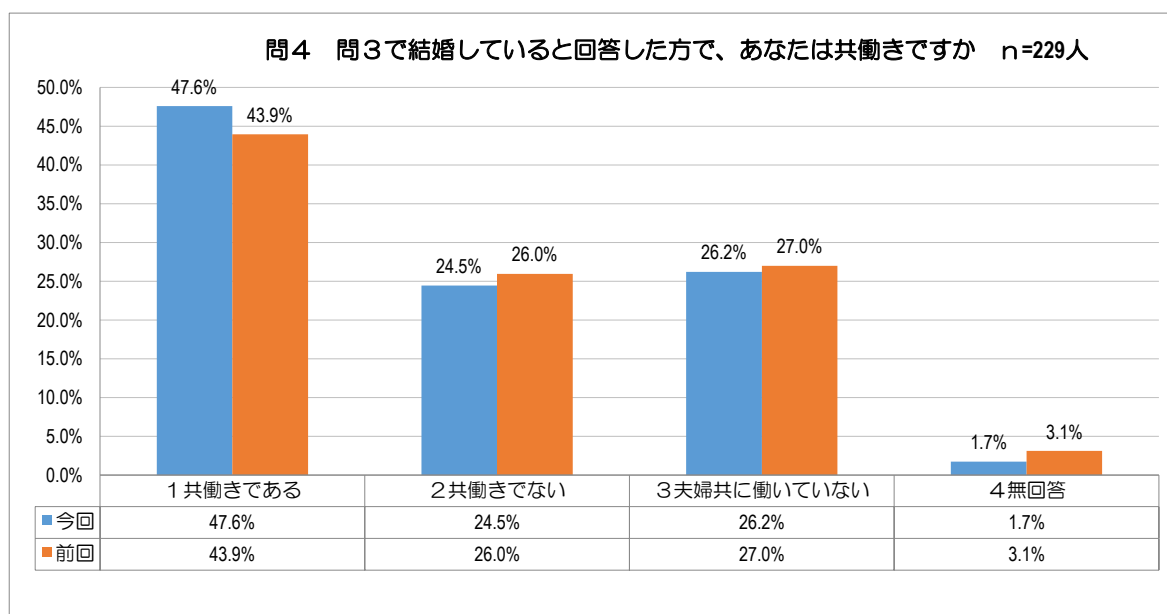
	人数	割合	前回	県
1 結婚している	229	62.4%	64.6%	70.6%
2 結婚していない	78	21.3%	20.7%	16.0%
3 離別・死別	56	15.3%	13.1%	12.0%
4 結婚しているが別居中	2	0.5%	0.5%	—
5 無回答	2	0.5%	1.2%	1.4%
合計	367	100.0%	100.0%	100.0%



現在、結婚していますかについて「結婚している」と回答した人が62.4%で最も多く、次に「結婚していない」と回答した人が21.3%となっています。
 前回より「結婚している」と回答した人が2.2%少なくなっております。

問4 問3で、結婚している（事実婚を含む）と回答した方で、あなたは共働きですか。

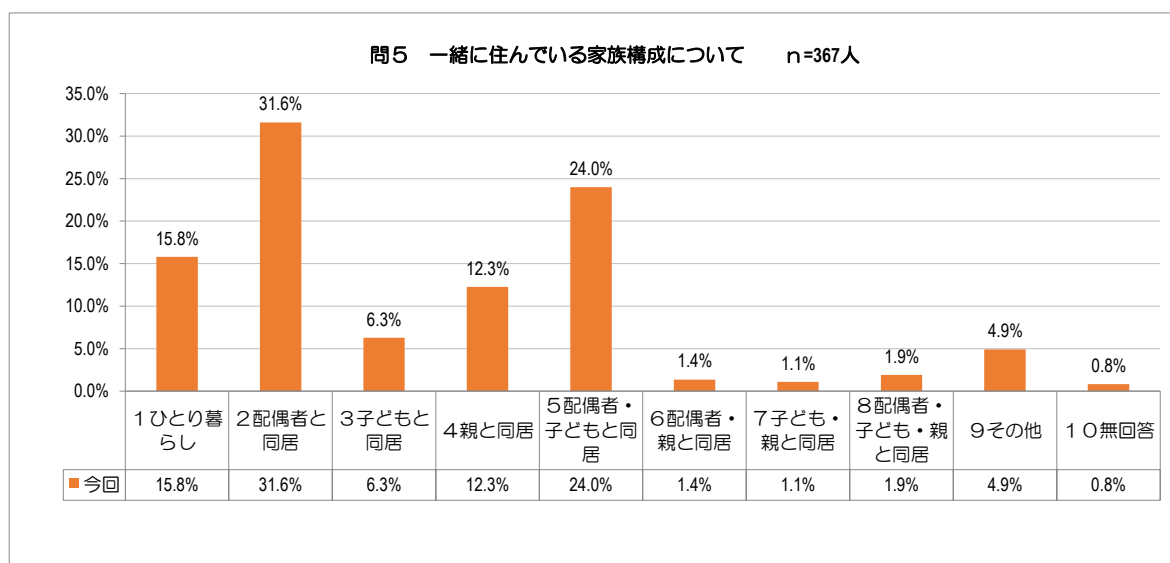
	人数	割合	前回	県
1 共働きである	109	47.6%	43.9%	51.8%
2 共働きでない	56	24.5%	26.0%	26.4%
3 夫婦共に働いていない	60	26.2%	27.0%	20.1%
4 無回答	4	1.7%	3.1%	1.7%
合計	229	100.0%	100.0%	100.0%



結婚をしている人で「あなたは共働きですか」について「共働きである」と回答した人が47.6%で最も多く、次に「夫婦共に働いていない」と回答した人が26.2%となっています。
 前回より「共働き世帯」が3.7%多くなっています。

問5 あなたは現在誰と一緒に住んでいますか。

	人数	割合
1 ひとり暮らし	58	15.8%
2 配偶者と同居	116	31.6%
3 子どもと同居	23	6.3%
4 親と同居	45	12.3%
5 配偶者・子どもと同居	88	24.0%
6 配偶者・親と同居	5	1.4%
7 子ども・親と同居	4	1.1%
8 配偶者・子ども・親と同居	7	1.9%
9 その他	18	4.9%
10 無回答	3	0.8%
合計	367	100.0%

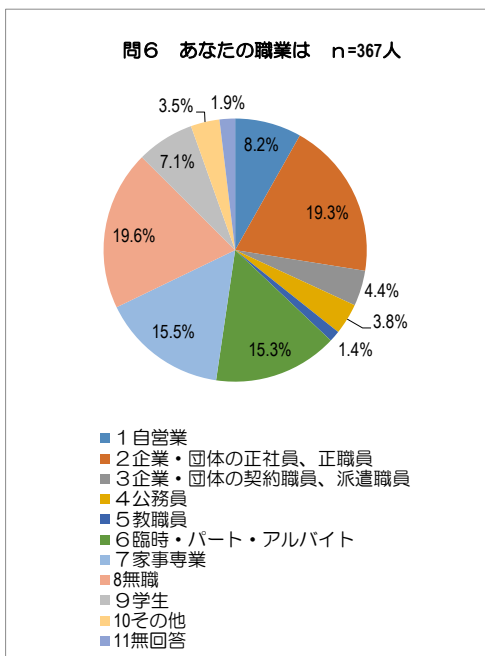


前回調査までは家族構成について問う設問でしたが、誰と同居しているかを問う設問に内容を変更しました。「配偶者と同居」と回答した人が31.6%で最も多く、次に「配偶者・子ども」と回答した人が24.0%となっています。

問6 あなたの職業は。

<全体>

	人数	割合	前回	県
1 自営業	30	8.2%	11.4%	9.8%
2 企業・団体の正社員、正職員	71	19.3%	20.7%	26.6%
3 企業・団体の契約職員、派遣職員	16	4.4%	3.0%	4.8%
4 公務員	14	3.8%	2.1%	5.7%
5 教職員	5	1.4%	1.9%	—
6 臨時・パート・アルバイト	56	15.3%	13.1%	15.5%
7 家事専業	57	15.5%	17.0%	18.1%
8 無職	72	19.6%	12.1%	10.8%
9 学生	26	7.1%	6.3%	1.8%
10 その他	13	3.5%	9.6%	4.8%
11 無回答	7	1.9%	2.8%	2.1%
合計	367	100.0%	100.0%	100.0%



<性別>

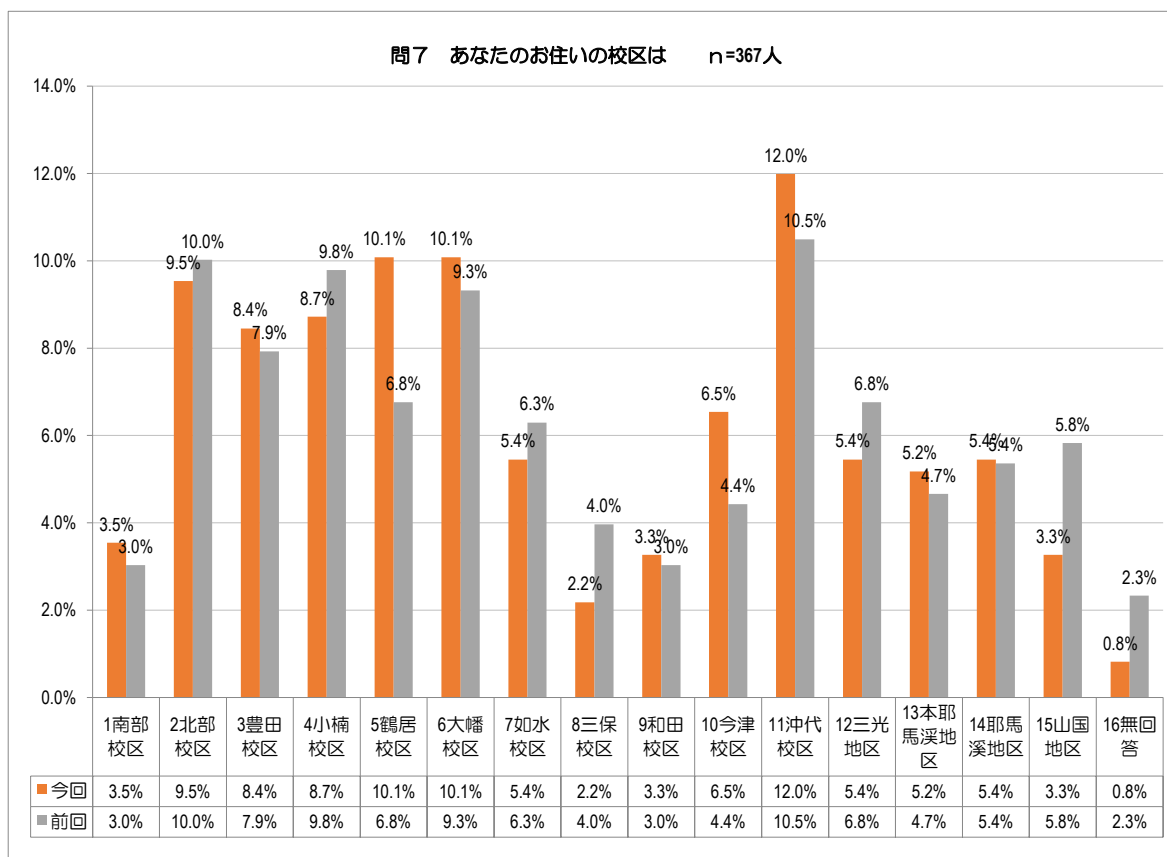
性別職業割合		職 業											
		合計	1 自営	2 企業・団体の正社員 正職員	3 企業・団体の契約 職員	4 公務員	5 教職員	6 臨時・パート アルバイト	7 家事専従	8 無職	9 学生	10 その他	11 無回答
性別	1 女性	192	14	24	6	5	3	43	51	23	12	7	4
		100%	7.3%	12.5%	3.1%	2.6%	1.6%	22.4%	26.6%	12.0%	6.3%	3.6%	2.1%
	2 男性	165	16	44	9	8	2	10	6	49	12	6	3
		100%	9.7%	26.7%	5.5%	4.8%	1.2%	6.1%	3.6%	29.7%	7.3%	3.6%	1.8%
	3 その他	10	0	3	1	1	0	3	0	0	2	0	0
		100%	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%

職業について、全体では「無職」と回答した人が19.6%で最も多く、次に「企業・団体の正社員、正職員」と回答した人が19.3%となっています。

女性では「家事専従」と回答した人が26.6%で最も多く、次に「臨時・パート・アルバイト」と回答した人が22.4%となっています。男性では「無職」と回答した人が29.7%で最も多く、次に「企業・団体の正社員、正職員」と回答した人が26.7%となっています。

問7 あなたは現在、どこにお住いですか。

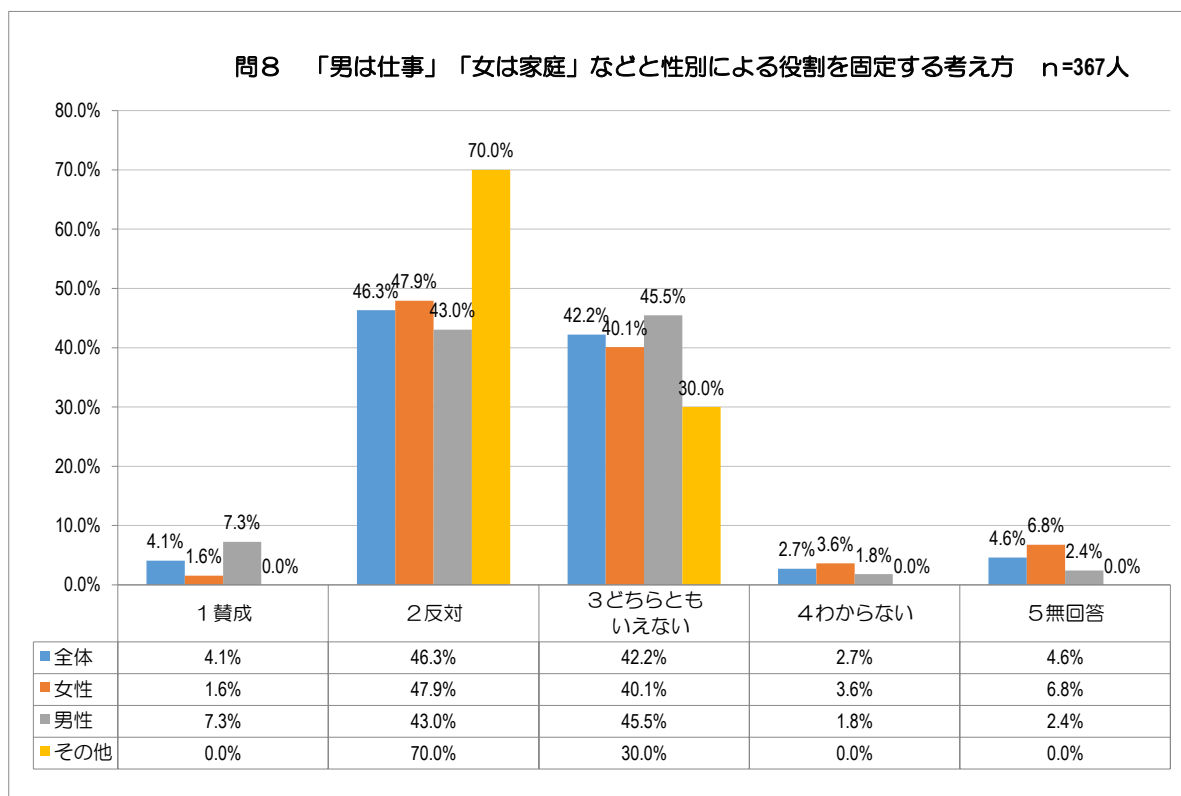
	人数	割合	前回
1南部校区	13	3.5%	3.0%
2北部校区	35	9.5%	10.0%
3豊田校区	31	8.4%	7.9%
4小楠校区	32	8.7%	9.8%
5鶴居校区	37	10.1%	6.8%
6大幡校区	37	10.1%	9.3%
7如水校区	20	5.4%	6.3%
8三保校区	8	2.2%	4.0%
9和田校区	12	3.3%	3.0%
10今津校区	24	6.5%	4.4%
11沖代校区	44	12.0%	10.5%
12三光地区	20	5.4%	6.8%
13本耶馬溪地区	19	5.2%	4.7%
14耶馬溪地区	20	5.4%	5.4%
15山国地区	12	3.3%	5.8%
16無回答	3	0.8%	2.3%
合計	367	100.0%	100.0%



◆男女の意識について

問8 「男は仕事、女は家庭」などと性別によって役割を固定する考え方がありますが、その考え方をどのように思いますか。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回	前回	前回	県
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	全体	女性	男性	全体
1 賛成	15	4.1%	3	1.6%	12	7.3%	0	0.0%	7.0%	3.3%	11.3%	3.6%
2 反対	170	46.3%	92	47.9%	71	43.0%	7	70.0%	39.4%	42.0%	37.3%	64.4%
3 どちらともいえない	155	42.2%	77	40.1%	75	45.5%	3	30.0%	47.1%	48.6%	46.9%	29.2%
4 わからない	10	2.7%	7	3.6%	3	1.8%	0	0.0%	3.7%	4.1%	2.8%	1.9%
5 無回答	17	4.6%	13	6.8%	4	2.4%	0	0.0%	2.8%	2.1%	1.7%	0.9%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



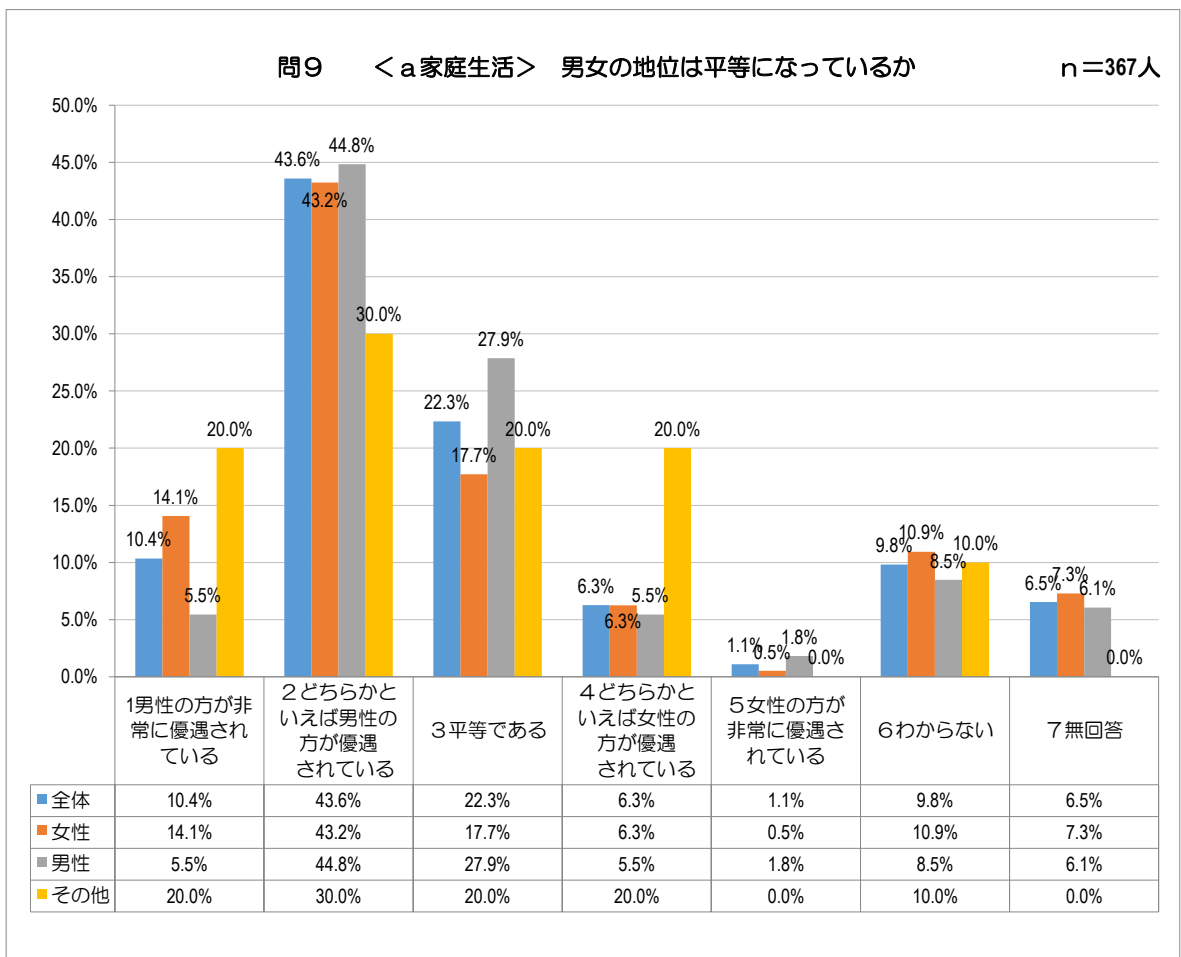
「男は仕事、女は家庭」といった性別によって役割を固定する考え方について、全体では「反対」と回答した人が46.3%で最も多く、次に「どちらともいえない」と回答した人が42.2%となっています。

前回より「賛成」と回答した人が2.9%少なく、「反対」と回答した人が6.9%多くなっているものの、女性・男性ともに約4割の人が「どちらともいえない」と回答していることから、役割を固定する考え方を解消する啓発が引き続き必要です。

問9 次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ)

〈a家庭生活〉

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	38	10.4%	27	14.1%	9	5.5%	2	20.0%	11.4%	12.8%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	160	43.6%	83	43.2%	74	44.8%	3	30.0%	43.8%	47.0%
3平等である	82	22.3%	34	17.7%	46	27.9%	2	20.0%	24.0%	25.7%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	23	6.3%	12	6.3%	9	5.5%	2	20.0%	4.4%	5.3%
5女性の方が非常に優遇されている	4	1.1%	1	0.5%	3	1.8%	0	0.0%	0.9%	1.9%
6わからない	36	9.8%	21	10.9%	14	8.5%	1	10.0%	9.8%	5.2%
7無回答	24	6.5%	14	7.3%	10	6.1%	0	0.0%	4.7%	2.1%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%	100.0%



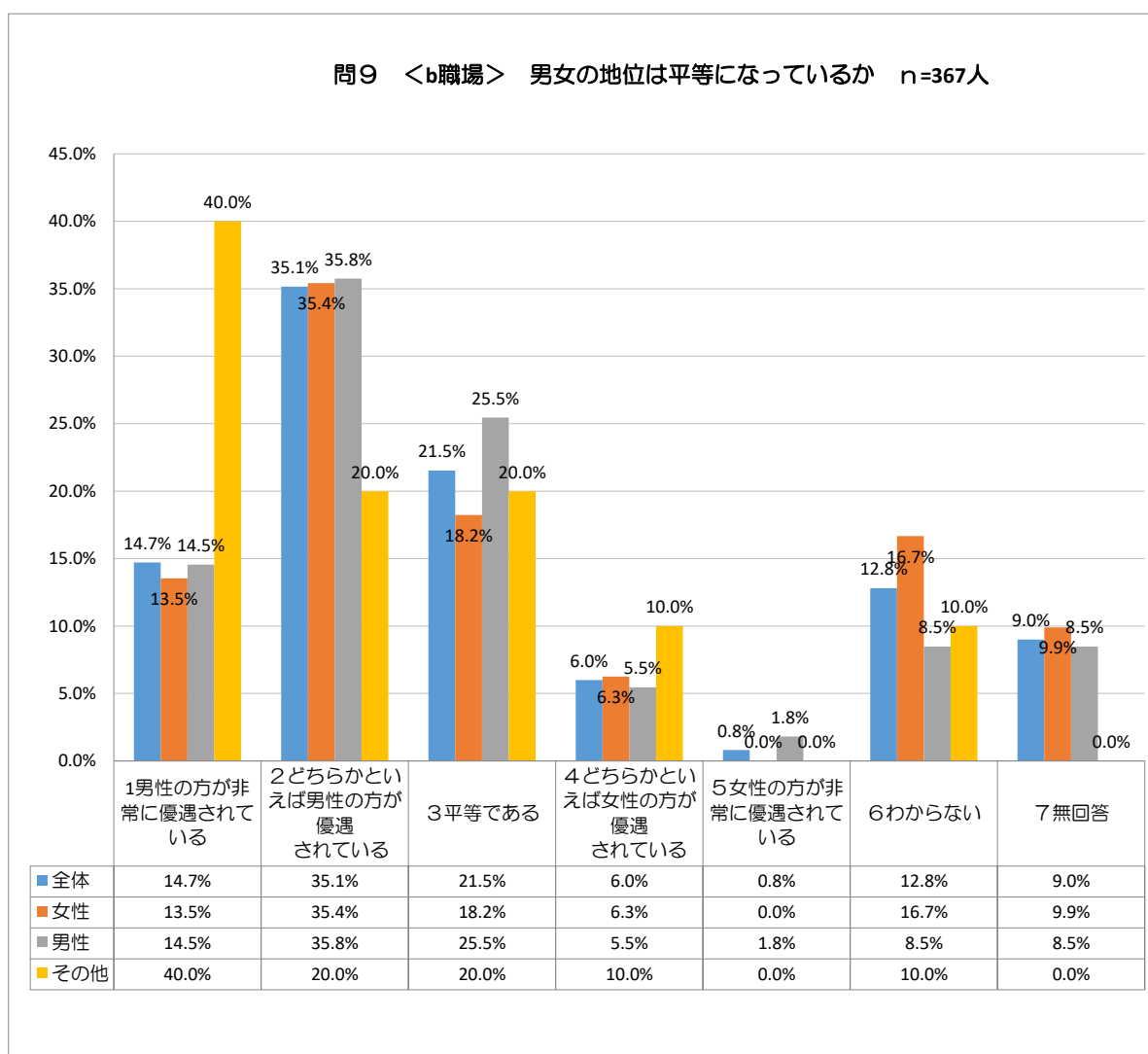
「家庭生活」において男女の地位は平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した人が43.6%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が22.3%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が男性より8.6%多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より10.2%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

〈b職場〉

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	54	14.7%	26	13.5%	24	14.5%	4	40.0%	10.5%	16.9%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	129	35.1%	68	35.4%	59	35.8%	2	20.0%	38.7%	41.7%
3平等である	79	21.5%	35	18.2%	42	25.5%	2	20.0%	21.2%	24.4%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	22	6.0%	12	6.3%	9	5.5%	1	10.0%	5.8%	4.9%
5女性の方が非常に優遇されている	3	0.8%	0	0.0%	3	1.8%	0	0.0%	0.7%	0.9%
6わからない	47	12.8%	32	16.7%	14	8.5%	1	10.0%	12.8%	7.6%
7無回答	33	9.0%	19	9.9%	14	8.5%	0	0.0%	10.7%	3.6%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%	100.0%

問9 〈b職場〉 男女の地位は平等になっているか n=367人

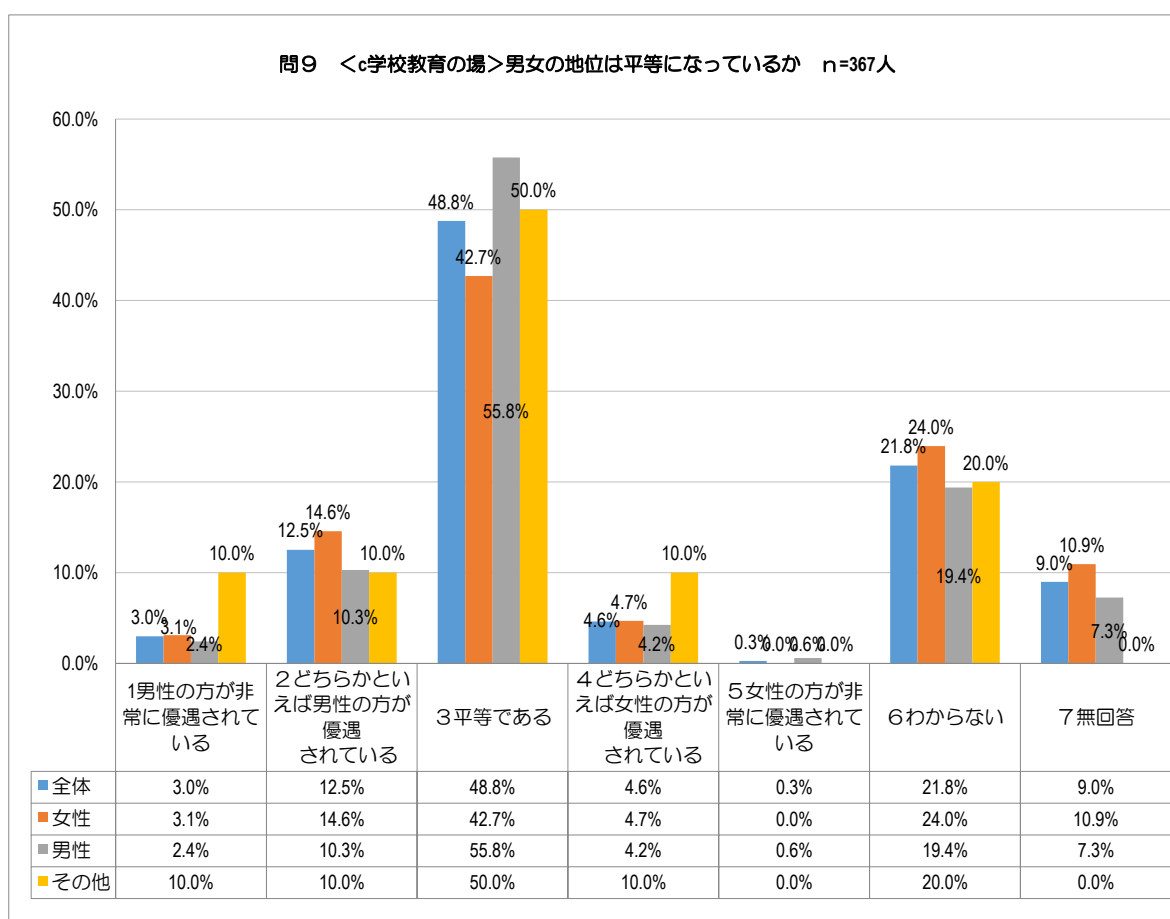


「職場」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば優遇されている」と回答した人が35.1%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が21.5%となっています。

女性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が35.4%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が18.2%となっています。男性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が35.8%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が25.5%となっています。

<c学校教育の場>

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	11	3.0%	6	3.1%	4	2.4%	1	10.0%	2.1%	3.0%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	46	12.5%	28	14.6%	17	10.3%	1	10.0%	12.1%	15.3%
3平等である	179	48.8%	82	42.7%	92	55.8%	5	50.0%	48.3%	54.6%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	4.6%	9	4.7%	7	4.2%	1	10.0%	3.7%	2.4%
5女性の方が非常に優遇されている	1	0.3%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0.2%	0.8%
6わからない	80	21.8%	46	24.0%	32	19.4%	2	20.0%	21.7%	18.6%
7無回答	33	9.0%	21	10.9%	12	7.3%	0	0.0%	12.1%	5.3%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%	100.0%

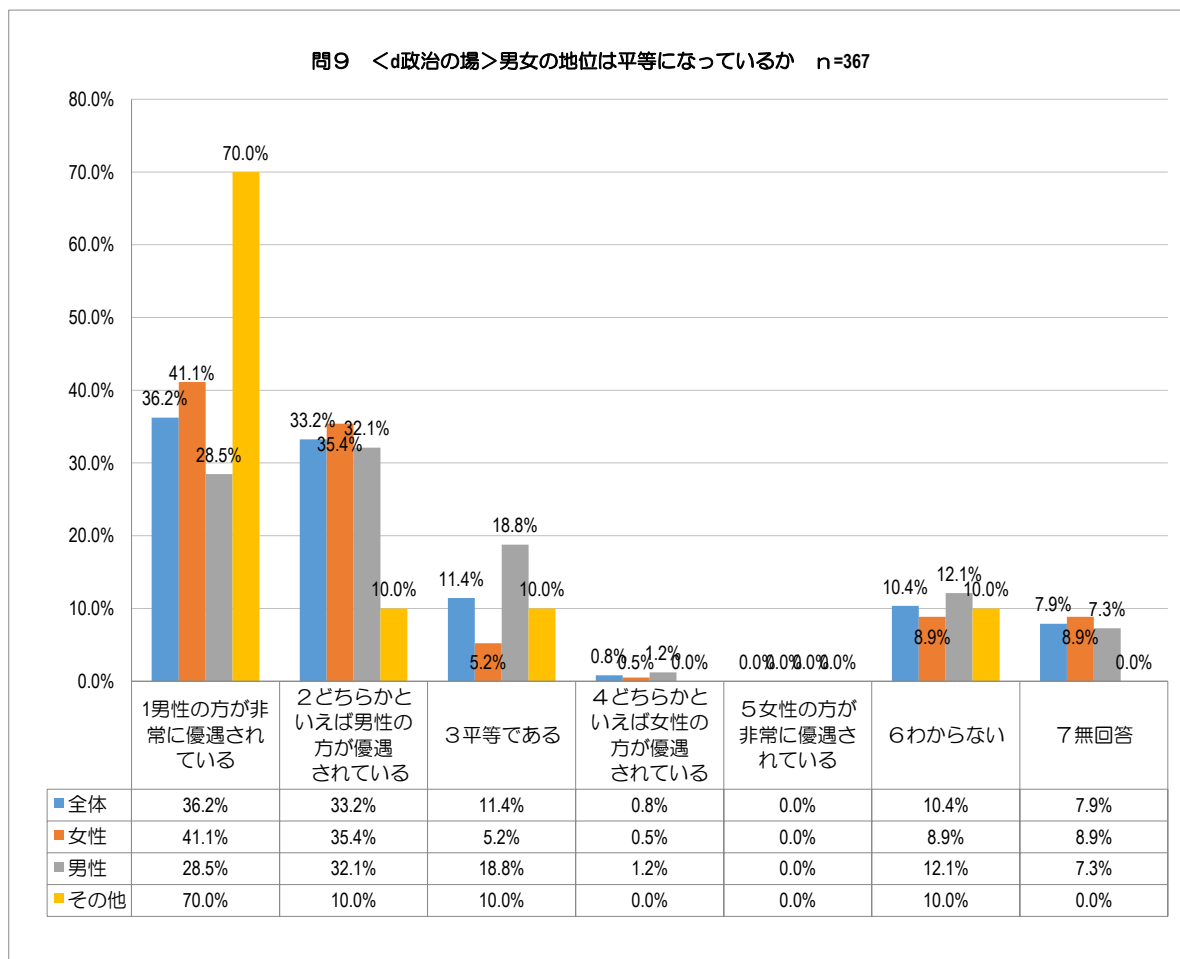


「学校教育の場」において男女の地位は平等になっていますかについて、全体では「平等である」と回答した人が48.8%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が21.8%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より13.1%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

<d政治の場>

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	133	36.2%	79	41.1%	47	28.5%	7	70.0%	18.6%	3.0%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	122	33.2%	68	35.4%	53	32.1%	1	10.0%	39.4%	15.3%
3平等である	42	11.4%	10	5.2%	31	18.8%	1	10.0%	16.3%	54.6%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	3	0.8%	1	0.5%	2	1.2%	0	0.0%	2.3%	2.4%
5女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.5%	0.8%
6わからない	38	10.4%	17	8.9%	20	12.1%	1	10.0%	13.5%	18.6%
7無回答	29	7.9%	17	8.9%	12	7.3%	0	0.0%	9.8%	5.3%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.5%	100.0%

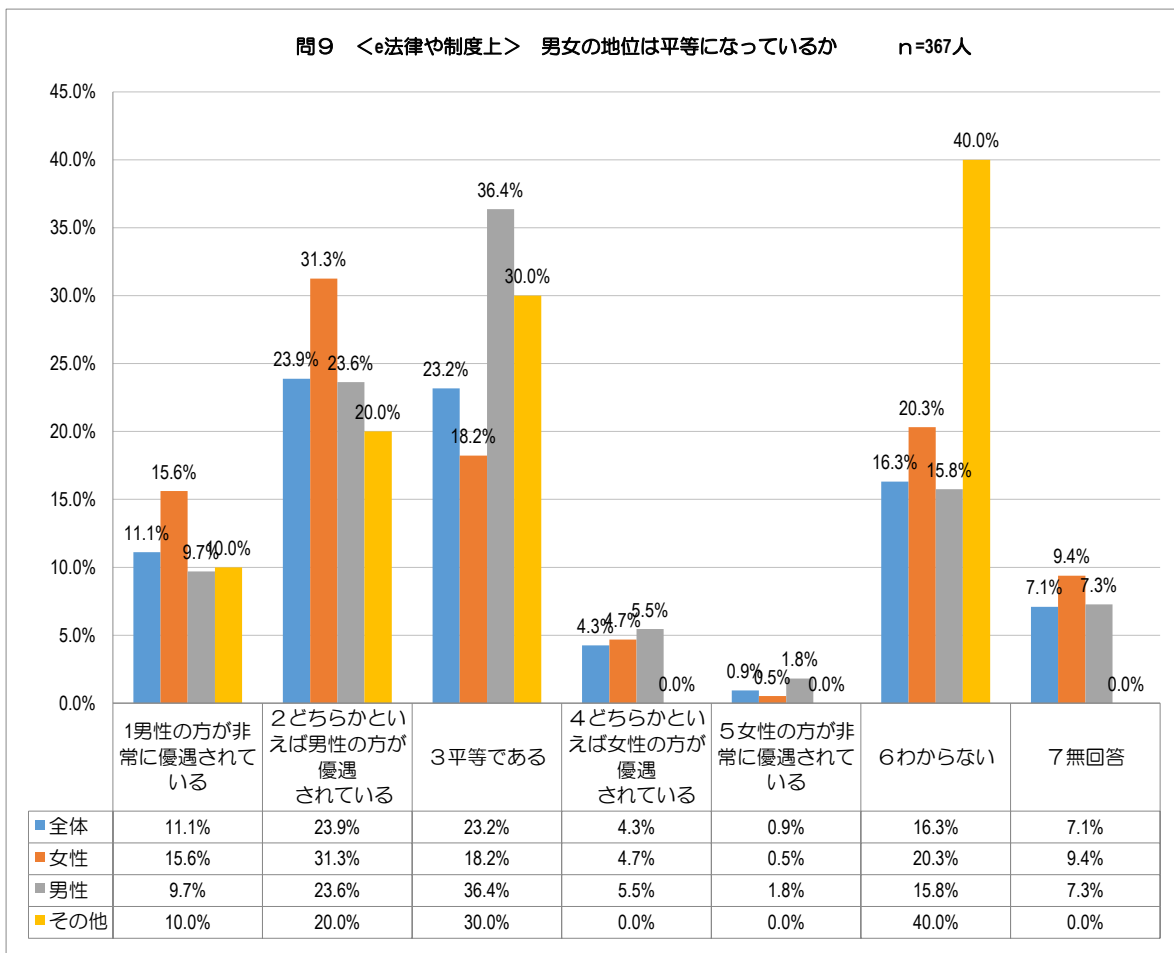


「政治の場」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が36.2%で最も多く、次に「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が33.2%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が男性より12.6%多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より13.6%多いことから、問9の調査項目において、特に「男性の方が優遇されている」と感じている女性が多いようです。

〈e法律や制度上〉

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	47	11.1%	30	15.6%	16	9.7%	1	10.0%	8.7%	13.8%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	101	23.9%	60	31.3%	39	23.6%	2	20.0%	27.2%	32.5%
3平等である	98	23.2%	35	18.2%	60	36.4%	3	30.0%	29.6%	30.2%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	18	4.3%	9	4.7%	9	5.5%	0	0.0%	7.6%	3.3%
5女性の方が非常に優遇されている	4	0.9%	1	0.5%	3	1.8%	0	0.0%	2.4%	1.7%
6わからない	69	16.3%	39	20.3%	26	15.8%	4	40.0%	17.3%	14.0%
7無回答	30	7.1%	18	9.4%	12	7.3%	0	0.0%	9.5%	4.5%
合計	367	86.8%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	102.1%	100.0%

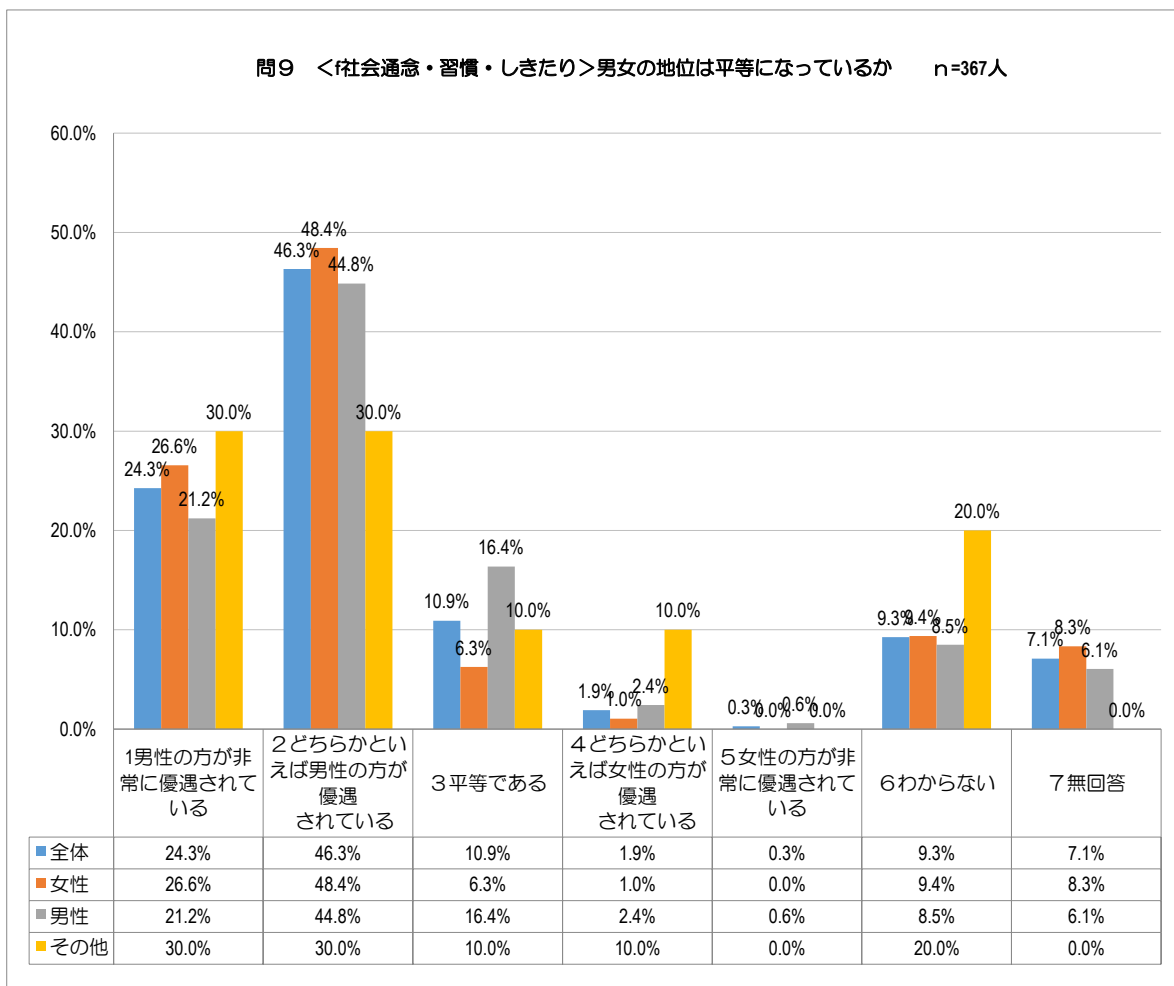


「法律や制度上」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が23.9%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が23.2%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より18.2%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

〈社会通念・習慣・しきたり〉

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性の方が非常に優遇されている	89	24.3%	51	26.6%	35	21.2%	3	30.0%	21.0%	26.7%
2どちらかといえば男性の方が優遇されている	170	46.3%	93	48.4%	74	44.8%	3	30.0%	51.5%	50.6%
3平等である	40	10.9%	12	6.3%	27	16.4%	1	10.0%	10.3%	11.0%
4どちらかといえば女性の方が優遇されている	7	1.9%	2	1.0%	4	2.4%	1	10.0%	3.0%	1.5%
5女性の方が非常に優遇されている	1	0.3%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1.2%	0.7%
6わからない	34	9.3%	18	9.4%	14	8.5%	2	20.0%	9.8%	7.4%
7無回答	26	7.1%	16	8.3%	10	6.1%	0	0.0%	7.0%	2.1%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	103.7%	100.0%



「社会通念・習慣・しきたり」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が46.3%で最も多く、次に「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が24.3%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より10.1%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

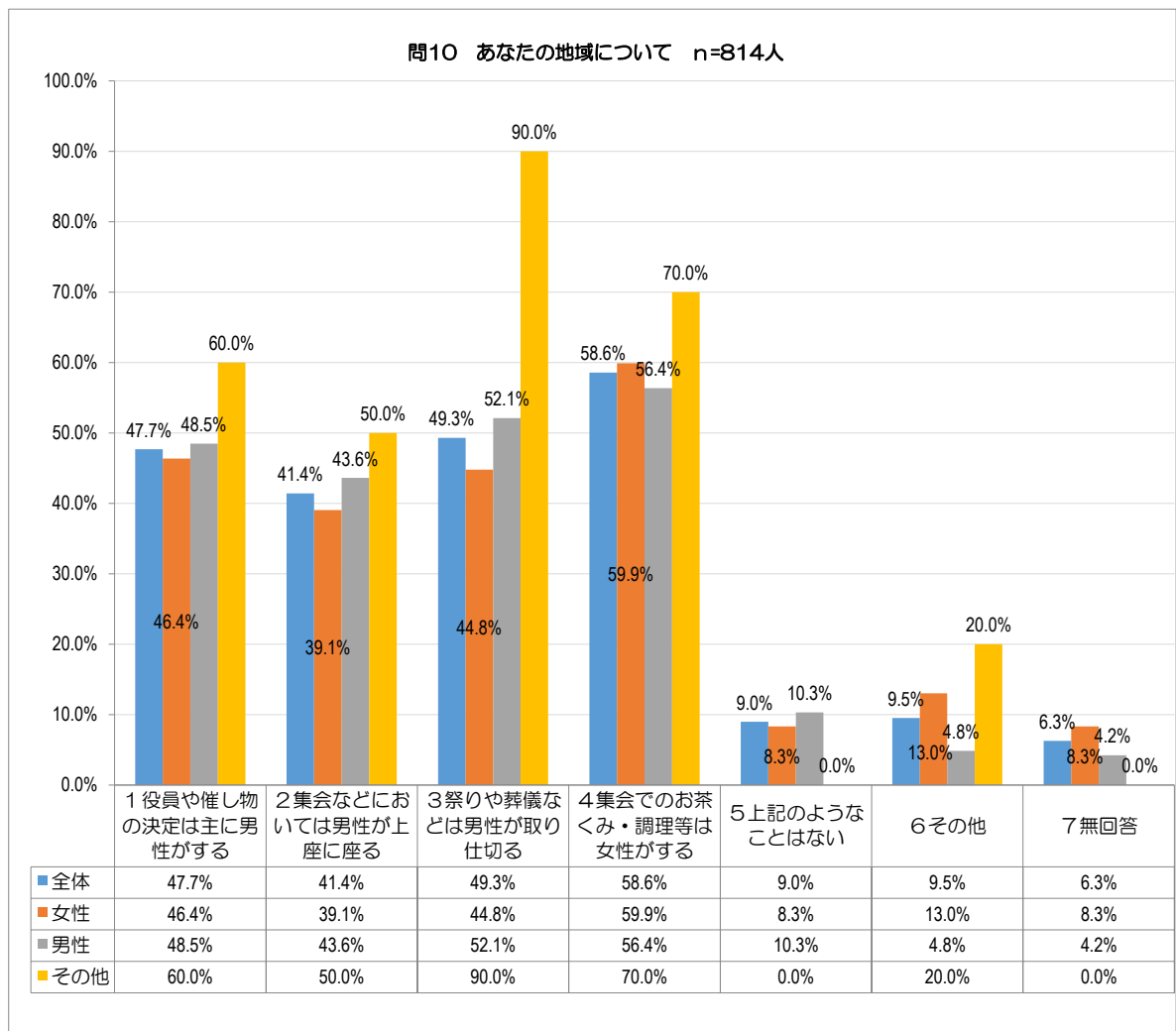
問10 あなたの地域について。(複数回答)

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 役員や催し物の決定は主に男性がする	175	47.7%	89	46.4%	80	48.5%	6	60.0%	52.7%
2 集会などにおいては男性が上座に座る	152	41.4%	75	39.1%	72	43.6%	5	50.0%	52.0%
3 祭りや葬儀などは男性が取り仕切る	181	49.3%	86	44.8%	86	52.1%	9	90.0%	53.6%
4 集会でのお茶くみ・調理等は女性がする	215	58.6%	115	59.9%	93	56.4%	7	70.0%	70.6%
5 上記のようなことはない	33	9.0%	16	8.3%	17	10.3%	0	0.0%	8.6%
6 その他	35	9.5%	25	13.0%	8	4.8%	2	20.0%	7.7%
7 無回答	23	6.3%	16	8.3%	7	4.2%	0	0.0%	3.3%
合計	814		422		363		29		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- 地域の集会に出ないのでわからない
- 地域活動に参加することがない
- 高齢により上記のような場に出て行かない為、現在は分からない。
- たぶん、地域の活動に参加する女性が少ないから。
また、地域の行事は例年の運営方法に従うため、役割分担もほぼ同じためだと思う。
- 宗教が違くと集会の中心になれずある意味村八分のような風習があるように感じる。
(祭りとか神社の草取りなど)たとえば町内の班長や自治会員などになれない。
- 地域においての催し物が無い。
- 女性の方が長生きする様になってきている為、祭りや集会などは女性が行う事が多くなっていると思う。
- 自分の家族においては平等であると思うが地域だとわからない
- 世間話のなかで、女性なのだから常に美しく愛想よくあれ、家に集落に尽くせ、子を産めなどの旨言われる。
- 道路清掃、水路清掃も男性中心で決めて女性はそれに従っている。



「あなたの地域での集会や催し物などの男性・女性の参加状況」について、全体では「集会でのお茶くみ・調理等は女性がする」と回答した人が58.6%で最も多く、次に「祭りや葬儀などは男性が取り仕切る」と回答した人が49.3%となっています。

前回より、「集会でのお茶くみ・調理等は女性がする」と回答した人が12.0%少なくなっており、他の項目も全体的に前回より少なくなっています。少しずつ地域の中でも女性・男性のあり方が変化しつつあることがわかります。

問11 家事・育児・介護等への男性の参加を進めるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
(複数回答)

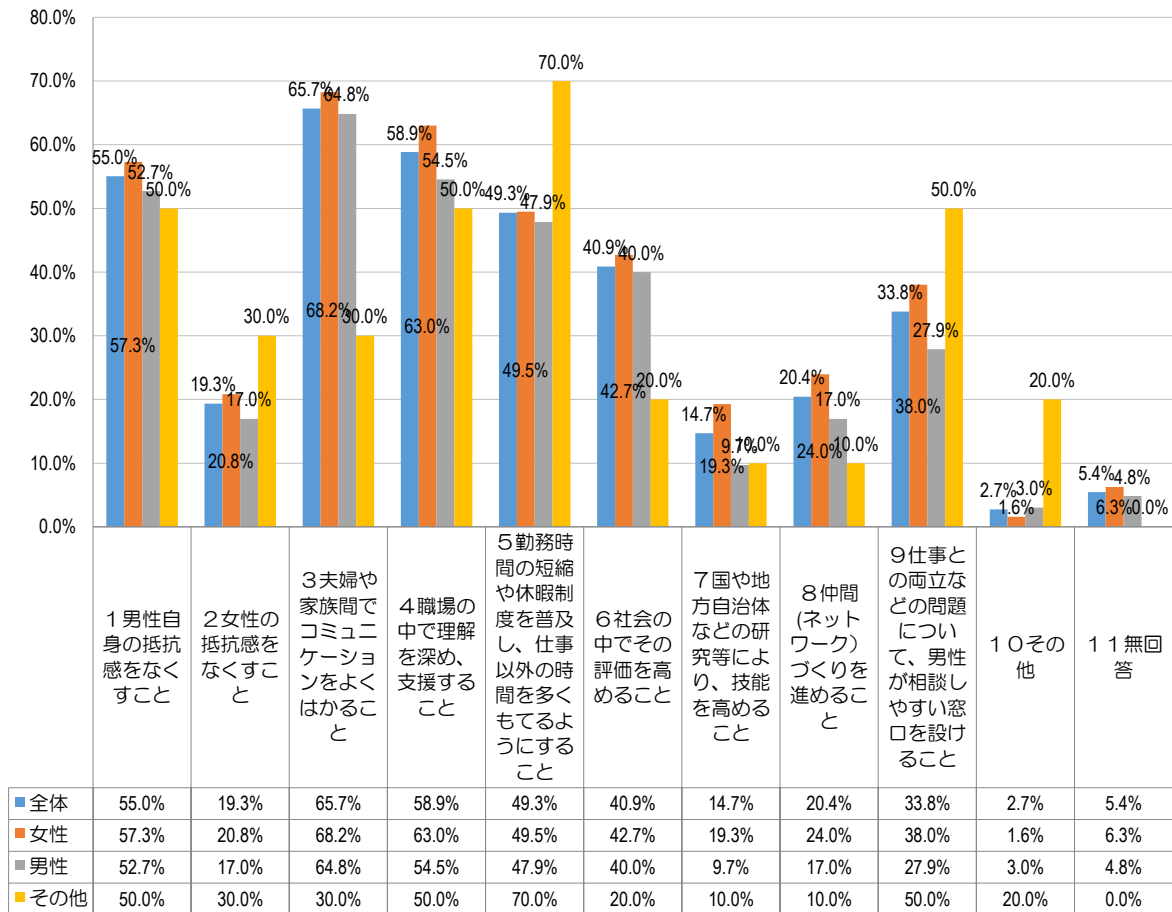
	全体		女性		男性		その他	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
1 男性自身の抵抗感をなくすこと	202	55.0%	110	57.3%	87	52.7%	5	50.0%
2 女性の抵抗感をなくすこと	71	19.3%	40	20.8%	28	17.0%	3	30.0%
3 夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかること	241	65.7%	131	68.2%	107	64.8%	3	30.0%
4 職場の中で理解を深め、支援すること	216	58.9%	121	63.0%	90	54.5%	5	50.0%
5 勤務時間の短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多くもてるようにすること	181	49.3%	95	49.5%	79	47.9%	7	70.0%
6 社会の中でその評価を高めること	150	40.9%	82	42.7%	66	40.0%	2	20.0%
7 国や地方自治体などの研究等により、技能を高めること	54	14.7%	37	19.3%	16	9.7%	1	10.0%
8 仲間(ネットワーク)づくりを進めること	75	20.4%	46	24.0%	28	17.0%	1	10.0%
9 仕事との両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	124	33.8%	73	38.0%	46	27.9%	5	50.0%
10 その他	10	2.7%	3	1.6%	5	3.0%	2	20.0%
11 無回答	20	5.4%	12	6.3%	8	4.8%	0	0.0%
合計	1,344		750		560		34	

※※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・ 孫が体調が悪く長く休まなければならない時その期間はぜひ休みをいただきたい。・
少子化対策のわりにはなぜかくいちがいをかんじます。
- ・ 男性が家事を手伝うという、女性(主婦)＝家事をするのが当然という根本的な「あたり前」意識を変えない限り、大きくはかわらないと思う。
- ・ 男性に家事育児などする場を多く設ける。意識を変える。
- ・ そもそも社会全体において、男性は、女性はこうあるべきという意識が存在しており、その意識を変えること
- ・ わからない
- ・ 子どもを育てる上で男の子だからと母親はつくすことが多いように思う。
男性の意識の問題では？子育てする方はしていると思う。そういった環境の中で育つと大人になっても同じ状況を作り出すのもひとつあるのではないかと思う。
- ・ 「参加」という意識がそもそもおかしいことを指摘したい。すべての人が当事者として向きあう意識啓発を求める。
- ・ 国、県、市の役所が率先すること→女性が決定する場面が多く参加すること。
- ・ 賃金を引き上げ、男女共に家庭生活が充実できるようにする。

問11 家事・育児・介護等への男性の参加について n=1,344人



前回調査より、選択肢を全て変更しています。

「家事・育児・介護等への男性の参加を進めるために必要なこと」について、全体では「夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかること」と回答した人が65.7%で最も多く、次に「職場の中で理解を深め、支援すること」と回答した人が58.9%となっています。

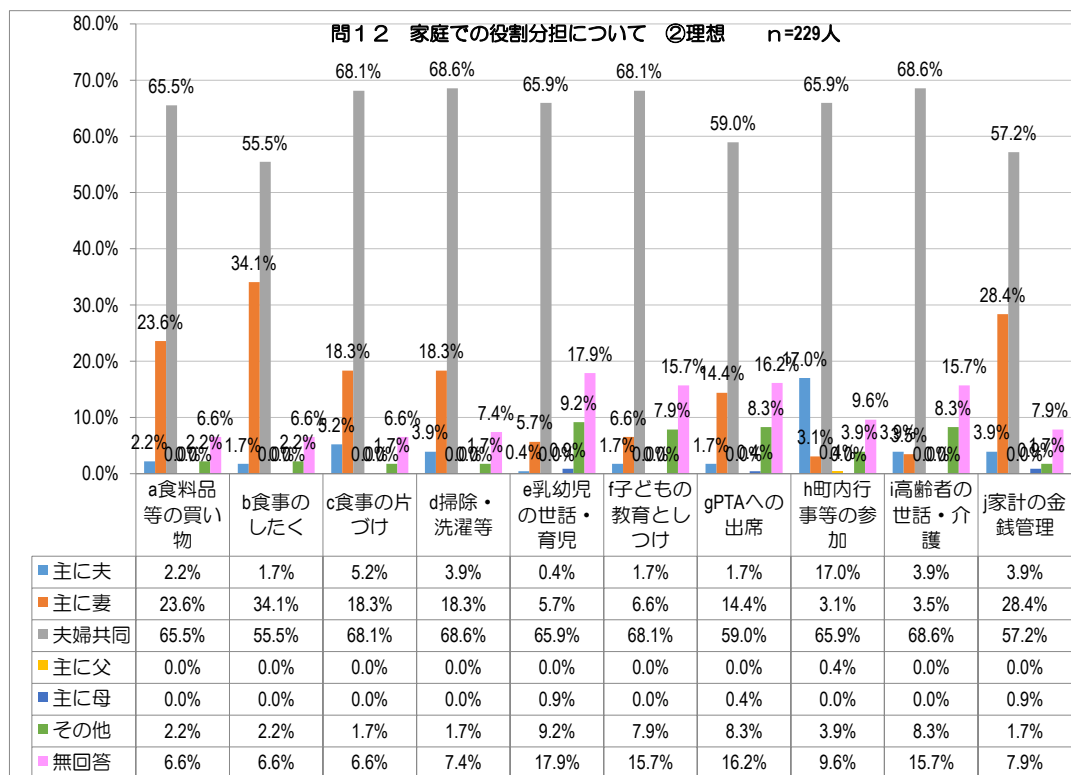
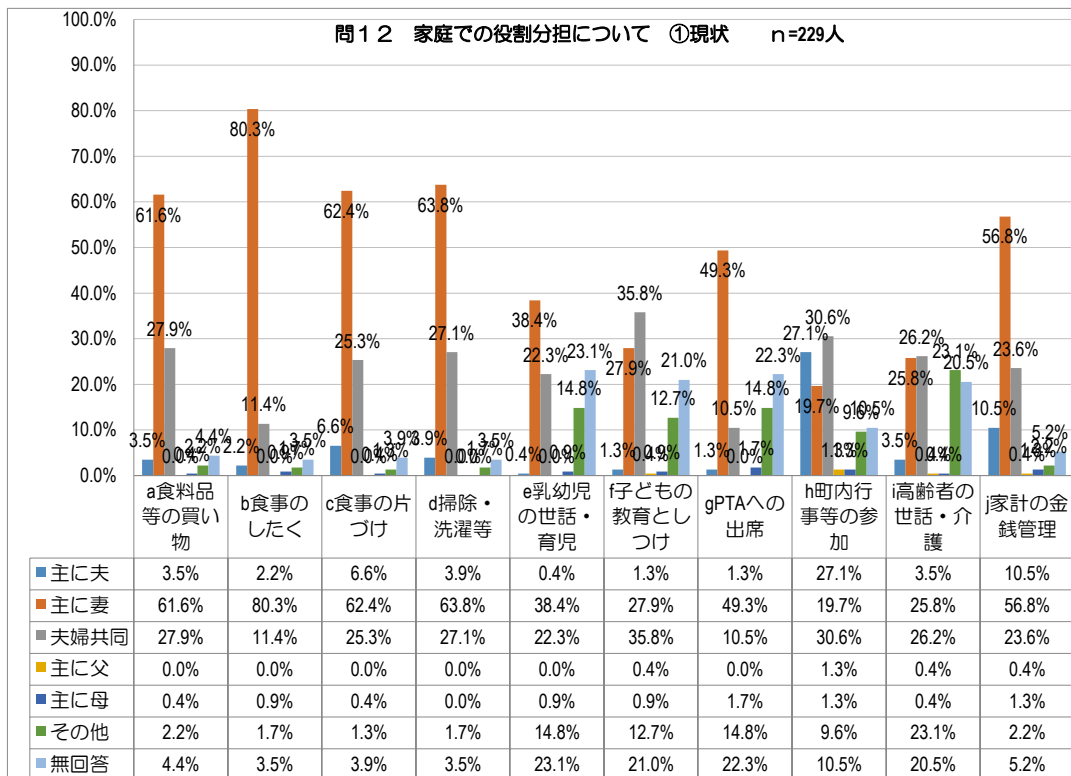
男女別の場合でも、上記2つの項目が多くなっており、男女ともに家族間のコミュニケーションが大切と思っている人が多いことがわかります。

問12 結婚している方（事実婚を含む）におたずねします。家庭での役割分担をどのようにしていますか。
（各項目より1つ）

①現状		1	2	3	4	5	6	7	合計	前回 夫婦共同
		主に夫	主に妻	夫婦共同	主に父	主に母	その他	無回答		
a食料品等の買い物	人数	8	141	64	0	1	5	10	229	23.8%
	割合	3.5%	61.6%	27.9%	0.0%	0.4%	2.2%	4.4%	100.0%	
b食事のしたく	人数	5	184	26	0	2	4	8	229	7.9%
	割合	2.2%	80.3%	11.4%	0.0%	0.9%	1.7%	3.5%	100.0%	
c食事の片づけ	人数	15	143	58	0	1	3	9	229	15.9%
	割合	6.6%	62.4%	25.3%	0.0%	0.4%	1.3%	3.9%	100.0%	
d掃除・洗濯等	人数	9	146	62	0	0	4	8	229	16.2%
	割合	3.9%	63.8%	27.1%	0.0%	0.0%	1.7%	3.5%	100.0%	
e乳幼児の世話・育児	人数	1	88	51	0	2	34	53	229	13.4%
	割合	0.4%	38.4%	22.3%	0.0%	0.9%	14.8%	23.1%	100.0%	
f子どもの教育としつけ	人数	3	64	82	1	2	29	48	229	31.4%
	割合	1.3%	27.9%	35.8%	0.4%	0.9%	12.7%	21.0%	100.0%	
gPTAへの出席	人数	3	113	24	0	4	34	51	229	10.8%
	割合	1.3%	49.3%	10.5%	0.0%	1.7%	14.8%	22.3%	100.0%	
h町内行事等の参加	人数	62	45	70	3	3	22	24	229	28.5%
	割合	27.1%	19.7%	30.6%	1.3%	1.3%	9.6%	10.5%	100.0%	
i高齢者の世話・介護	人数	8	59	60	1	1	53	47	229	22.0%
	割合	3.5%	25.8%	26.2%	0.4%	0.4%	23.1%	20.5%	100.0%	
j家計の金銭管理	人数	24	130	54	1	3	5	12	229	19.5%
	割合	10.5%	56.8%	23.6%	0.4%	1.3%	2.2%	5.2%	100.0%	

②理想		1	2	3	4	5	6	7	合計	前回 夫婦共同
		主に夫	主に妻	夫婦共同	主に父	主に母	その他	無回答		
a食料品等の買い物	人数	5	54	150	0	0	5	15	229	51.6%
	割合	2.2%	23.6%	65.5%	0.0%	0.0%	2.2%	6.6%	100.0%	
b食事のしたく	人数	4	78	127	0	0	5	15	229	45.1%
	割合	1.7%	34.1%	55.5%	0.0%	0.0%	2.2%	6.6%	100.0%	
c食事の片づけ	人数	12	42	156	0	0	4	15	229	58.1%
	割合	5.2%	18.3%	68.1%	0.0%	0.0%	1.7%	6.6%	100.0%	
d掃除・洗濯等	人数	9	42	157	0	0	4	17	229	60.6%
	割合	3.9%	18.3%	68.6%	0.0%	0.0%	1.7%	7.4%	100.0%	
e乳幼児の世話・育児	人数	1	13	151	0	2	21	41	229	57.8%
	割合	0.4%	5.7%	65.9%	0.0%	0.9%	9.2%	17.9%	100.0%	
f子どもの教育としつけ	人数	4	15	156	0	0	18	36	229	67.1%
	割合	1.7%	6.6%	68.1%	0.0%	0.0%	7.9%	15.7%	100.0%	
gPTAへの出席	人数	4	33	135	0	1	19	37	229	59.6%
	割合	1.7%	14.4%	59.0%	0.0%	0.4%	8.3%	16.2%	100.0%	
h町内行事等の参加	人数	39	7	151	1	0	9	22	229	60.3%
	割合	17.0%	3.1%	65.9%	0.4%	0.0%	3.9%	9.6%	100.0%	
i高齢者の世話・介護	人数	9	8	157	0	0	19	36	229	69.3%
	割合	3.9%	3.5%	68.6%	0.0%	0.0%	8.3%	15.7%	100.0%	
j家計の金銭管理	人数	9	65	131	0	2	4	18	229	52.7%
	割合	3.9%	28.4%	57.2%	0.0%	0.9%	1.7%	7.9%	100.0%	

※分母は問3にて「1 結婚している」と回答した229人とし割合を算出



①現状では

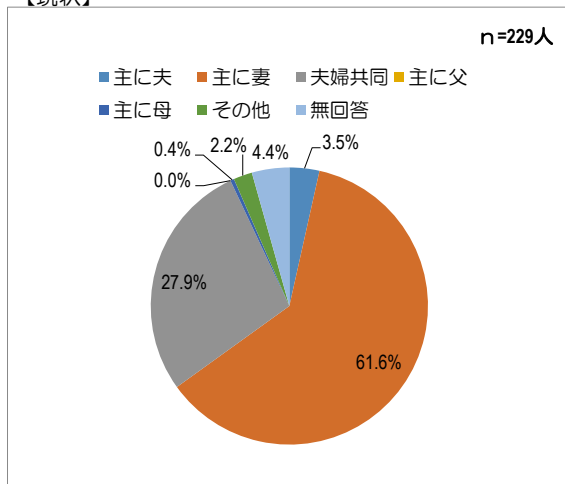
「食料品等の買い物」「食事のしたく」「食事の片づけ」「掃除・洗濯等」については、6割以上の方が『主に妻』と回答しています。また「子どもの教育としつけ」や「町内行事等の参加」については、約3割の方が『夫婦共同』と回答しています。家庭での役割分担について、現状では、女性の負担がかなり多いことがわかります。

②理想では

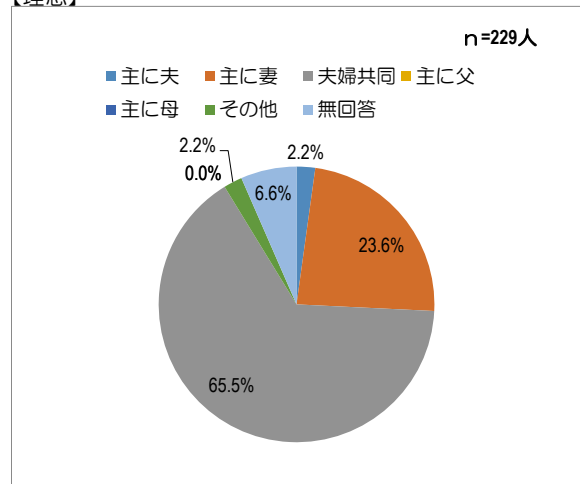
家事、育児、介護全般において『夫婦共同』と回答した人が最も多く、夫婦がともに支え合って家事、育児、介護等に参加できる環境が理想だと考えています。また、家庭の都合により「帰宅時間が遅いため家事・育児が女性が主体になってしまう」という意見もあります。

a 食料品等の買い物

【現状】

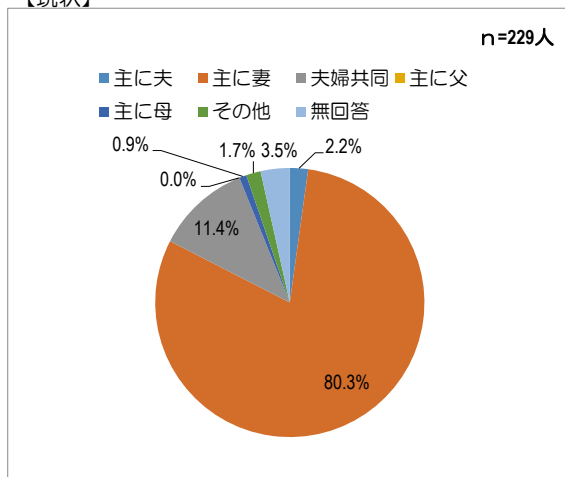


【理想】

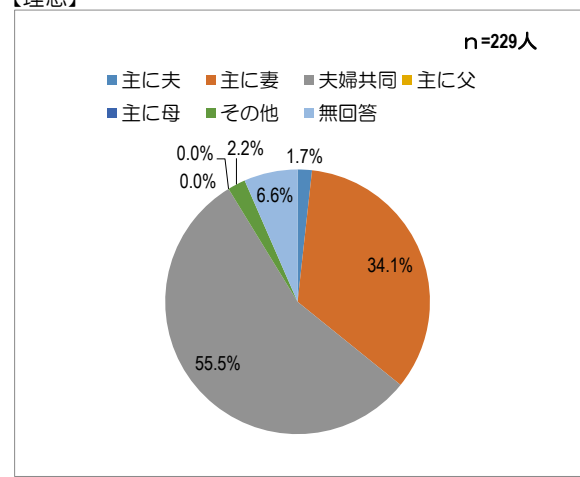


b 食事のしたく

【現状】

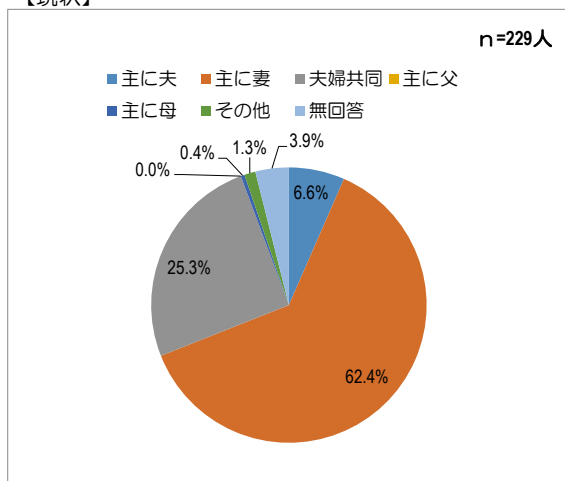


【理想】

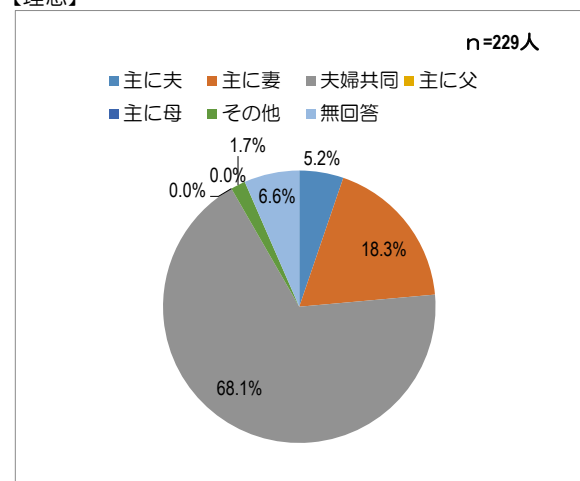


c 食事の片づけ

【現状】

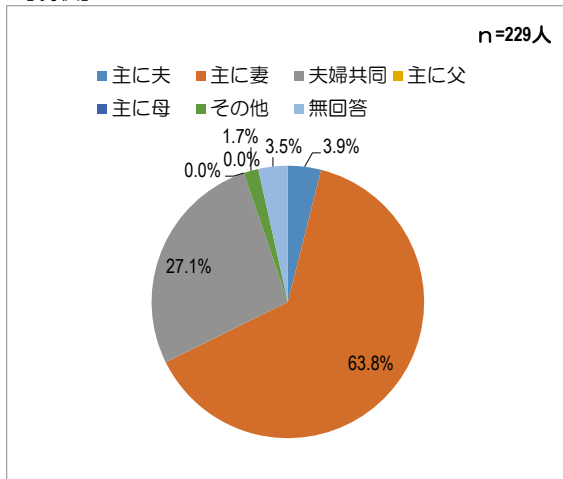


【理想】

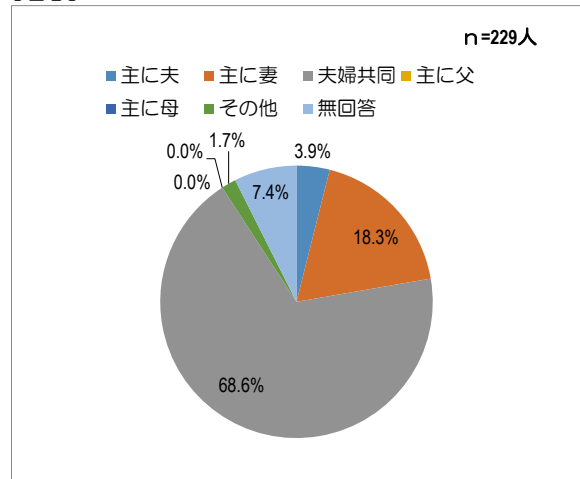


d 掃除・洗濯等

【現状】

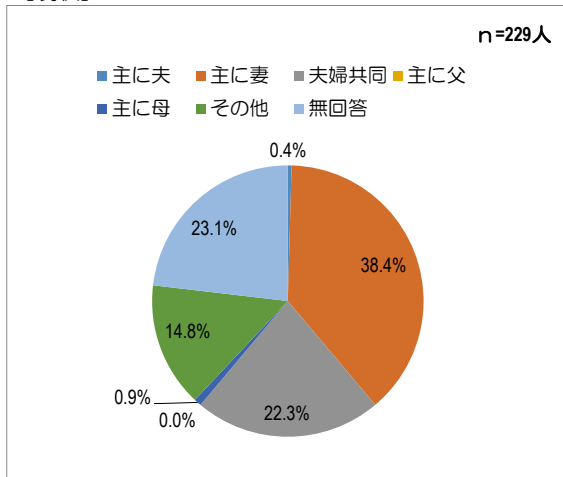


【理想】

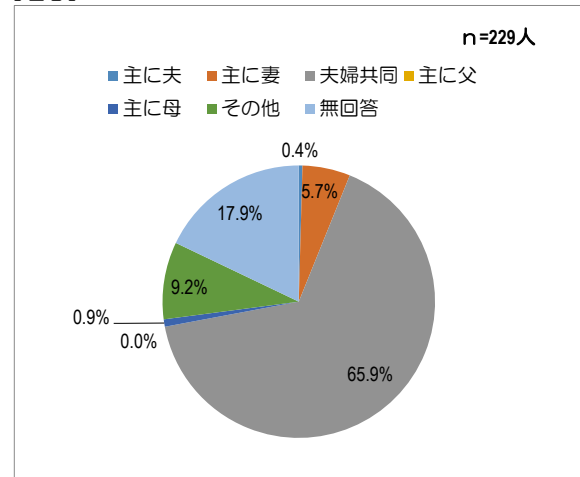


e乳幼児の世話・育児

【現状】

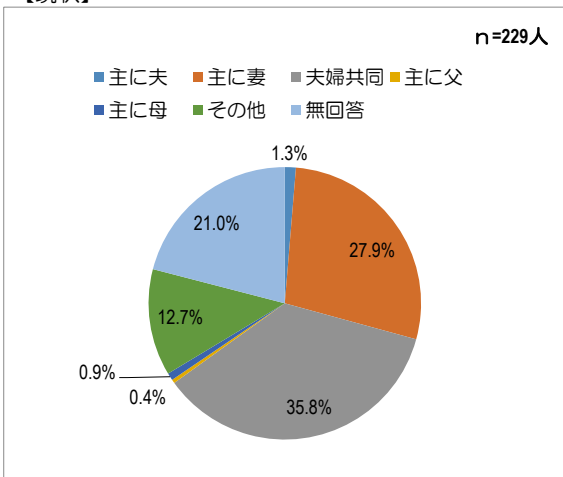


【理想】

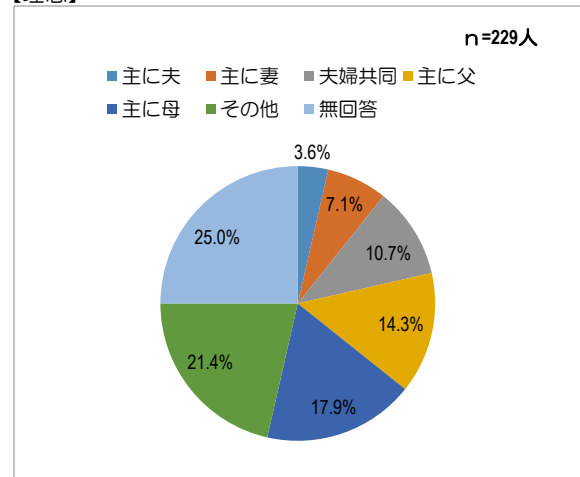


f子どもの教育としつけ

【現状】

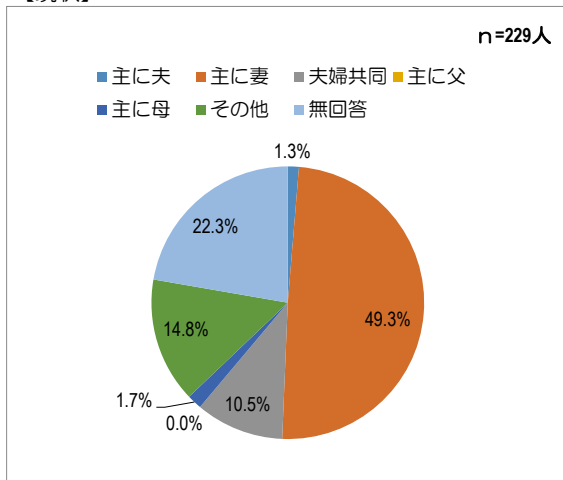


【理想】

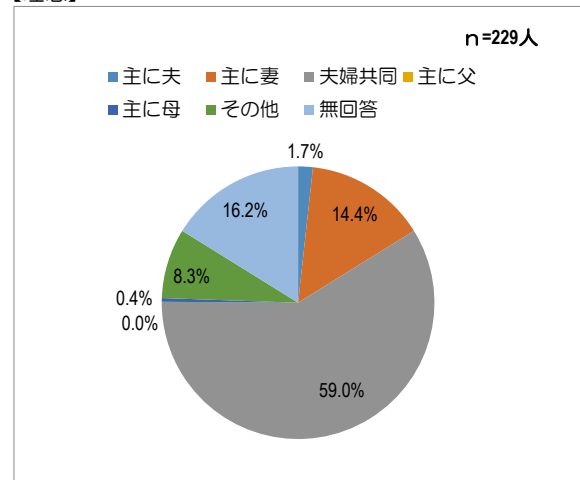


gPTAへの出席

【現状】

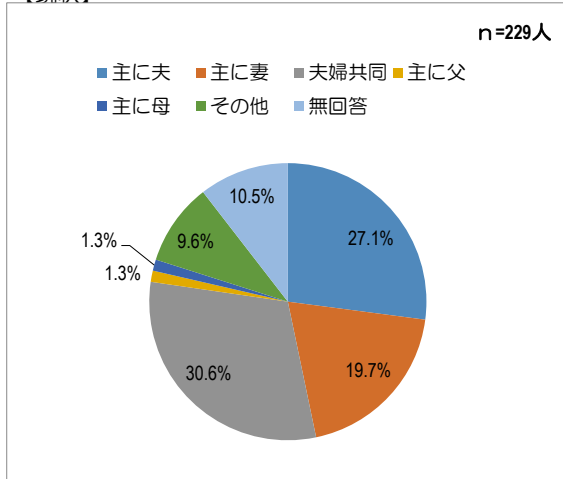


【理想】

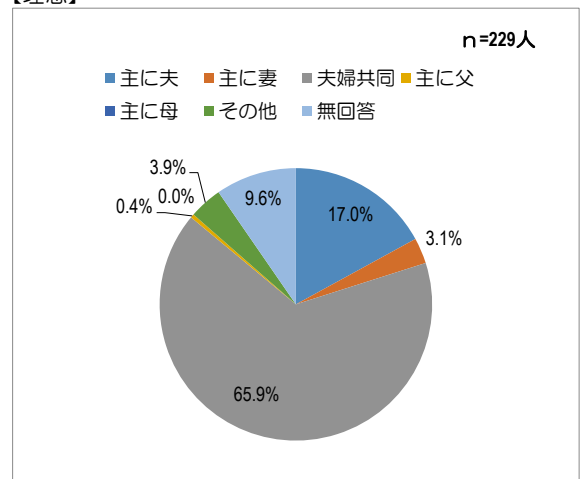


h町内行事等の参加

【現状】

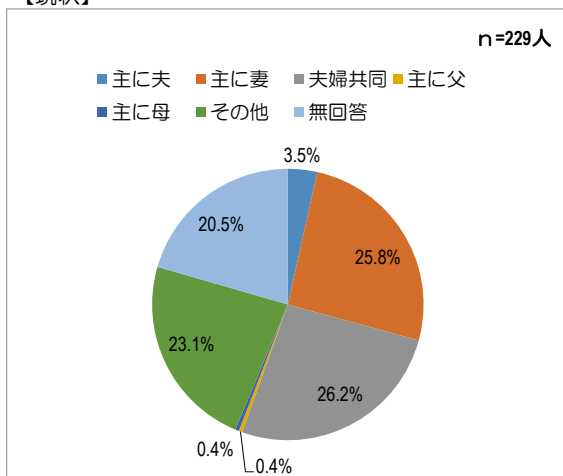


【理想】

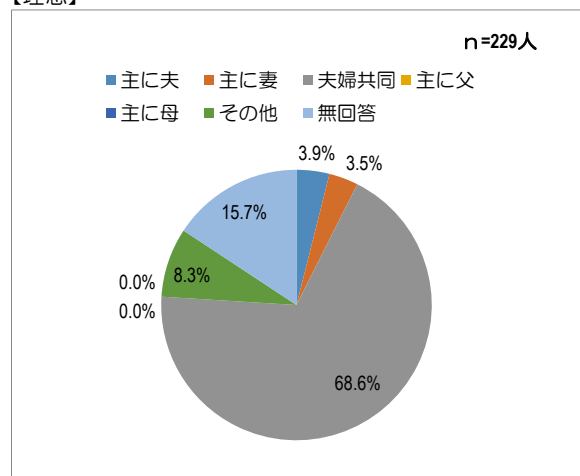


i高齢者の世話・介護

【現状】

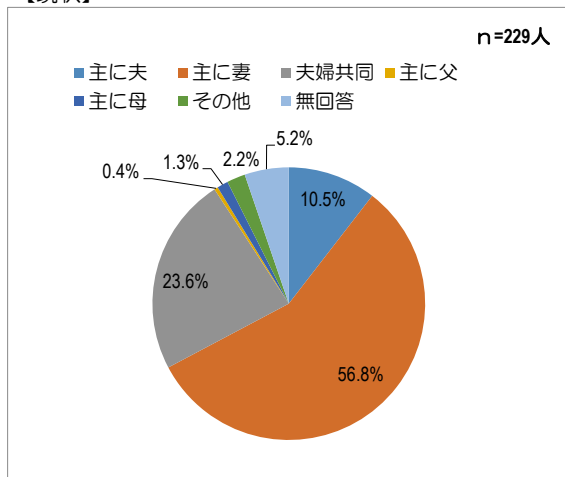


【理想】

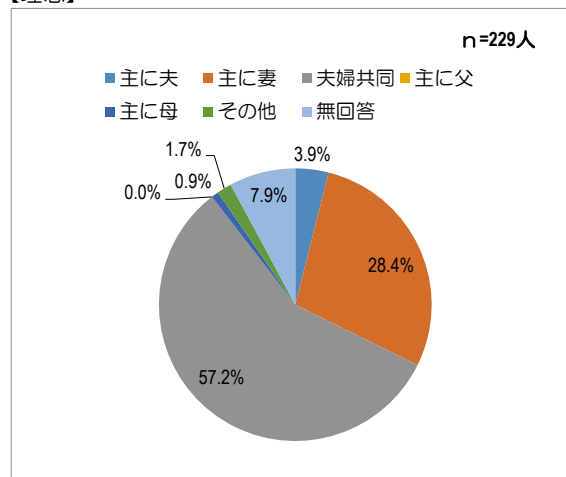


家計の金銭管理

【現状】



【理想】



◆防災について

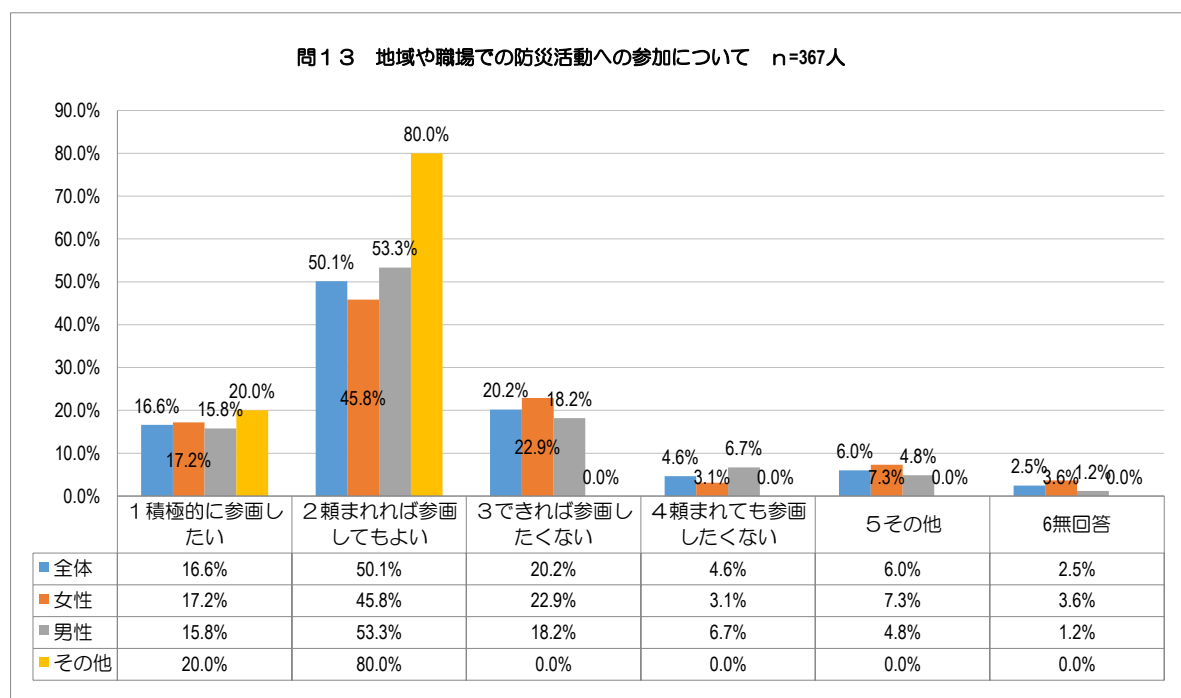
問13 地域や職場での防災活動（避難訓練や備蓄など）への参画について。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 積極的に参画したい	61	16.6%	33	17.2%	26	15.8%	2	20.0%	21.4%
2 頼まれれば参画してもよい	184	50.1%	88	45.8%	88	53.3%	8	80.0%	49.7%
3 できれば参画したくない	74	20.2%	44	22.9%	30	18.2%	0	0.0%	16.6%
4 頼まれても参画したくない	17	4.6%	6	3.1%	11	6.7%	0	0.0%	4.0%
5 その他	22	6.0%	14	7.3%	8	4.8%	0	0.0%	4.2%
6 無回答	9	2.5%	7	3.6%	2	1.2%	0	0.0%	4.4%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.2%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・高齢により参画できない
- ・家ではできてないです
- ・家族の事情で参画できない
- ・現在身体の調子が悪く何も協力できない
- ・その時点で地域活動に参加できるかどうかかわからないし、個々の家で事情が違う
- ・時間があれば参画したい
- ・今まで色々なことに参加しましたが、現在はできない。
- ・防災会の立ち上げをしています



地域や職場での防災活動への参加について、全体では「頼まれれば参画してもよい」と回答した人が50.1%で最も多く、次に「できれば参画したくない」と回答した人が20.2%となっています。

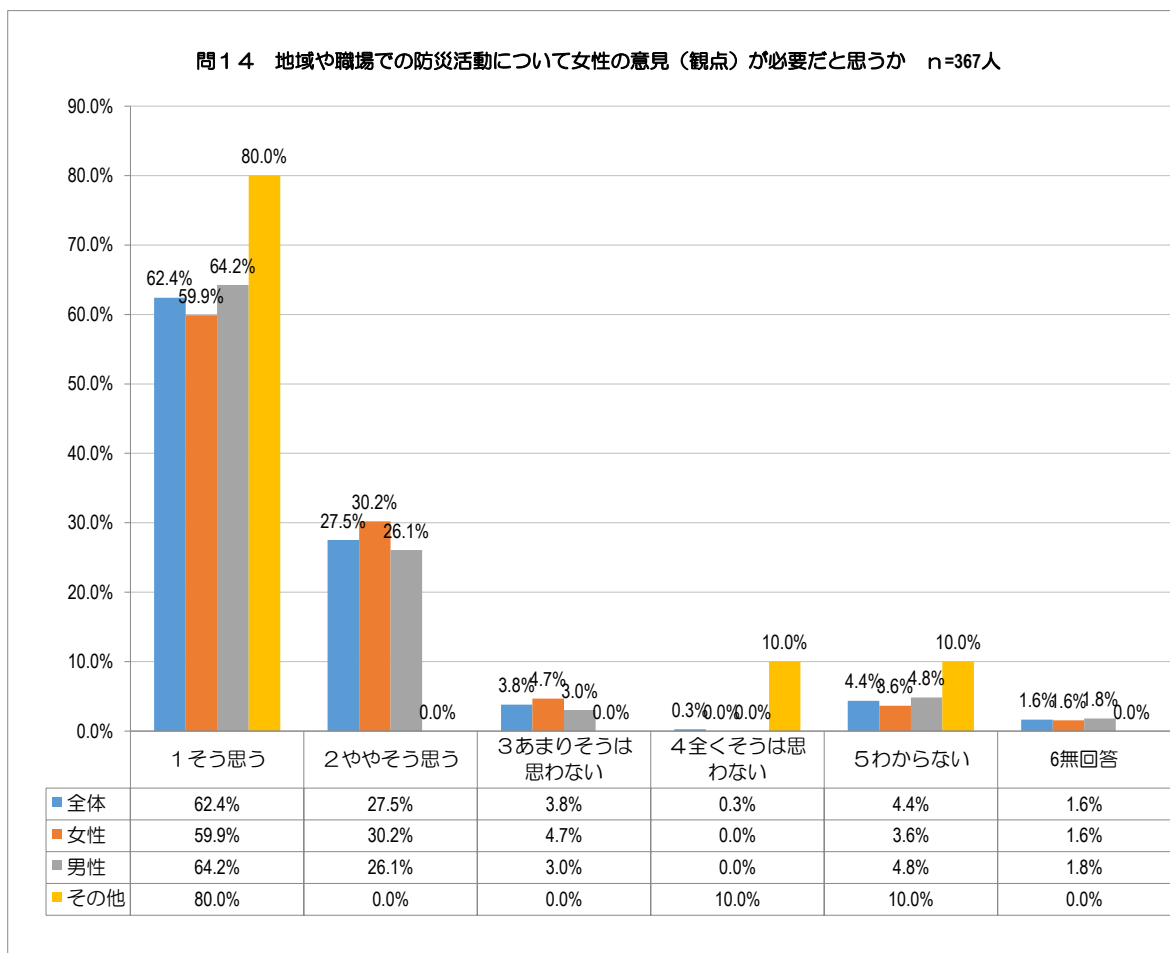
女性では「頼まれれば参画してもよい」と回答した人が45.8%で最も多く、次に「できれば参画したくない」と回答した人が22.9%となっています。男性では「頼まれれば参画してもよい」と回答した人が53.3%で最も多く、次に「できれば参画したくない」と回答した人が18.2%となっています。

防災活動に参加したくても病気や高齢のため参加できないという現状もあるようです。

問14 地域や職場での防災活動（避難訓練や備蓄など）について、女性の意見（観点）が必要だと思いますか。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 そう思う	229	62.4%	115	59.9%	106	64.2%	8	80.0%	57.6%
2 ややそう思う	101	27.5%	58	30.2%	43	26.1%	0	0.0%	24.5%
3 あまりそうは思わない	14	3.8%	9	4.7%	5	3.0%	0	0.0%	4.7%
4 全くそうは思わない	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	0.7%
5 わからない	16	4.4%	7	3.6%	8	4.8%	1	10.0%	9.1%
6 無回答	6	1.6%	3	1.6%	3	1.8%	0	0.0%	3.5%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「地域や職場での防災活動について女性の意見（観点）は必要だと思いますか」について、全体では「そう思う」と回答した人が62.4%で最も多く、次に「ややそう思う」と回答した人が27.5%となっています。

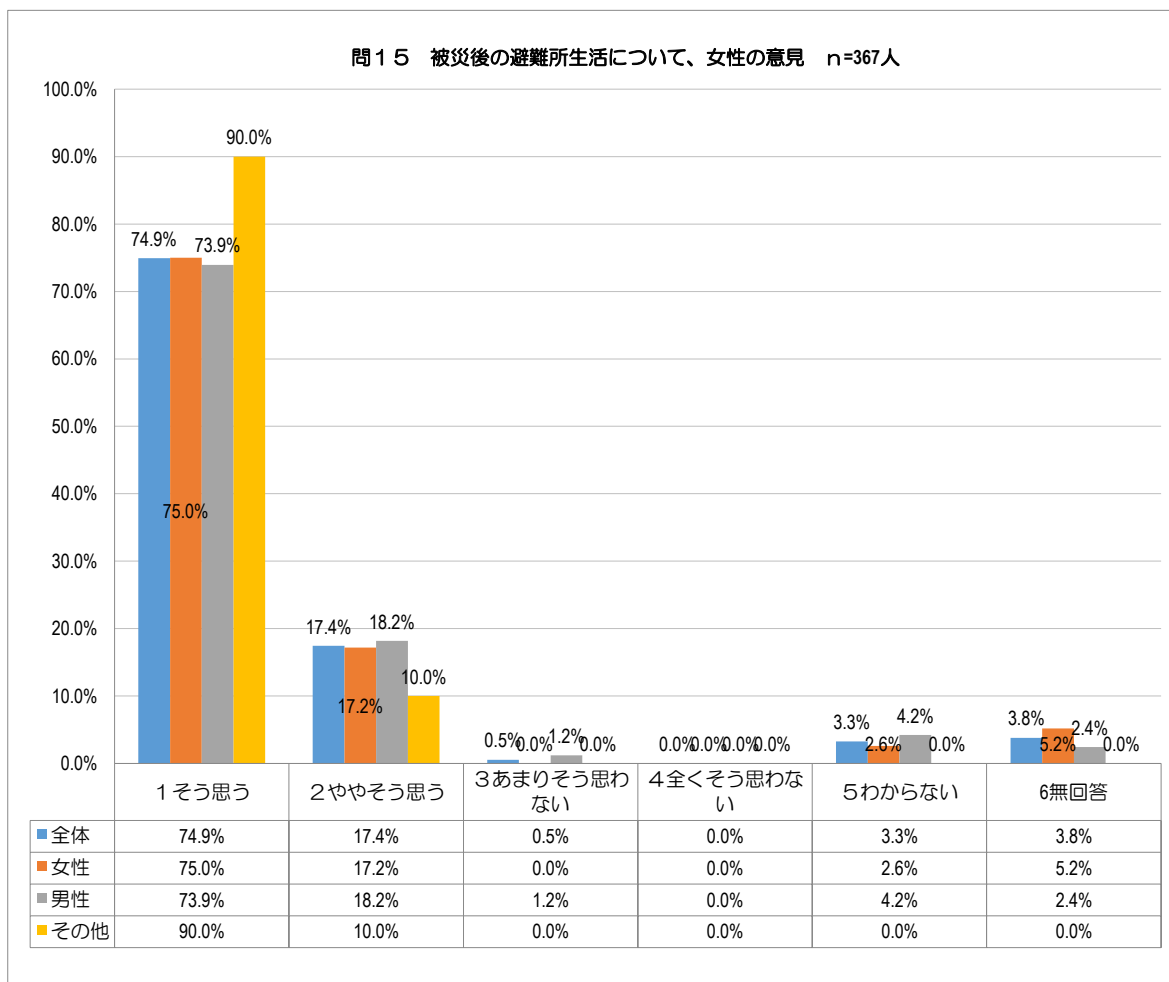
前回より「そう思う」と回答した人が、全体で4.8%増えており、「ややそう思う」と回答した人が3.0%増えています。

地域や職場での防災活動において、女性の意見（観点）が必要だと思っている男性が多くなっています。

問15 被災後の避難所生活について、女性の意見（観点）が必要だと思いますか。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	全体
1 そう思う	275	74.9%	144	75.0%	122	73.9%	9	90.0%	75.3%
2 ややそう思う	64	17.4%	33	17.2%	30	18.2%	1	10.0%	15.9%
3 あまりそう思わない	2	0.5%	0	0.0%	2	1.2%	0	0.0%	1.2%
4 全くそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.9%
5 わからない	12	3.3%	5	2.6%	7	4.2%	0	0.0%	4.0%
6 無回答	14	3.8%	10	5.2%	4	2.4%	0	0.0%	2.8%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.0%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「被災後の避難所生活について女性の意見（観点）が必要だと思いますか」について、全体では「そう思う」と回答した人が74.9%で最も多く、次に「ややそう思う」と回答した人が17.4%となっています。

女性・男性ともに「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人が大半を占めており、避難所生活において、女性の意見（観点）が必要だと思っている人が多くなることがわかります。

◆仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問16 あなたの現在の就業状況は。（1つ）

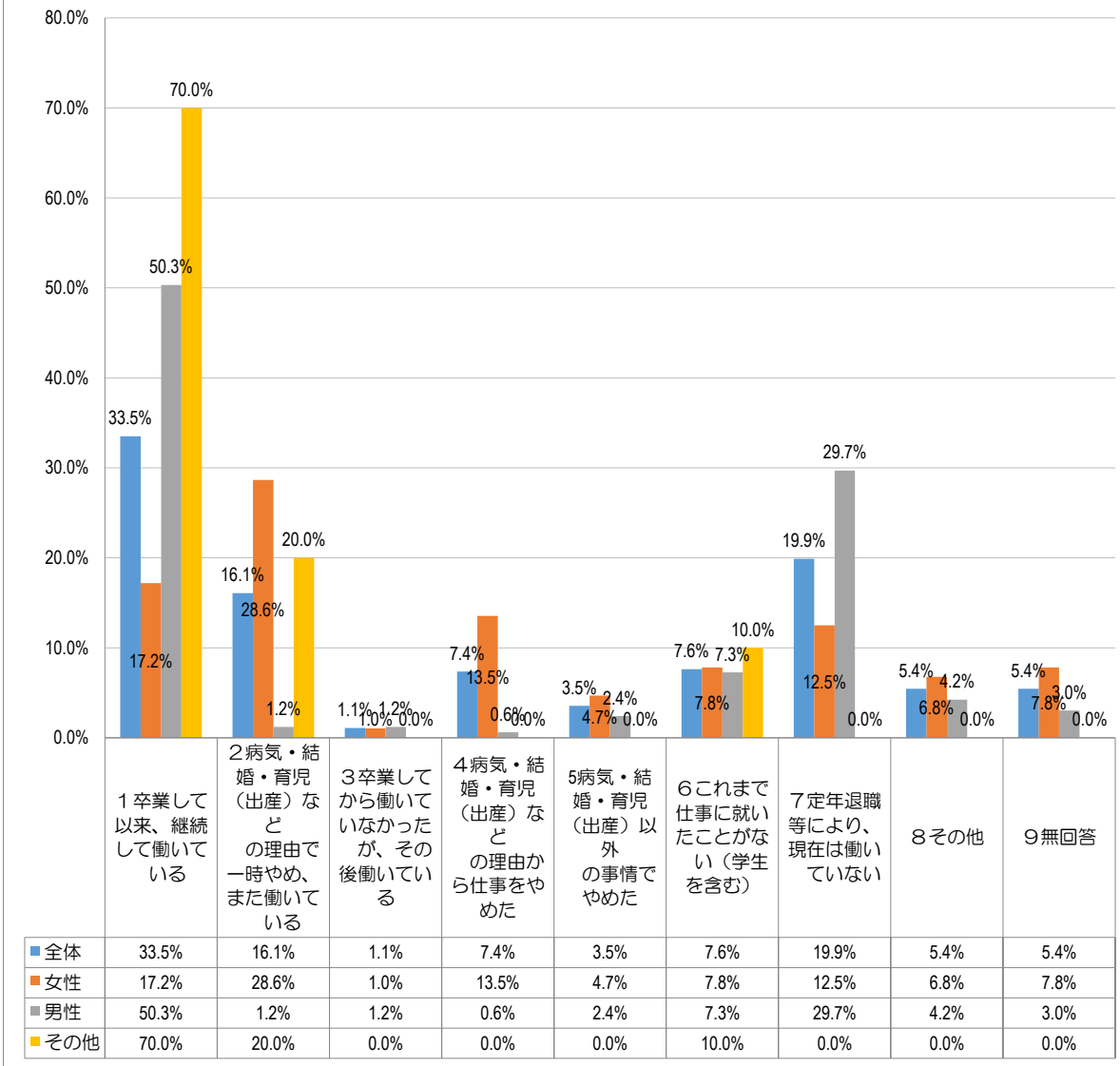
	全体		女性		男性		その他		前回全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 卒業して以来、継続して働いている	123	33.5%	33	17.2%	83	50.3%	7	70.0%	30.3%
2 病気・結婚・育児（出産）などの理由で一時やめ、また働いている	59	16.1%	55	28.6%	2	1.2%	2	20.0%	14.9%
3 卒業してから働いていなかったが、その後働いている	4	1.1%	2	1.0%	2	1.2%	0	0.0%	2.3%
4 病気・結婚・育児（出産）などの理由から仕事をやめた	27	7.4%	26	13.5%	1	0.6%	0	0.0%	8.4%
5 病気・結婚・育児（出産）以外の事情でやめた	13	3.5%	9	4.7%	4	2.4%	0	0.0%	4.2%
6 これまで仕事に就いたことがない（学生を含む）	28	7.6%	15	7.8%	12	7.3%	1	10.0%	6.5%
7 定年退職等により、現在は働いていない	73	19.9%	24	12.5%	49	29.7%	0	0.0%	23.3%
8 その他	20	5.4%	13	6.8%	7	4.2%	0	0.0%	4.9%
9 無回答	20	5.4%	15	7.8%	5	3.0%	0	0.0%	4.9%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	99.8%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・ 学生
- ・ 高齢の為働いてません。
- ・ 夫の介護により仕事をやめた。
- ・ 年齢が77です無職です。
- ・ 定年後もパートを見つけては働いている。
- ・ 配偶者と死別して10年となる
- ・ 卒業してから働いていたが、現在は育児休業中のため働いていない。（今後復帰予定）
- ・ 農業なので、家族で共同して働いている
- ・ 自営業で手伝っている
- ・ 結婚し働いていたが、現在は資格取得のために学生をしている。
- ・ 60才で定年退職後、雇用延長制度を適用して嘱託職員として働いている
- ・ 年金生活
- ・ 卒業してから働いていたが一時やめ、今はアルバイトをしている
- ・ 閉店後働いてない
- ・ 55才で退職後、別の会社（3社）で70才まで働いた
- ・ 定年後も働いていたが病気になり現在働いていない
- ・ 高齢になり体調を崩して仕事を辞めた

問16 あなたの現在の就業状況は n=367人



「あなたの現在の就業状況は次のどれにあたりますか」について、全体では「卒業して以来、継続して働いている」と回答した人が33.5%で最も多く、次に「定年退職により現在は働いていない」と回答した人が19.9%となっています。

女性では「病気・結婚・育児（出産）などの理由で一時やめ、また働いている」と回答した人が28.6%で最も多く、次に「卒業して以来、継続して働いている」と回答した人が17.2%となっています。男性では「卒業して以来、継続して働いている」と回答した人が50.3%で最も多く、次に「定年退職等により現在は働いていない」と回答した人が29.7%となっています。

結婚・育児（出産）を理由に一時やめ、落ち着いてから再就職するなど女性が生涯にわたり仕事を続けられる公的支援ができる体制が必要です。

問17 現在、働いている方におたずねします。あなたの職場で実際にあるものはどれですか。

(①現状からあてはまるものを1つ、②理想からあてはまるものを1つ)

①現状	人数	1	2	3	4	合計
	割合	ある	ない	わからない	無回答	
a男性にはないが女性にだけ制限がある	人数	24	119	41	7	191
	割合	12.6%	62.3%	21.5%	3.7%	100.0%
b女性だけがお茶くみ、清掃などを行う	人数	38	122	21	10	191
	割合	19.9%	63.9%	11.0%	5.2%	100.0%
c女性は結婚したら退社する慣習がある	人数	13	138	30	10	191
	割合	6.8%	72.3%	15.7%	5.2%	100.0%
d女性は出産（妊娠）したら退職する人が多い	人数	26	107	49	9	191
	割合	13.6%	56.0%	25.7%	4.7%	100.0%
e重要な業務には、女性が少ない	人数	61	77	43	10	191
	割合	31.9%	40.3%	22.5%	5.2%	100.0%
f産休や育児休暇を取得する女性への評価が低い	人数	23	92	66	10	191
	割合	12.0%	48.2%	34.6%	5.2%	100.0%
g男性は育児休暇を取得しにくい	人数	94	32	55	10	191
	割合	49.2%	16.8%	28.8%	5.2%	100.0%
h女性は仕事よりも家事を優先する	人数	60	69	52	10	191
	割合	31.4%	36.1%	27.2%	5.2%	100.0%

※分母は問16にて選択肢「1～3」を選んだ計186名と「8その他」にて働いていると答えた5名の計191名して割合を算出

②理想	人数	1	2	3	4	合計
	割合	改善すべき	今のままでよい	わからない	無回答	
a男性にはないが女性にだけ制限がある	人数	49	77	37	28	191
	割合	25.7%	40.3%	19.4%	14.7%	100.0%
b女性だけがお茶くみ、清掃などを行う	人数	70	78	18	25	191
	割合	36.6%	40.8%	9.4%	13.1%	100.0%
c女性は結婚したら退社する慣習がある	人数	61	72	32	26	191
	割合	31.9%	37.7%	16.8%	13.6%	100.0%
d女性は出産（妊娠）したら退職する人が多い	人数	60	65	40	26	191
	割合	31.4%	34.0%	20.9%	13.6%	100.0%
e重要な業務には、女性が少ない	人数	76	58	32	25	191
	割合	39.8%	30.4%	16.8%	13.1%	100.0%
f産休や育児休暇を取得する女性への評価が低い	人数	77	53	36	25	191
	割合	40.3%	27.7%	18.8%	13.1%	100.0%
g男性は育児休暇を取得しにくい	人数	102	34	31	24	191
	割合	53.4%	17.8%	16.2%	12.6%	100.0%
h女性は仕事よりも家事を優先する	人数	53	69	46	23	191
	割合	27.7%	36.1%	24.1%	12.0%	100.0%

※分母は全体を問16にて選択肢「1～3」を選んだ計186名と「8その他」にて働いていると答えた5名の計191名を分母として割合を算出

「職場で実際にあるものはどれですか」について

①現状では

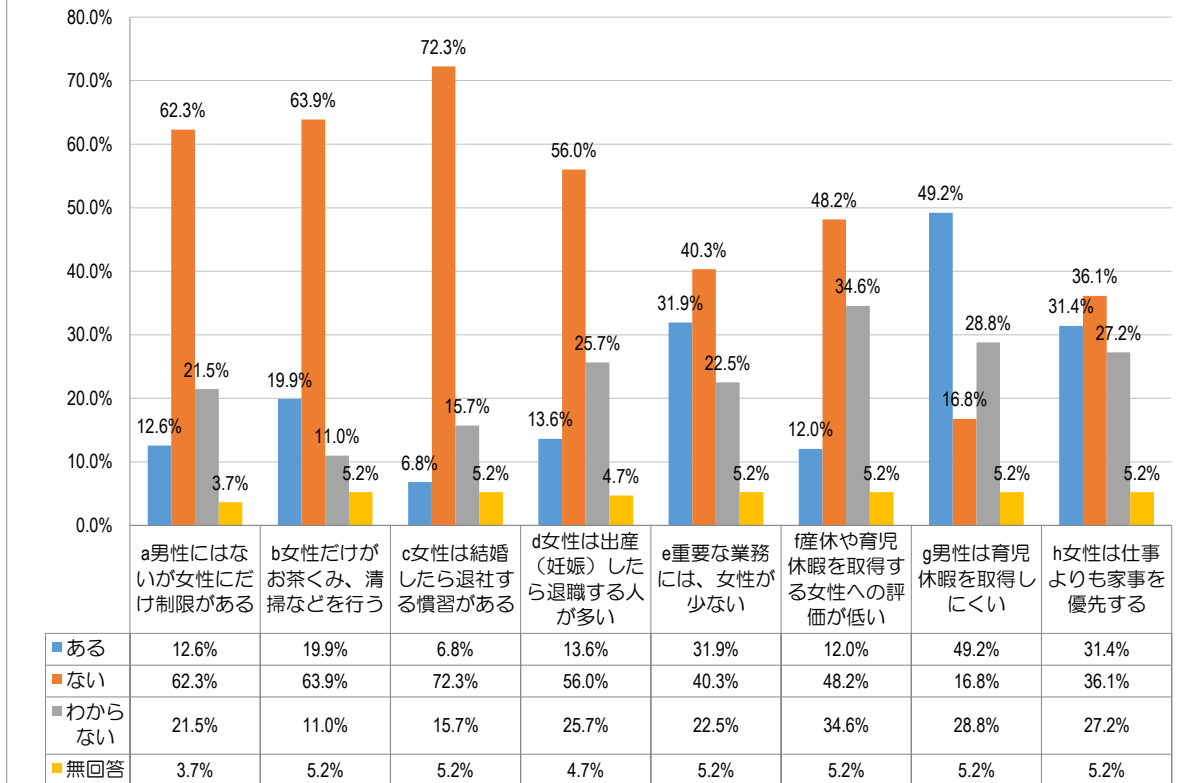
『ある』の項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が48.5%で最も多く、『ない』の項目では「女性は結婚したら退社する慣習がある」と回答した人が71.1%で最も多い結果となっています。

②理想では

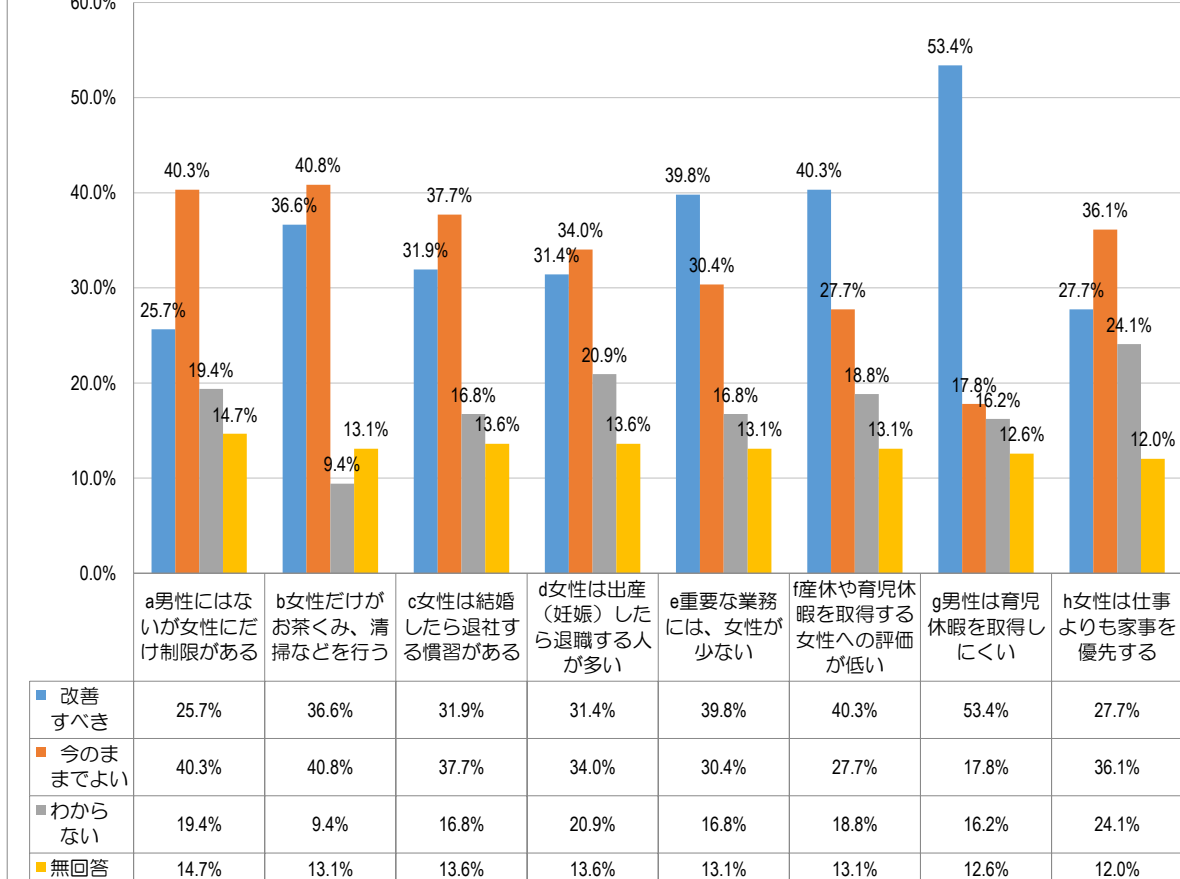
『改善すべき』の項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が52.6%で最も多く、『今のままでよい』の項目では「女性だけがお茶くみ、清掃などを行う」と回答した人が40.2%で最も多い結果となっています。

性別による役割分担意識が職場の中にまだあることがうかがえます。

問17 現在働いている方、あなたの職場で実際にあるものはどれですか ①現状 n=194人



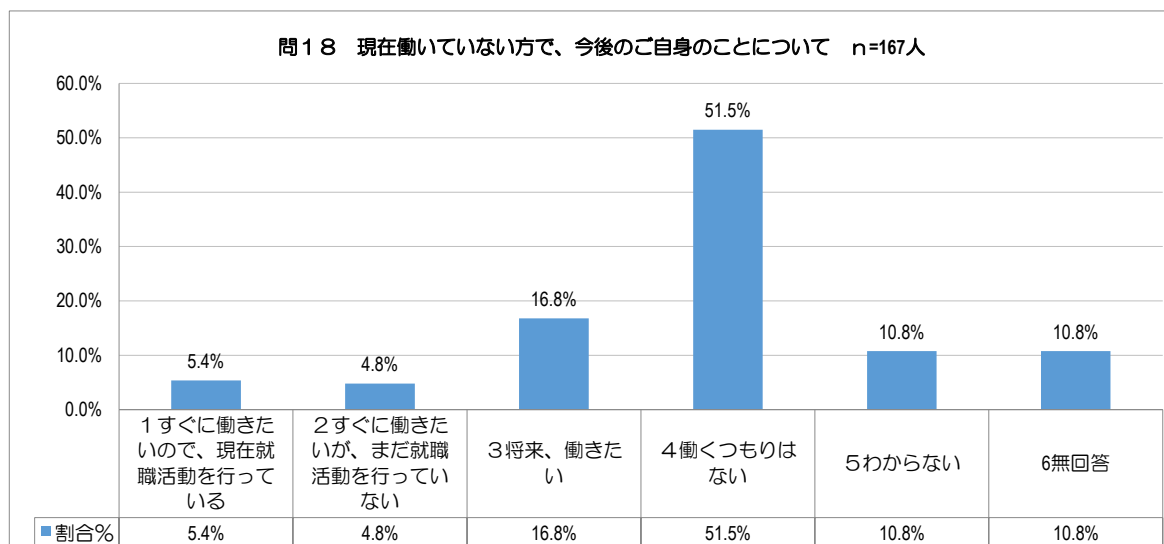
問17 現在働いている方、あなたの職場で実際にあるものはどれですか ②理想 n=194人



問18 現在働いていない方で、今後のご自身のことについてどのようにお考えですか。（1つ）

今回	全体		全体 前回
	人	割合	
1 すぐに働きたいので、現在就職活動を行っている	9	5.4%	2.2%
2 すぐに働きたいが、まだ就職活動を行っていない	8	4.8%	7.7%
3 将来、働きたい	28	16.8%	20.9%
4 働くつもりはない	86	51.5%	46.7%
5 わからない	18	10.8%	11.0%
6 無回答	18	10.8%	22.0%
合計	167	100.0%	

※問16の回答より、分母を167人とし割合を算出



「現在、働いていない人で「今後のご自身のこと」について「働くつもりはない」と回答した人が51.5%で最も多く、次に「将来働きたい」が16.8%となっています。

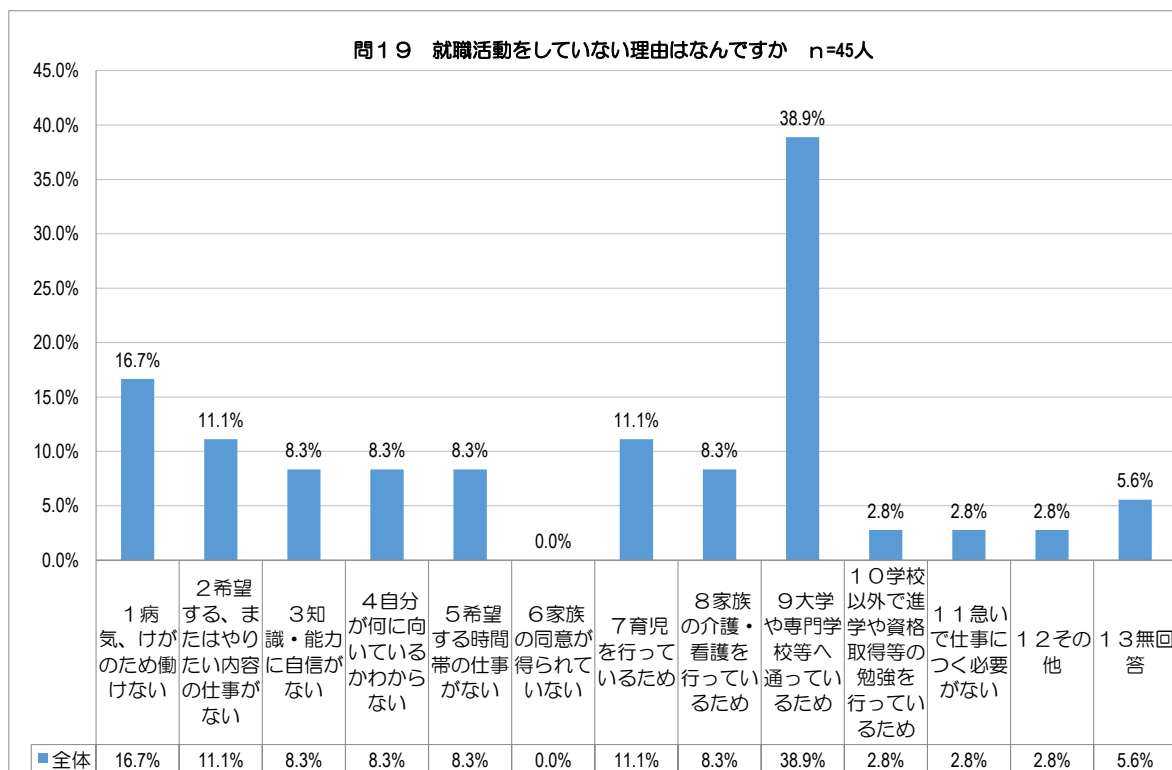
問19 問18で「2すぐに働きたいが、まだ就職活動を行っていない」または「3将来働きたい」と回答した方におたずねします。現在、就職活動をされていない理由は何ですか。（2つまで）

	全体	
	人	割合
1 病気、けがのため働けない	6	16.7%
2 希望する、またはやりたい内容の仕事がない	4	11.1%
3 知識・能力に自信がない	3	8.3%
4 自分が何に向いているかわからない	3	8.3%
5 希望する時間帯の仕事がない	3	8.3%
6 家族の同意が得られていない	0	0.0%
7 育児を行っているため	4	11.1%
8 家族の介護・看護を行っているため	3	8.3%
9 大学や専門学校等へ通っているため	14	38.9%
10 学校以外で進学や資格取得等の勉強を行っているため	1	2.8%
11 急いで仕事につく必要がない	1	2.8%
12 その他	1	2.8%
13 無回答	2	5.6%
合計	45	

※分母は問18にて「2すぐに働きたいが、まだ就職活動を行っていない」または「3将来働きたい」と回答した36人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・高齢の為



「現在就職活動を行っていない理由は何ですか」について「大学や専門学校等へ通っているため」が38.9%で最も多く、次に「病気やけがのため働けない」と回答した人が16.7%となっています。

問20 女性が仕事をもつことについて、あなたはどのように思いますか。（1つ）

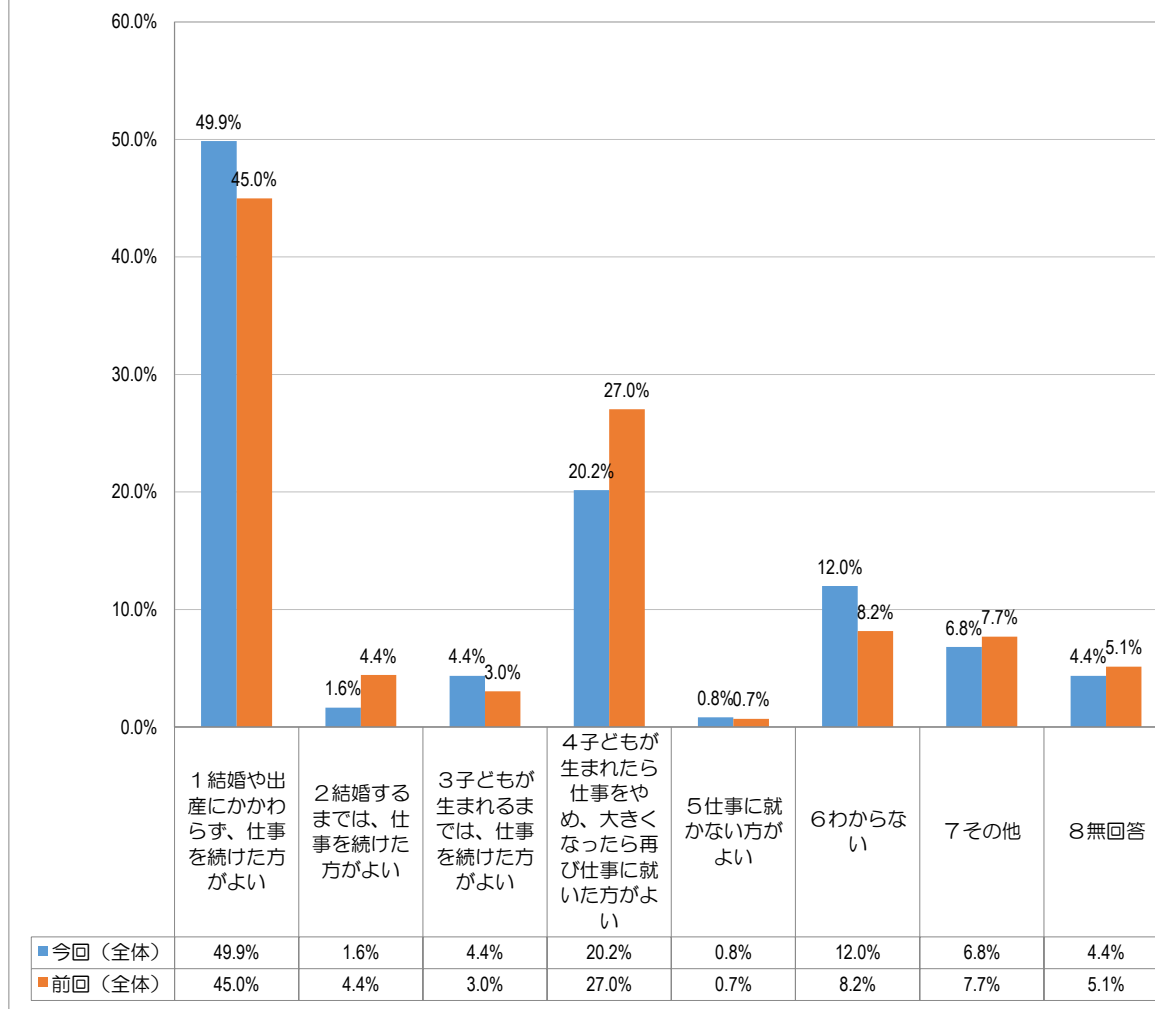
	全体		前回 全体	県 全体
	人	割合		
1 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けた方がよい	183	49.9%	45.0%	59.1%
2 結婚するまでは、仕事を続けた方がよい	6	1.6%	4.4%	1.4%
3 子どもが生まれるまでは、仕事を続けた方がよい	16	4.4%	3.0%	2.1%
4 子どもが生まれたり仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就いた方がよい	74	20.2%	27.0%	16.7%
5 仕事に就かない方がよい	3	0.8%	0.7%	0.3%
6 わからない	44	12.0%	8.2%	6.8%
7 その他	25	6.8%	7.7%	8.1%
8 無回答	16	4.4%	5.1%	5.5%
合計	367	100.0%	101.2%	100.0%

※分母を全体の367人とし割合を算出

【その他の意見】

- その家庭、個人できめるべきことだ
- それぞれの生活環境に合わせて話して決めたほうが良い
- 自分がしたいようにできればいい。
- お金に余裕があれば働かなくてもよい
- ライフスタイルに合わせて仕事を選んでもよいと思う。
- 家族農業は出産や病気も仕事を辞める理由にならない
- 働くことはすばらしい。そのためには会社が理解あること。
子育事情をふまえた働ける環境を整えるべきだと思う。
- 本人の考え次第
- それぞれの家庭の事情、考え方に合わせて適宜決めていけると良いと思う。
- 家庭環境に随するものなので、こうあるべきとは言い切れない
- 各個人の考え次第。その人に合ったやり方をすればいい。
- 仕事をしないは、それぞれの立場や考え方によるものと思う。
- 働けるなら働く
- 外で働くことだけが仕事ではなく、家で家事や育児・介護をするのも立派な仕事だと思う。
- この質問がおかしい
- 「こうするべきだ」と社会が決めつけるのではなく、自分自身でどう生きるかよく考え
それを受け入れる社会が理想。社会が押し付けるのは間違っている。
- 結婚や出産に関わらず仕事に就くかはその人がきめることであり自分はどのようにすべき。という考えはない。
- 好きなようにするのが良い
- その人次第。やりたければやる、やりたくなければやらないでいいと思う。

問20 女性が仕事をもつことについて n=367人



「女性が仕事をもつこと」について、全体では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けた方がよい」と回答した人が49.9%で最も多く、次に「子どもが生まれたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就いた方がよい」と回答した人が20.2%となっています。

女性が生涯を通じて仕事を続けた方がよいという認識は多くの人にあるようです。

また、その他の意見として「本人の考え方次第」、「自分が好きなようにしたい」、「こうあるべきだと社会が決めるのはよくない」等個人の判断を尊重するべきという意見が多くみられました。

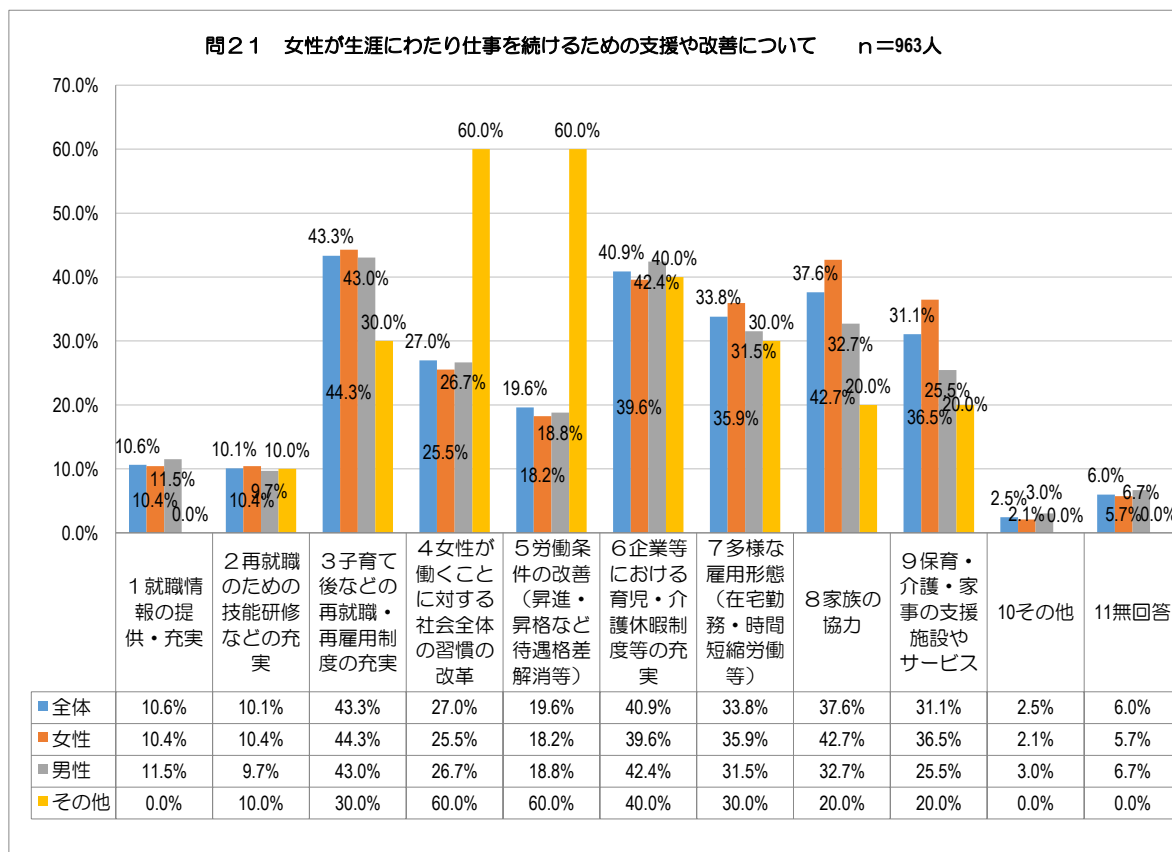
問2 1 女性が生涯にわたり仕事を続けるために、どのような支援や改善が必要だと思いますか。（3つまで）

	全体		女性		男性		その他		前回全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 就職情報の提供・充実	39	10.6%	20	10.4%	19	11.5%	0	0.0%	8.6%
2 再就職のための技能研修などの充実	37	10.1%	20	10.4%	16	9.7%	1	10.0%	9.3%
3 子育て後などの再就職・再雇用制度の充実	159	43.3%	85	44.3%	71	43.0%	3	30.0%	44.1%
4 女性が働くことに対する社会全体の習慣の改革	99	27.0%	49	25.5%	44	26.7%	6	60.0%	24.5%
5 労働条件の改善（昇進・昇格など待遇格差解消等）	72	19.6%	35	18.2%	31	18.8%	6	60.0%	15.9%
6 企業等における育児・介護休暇制度等の充実	150	40.9%	76	39.6%	70	42.4%	4	40.0%	43.4%
7 多様な雇用形態（在宅勤務・時間短縮労働等）	124	33.8%	69	35.9%	52	31.5%	3	30.0%	32.2%
8 家族の協力	138	37.6%	82	42.7%	54	32.7%	2	20.0%	38.9%
9 保育・介護・家事の支援施設やサービス	114	31.1%	70	36.5%	42	25.5%	2	20.0%	37.3%
10 その他	9	2.5%	4	2.1%	5	3.0%	0	0.0%	3.5%
11 無回答	22	6.0%	11	5.7%	11	6.7%	0	0.0%	5.1%
合計	963		521		415		27		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・子どもが熱を出した時など休みやすい環境や、パートで休むと給料が減るので月何日か子どもが悪い時に有給とは別に欠勤にならない休み枠があったらいいな。
- ・女性が仕事を続けるためには各々の意見、考え方をしっかりとった上で考えることが必要だと思う。
- ・やむを得ず時短で働く場合の収入源など、女性が金銭面で家族に気を使わなければならない。もともとの給与が女性の方が少ない職場が多いので困る。
- ・女性を大切に尊敬する国（ヤマト）日本。結婚した女性に家事手当を支給。
- ・家事も立派な仕事であり子育ても立派な仕事です。子どもが生まれたら子ども手当を支給（二十歳になるまで）
- ・女性が出産、育児で仕事を抜ける際、会社が困らないようもともとの雇用を増やす。雇用を増やせるように行政が支援する。
- ・ジョブ型雇用の充実



「女性が生涯にわたって仕事を続けるための支援や改善」について、全体では「子育て後などの再就職・再雇用制度の充実」と回答した人が43.3%で最も多く、次に「企業における育児・介護休暇制度等の充実」と回答した人が40.9%となっています。

こちら2つの項目は前回調査でも回答割合が高く、今後女性が生涯にわたって長く働くための大きな課題といえそうです。

問2 仕事の面で、女性はどのような存在になっていますか。(1つ)

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1最後までやり遂げる能力が男性を上回る存在	13	3.5%	6	3.1%	7	4.2%	0	0.0%	5.4%
2仕事への意欲、体力等が男性に比べると上回る存在	6	1.6%	0	0.0%	5	3.0%	1	10.0%	1.9%
3女性と男性は対等なパートナー	139	37.9%	61	31.8%	71	43.0%	7	70.0%	37.8%
4仕事を最後までやり遂げる能力が男性に比べ劣る存在	8	2.2%	2	1.0%	6	3.6%	0	0.0%	3.5%
5仕事への意欲、体力等が男性に比べ劣る存在	25	6.8%	10	5.2%	15	9.1%	0	0.0%	6.8%
6生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在	40	10.9%	33	17.2%	6	3.6%	1	10.0%	13.3%
7わからない	96	26.2%	59	30.7%	37	22.4%	0	0.0%	19.3%
8その他	12	3.3%	5	2.6%	6	3.6%	1	10.0%	2.6%
9無回答	28	7.6%	16	8.3%	12	7.3%	0	0.0%	11.0%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	101.4%

【全体】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1最後までやり遂げる能力が男性を上回る存在	人数	1	0	3	1	3	3	2	0	13
	割合	3.1%	0.0%	8.3%	2.0%	6.8%	4.3%	1.6%	0.0%	3.5%
2仕事への意欲、体力等が男性に比べると上回る存在	人数	1	2	0	0	0	2	1	0	6
	割合	3.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.8%	0.0%	1.6%
3女性と男性は対等なパートナー	人数	13	3	13	17	21	26	46	0	139
	割合	40.6%	21.4%	36.1%	34.0%	47.7%	37.7%	37.7%	0.0%	37.9%
4仕事を最後までやり遂げる能力が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	1	1	1	5	0	8
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	1.4%	4.1%	0.0%	2.2%
5仕事への意欲、体力等が男性に比べ劣る存在	人数	1	1	0	4	4	7	8	0	25
	割合	3.1%	7.1%	0.0%	8.0%	9.1%	10.1%	6.6%	0.0%	6.8%
6生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在	人数	4	3	4	8	3	11	7	0	40
	割合	12.5%	21.4%	11.1%	16.0%	6.8%	15.9%	5.7%	0.0%	10.9%
7わからない	人数	11	5	14	16	10	14	26	0	96
	割合	34.4%	35.7%	38.9%	32.0%	22.7%	20.3%	21.3%	0.0%	26.2%
8その他	人数	1	0	2	2	1	1	5	0	12
	割合	3.1%	0.0%	5.6%	4.0%	2.3%	1.4%	4.1%	0.0%	3.3%
9無回答	人数	0	0	0	1	1	4	22	0	28
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	5.8%	18.0%	0.0%	7.6%
合計	人数	32	14	36	50	44	69	122	0	367
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1最後までやり遂げる能力が男性を上回る存在	人数	1	0	1	1	1	1	1	0	6
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	3.7%	3.6%	3.7%	1.6%	0.0%	3.1%
2仕事への意欲、体力等が男性に比べると上回る存在	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3女性と男性は対等なパートナー	人数	4	2	6	8	12	6	23	0	61
	割合	25.0%	22.2%	27.3%	29.6%	42.9%	22.2%	36.5%	0.0%	31.8%
4仕事を最後までやり遂げる能力が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	1.0%
5仕事への意欲、体力等が男性に比べ劣る存在	人数	1	1	0	1	2	3	2	0	10
	割合	6.3%	11.1%	0.0%	3.7%	7.1%	11.1%	3.2%	0.0%	5.2%
6生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在	人数	3	3	3	7	3	8	6	0	33
	割合	18.8%	33.3%	13.6%	25.9%	10.7%	29.6%	9.5%	0.0%	17.2%
7わからない	人数	6	3	11	8	9	7	15	0	59
	割合	37.5%	33.3%	50.0%	29.6%	32.1%	25.9%	23.8%	0.0%	30.7%
8その他	人数	1	0	1	1	0	1	1	0	5
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	3.7%	0.0%	3.7%	1.6%	0.0%	2.6%
9無回答	人数	0	0	0	1	1	1	13	0	16
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	3.6%	3.7%	20.6%	0.0%	8.3%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

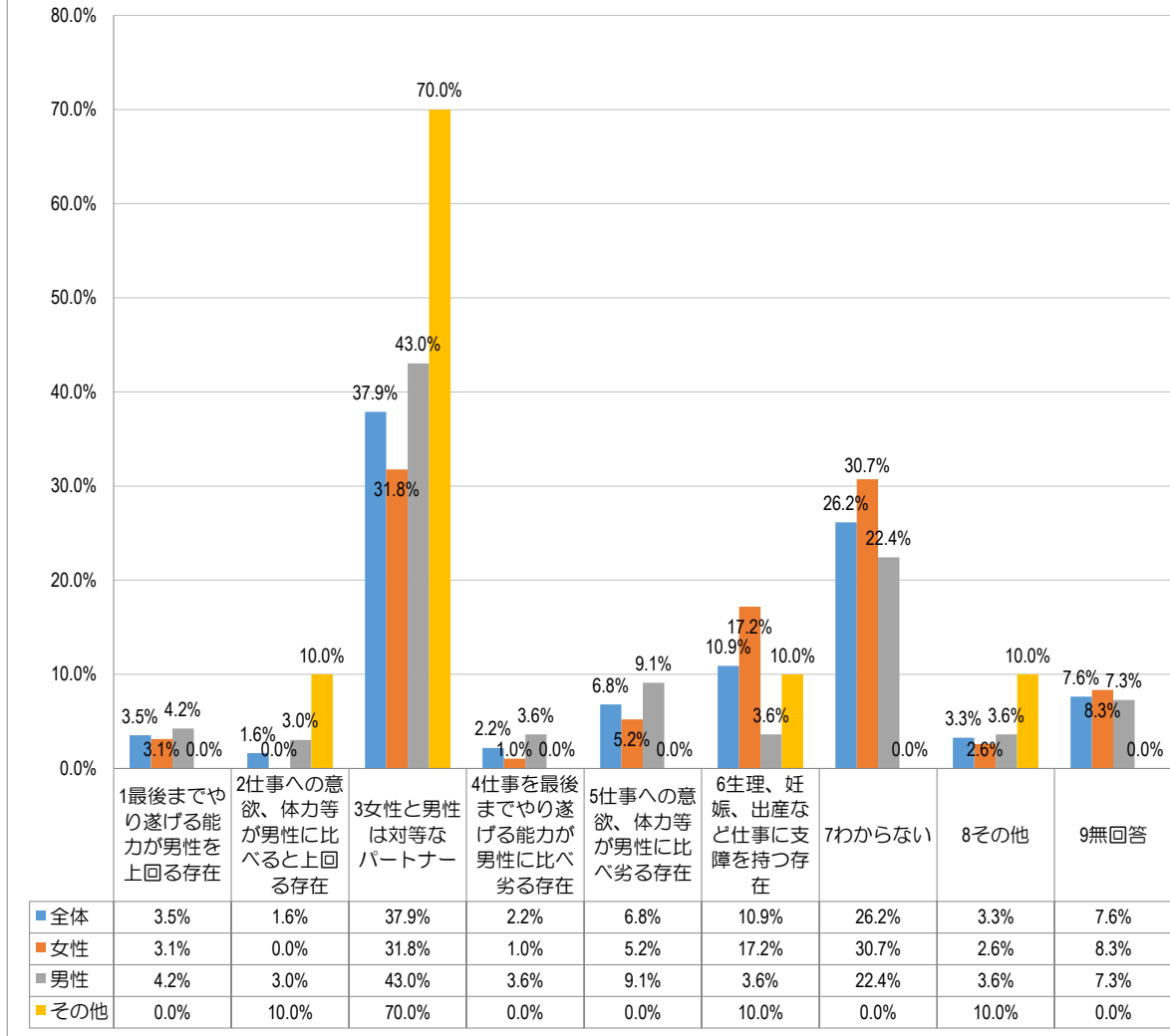
【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1最後までやり遂げる能力が男性を上回る存在	人数	0	0	2	0	2	2	1	0	7
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	12.5%	5.1%	1.7%	0.0%	4.2%
2仕事への意欲、体力等が男性に比べると上回る存在	人数	1	2	0	0	0	2	0	0	5
	割合	7.1%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	0.0%	0.0%	3.0%
3女性と男性は対等なパートナー	人数	8	1	4	9	9	17	23	0	71
	割合	57.1%	20.0%	40.0%	39.1%	56.3%	43.6%	39.7%	0.0%	43.0%
4仕事を最後までやり遂げる能力が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	1	1	1	3	0	6
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	6.3%	2.6%	5.2%	0.0%	3.6%
5仕事への意欲、体力等が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	3	2	4	6	0	15
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	12.5%	10.3%	10.3%	0.0%	9.1%
6生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在	人数	0	0	1	1	0	3	1	0	6
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	4.3%	0.0%	7.7%	1.7%	0.0%	3.6%
7わからない	人数	5	2	3	8	1	7	11	0	37
	割合	35.7%	40.0%	30.0%	34.8%	6.3%	17.9%	19.0%	0.0%	22.4%
8その他	人数	0	0	0	1	1	0	4	0	6
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	6.3%	0.0%	6.9%	0.0%	3.6%
9無回答	人数	0	0	0	0	0	3	9	0	12
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.5%	0.0%	7.3%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1最後までやり遂げる能力が男性を上回る存在	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2仕事への意欲、体力等が男性に比べると上回る存在	人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.0%
3女性と男性は対等なパートナー	人数	1	0	3	0	0	3	0	0	7
	割合	50.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	70.0%
4仕事を最後までやり遂げる能力が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5仕事への意欲、体力等が男性に比べ劣る存在	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
7わからない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8その他	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
9無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%

【その他の意見】

- ・ 対等だけど一般的に体力など肉体的には劣ることもある。
- ・ 女性の方が広い視野を持てる面もあると思う。
- ・ 男性とは違う目線で物事をとらえたり、女性ならではの気遣いや心配りができる。
- ・ 質問の意味が分からない。自分の会社基準？国全体で？
- ・ 女性は全体感に立って物事を考えられる力がある。
- ・ 職種による
- ・ その女性による
- ・ 質問が抽象的。仕事の内容によるのでは。
- ・ 男女に能力格差がある
- ・ 適材適所
- ・ 年金生活
- ・ 社会的には6.7に加え、能力自体が低いとされているように感じる。

問22 仕事の面で、女性はどのような存在になっていますか n=367人



「仕事の面で、女性はどのような存在になっていますか」について、全体では「女性と男性は対等なパートナー」と回答した人が37.9%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.2%となっています。また「女性と男性は対等なパートナーである」と回答した人は女性が31.8%、男性が43.0%、「生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在」と回答した人は女性が17.2%、男性が3.6%となっています。仕事の面での女性の存在について、女性よりも男性の方が対等であるという意識があるようです。

問23 男性も育児・介護休業を取得することができますが、あなたはどのように思いますか。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回 全体	県 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	123	33.5%	56	29.2%	59	35.8%	8	80.0%	20.3%	30.8%
2男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う	198	54.0%	107	55.7%	89	53.9%	2	20.0%	66.9%	59.3%
3育児・介護は女性がすべきであり、男性が休暇を取る必要はない	7	1.9%	3	1.6%	4	2.4%	0	0.0%	3.5%	1.8%
4その他	16	4.4%	10	5.2%	6	3.6%	0	0.0%	0.9%	1.8%
5無回答	23	6.3%	16	8.3%	7	4.2%	0	0.0%	8.2%	6.3%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	99.8%	100.0%

【その他の意見】

- ・各家庭の判断による
- ・取った方良いが、取る人は事前に子育て、出産の研修を受けるべき。
- ・男性女性半分ずつで平等であればよいと思う。
- ・本当に育児をするなら取るべきだが、名ばかりなら必要ない
- ・育児休暇などを取るのには賛成だが金銭面的には働いてもらいたい
- ・男性が家にいると逆に仕事が増えて迷惑なので休暇は取ってほしくない
- ・取得してもしなければ意味がない
- ・取得しても家でゴロゴロは意味が無い
- ・昔はおばあちゃん、親戚のおばちゃん、近所のおばちゃん、地域の方々に子育てをしていました。
- ・育児などに男性が参加することは賛成であるが、すべての男性が積極的に育児に参加できるわけではない。
休暇を取っても有意義に過ごせるかどうかは家庭によるので、これも社会が押し付けることではない。
- ・企業や組織の経営者並びに運営者が従業員・職員に対し休暇を与えることを必須とする事。
- ・男は休暇中何もしない、できないから

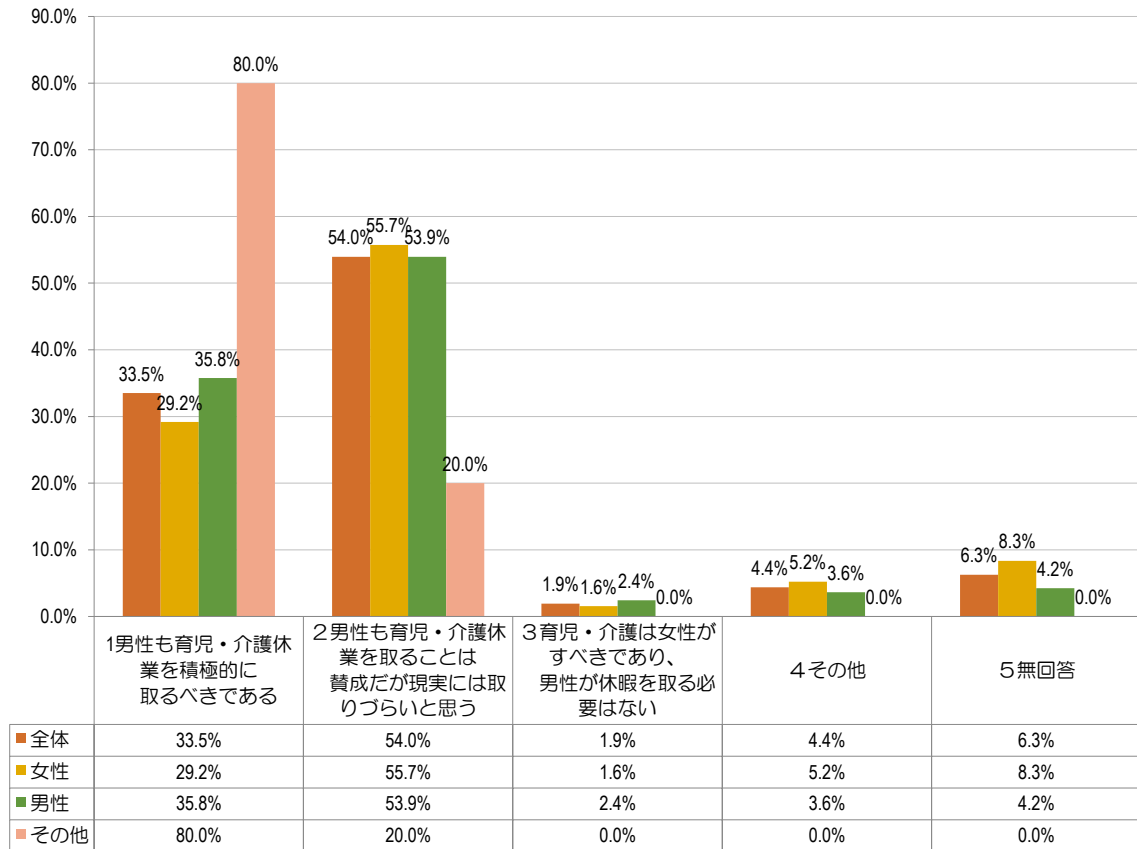
【全体】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	人数	14	4	13	9	16	29	38	0	123
	割合	43.8%	28.6%	36.1%	18.0%	36.4%	42.0%	31.1%	0.0%	33.5%
2男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う	人数	16	9	18	38	24	34	59	0	198
	割合	50.0%	64.3%	50.0%	76.0%	54.5%	49.3%	48.4%	0.0%	54.0%
3育児・介護は女性がすべきであり、男性が休暇を取る必要はない	人数	2	0	0	1	0	0	4	0	7
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	1.9%
4その他	人数	0	1	5	1	3	2	4	0	16
	割合	0.0%	7.1%	13.9%	2.0%	6.8%	2.9%	3.3%	0.0%	4.4%
5無回答	人数	0	0	0	1	1	4	17	0	23
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	5.8%	13.9%	0.0%	6.3%
合計	人数	32	14	36	50	44	69	122	0	367
	割合	8.7%	3.8%	9.8%	13.6%	12.0%	18.8%	33.2%	0.0%	100.0%

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	人数	4	2	7	6	8	8	21	0	56
	割合	25.0%	22.2%	31.8%	22.2%	28.6%	29.6%	33.3%	0.0%	29.2%
2男性も育児・介護休業を取るとは賛成だが現実には取りづらいと思う	人数	11	7	10	19	17	16	27	0	107
	割合	68.8%	77.8%	45.5%	70.4%	60.7%	59.3%	42.9%	0.0%	55.7%
3育児・介護は女性がすべきであり男性が休暇を取る必要はない	人数	1	0	0	0	0	0	2	0	3
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	1.6%
4その他	人数	0	0	5	1	2	1	1	0	10
	割合	0.0%	0.0%	22.7%	3.7%	7.1%	3.7%	1.6%	0.0%	5.2%
5無回答	人数	0	0	0	1	1	2	12	0	16
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	3.6%	7.4%	19.0%	0.0%	8.3%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	8.3%	4.7%	11.5%	14.1%	14.6%	14.1%	32.8%	0.0%	100.0%

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	人数	8	2	4	3	8	18	16	0	59
	割合	57.1%	40.0%	40.0%	13.0%	50.0%	46.2%	27.6%	0.0%	35.8%
2男性も育児・介護休業を取るとは賛成だが現実には取りづらいと思う	人数	5	2	6	19	7	18	32	0	89
	割合	35.7%	40.0%	60.0%	82.6%	43.8%	46.2%	55.2%	0.0%	53.9%
3育児・介護は女性がすべきであり男性が休暇を取る必要はない	人数	1	0	0	1	0	0	2	0	4
	割合	7.1%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	2.4%
4その他	人数	0	1	0	0	1	1	3	0	6
	割合	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	6.3%	2.6%	5.2%	0.0%	3.6%
5無回答	人数	0	0	0	0	0	2	5	0	7
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	8.6%	0.0%	4.2%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	8.5%	3.0%	6.1%	13.9%	9.7%	23.6%	35.2%	0.0%	100.0%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである	人数	2	0	2	0	0	3	1	0	8
	割合	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	80.0%
2男性も育児・介護休業を取るとは賛成だが現実には取りづらいと思う	人数	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
3育児・介護は女性がすべきであり男性が休暇を取る必要はない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4その他	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%

問23 男性が育児・介護休業を取得することについて n=367人



「男性が育児・介護休業を取得すること」について、全体では「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人が54.0%で最も多く、次に「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が33.5%となっています。

前回より、「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が13.2%増えています。

年代別では女性・男性ともに40代が「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が少なく、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人が多くなっています。

制度上、育児・介護休暇が取れる環境にあっても取りづらい現状があるようです。一人ひとりが意識を変えることが職場環境の改善につながるのではないかと思います。

問24 問23で「男性も育児・介護休業を取得することは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人で、現実に取りづらい理由は何だと思いませんか。(2つまで)

	全体		女性		男性		その他		前回全体	県全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合		
1 過去に職場で取った男性がいない	16	8.1%	4	3.7%	12	13.5%	0	0.0%	17.8%	13.8%
2 職場に取りやすい雰囲気がない	75	37.9%	39	36.4%	34	38.2%	2	100.0%	38.0%	36.0%
3 仕事が忙しい	39	19.7%	18	16.8%	20	22.5%	1	50.0%	23.3%	17.8%
4 取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる	92	46.5%	48	44.9%	43	48.3%	1	50.0%	40.8%	39.0%
5 取ると人事評価や昇給などに影響がある	20	10.1%	17	15.9%	3	3.4%	0	0.0%	8.7%	7.4%
6 取ると経済的に困る	33	16.7%	26	24.3%	7	7.9%	0	0.0%	20.6%	18.5%
7 男性が取ることについて社会全体の認識が十分でない	59	29.8%	33	30.8%	26	29.2%	0	0.0%	37.6%	30.3%
8 その他	3	1.5%	1	0.9%	2	2.2%	0	0.0%	2.4%	1.9%
9 無回答	14	7.1%	10	9.3%	4	4.5%	0	0.0%	13.2%	6.4%
合計	351		196		151		4			

※分母は問23にて「2男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した全体198人、女性107人、男性89人、その他2人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・家庭の経済的に
- ・個人か団体（組織）にもよると考えます。余裕があれば良いのですが。
- ・生物学上分担することが効率的

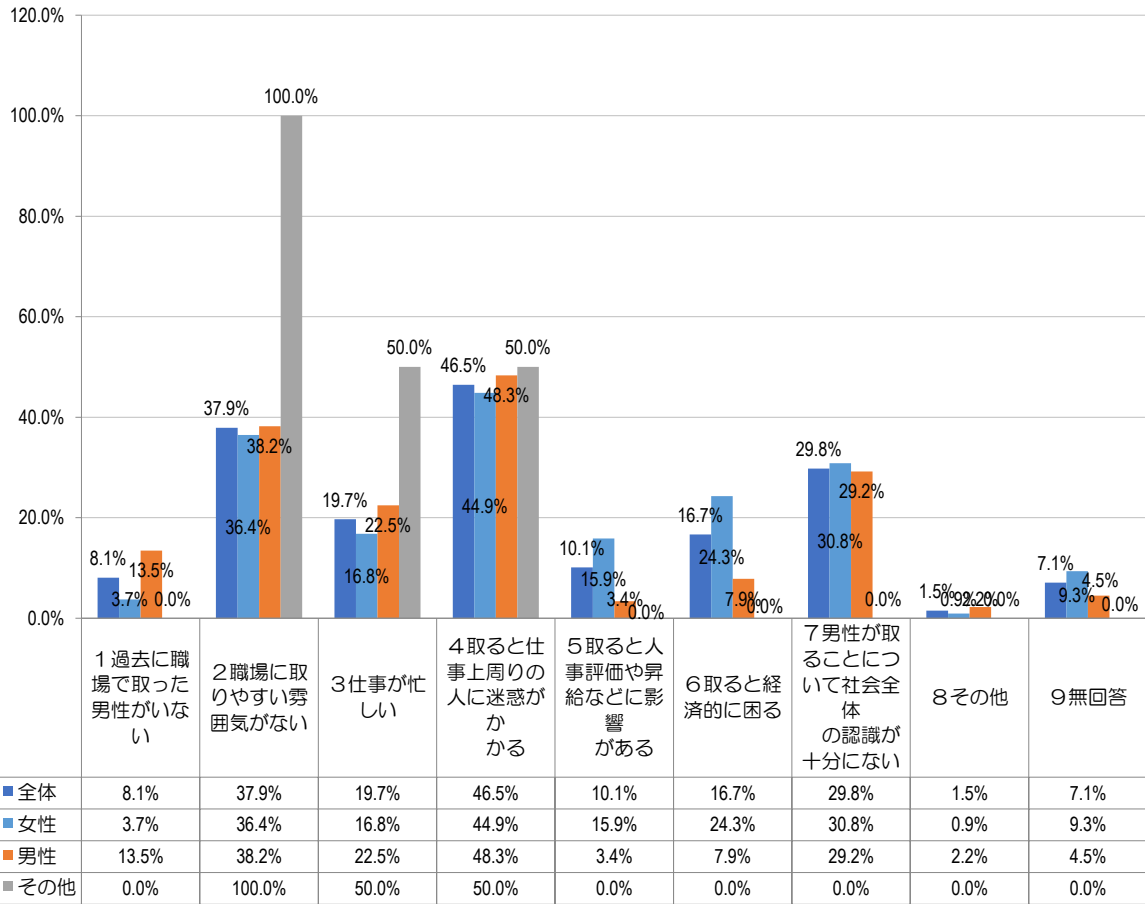
【全体】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 過去に職場で取った男性がいない	人数	0	0	4	6	1	3	2	0	16
	割合	0.0%	0.0%	11.1%	12.0%	2.3%	4.3%	1.6%	0.0%	8.1%
2 職場に取りやすい雰囲気がない	人数	7	4	8	16	8	10	22	0	75
	割合	21.9%	28.6%	22.2%	32.0%	18.2%	14.5%	18.0%	0.0%	37.9%
3 仕事が忙しい	人数	1	5	6	9	7	7	4	0	39
	割合	3.1%	35.7%	16.7%	18.0%	15.9%	10.1%	3.3%	0.0%	19.7%
4 取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる	人数	5	4	5	15	17	19	27	0	92
	割合	15.6%	28.6%	13.9%	30.0%	38.6%	27.5%	22.1%	0.0%	46.5%
5 取ると人事評価や昇給などに影響がある	人数	2	1	1	3	0	7	6	0	20
	割合	6.3%	7.1%	2.8%	6.0%	0.0%	10.1%	4.9%	0.0%	10.1%
6 取ると経済的に困る	人数	4	1	5	7	3	6	7	0	33
	割合	12.5%	7.1%	13.9%	14.0%	6.8%	8.7%	5.7%	0.0%	16.7%
7 男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない	人数	7	2	3	10	6	9	22	0	59
	割合	21.9%	14.3%	8.3%	20.0%	13.6%	13.0%	18.0%	0.0%	29.8%
8 その他	人数	0	0	2	0	0	0	1	0	3
	割合	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.5%
9 無回答	人数	0	0	0	2	2	0	10	0	14
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.5%	0.0%	8.2%	0.0%	7.1%
合計	人数	26	17	34	68	44	61	101	0	351
	割合	13.1%	8.6%	17.2%	34.3%	22.2%	30.8%	51.0%	0.0%	

【女性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1過去に職場で取った男性がいない	人数	0	0	2	0	1	1	0	0	4
	割合	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	3.6%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%
2職場に取りやすい雰囲気がない	人数	4	4	5	9	5	3	9	0	39
	割合	25.0%	44.4%	22.7%	33.3%	17.9%	11.1%	14.3%	0.0%	36.4%
3仕事が忙しい	人数	1	4	2	4	5	2	0	0	18
	割合	6.3%	44.4%	9.1%	14.8%	17.9%	7.4%	0.0%	0.0%	16.8%
4取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる	人数	4	3	1	10	11	8	11	0	48
	割合	25.0%	33.3%	4.5%	37.0%	39.3%	29.6%	17.5%	0.0%	44.9%
5取ると人事評価や昇給などに影響がある	人数	1	1	1	3	0	6	5	0	17
	割合	6.3%	11.1%	4.5%	11.1%	0.0%	22.2%	7.9%	0.0%	15.9%
6取ると経済的に困る	人数	4	0	5	5	2	5	5	0	26
	割合	25.0%	0.0%	22.7%	18.5%	7.1%	18.5%	7.9%	0.0%	24.3%
7男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない	人数	6	1	2	4	5	5	10	0	33
	割合	37.5%	11.1%	9.1%	14.8%	17.9%	18.5%	15.9%	0.0%	30.8%
8その他	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
9無回答	人数	0	0	0	1	2	0	7	0	10
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	7.1%	0.0%	11.1%	0.0%	9.3%
合計	人数	20	13	19	36	31	30	47	0	196
	割合	18.7%	12.1%	17.8%	33.6%	29.0%	28.0%	43.9%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1過去に職場で取った男性がいない	人数	0	0	2	6	0	2	2	0	12
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	26.1%	0.0%	5.1%	3.4%	0.0%	13.5%
2職場に取りやすい雰囲気がない	人数	3	0	1	7	3	7	13	0	34
	割合	21.4%	0.0%	10.0%	30.4%	18.8%	17.9%	22.4%	0.0%	38.2%
3仕事が忙しい	人数	0	1	3	5	2	5	4	0	20
	割合	0.0%	20.0%	30.0%	21.7%	12.5%	12.8%	6.9%	0.0%	22.5%
4取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる	人数	1	1	3	5	6	11	16	0	43
	割合	7.1%	20.0%	30.0%	21.7%	37.5%	28.2%	27.6%	0.0%	48.3%
5取ると人事評価や昇給などに影響がある	人数	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	割合	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.7%	0.0%	3.4%
6取ると経済的に困る	人数	0	1	0	2	1	1	2	0	7
	割合	0.0%	20.0%	0.0%	8.7%	6.3%	2.6%	3.4%	0.0%	7.9%
7男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない	人数	1	1	1	6	1	4	12	0	26
	割合	7.1%	20.0%	10.0%	26.1%	6.3%	10.3%	20.7%	0.0%	29.2%
8その他	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	2.2%
9無回答	人数	0	0	0	1	0	0	3	0	4
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	5.2%	0.0%	4.5%
合計	人数	6	4	11	32	13	31	54	0	151
	割合	6.7%	4.5%	12.4%	36.0%	14.6%	34.8%	60.7%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1過去に職場で取った男性がいない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2職場に取りやすい雰囲気がない	人数	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3仕事が忙しい	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
4取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
5取ると人事評価や昇給などに影響がある	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6取ると経済的に困る	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7男性が取ることについて、社会全体の認識が十分でない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8その他	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	割合	0.0%	0.0%	200.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問24 現実に取りづらい理由は何だと思えますか n=351人



「男性の育児・介護休業を取得することは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人で、全体では「取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる」と回答した方が46.5%で最も多く、次に「職場に取りやすい雰囲気がない」と回答した方が37.9%となっています。

前回より、「過去に職場で取った男性がいない」と回答した人が9.7%少なくなっており、「取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる」と回答した人が5.7%多くなっています。

年代別では、女性・男性ともに10代～30代が「職場に取りやすい雰囲気がない」、「仕事が忙しい」と回答した人が多く、40代以降は「取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる」と回答した人が多くなっています。

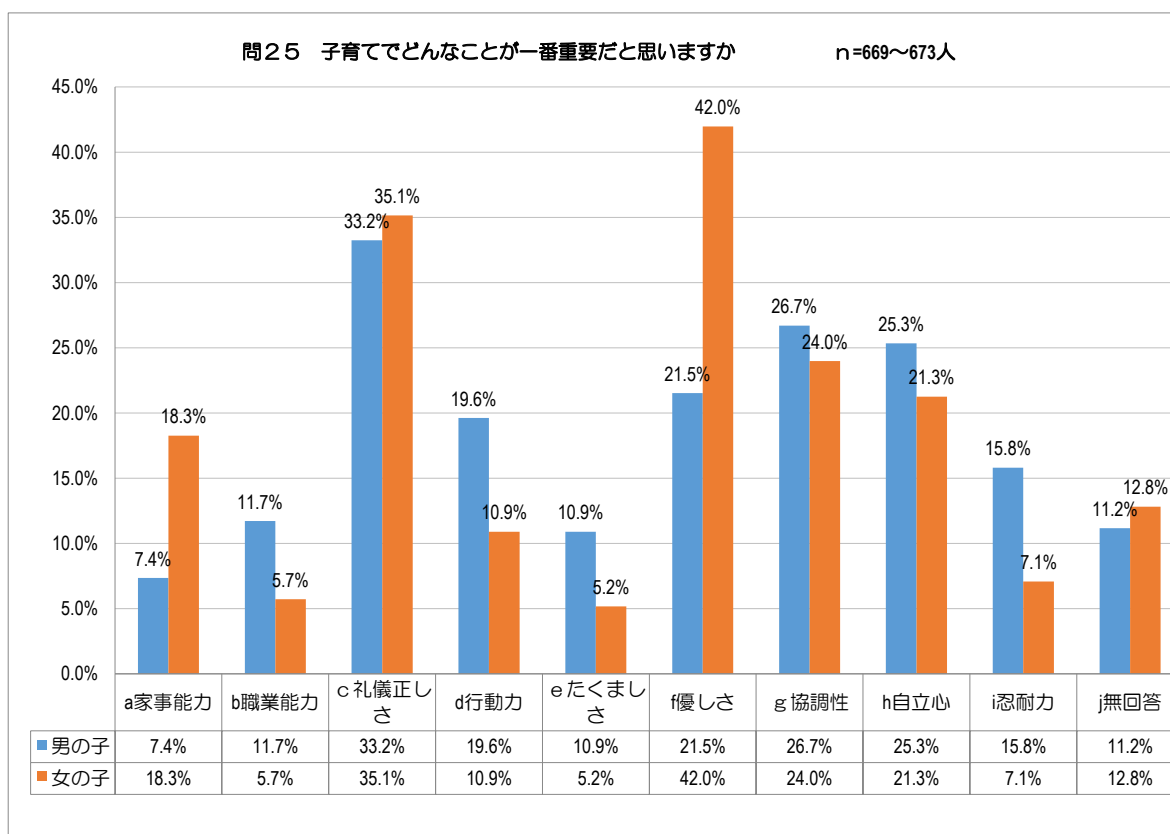
年代ごとに意識の違いはありますが、男性の育児・介護休業を取得できる職場環境の改善と一人ひとりの意識を変えることが大切です。

◆子どもについて

問25 子育てでどんなことが一番重要だと思いますか。各項目について「男の子」「女の子」を育てる場合重要だと思うものを「男の子」「女の子」別を選んでください。（それぞれ2つまで）

	男の子		女の子		合計		前回		
	人	割合	人	割合	人	割合	男の子	女の子	全体
a家事能力	27	7.4%	67	18.3%	94	25.6%	4.0%	17.5%	21.4%
b職業能力	43	11.7%	21	5.7%	64	17.4%	16.8%	6.8%	23.5%
c礼儀正しさ	122	33.2%	129	35.1%	251	68.4%	33.6%	43.4%	76.9%
d行動力	72	19.6%	40	10.9%	112	30.5%	21.7%	8.2%	29.8%
eたくましさ	40	10.9%	19	5.2%	59	16.1%	15.6%	4.7%	20.3%
f優しさ	79	21.5%	154	42.0%	233	63.5%	21.2%	46.2%	67.4%
g協調性	98	26.7%	88	24.0%	186	50.7%	25.6%	28.9%	54.5%
h自立心	93	25.3%	78	21.3%	171	46.6%	27.3%	18.6%	45.9%
i忍耐力	58	15.8%	26	7.1%	84	22.9%	20.0%	10.7%	30.8%
j無回答	41	11.2%	47	12.8%	88	24.0%	5.1%	4.9%	10.0%
合計	673		669		1342				

※分母は「女の子」「男の子」ともに全体の367人とし割合を算出。



「子育てでどんなことが一番重要だと思いますか」について「男の子」の項目では「礼儀正しさ」と回答した人が33.2%で最も多く、次に「協調性」と回答した人が26.7%となっています。「女の子」の項目では「優しさ」と回答した人が42.0%と最も多く、次に「礼儀正しさ」と回答した人が35.1%となっています。

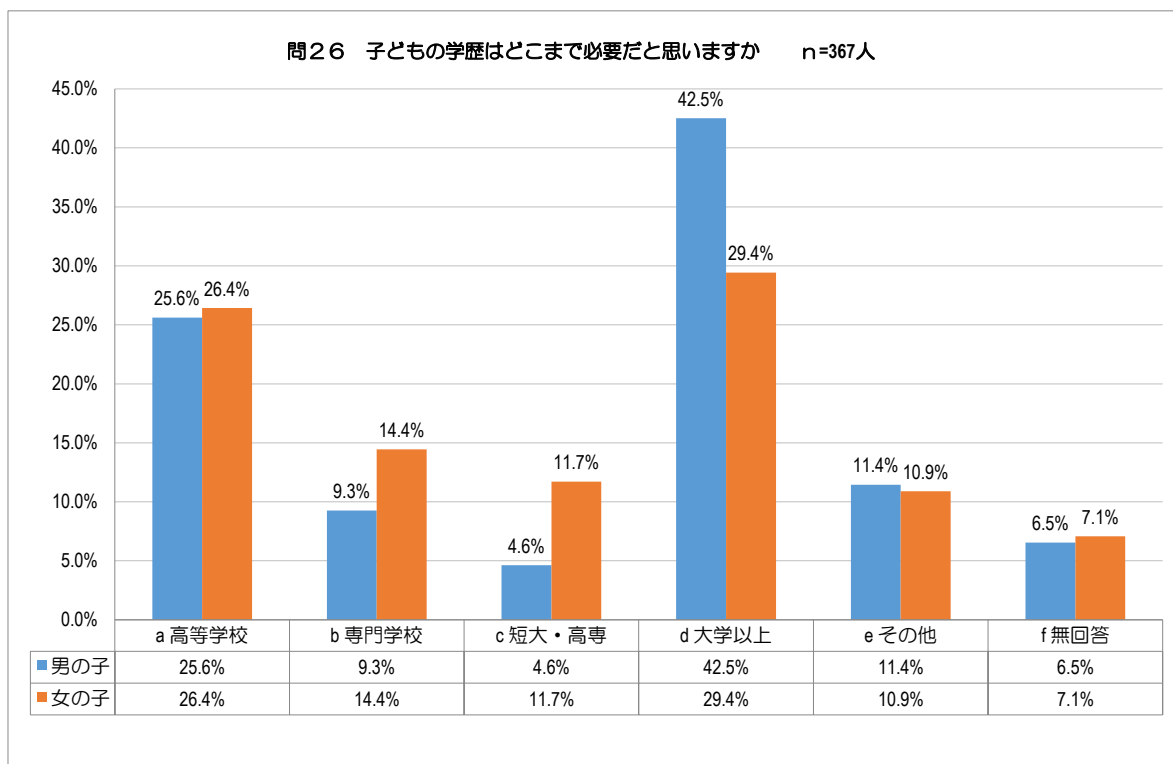
問26 子どもの学歴はどこまで必要だと思いますか。「男の子」「女の子」別にそれぞれ(1つ)

	男の子		女の子		合計		前回			県
	人	割合	人	割合	人	割合	男の子	女の子	全体	全体
a 高等学校	94	25.6%	97	26.4%	191	52.0%	19.8%	25.2%	45.0%	20.1%
b 専門学校	34	9.3%	53	14.4%	87	23.7%	10.7%	14.2%	24.9%	7.9%
c 短大・高専	17	4.6%	43	11.7%	60	16.3%	7.7%	15.4%	23.1%	7.2%
d 大学以上	156	42.5%	108	29.4%	264	71.9%	45.5%	30.3%	75.8%	43.1%
e その他	42	11.4%	40	10.9%	82	22.3%	10.5%	9.1%	19.6%	14.8%
f 無回答	24	6.5%	26	7.1%	50	13.6%	4.0%	4.0%	7.9%	6.9%
合計	367	100.0%	367	100.0%	734	200.0%	98.1%	98.1%	196.3%	100.0%

※分母は「男の子」「女の子」ともに全体の367人とし割合を算出

【その他の意見】

- 就きたい職によって人それぞれである
- 本人の希望次第
- その子の学力能力による
- 子供の目標により分かれると思うので、どちらともいえない。
- 特にこれとは思ってない
- 自分に能力があれば学歴は必要ない
- 学歴は必要ない
- それぞれが学びたい程
- したいことをさせる
- 学歴は一般社会に出れば関係ないと思う
- 寺子屋（生きる目的を教える場所）
- 個人が自分なりの人生設計を持って、最終学歴を選べるような社会であるべき。



「子どもの学歴はどこまで必要だと思いますか」について『男の子』では「大学以上」と回答した人が42.5%で最も多く『女の子』では「大学以上」と回答した人が29.4%で最も多くなっています。その他の意見では、「本人の希望次第」と回答した人が多かったです。

問27 少子化が進む主な原因はどのようなことだと思いますか。(3つまで)

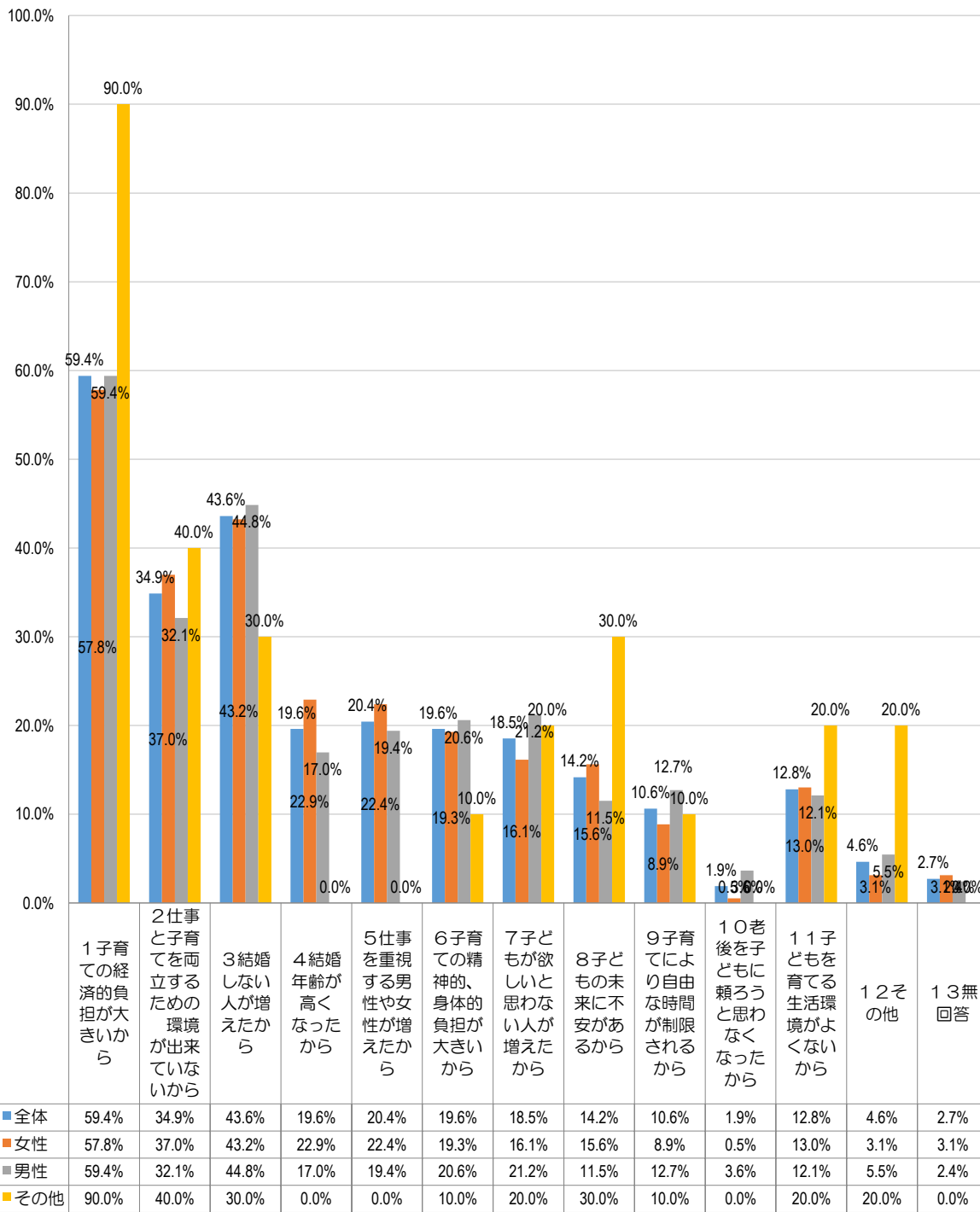
	全体		女性		男性		その他		前回
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	全体
1 子育ての経済的負担が大きいから	218	59.4%	111	57.8%	98	59.4%	9	90.0%	49.7%
2 仕事と子育てを両立するための環境が出来ていないから	128	34.9%	71	37.0%	53	32.1%	4	40.0%	36.4%
3 結婚しない人が増えたから	160	43.6%	83	43.2%	74	44.8%	3	30.0%	45.7%
4 結婚年齢が高くなったから	72	19.6%	44	22.9%	28	17.0%	0	0.0%	30.1%
5 仕事を重視する男性や女性が増えたから	75	20.4%	43	22.4%	32	19.4%	0	0.0%	28.4%
6 子育ての精神的、身体的負担が大きいから	72	19.6%	37	19.3%	34	20.6%	1	10.0%	12.8%
7 子どもが欲しいと思わない人が増えたから	68	18.5%	31	16.1%	35	21.2%	2	20.0%	10.5%
8 子どもの未来に不安があるから	52	14.2%	30	15.6%	19	11.5%	3	30.0%	10.5%
9 子育てにより自由な時間が制限されるから	39	10.6%	17	8.9%	21	12.7%	1	10.0%	6.8%
10 老後を子どもに頼ろうと思わなくなったから	7	1.9%	1	0.5%	6	3.6%	0	0.0%	3.5%
11 子どもを育てる生活環境がよくないから	47	12.8%	25	13.0%	20	12.1%	2	20.0%	12.1%
12 その他	17	4.6%	6	3.1%	9	5.5%	2	20.0%	5.1%
13 無回答	10	2.7%	6	3.1%	4	2.4%	0	0.0%	7.2%
合計	965		505		433		27		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・日本社会がまだ子供を育てるのに必要な保障が少ない
- ・国の政治、経済、未来に希望が持てないから。
- ・子供を育てる素晴らしさを唱える人がいないから
- ・若年層の貧困
- ・虐待への心配
- ・社会が成長した結果、少子化の時代を迎えていると思う
- ・消費税、税負担
- ・行政の支援が少ない（特に中津市は少ない）
- ・日本という国がおかしくなったから！義務教育の洗脳で自分で考える能力が低下。食の安全もなく精神や健全な生活ができない。無意識に不安しかない未来。
- ・食品、環境の汚染による生殖機能の低下
- ・安定した収入がないから
- ・政府自民党による誤った政策が最大の原因であった。
- ・働く人の賃金が上がらない（30年以上）から

問27 少子化が進む主な原因はどんなことだと思いますか n=965人



「少子化が進む主な原因はどのようなことだと思いますか」について、全体では「子育ての経済的負担が大きいから」と回答した人が59.4%で最も多く、次に「結婚しない人が増えたから」と回答した人が43.6%となっています。

前回より「子育ての経済的負担が大きいから」と回答した人は9.7%増えており、子育て世帯への経済的支援が必要とされています。一方で「結婚年齢が高くなったから」と回答した人は10.5%減っており、「仕事を重視する男性や女性が増えたから」と回答した人は8.0%減っています。少子化の進む原因がここ数年で変化しつつあることがわかります。

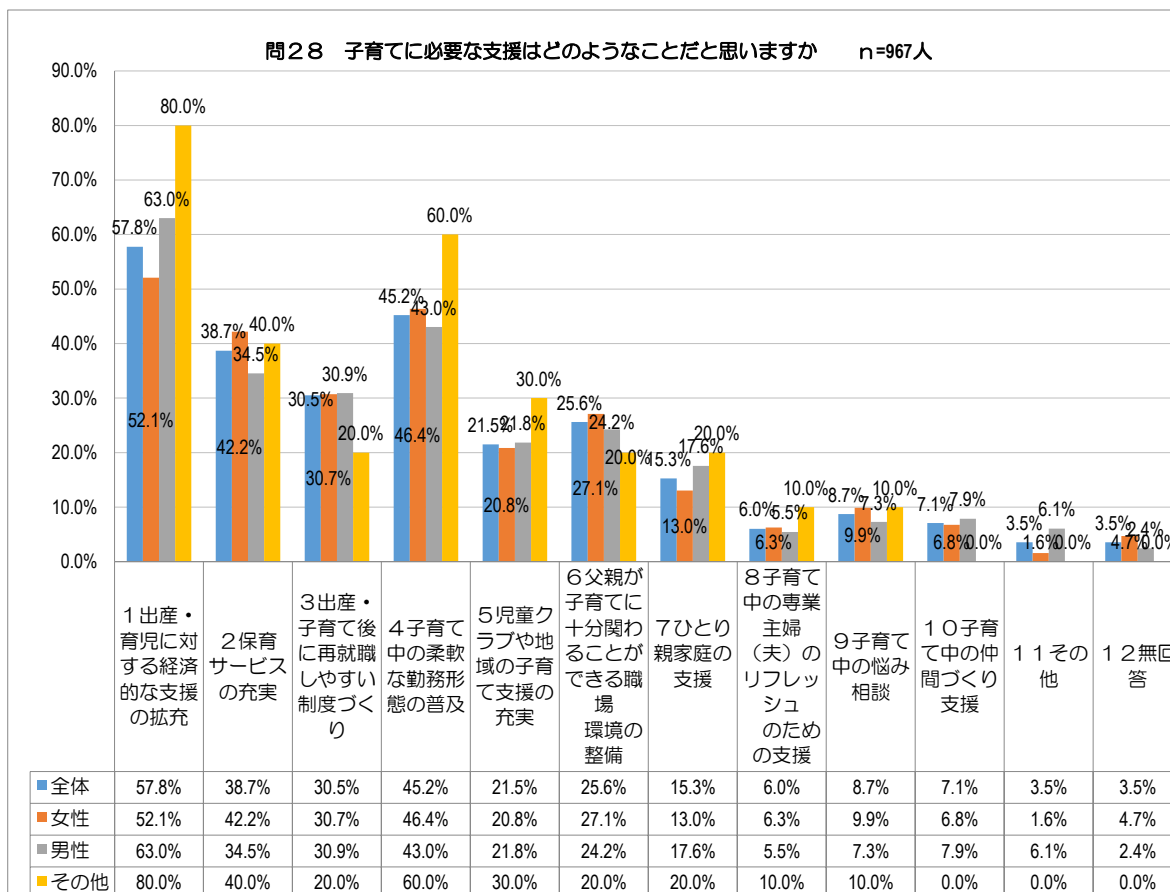
問28 子育てに必要な支援等はどうのことだと思いますか。(3つまで)

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 出産・育児に対する経済的な支援の拡充	212	57.8%	100	52.1%	104	63.0%	8	80.0%	47.8%
2 保育サービスの充実	142	38.7%	81	42.2%	57	34.5%	4	40.0%	45.7%
3 出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり	112	30.5%	59	30.7%	51	30.9%	2	20.0%	36.8%
4 子育て中の柔軟な勤務形態の普及	166	45.2%	89	46.4%	71	43.0%	6	60.0%	41.7%
5 児童クラブや地域の子育て支援の充実	79	21.5%	40	20.8%	36	21.8%	3	30.0%	18.2%
6 父親が子育てに十分関わることができる職場環境の整備	94	25.6%	52	27.1%	40	24.2%	2	20.0%	24.5%
7 ひとり親家庭の支援・	56	15.3%	25	13.0%	29	17.6%	2	20.0%	15.6%
8 子育て中の専業主婦(夫)のリフレッシュのための支援	22	6.0%	12	6.3%	9	5.5%	1	10.0%	4.7%
9 子育て中の悩み相談	32	8.7%	19	9.9%	12	7.3%	1	10.0%	9.8%
10 子育て中の仲間づくり支援	26	7.1%	13	6.8%	13	7.9%	0	0.0%	9.6%
11 その他	13	3.5%	3	1.6%	10	6.1%	0	0.0%	1.6%
12 無回答	13	3.5%	9	4.7%	4	2.4%	0	0.0%	5.4%
合計	967		502		436		29		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- 子供のいない人に負担がかからないように支援すべき
- 虐待への備え
- 子育ての前に男女が出会う機会を増やせるようにしてあげたい。
- 消費税廃止
- 全部です
- 子育ては母の愛しかない！子どもは母親から思いやりや優しさを学ぶ。父親からは生産性や合理性を学ぶ。母親が外で働かなくてもいいように月30万の補助金を出す。財源は中津市で使えるお金地域振興券を発行する
- 親にも教育、しつけ等について何等かの情報を伝える(問25に関連する情報等)
- 根本的な政治の問題
- 結婚支援
- 子育ては無料。教育特に道徳教育



「子育てに必要な支援はどのようなことだと思いますか」について、全体では「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」と回答した人が57.8%で最も多く、次に「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」と回答した人が45.2%となっています。

女性は男性と比べて「保育サービスの充実」、「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」と回答した人が多く、男性は女性と比べて「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」と回答した人が10.9%多くなっています。

家族の役割を話し合い、お互いに支え合うことが大切です。

◆介護について

問29 家庭での介護について、どのように対応したいと思いますか。(1つ)

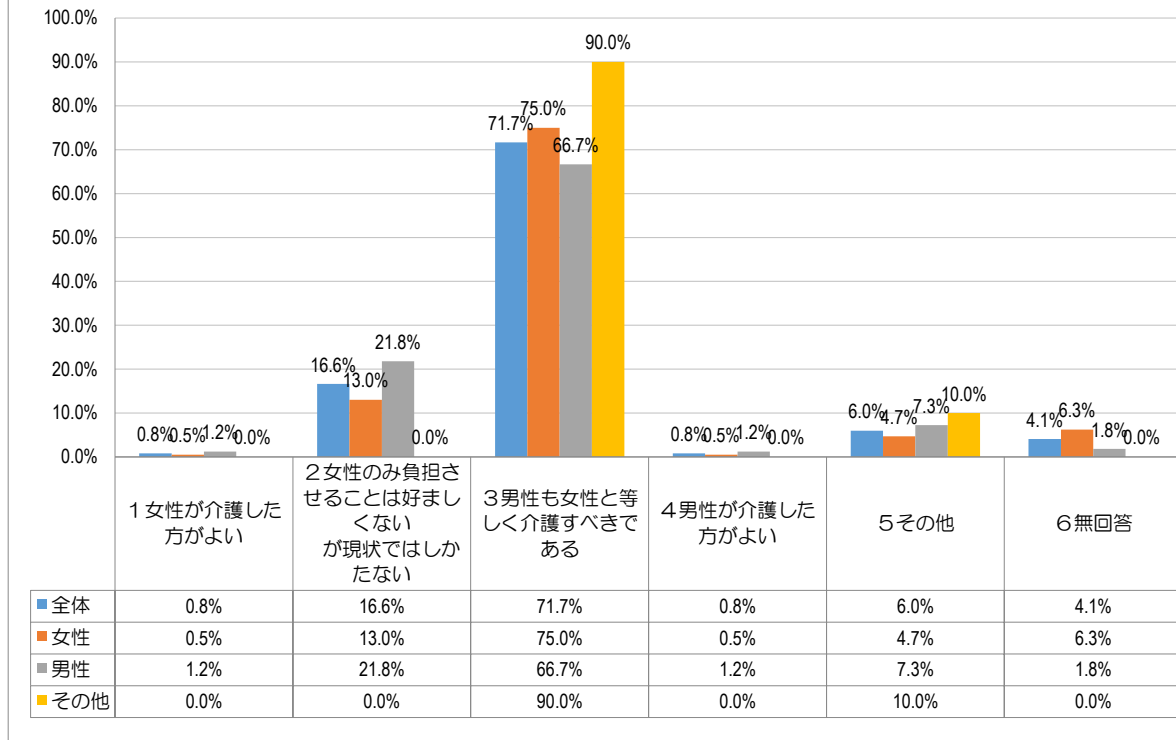
	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 女性が介護した方がよい	3	0.8%	1	0.5%	2	1.2%	0	0.0%	1.9%
2 女性のみ負担させることは好ましくない が現状ではしかたない	61	16.6%	25	13.0%	36	21.8%	0	0.0%	28.7%
3 男性も女性と等しく介護すべきである	263	71.7%	144	75.0%	110	66.7%	9	90.0%	61.3%
4 男性が介護した方がよい	3	0.8%	1	0.5%	2	1.2%	0	0.0%	1.9%
5 その他	22	6.0%	9	4.7%	12	7.3%	1	10.0%	3.3%
6 無回答	15	4.1%	12	6.3%	3	1.8%	0	0.0%	3.5%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	100.5%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- 被介護者との関係がよい者がした方がよい
- 家族とするのではなく介護サービスを利用する
- 出来る方がやって、困った時は家族で話し合い協力する
- できる人がする
- 性別に関係なくできる人ができることをすれば良い。
- 男女それぞれ適性が違うので、適正に合った役割分担をすべき。
- 施設
- どちらという事はない。できる方で良い。
- 男女ともになれが必要。
- 現実的にはしょうがない。介護は不平等に尽きる。遺産は平等。
- 現時点では考えつきません
- 男女共に介護したほうがいいが、介護サービスを有効に利用でき負担を減らすべき。
- 介護を経験していますが家事区ではもう限界です。施設でお願いしたいです。
- 出来る人がやれば良い
- 施設へ入所
- 嫁は義母と仲よくなかったら介護しないで行政で介護すべき。ゆりかごから墓場まで。
- 社会的に支えることが必要

問29 家庭での介護についてどのように対応したいと思えますか n=367人



「家庭での介護について、どのように対応したいと思えますか」について、全体では「男性も女性と等しく介護すべきである」と回答した人が71.7%で最も多く、次に「女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない」と回答した人が16.6%となっています。

前回より「男性も女性と等しく介護すべきである」と回答した人が10.4%増えており、「女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない」と回答した人が12.1%減っています。

女性が介護をしなくてはならないという意識は減りつつあることがわかります。介護については、一人に負担がかからないよう家庭内で十分に話し合うことが大切です。

【全体】年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 女性が介護した方がよい	人数	0	0	1	0	0	1	1	0	3
	割合	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%	0.8%	0.0%	0.8%
2 女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない	人数	6	4	3	8	9	13	18	0	61
	割合	18.8%	28.6%	8.3%	16.0%	20.5%	18.8%	14.8%	0.0%	16.6%
3 男性も女性と等しく介護すべきである	人数	24	10	29	37	32	49	82	0	263
	割合	75.0%	71.4%	80.6%	74.0%	72.7%	71.0%	67.2%	0.0%	71.7%
4 男性が介護した方がよい	人数	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	割合	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.8%	0.0%	0.8%
5 その他	人数	1	0	3	5	2	4	7	0	22
	割合	3.1%	0.0%	8.3%	10.0%	4.5%	5.8%	5.7%	0.0%	6.0%
6 無回答	人数	0	0	0	0	1	1	13	0	15
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	1.4%	10.7%	0.0%	4.1%
合計	人数	32	14	36	50	44	69	122	0	367
	割合	8.7%	3.8%	9.8%	13.6%	12.0%	18.8%	33.2%	0.0%	100.0%

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 女性が介護した方がよい	人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.5%
2 女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない	人数	4	2	2	3	3	3	8	0	25
	割合	25.0%	22.2%	9.1%	11.1%	10.7%	11.1%	12.7%	0.0%	13.0%
3 男性も女性と等しく介護すべきである	人数	10	7	19	20	24	23	41	0	144
	割合	62.5%	77.8%	86.4%	74.1%	85.7%	85.2%	65.1%	0.0%	75.0%
4 男性が介護した方がよい	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
5 その他	人数	1	0	1	4	0	0	3	0	9
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	14.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.7%
6 無回答	人数	0	0	0	0	1	1	10	0	12
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.7%	15.9%	0.0%	6.3%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	8.3%	4.7%	11.5%	14.1%	14.6%	14.1%	32.8%	0.0%	100.0%

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 女性が介護した方がよい	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	1.2%
2 女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない	人数	2	2	1	5	6	10	10	0	36
	割合	14.3%	40.0%	10.0%	21.7%	37.5%	25.6%	17.2%	0.0%	21.8%
3 男性も女性と等しく介護すべきである	人数	12	3	6	17	8	23	41	0	110
	割合	85.7%	60.0%	60.0%	73.9%	50.0%	59.0%	70.7%	0.0%	66.7%
4 男性が介護した方がよい	人数	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.7%	0.0%	1.2%
5 その他	人数	0	0	2	1	2	4	3	0	12
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	4.3%	12.5%	10.3%	5.2%	0.0%	7.3%
6 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	0.0%	1.8%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	8.5%	3.0%	6.1%	13.9%	9.7%	23.6%	35.2%	0.0%	100.0%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 女性が介護した方がよい	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 男性も女性と等しく介護すべきである	人数	2	0	4	0	0	3	0	0	9
	割合	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	90.0%
4 男性が介護した方がよい	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 その他	人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.0%
6 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%

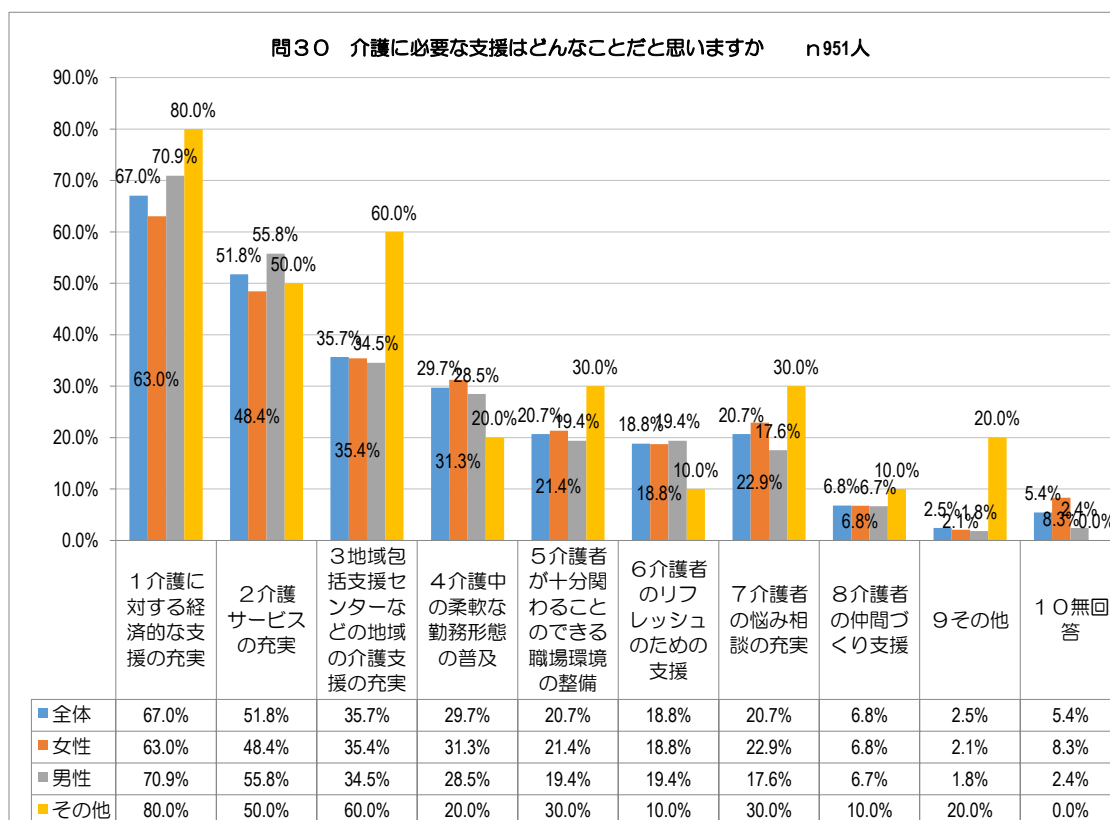
問30 介護に必要な支援はどのようなことだと思いますか。（3つまで）

	全体		女性		男性		その他		前回全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 介護に対する経済的な支援の充実	246	67.0%	121	63.0%	117	70.9%	8	80.0%	66.4%
2 介護サービスの充実	190	51.8%	93	48.4%	92	55.8%	5	50.0%	52.7%
3 地域包括支援センターなどの地域の介護支援の充実	131	35.7%	68	35.4%	57	34.5%	6	60.0%	40.6%
4 介護中の柔軟な勤務形態の普及	109	29.7%	60	31.3%	47	28.5%	2	20.0%	30.1%
5 介護者が十分関わることのできる職場環境の整備	76	20.7%	41	21.4%	32	19.4%	3	30.0%	25.9%
6 介護者のリフレッシュのための支援	69	18.8%	36	18.8%	32	19.4%	1	10.0%	15.6%
7 介護者の悩み相談の充実	76	20.7%	44	22.9%	29	17.6%	3	30.0%	18.2%
8 介護者の仲間づくり支援	25	6.8%	13	6.8%	11	6.7%	1	10.0%	6.1%
9 その他	9	2.5%	4	2.1%	3	1.8%	2	20.0%	2.1%
10 無回答	20	5.4%	16	8.3%	4	2.4%	0	0.0%	4.2%
合計	951		496		424		31		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・介護職の給料の増加
- ・介護度によって利用枠のようなものが決められているのでデイサービスは週3回までみたいな利用制限があり介護する家庭の負担が大きくなる。
- ・お金
- ・介護を経験した事がない為わからない。
- ・介護サービスに適切にアクセスできる環境づくり
- ・介護の仕事の評価を正当な引き上げ。他の労働者と比較すると月10万低い。



「介護に必要な支援はどのようなことだと思いますか」について、全体では「介護に対する経済的な支援の充実」と回答した人が67.0%で最も多く、次に「介護サービスの充実」と回答した人が51.8%となっています。

女性・男性ともに「介護に対する経済的な支援の充実」と回答した人が最も多くなっています。

どの年代においても、多くの方が「介護に対する経済的な支援の充実」や「介護サービスの充実」など、介護に支援が必要だと思っていることがわかります。

地域の助け合いや公的援助、施設を利用することで介護する人も、介護される人も安心して毎日を過ごせることが大切です。

【全体】年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 介護に対する経済的な支援の充実	人数	19	11	30	40	26	48	72	0	246
	割合	59.4%	78.6%	83.3%	80.0%	59.1%	69.6%	59.0%	0.0%	67.0%
2 介護サービスの充実	人数	18	5	23	31	22	36	55	0	190
	割合	56.3%	35.7%	63.9%	62.0%	50.0%	52.2%	45.1%	0.0%	51.8%
3 地域包括支援センターなどの地域の介護支援の充実	人数	10	6	11	17	16	30	41	0	131
	割合	31.3%	42.9%	30.6%	34.0%	36.4%	43.5%	33.6%	0.0%	35.7%
4 介護中の柔軟な勤務形態の普及	人数	6	5	10	25	18	21	24	0	109
	割合	18.8%	35.7%	27.8%	50.0%	40.9%	30.4%	19.7%	0.0%	29.7%
5 介護者が十分関わることでできる職場環境の整備	人数	7	4	7	8	13	13	24	0	76
	割合	21.9%	28.6%	19.4%	16.0%	29.5%	18.8%	19.7%	0.0%	20.7%
6 介護者のリフレッシュのための支援	人数	11	2	9	7	4	16	20	0	69
	割合	34.4%	14.3%	25.0%	14.0%	9.1%	23.2%	16.4%	0.0%	18.8%
7 介護者の悩み相談の充実	人数	9	2	4	12	7	12	30	0	76
	割合	28.1%	14.3%	11.1%	24.0%	15.9%	17.4%	24.6%	0.0%	20.7%
8 介護者の仲間づくり支援	人数	2	0	0	4	3	5	11	0	25
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	8.0%	6.8%	7.2%	9.0%	0.0%	6.8%
9 その他	人数	1	0	2	0	2	0	4	0	9
	割合	3.1%	0.0%	5.6%	0.0%	4.5%	0.0%	3.3%	0.0%	2.5%
10 無回答	人数	0	0	1	0	2	3	14	0	20
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%	0.8%	3.8%	0.0%	5.4%
合計	人数	83	35	97	144	113	184	295	0	951
	割合	22.6%	9.5%	26.4%	39.2%	30.8%	50.1%	80.4%	0.0%	

【女性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 介護に対する経済的な支援の充実	人数	10	7	20	20	16	16	32	0	121
	割合	31.3%	50.0%	55.6%	40.0%	36.4%	23.2%	26.2%	0.0%	33.0%
2 介護サービスの充実	人数	10	3	13	17	13	12	25	0	93
	割合	31.3%	21.4%	36.1%	34.0%	29.5%	17.4%	20.5%	0.0%	25.3%
3 地域包括支援センターなどの地域の介護支援の充実	人数	5	4	4	11	10	15	19	0	68
	割合	15.6%	28.6%	11.1%	22.0%	22.7%	21.7%	15.6%	0.0%	18.5%
4 介護中の柔軟な勤務形態の普及	人数	2	2	9	14	12	9	12	0	60
	割合	6.3%	14.3%	25.0%	28.0%	27.3%	13.0%	9.8%	0.0%	16.3%
5 介護者が十分関わることでできる職場環境の整備	人数	1	4	5	1	11	6	13	0	41
	割合	3.1%	28.6%	13.9%	2.0%	25.0%	8.7%	10.7%	0.0%	11.2%
6 介護者のリフレッシュのための支援	人数	6	1	7	2	4	4	12	0	36
	割合	18.8%	7.1%	19.4%	4.0%	9.1%	5.8%	9.8%	0.0%	9.8%
7 介護者の悩み相談の充実	人数	5	1	1	9	5	6	17	0	44
	割合	15.6%	7.1%	2.8%	18.0%	11.4%	8.7%	13.9%	0.0%	12.0%
8 介護者の仲間づくり支援	人数	2	0	0	3	2	1	5	0	13
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	6.0%	4.5%	1.4%	4.1%	0.0%	3.5%
9 その他	人数	1	0	1	0	1	0	1	0	4
	割合	3.1%	0.0%	2.8%	0.0%	2.3%	0.0%	0.8%	0.0%	1.1%
10 無回答	人数	0	0	1	0	1	3	11	0	16
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.8%	3.0%	0.0%	4.4%
合計	人数	42	22	61	77	75	72	147	0	496
	割合	11.4%	6.0%	16.6%	21.0%	20.4%	19.6%	40.1%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 介護に対する経済的な支援の充実	人数	8	4	7	20	10	29	39	0	117
	割合	25.0%	28.6%	19.4%	40.0%	22.7%	42.0%	32.0%	0.0%	31.9%
2 介護サービスの充実	人数	7	2	7	14	9	24	29	0	92
	割合	21.9%	14.3%	19.4%	28.0%	20.5%	34.8%	23.8%	0.0%	25.1%
3 地域包括支援センターなどの地域の介護支援の充実	人数	4	2	3	6	6	14	22	0	57
	割合	12.5%	14.3%	8.3%	12.0%	13.6%	20.3%	18.0%	0.0%	15.5%
4 介護中の柔軟な勤務形態の普及	人数	4	3	1	11	6	10	12	0	47
	割合	12.5%	21.4%	2.8%	22.0%	13.6%	14.5%	9.8%	0.0%	12.8%
5 介護者が十分関わることのできる職場環境の整備	人数	5	0	1	7	2	6	11	0	32
	割合	15.6%	0.0%	2.8%	14.0%	4.5%	8.7%	9.0%	0.0%	8.7%
6 介護者のリフレッシュのための支援	人数	5	1	2	5	0	11	8	0	32
	割合	15.6%	7.1%	5.6%	10.0%	0.0%	15.9%	6.6%	0.0%	8.7%
7 介護者の悩み相談の充実	人数	2	1	3	3	2	6	12	0	29
	割合	6.3%	7.1%	8.3%	6.0%	4.5%	8.7%	9.8%	0.0%	7.9%
8 介護者の仲間づくり支援	人数	0	0	0	1	1	4	5	0	11
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.3%	5.8%	4.1%	0.0%	3.0%
9 その他	人数	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%
10 無回答	人数	0	0	0	0	1	0	3	0	4
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.8%	0.0%	1.1%
合計	人数	35	13	24	67	38	104	143	0	424
	割合	9.5%	3.5%	6.5%	18.3%	10.4%	28.3%	39.0%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 介護に対する経済的な支援の充実	人数	1	0	3	0	0	3	1	0	8
	割合	3.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	4.3%	0.8%	0.0%	2.2%
2 介護サービスの充実	人数	1	0	3	0	0	0	1	0	5
	割合	3.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.4%
3 地域包括支援センターなどの地域の介護支援の充実	人数	1	0	4	0	0	1	0	0	6
	割合	3.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.6%
4 介護中の柔軟な勤務形態の普及	人数	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.5%
5 介護者が十分関わることのできる職場環境の整備	人数	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	割合	3.1%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.8%
6 介護者のリフレッシュのための支援	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.3%
7 介護者の悩み相談の充実	人数	2	0	0	0	0	0	1	0	3
	割合	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%
8 介護者の仲間づくり支援	人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.3%
9 その他	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.5%
10 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	6	0	12	0	0	8	5	0	31
	割合	1.6%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	2.2%	1.4%	0.0%	

◆女性について

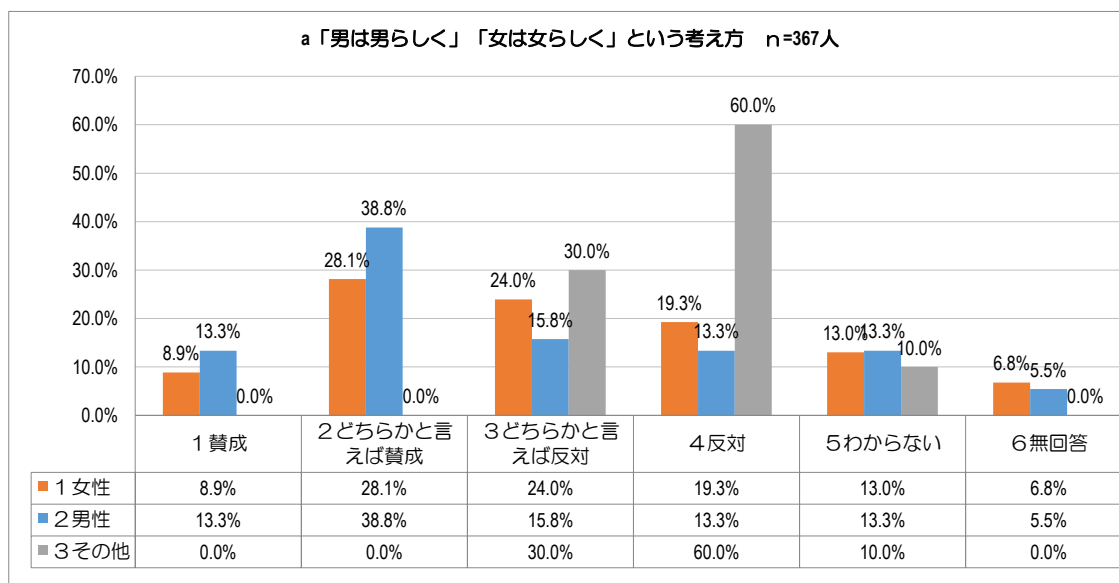
問31 次の「a～g」について、どのように思いますか。（各項目より1つ）

全体		1賛成	2どちらかと言えば賛成	3どちらかと言えば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計
a「男は男らしく」「女は女らしく」という考え方	人	39	118	75	65	48	22	367
	割合	10.6%	32.2%	20.4%	17.7%	13.1%	6.0%	100.0%
b女性の幸福は、結婚にあるのだから結婚するほうがよい	人	16	65	65	94	104	23	367
	割合	4.4%	17.7%	17.7%	25.6%	28.3%	6.3%	100.0%
c女性が仕事を持つのが良いが、家事、育児はきちんとするのが当然である	人	26	93	84	99	41	24	367
	割合	7.1%	25.3%	22.9%	27.0%	11.2%	6.5%	100.0%
d結婚したら、子どもをもうけるのは当然である	人	32	77	51	93	90	24	367
	割合	8.7%	21.0%	13.9%	25.3%	24.5%	6.5%	100.0%
e女性は結婚したら夫の姓に変えるのが当然である	人	32	90	46	67	110	22	367
	割合	8.7%	24.5%	12.5%	18.3%	30.0%	6.0%	100.0%
f結婚して子どもがいる場合、配偶者との関係が悪くても、離婚しない方がよい	人	17	46	72	100	108	24	367
	割合	4.6%	12.5%	19.6%	27.2%	29.4%	6.5%	100.0%
gパートナーは同姓であっても受け入れられるべきである	人	83	80	28	39	113	24	367
	割合	22.6%	21.8%	7.6%	10.6%	30.8%	6.5%	100.0%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

a「男は男らしく」「女は女らしく」という考え方

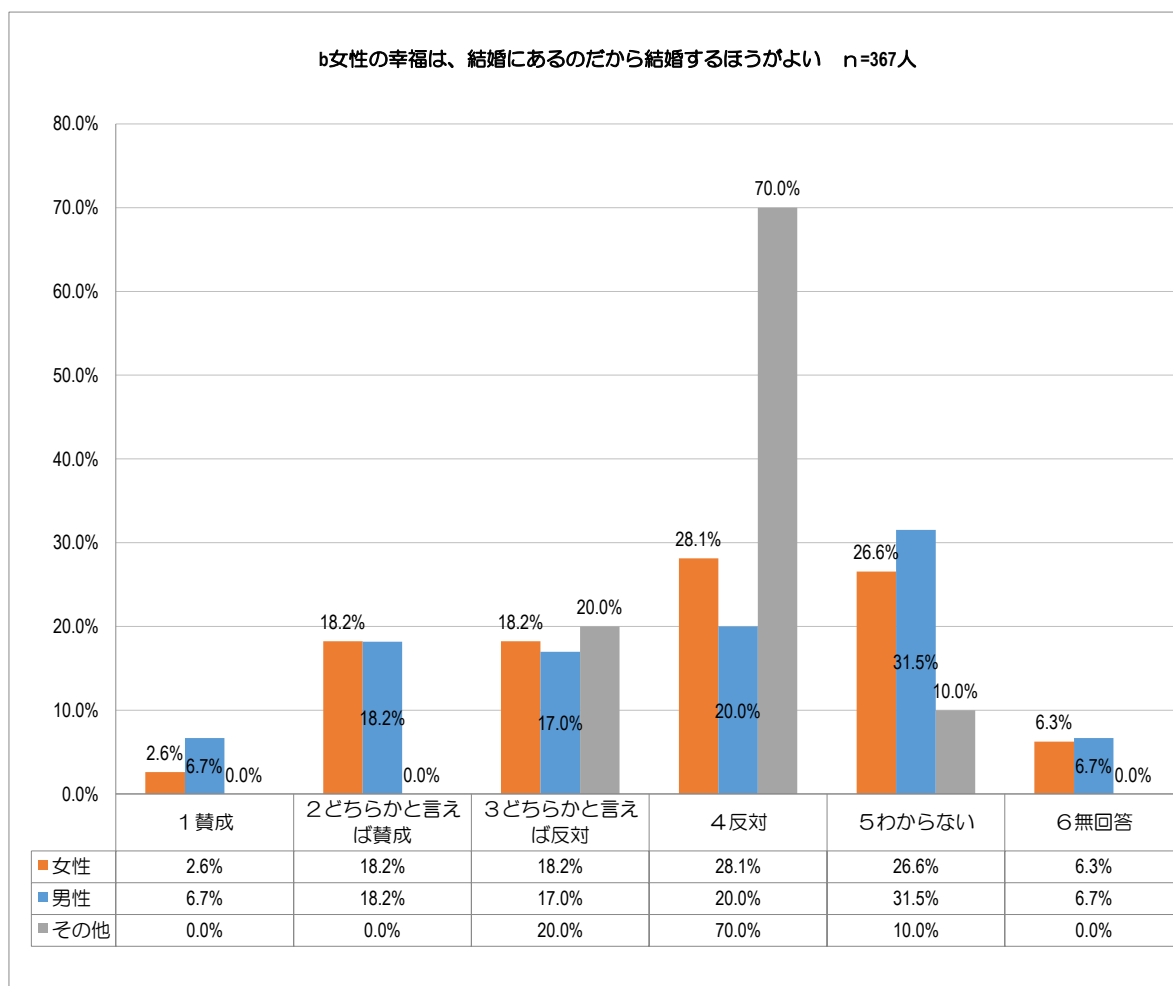
		1賛成	2どちらかと言えば賛成	3どちらかと言えば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計
1女性	人	17	54	46	37	25	13	192
	割合	8.9%	28.1%	24.0%	19.3%	13.0%	6.8%	100.0%
2男性	人	22	64	26	22	22	9	165
	割合	13.3%	38.8%	15.8%	13.3%	13.3%	5.5%	100.0%
3その他	人	0	0	3	6	1	0	10
	割合	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
合計	人	39	118	75	65	48	22	367
	割合	10.6%	32.2%	20.4%	17.7%	13.1%	6.0%	100.0%
前回	女性	21.6%	49.7%	12.0%	3.6%	6.6%	6.6%	100.0%
	男性	36.4%	40.7%	4.9%	3.7%	4.9%	9.3%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「男は男らしく」「女は女らしく」という考え方について、女性では「どちらかと言えば賛成」と回答した人が28.1%で最も多く、次に「どちらかと言えば反対」と回答した人が24.0%となっています。男性では「どちらかと言えば賛成」と回答した人が38.8%で最も多く、次に「どちらかと言えば反対」と回答した人が15.8%となっています。

b女性の幸福は、結婚にあるのだから結婚するほうがよい

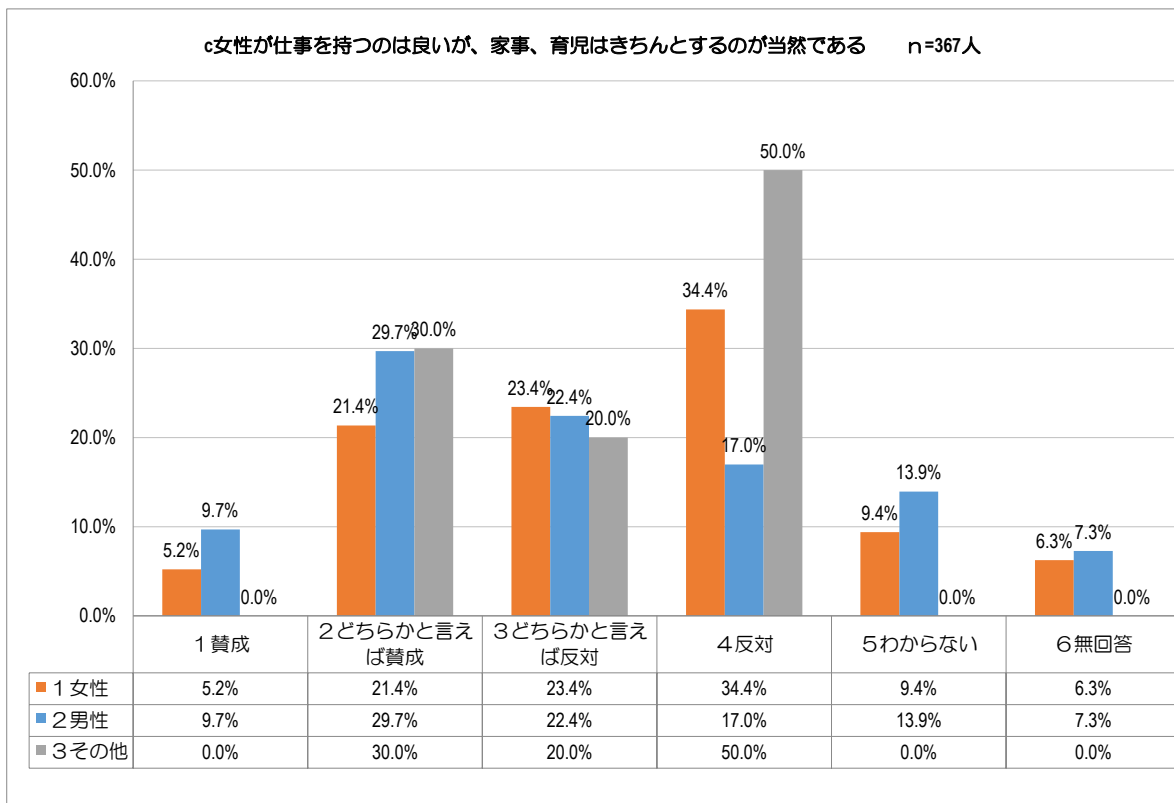
		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わから ない	6無回答	合計
1女性	人	5	35	35	54	51	12	192
	割合	2.6%	18.2%	18.2%	28.1%	26.6%	6.3%	100.0%
2男性	人	11	30	28	33	52	11	165
	割合	6.7%	18.2%	17.0%	20.0%	31.5%	6.7%	100.0%
3その他	人	0	0	2	7	1	0	10
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%
合計	人	16	65	65	94	104	23	367
	割合	4.4%	17.7%	17.7%	25.6%	28.3%	6.3%	100.0%
前回	女性	12.0%	25.7%	11.4%	10.8%	32.3%	7.8%	100.0%
	男性	19.1%	33.3%	9.3%	4.9%	22.2%	11.1%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「女性の幸福は、結婚にあるのだから結婚するほうがよい」について、女性では「反対」と回答した人が28.1%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.6%となっています。男性では「わからない」と回答した人が31.5%で最も多く、次に「反対」と回答した人が20.0%となっています。

c女性が仕事を持つのは良いが、家事、育児はきちんとするのが当然である

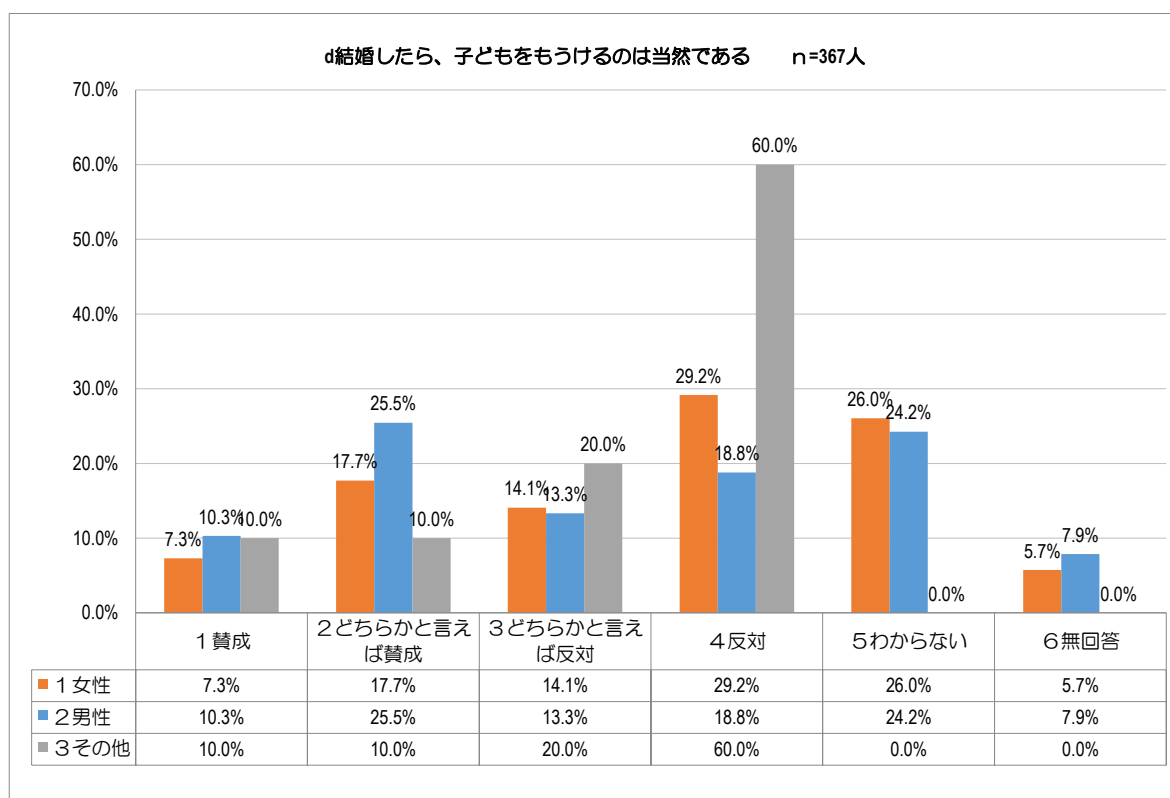
		1 賛成	2 どちらか かと言え ば賛成	3 どちら かと言え ば反対	4 反対	5 わから ない	6 無回答	合計
1 女性	人	10	41	45	66	18	12	192
	割合	5.2%	21.4%	23.4%	34.4%	9.4%	6.3%	100.0%
2 男性	人	16	49	37	28	23	12	165
	割合	9.7%	29.7%	22.4%	17.0%	13.9%	7.3%	100.0%
3 その他	人	0	3	2	5	0	0	10
	割合	0.0%	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	人	26	93	84	99	41	24	367
	割合	7.1%	25.3%	22.9%	27.0%	11.2%	6.5%	100.0%
前回	女性	19.8%	40.7%	14.4%	9.0%	8.4%	7.8%	100.0%
	男性	21.6%	44.4%	11.1%	6.8%	6.8%	9.3%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「女性が仕事をもつのは良いが、家事、育児をきちんとするのは当然である」について、女性では「反対」と回答した人が34.4%で最も多く、次に「どちらかといえば反対」と回答した人が23.4%となっています。男性では「どちらかといえば賛成」と回答した人が29.7%で最も多く、次に「どちらかといえば反対」と回答した人が22.4%となっています。

d結婚したら、子どもをもうけるのは当然である

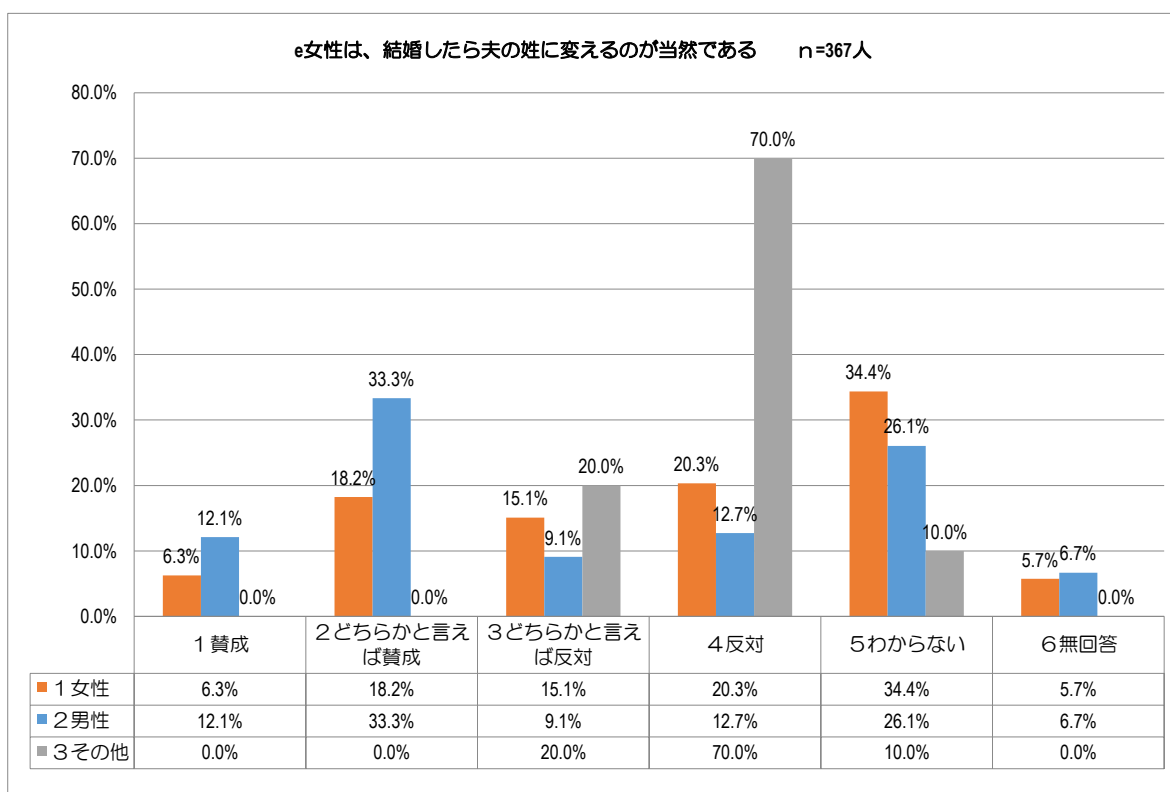
		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わから ない	6無回答	合計
1女性	人	14	34	27	56	50	11	192
	割合	7.3%	17.7%	14.1%	29.2%	26.0%	5.7%	100.0%
2男性	人	17	42	22	31	40	13	165
	割合	10.3%	25.5%	13.3%	18.8%	24.2%	7.9%	100.0%
3その他	人	1	1	2	6	0	0	10
	割合	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	人	32	77	51	93	90	24	367
	割合	8.7%	21.0%	13.9%	25.3%	24.5%	6.5%	100.0%
前回	女性	22.2%	28.1%	6.6%	12.0%	23.4%	7.8%	100.0%
	男性	36.4%	32.1%	1.9%	5.6%	14.2%	9.9%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「結婚したら、子どもをもうけるのは当然である」について、女性では「反対」と回答した人が29.2%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.0%となっています。男性では「どちらかと言えば賛成」と回答した人が25.5%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が24.2%となっています。

e女性は、結婚したら夫の姓に変えるのが当然である

		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わから ない	6無回答	合計
1女性	人	12	35	29	39	66	11	192
	割合	6.3%	18.2%	15.1%	20.3%	34.4%	5.7%	100.0%
2男性	人	20	55	15	21	43	11	165
	割合	12.1%	33.3%	9.1%	12.7%	26.1%	6.7%	100.0%
3その他	人	0	0	2	7	1	0	10
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%
合計	人	32	90	46	67	110	22	367
	割合	8.7%	24.5%	12.5%	18.3%	30.0%	6.0%	100.0%
前回	女性	16.8%	31.7%	6.6%	8.4%	28.1%	8.4%	100.0%
	男性	29.0%	32.1%	6.2%	6.8%	16.0%	9.9%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「女性に結婚したら夫の姓に変えるのが当然である」について、女性では「わからない」と回答した人が34.4%で最も多く、次に「反対」が20.3%となっています。男性では「どちらかといえば賛成」と回答した人が33.3%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.1%となっています。

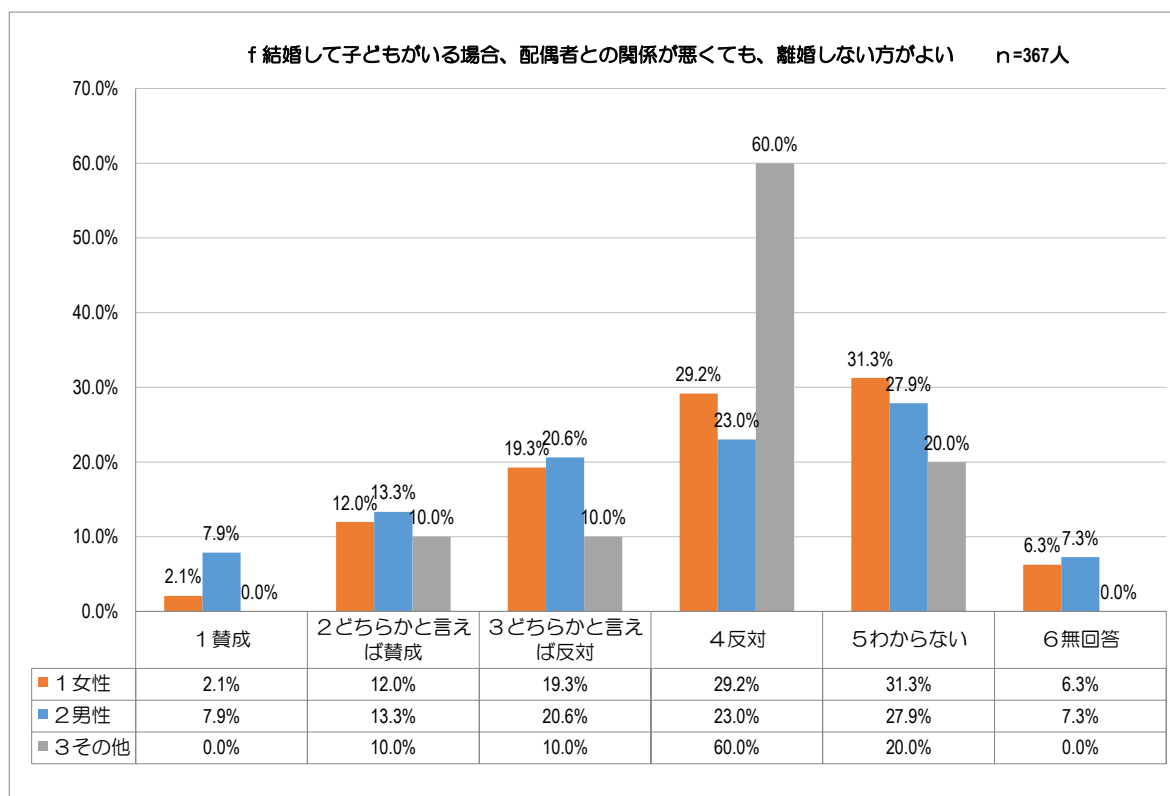
選択的夫婦別氏（いわゆる選択的夫婦別姓制度）について

選択的夫婦別氏制度とは、夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれの結婚前の氏を称することを認める制度です。

現在の民法のもとでは、結婚に際して、男性又は女性のいずれか一方が、必ず氏を改めなければなりません。女性の社会進出等に伴い、改氏による社会的な不憫・不利益を指摘されたことなどを背景に、選択的夫婦別氏制度の導入を求める意見がありますが、国民各層に様々な意見があることなどから、いずれも国会に提出するに至っていません。

f 結婚して子どもがいる場合、配偶者との関係が悪くても、離婚しない方がよい

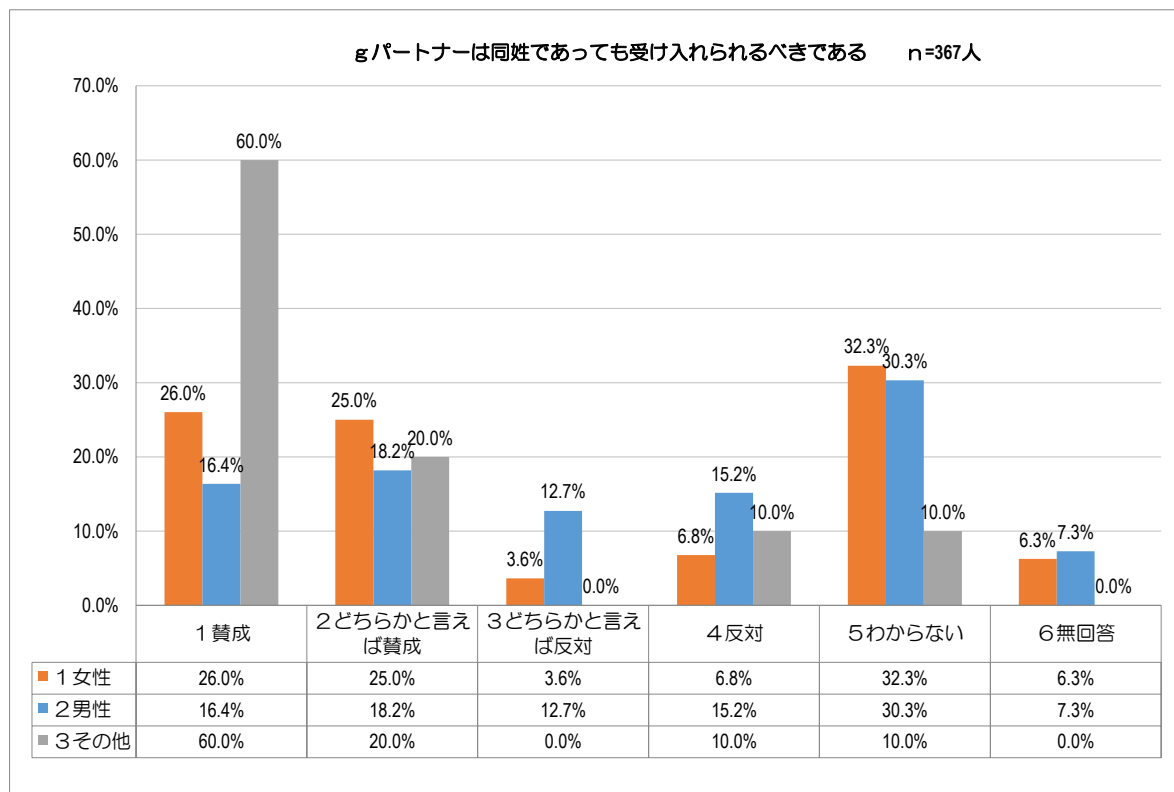
		1 賛成	2 どちらかと言え ば賛成	3 どちらかと言え ば反対	4 反対	5 わから ない	6 無回答	合計
1 女性	人	4	23	37	56	60	12	192
	割合	2.1%	12.0%	19.3%	29.2%	31.3%	6.3%	100.0%
2 男性	人	13	22	34	38	46	12	165
	割合	7.9%	13.3%	20.6%	23.0%	27.9%	7.3%	100.0%
3 その他	人	0	1	1	6	2	0	10
	割合	0.0%	10.0%	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
合計	人	17	46	72	100	108	24	367
	割合	4.6%	12.5%	19.6%	27.2%	29.4%	6.5%	100.0%
前回	女性	22.2%	28.1%	6.6%	12.0%	23.4%	7.8%	100.0%
	男性	36.4%	32.1%	1.9%	5.6%	14.2%	9.9%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「結婚して子どもがいる場合、配偶者との関係が悪くても、離婚しない方がよい」について、女性では「わからない」と回答した人が31.3%で最も多く、次に「反対」と回答した人が29.2%となっています。男性では「わからない」と回答した人が27.9%で最も多く、次に「反対」と回答した人が23.0%となっています。

g パートナーは同姓であっても受け入れられるべきである

		1 賛成	2 どちらかと言え ば賛成	3 どちらかと言え ば反対	4 反対	5 わから ない	6 無回答	合計
1 女性	人	50	48	7	13	62	12	192
	割合	26.0%	25.0%	3.6%	6.8%	32.3%	6.3%	100.0%
2 男性	人	27	30	21	25	50	12	165
	割合	16.4%	18.2%	12.7%	15.2%	30.3%	7.3%	100.0%
3 その他	人	6	2	0	1	1	0	10
	割合	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%
合計	人	83	80	28	39	113	24	367
	割合	22.6%	21.8%	7.6%	10.6%	30.8%	6.5%	100.0%
前回	女性	22.2%	28.1%	6.6%	12.0%	23.4%	7.8%	100.0%
	男性	36.4%	32.1%	1.9%	5.6%	14.2%	9.9%	100.0%
	その他	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%



「パートナーは同姓であっても受け入れられるべきである」について、女性では「わからない」と回答した人が32.3%で最も多く、次に「賛成」と回答した人が26.0%となっています。男性では「わからない」と回答した人が30.3%で最も多く、次に「どちらかと言えば賛成」と回答した人が18.2%となっています。

a「男は男らしく」「女は女らしく」という考え方

		1 賛成	2 どちらかと言えば賛成	3 どちらかと言えば反対	4 反対	5 わからない	6 無回答	合計	
18～19歳	1 女性	人	1	1	5	6	3	0	16
		割合	6.3%	6.3%	31.3%	37.5%	18.8%	0.0%	8.3%
	2 男性	人	1	5	4	3	1	0	14
		割合	7.1%	35.7%	28.6%	21.4%	7.1%	0.0%	8.5%
	3 その他	人	0	0	1	0	1	0	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1 女性	人	1	2	5	1	0	0	9
		割合	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	4.7%
	2 男性	人	0	2	2	0	1	0	5
		割合	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	3.0%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1 女性	人	2	5	3	9	3	0	22
		割合	9.1%	22.7%	13.6%	40.9%	13.6%	0.0%	11.5%
	2 男性	人	1	4	1	2	2	0	10
		割合	10.0%	40.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	6.1%
	3 その他	人	0	0	2	2	0	0	4
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1 女性	人	1	7	10	5	4	0	27
		割合	3.7%	25.9%	37.0%	18.5%	14.8%	0.0%	14.1%
	2 男性	人	1	12	2	4	4	0	23
		割合	4.3%	52.2%	8.7%	17.4%	17.4%	0.0%	13.9%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1 女性	人	2	4	8	7	6	1	28
		割合	7.1%	14.3%	28.6%	25.0%	21.4%	3.6%	14.6%
	2 男性	人	2	8	4	0	2	0	16
		割合	12.5%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	9.7%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1 女性	人	3	9	6	6	2	1	27
		割合	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	7.4%	3.7%	14.1%
	2 男性	人	5	15	7	8	2	2	39
		割合	12.8%	38.5%	17.9%	20.5%	5.1%	5.1%	23.6%
	3 その他	人	0	0	0	3	0	0	3
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1 女性	人	7	26	9	3	7	11	63
		割合	11.1%	41.3%	14.3%	4.8%	11.1%	17.5%	32.8%
	2 男性	人	12	18	6	5	10	7	58
		割合	20.7%	31.0%	10.3%	8.6%	17.2%	12.1%	35.2%
	3 その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1 女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2 男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1 女性	人	17	54	46	37	25	13	192
		割合	8.9%	28.1%	24.0%	19.3%	13.0%	6.8%	100.0%
	2 男性	人	22	64	26	22	22	9	165
		割合	13.3%	38.8%	15.8%	13.3%	13.3%	5.5%	100.0%
	3 その他	人	0	0	3	6	1	0	10
		割合	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%

b女性の幸福は、結婚にあるのだから結婚するほうがよい

		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わから ない	6無回答	合計	
18～19歳	1女性	人	0	1	4	9	2	0	16
		割合	0.0%	6.3%	25.0%	56.3%	12.5%	0.0%	8.3%
	2男性	人	0	0	3	6	5	0	14
		割合	0.0%	0.0%	21.4%	42.9%	35.7%	0.0%	8.5%
	3その他	人	0	0	0	1	1	0	2
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1女性	人	0	2	2	4	1	0	9
		割合	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	0	0	1	4	0	5
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1女性	人	0	1	3	11	7	0	22
		割合	0.0%	4.5%	13.6%	50.0%	31.8%	0.0%	11.5%
	2男性	人	0	2	0	5	3	0	10
		割合	0.0%	20.0%	0.0%	50.0%	30.0%	0.0%	6.1%
	3その他	人	0	0	1	3	0	0	4
		割合	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1女性	人	0	5	8	6	8	0	27
		割合	0.0%	18.5%	29.6%	22.2%	29.6%	0.0%	14.1%
	2男性	人	1	4	4	5	9	0	23
		割合	4.3%	17.4%	17.4%	21.7%	39.1%	0.0%	13.9%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1女性	人	1	2	7	9	7	2	28
		割合	3.6%	7.1%	25.0%	32.1%	25.0%	7.1%	14.6%
	2男性	人	1	5	4	2	4	0	16
		割合	6.3%	31.3%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1女性	人	2	5	5	7	7	1	27
		割合	7.4%	18.5%	18.5%	25.9%	25.9%	3.7%	14.1%
	2男性	人	1	8	10	8	9	3	39
		割合	2.6%	20.5%	25.6%	20.5%	23.1%	7.7%	23.6%
	3その他	人	0	0	1	2	0	0	3
		割合	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	2	19	6	8	19	9	63
		割合	3.2%	30.2%	9.5%	12.7%	30.2%	14.3%	32.8%
	2男性	人	8	11	7	6	18	8	58
		割合	13.8%	19.0%	12.1%	10.3%	31.0%	13.8%	35.2%
	3その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	5	35	35	54	51	12	192
		割合	2.6%	18.2%	18.2%	28.1%	26.6%	6.3%	100.0%
	2男性	人	11	30	28	33	52	11	165
		割合	6.7%	18.2%	17.0%	20.0%	31.5%	6.7%	100.0%
	3その他	人	0	0	2	7	1	0	10
		割合	0.0%	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%

c女性が仕事を持つのは良いが、家事、育児はきちんとするのが当然である

		1賛成	2どちらかと言えば賛成	3どちらかと言えば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計	
18～19歳	1女性	人	1	2	4	8	1	0	16
		割合	6.3%	12.5%	25.0%	50.0%	6.3%	0.0%	8.3%
	2男性	人	1	2	5	5	1	0	14
		割合	7.1%	14.3%	35.7%	35.7%	7.1%	0.0%	8.5%
	3その他	人	0	0	1	1	0	0	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1女性	人	0	2	5	2	0	0	9
		割合	0.0%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	1	2	0	2	0	5
		割合	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1女性	人	0	3	2	10	7	0	22
		割合	0.0%	13.6%	9.1%	45.5%	31.8%	0.0%	11.5%
	2男性	人	2	2	1	4	1	0	10
		割合	20.0%	20.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	6.1%
	3その他	人	0	1	0	3	0	0	4
		割合	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1女性	人	0	5	11	10	1	0	27
		割合	0.0%	18.5%	40.7%	37.0%	3.7%	0.0%	14.1%
	2男性	人	0	10	5	5	3	0	23
		割合	0.0%	43.5%	21.7%	21.7%	13.0%	0.0%	13.9%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1女性	人	1	7	4	12	3	1	28
		割合	3.6%	25.0%	14.3%	42.9%	10.7%	3.6%	14.6%
	2男性	人	1	7	7	1	0	0	16
		割合	6.3%	43.8%	43.8%	6.3%	0.0%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1女性	人	1	7	8	9	1	1	27
		割合	3.7%	25.9%	29.6%	33.3%	3.7%	3.7%	14.1%
	2男性	人	3	11	9	5	7	4	39
		割合	7.7%	28.2%	23.1%	12.8%	17.9%	10.3%	23.6%
	3その他	人	0	2	1	0	0	0	3
		割合	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	7	15	11	15	5	10	63
		割合	11.1%	23.8%	17.5%	23.8%	7.9%	15.9%	32.8%
	2男性	人	9	16	8	8	9	8	58
		割合	15.5%	27.6%	13.8%	13.8%	15.5%	13.8%	35.2%
	3その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	10	41	45	66	18	12	192
		割合	5.2%	21.4%	23.4%	34.4%	9.4%	6.3%	100.0%
	2男性	人	16	49	37	28	23	12	165
		割合	9.7%	29.7%	22.4%	17.0%	13.9%	7.3%	100.0%
	3その他	人	0	3	2	5	0	0	10
		割合	0.0%	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

d結婚したら、子どもをもうけるのは当然である

		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計	
18～19歳	1女性	人	1	1	2	10	2	0	16
		割合	6.3%	6.3%	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	8.3%
	2男性	人	0	2	3	9	0	0	14
		割合	0.0%	14.3%	21.4%	64.3%	0.0%	0.0%	8.5%
	3その他	人	0	0	1	1	0	0	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1女性	人	1	1	4	3	0	0	9
		割合	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	0	2	1	2	0	5
		割合	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1女性	人	0	3	2	10	7	0	22
		割合	0.0%	13.6%	9.1%	45.5%	31.8%	0.0%	11.5%
	2男性	人	1	3	0	5	1	0	10
		割合	10.0%	30.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	6.1%
	3その他	人	1	0	0	3	0	0	4
		割合	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1女性	人	1	5	5	9	7	0	27
		割合	3.7%	18.5%	18.5%	33.3%	25.9%	0.0%	14.1%
	2男性	人	2	3	6	4	8	0	23
		割合	8.7%	13.0%	26.1%	17.4%	34.8%	0.0%	13.9%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1女性	人	1	0	4	11	11	1	28
		割合	3.6%	0.0%	14.3%	39.3%	39.3%	3.6%	14.6%
	2男性	人	1	7	1	2	5	0	16
		割合	6.3%	43.8%	6.3%	12.5%	31.3%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1女性	人	2	5	4	5	10	1	27
		割合	7.4%	18.5%	14.8%	18.5%	37.0%	3.7%	14.1%
	2男性	人	3	9	7	5	11	4	39
		割合	7.7%	23.1%	17.9%	12.8%	28.2%	10.3%	23.6%
	3その他	人	0	1	1	1	0	0	3
		割合	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	8	19	6	8	13	9	63
		割合	12.7%	30.2%	9.5%	12.7%	20.6%	14.3%	32.8%
	2男性	人	10	18	3	5	13	9	58
		割合	17.2%	31.0%	5.2%	8.6%	22.4%	15.5%	35.2%
	3その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	14	34	27	56	50	11	192
		割合	7.3%	17.7%	14.1%	29.2%	26.0%	5.7%	100.0%
	2男性	人	17	42	22	31	40	13	165
		割合	10.3%	25.5%	13.3%	18.8%	24.2%	7.9%	100.0%
	3その他	人	1	1	2	6	0	0	10
		割合	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%

e女性は、結婚したら夫の姓に変えるのが当然である

		1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計	
18～19歳	1女性	人	0	2	4	8	2	0	16
		割合	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	8.3%
	2男性	人	0	2	3	6	3	0	14
		割合	0.0%	14.3%	21.4%	42.9%	21.4%	0.0%	8.5%
	3その他	人	0	0	0	1	1	0	2
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1女性	人	1	2	2	3	1	0	9
		割合	11.1%	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	1	0	1	3	0	5
		割合	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1女性	人	2	1	3	6	10	0	22
		割合	9.1%	4.5%	13.6%	27.3%	45.5%	0.0%	11.5%
	2男性	人	2	1	0	3	4	0	10
		割合	20.0%	10.0%	0.0%	30.0%	40.0%	0.0%	6.1%
	3その他	人	0	0	1	3	0	0	4
		割合	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1女性	人	0	8	5	4	10	0	27
		割合	0.0%	29.6%	18.5%	14.8%	37.0%	0.0%	14.1%
	2男性	人	2	6	4	3	8	0	23
		割合	8.7%	26.1%	17.4%	13.0%	34.8%	0.0%	13.9%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1女性	人	0	5	3	9	10	1	28
		割合	0.0%	17.9%	10.7%	32.1%	35.7%	3.6%	14.6%
	2男性	人	3	6	1	3	3	0	16
		割合	18.8%	37.5%	6.3%	18.8%	18.8%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1女性	人	1	5	5	4	11	1	27
		割合	3.7%	18.5%	18.5%	14.8%	40.7%	3.7%	14.1%
	2男性	人	2	19	4	3	7	4	39
		割合	5.1%	48.7%	10.3%	7.7%	17.9%	10.3%	23.6%
	3その他	人	0	0	1	2	0	0	3
		割合	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	8	12	7	5	22	9	63
		割合	12.7%	19.0%	11.1%	7.9%	34.9%	14.3%	32.8%
	2男性	人	11	20	3	2	15	7	58
		割合	19.0%	34.5%	5.2%	3.4%	25.9%	12.1%	35.2%
	3その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	12	35	29	39	66	11	192
		割合	6.3%	18.2%	15.1%	20.3%	34.4%	5.7%	100.0%
	2男性	人	20	55	15	21	43	11	165
		割合	12.1%	33.3%	9.1%	12.7%	26.1%	6.7%	100.0%
	3その他	人	0	0	2	7	1	0	10
		割合	0.0%	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	100.0%

f 結婚して子どもがいる場合、配偶者との関係が悪くても、離婚しない方がよい

		1 賛成	2 どちらかと言え ば賛成	3 どちらかと言え ば反対	4 反対	5 わから ない	6 無回答	合計	
18～19歳	1 女性	人	0	4	3	6	3	0	16
		割合	0.0%	25.0%	18.8%	37.5%	18.8%	0.0%	8.3%
	2 男性	人	0	1	4	5	4	0	14
		割合	0.0%	7.1%	28.6%	35.7%	28.6%	0.0%	8.5%
	3 その他	人	0	0	1	1	0	0	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1 女性	人	0	2	3	3	1	0	9
		割合	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	4.7%
	2 男性	人	0	0	1	2	2	0	5
		割合	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	3.0%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1 女性	人	0	3	5	5	9	0	22
		割合	0.0%	13.6%	22.7%	22.7%	40.9%	0.0%	11.5%
	2 男性	人	2	2	0	3	3	0	10
		割合	20.0%	20.0%	0.0%	30.0%	30.0%	0.0%	6.1%
	3 その他	人	0	1	0	2	1	0	4
		割合	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1 女性	人	0	2	9	8	8	0	27
		割合	0.0%	7.4%	33.3%	29.6%	29.6%	0.0%	14.1%
	2 男性	人	2	6	5	4	6	0	23
		割合	8.7%	26.1%	21.7%	17.4%	26.1%	0.0%	13.9%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1 女性	人	0	2	2	9	14	1	28
		割合	0.0%	7.1%	7.1%	32.1%	50.0%	3.6%	14.6%
	2 男性	人	1	2	7	5	1	0	16
		割合	6.3%	12.5%	43.8%	31.3%	6.3%	0.0%	9.7%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1 女性	人	1	4	3	14	4	1	27
		割合	3.7%	14.8%	11.1%	51.9%	14.8%	3.7%	14.1%
	2 男性	人	2	2	7	12	12	4	39
		割合	5.1%	5.1%	17.9%	30.8%	30.8%	10.3%	23.6%
	3 その他	人	0	0	0	2	1	0	3
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	30.0%
70歳以上	1 女性	人	3	6	12	11	21	10	63
		割合	4.8%	9.5%	19.0%	17.5%	33.3%	15.9%	32.8%
	2 男性	人	6	9	10	7	18	8	58
		割合	10.3%	15.5%	17.2%	12.1%	31.0%	13.8%	35.2%
	3 その他	人	0	0	0	1	0	0	1
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1 女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2 男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3 その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1 女性	人	4	23	37	56	60	12	192
		割合	2.1%	12.0%	19.3%	29.2%	31.3%	6.3%	100.0%
	2 男性	人	13	22	34	38	46	12	165
		割合	7.9%	13.3%	20.6%	23.0%	27.9%	7.3%	100.0%
	3 その他	人	0	1	1	6	2	0	10
		割合	0.0%	10.0%	10.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%

g パートナーは同姓であっても受け入れられるべきである

			1賛成	2どちらかと言え ば賛成	3どちらかと言え ば反対	4反対	5わからない	6無回答	合計
18～19歳	1女性	人	6	6	0	2	2	0	16
		割合	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	8.3%
	2男性	人	8	0	2	0	4	0	14
		割合	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	8.5%
	3その他	人	1	0	0	0	1	0	2
		割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	20.0%
20～29歳	1女性	人	5	3	0	0	1	0	9
		割合	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	1	1	1	2	0	5
		割合	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	1女性	人	9	5	2	0	6	0	22
		割合	40.9%	22.7%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	11.5%
	2男性	人	4	0	2	1	3	0	10
		割合	40.0%	0.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	6.1%
	3その他	人	3	1	0	0	0	0	4
		割合	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40～49歳	1女性	人	11	10	0	0	6	0	27
		割合	40.7%	37.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	14.1%
	2男性	人	4	12	1	0	6	0	23
		割合	17.4%	52.2%	4.3%	0.0%	26.1%	0.0%	13.9%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	1女性	人	7	6	0	1	13	1	28
		割合	25.0%	21.4%	0.0%	3.6%	46.4%	3.6%	14.6%
	2男性	人	3	2	6	1	4	0	16
		割合	18.8%	12.5%	37.5%	6.3%	25.0%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	1女性	人	5	11	2	1	7	1	27
		割合	18.5%	40.7%	7.4%	3.7%	25.9%	3.7%	14.1%
	2男性	人	6	8	4	7	10	4	39
		割合	15.4%	20.5%	10.3%	17.9%	25.6%	10.3%	23.6%
	3その他	人	1	1	0	1	0	0	3
		割合	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	7	7	3	9	27	10	63
		割合	11.1%	11.1%	4.8%	14.3%	42.9%	15.9%	32.8%
	2男性	人	2	7	5	15	21	8	58
		割合	3.4%	12.1%	8.6%	25.9%	36.2%	13.8%	35.2%
	3その他	人	1	0	0	0	0	0	1
		割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	50	48	7	13	62	12	192
		割合	26.0%	25.0%	3.6%	6.8%	32.3%	6.3%	100.0%
	2男性	人	27	30	21	25	50	12	165
		割合	16.4%	18.2%	12.7%	15.2%	30.3%	7.3%	100.0%
	3その他	人	6	2	0	1	1	0	10
		割合	60.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%

問32 女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために、どんなことが大切だと思いますか。（3つまで）

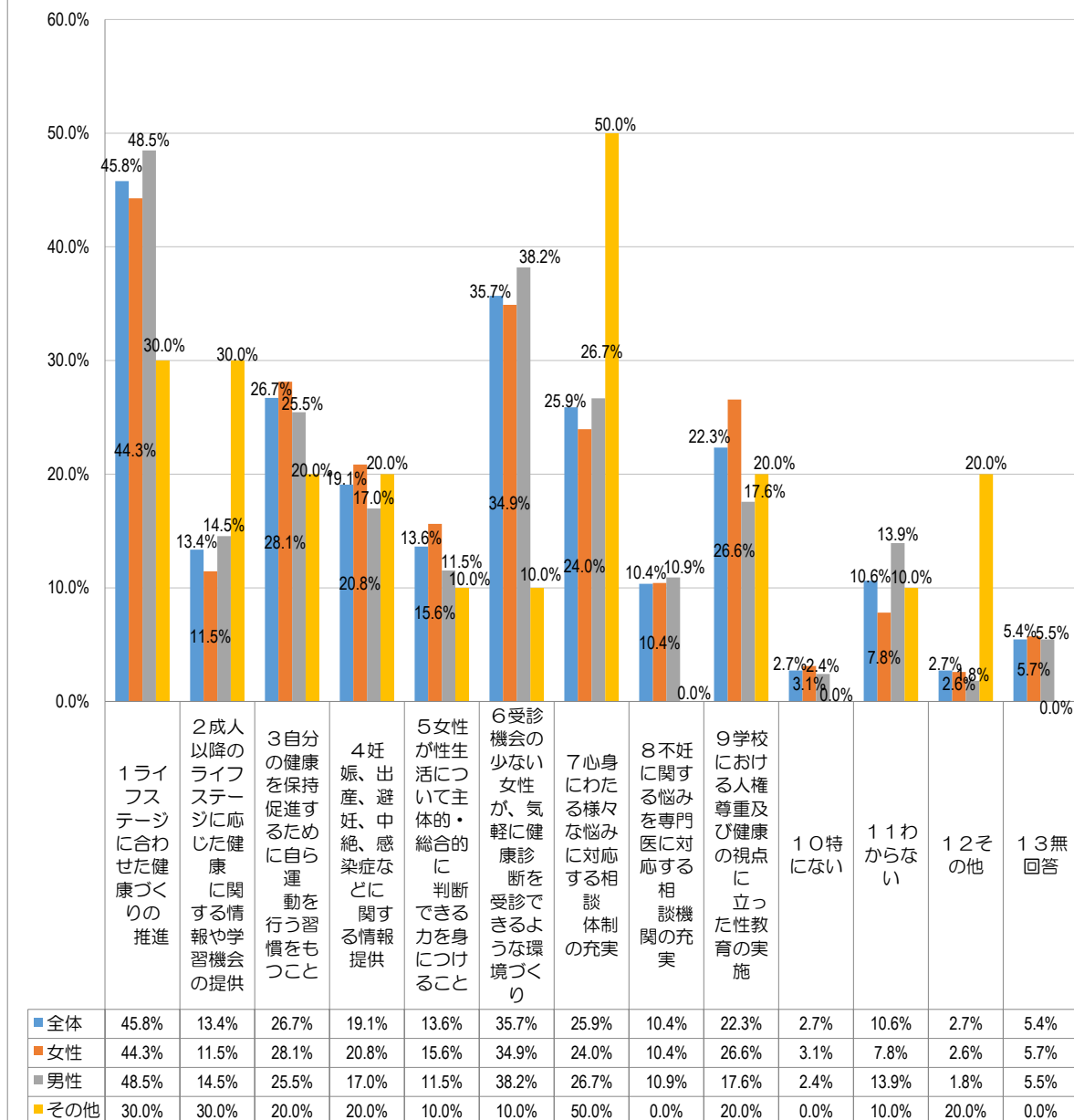
	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 ライフステージに合わせた健康づくりの推進	168	45.8%	85	44.3%	80	48.5%	3	30.0%	43.6%
2 成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会の提供	49	13.4%	22	11.5%	24	14.5%	3	30.0%	13.8%
3 自分の健康を保持促進するために自ら運動を行う習慣をもつこと	98	26.7%	54	28.1%	42	25.5%	2	20.0%	37.1%
4 妊娠、出産、避妊、中絶、感染症などに関する情報提供	70	19.1%	40	20.8%	28	17.0%	2	20.0%	13.5%
5 女性が性生活について主体的・総合的に判断できる力を身につけること	50	13.6%	30	15.6%	19	11.5%	1	10.0%	13.5%
6 受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり	131	35.7%	67	34.9%	63	38.2%	1	10.0%	44.5%
7 心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実	95	25.9%	46	24.0%	44	26.7%	5	50.0%	23.8%
8 不妊に関する悩みを専門医に対応する相談機関の充実	38	10.4%	20	10.4%	18	10.9%	0	0.0%	8.2%
9 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施	82	22.3%	51	26.6%	29	17.6%	2	20.0%	15.6%
1 0 特になし	10	2.7%	6	3.1%	4	2.4%	0	0.0%	3.3%
1 1 わからない	39	10.6%	15	7.8%	23	13.9%	1	10.0%	7.0%
1 2 その他	10	2.7%	5	2.6%	3	1.8%	2	20.0%	1.9%
1 3 無回答	20	5.4%	11	5.7%	9	5.5%	0	0.0%	4.7%
合計	860		452		386		22		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・ずっと健康一番
- ・家庭内での話し合いが何より大切だと思います
- ・農業、漁業などサラリーマンの妻でない人は、多項目の定期検診は受ける機会が少ないので国保の人対象の市からの健診はもう少し検査項目をふやすなどして、検診を細かくマメにした方がよい。
- ・男性が「女性」というものをもっと勉強するべき。男性の考え方・行動が変わらなければ何も変わらない。
- ・勤務形態の自由化。出産後も体調を崩しやすいので
- ・女性は本能としてキレイでありたい、美しくありたいので、毎日鏡を見たとくに私は可愛いと言う事です。
- ・理由の有無関係なく自分を愛する心を持つこと
- ・5においては女性に限らず男女ともに判断力を培うべき。
- ・幼児期からの性教育というか人間として人権を学ぶ（同和教育より多様性を認知できるように）

問3 2 女性が生涯にわたり心身ともに健康であるためには n=860人



「女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために、どのようなことが大切だと思いますか」について、全体では「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」と回答した人が45.8%で最も多く、次に「受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり」と回答した人が35.7%となっています。

女性・男性ともに「受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり」と回答した人が最も多くなっています。

女性がいくつになっても健康で、生き活きと毎日を通り越せるよう公的支援や気軽に健康診断を受診できるような環境づくりが大切です。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 ライフステージに合わせた健康づくりの推進	人数	7	4	11	15	9	10	29	0	85
	割合	43.8%	44.4%	50.0%	55.6%	32.1%	37.0%	46.0%	0.0%	44.3%
2 成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会の提供	人数	1	1	2	4	8	3	3	0	22
	割合	6.3%	11.1%	9.1%	14.8%	28.6%	11.1%	4.8%	0.0%	11.5%
3 自分の健康を保持促進するために自ら運動を行う習慣をもつこと	人数	2	4	2	10	4	9	23	0	54
	割合	12.5%	44.4%	9.1%	37.0%	14.3%	33.3%	36.5%	0.0%	28.1%
4 妊娠、出産、避妊、中絶、感染症などに関する情報提供	人数	6	3	8	4	2	7	10	0	40
	割合	37.5%	33.3%	36.4%	14.8%	7.1%	25.9%	15.9%	0.0%	20.8%
5 女性が性生活について主体的・総合的に判断できる力を身につけること	人数	1	1	5	3	6	3	11	0	30
	割合	6.3%	11.1%	22.7%	11.1%	21.4%	11.1%	17.5%	0.0%	15.6%
6 受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり	人数	7	3	10	10	11	9	17	0	67
	割合	43.8%	33.3%	45.5%	37.0%	39.3%	33.3%	27.0%	0.0%	34.9%
7 心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実	人数	5	1	2	7	9	8	14	0	46
	割合	31.3%	11.1%	9.1%	25.9%	32.1%	29.6%	22.2%	0.0%	24.0%
8 不妊に関する悩みを専門医に対応する相談機関の充実	人数	1	1	4	4	2	5	3	0	20
	割合	6.3%	11.1%	18.2%	14.8%	7.1%	18.5%	4.8%	0.0%	10.4%
9 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施	人数	5	5	8	5	7	3	18	0	51
	割合	31.3%	55.6%	36.4%	18.5%	25.0%	11.1%	28.6%	0.0%	26.6%
10 特になし	人数	1	0	1	1	1	0	2	0	6
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	3.7%	3.6%	0.0%	3.2%	0.0%	3.1%
11 わからない	人数	1	0	1	0	4	4	5	0	15
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	0.0%	14.3%	14.8%	7.9%	0.0%	7.8%
12 その他	人数	0	0	1	1	1	1	1	0	5
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	3.7%	3.6%	3.7%	1.6%	0.0%	2.6%
13 無回答	人数	0	0	0	0	1	1	9	0	11
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.7%	14.3%	0.0%	5.7%
合計	人数	37	23	55	64	65	63	145	0	452
	割合	19.3%	12.0%	28.6%	33.3%	33.9%	32.8%	75.5%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 ライフステージに合わせた健康づくりの推進	人数	7	4	4	12	5	22	26	0	80
	割合	50.0%	80.0%	40.0%	52.2%	31.3%	56.4%	44.8%	0.0%	48.5%
2 成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会の提供	人数	1	0	2	2	4	9	6	0	24
	割合	7.1%	0.0%	20.0%	8.7%	25.0%	23.1%	10.3%	0.0%	14.5%
3 自分の健康を保持促進するために自ら運動を行う習慣をもつこと	人数	4	1	0	9	3	9	16	0	42
	割合	28.6%	20.0%	0.0%	39.1%	18.8%	23.1%	27.6%	0.0%	25.5%
4 妊娠、出産、避妊、中絶、感染症などに関する情報提供	人数	7	1	2	6	2	4	6	0	28
	割合	50.0%	20.0%	20.0%	26.1%	12.5%	10.3%	10.3%	0.0%	17.0%
5 女性が性生活について主体的・総合的に判断できる力を身につけること	人数	3	1	2	1	0	4	8	0	19
	割合	21.4%	20.0%	20.0%	4.3%	0.0%	10.3%	13.8%	0.0%	11.5%
6 受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり	人数	3	2	5	10	6	19	18	0	63
	割合	21.4%	40.0%	50.0%	43.5%	37.5%	48.7%	31.0%	0.0%	38.2%
7 心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実	人数	5	0	2	4	4	11	18	0	44
	割合	35.7%	0.0%	20.0%	17.4%	25.0%	28.2%	31.0%	0.0%	26.7%
8 不妊に関する悩みを専門医に対応する相談機関の充実	人数	1	1	2	4	1	6	3	0	18
	割合	7.1%	20.0%	20.0%	17.4%	6.3%	15.4%	5.2%	0.0%	10.9%
9 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施	人数	4	1	1	1	1	9	12	0	29
	割合	28.6%	20.0%	10.0%	4.3%	6.3%	23.1%	20.7%	0.0%	17.6%
10 特になし	人数	0	0	0	0	1	1	2	0	4
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	2.6%	3.4%	0.0%	2.4%
11 わからない	人数	1	1	1	4	4	4	8	0	23
	割合	7.1%	20.0%	10.0%	17.4%	25.0%	10.3%	13.8%	0.0%	13.9%
12 その他	人数	1	0	0	1	1	0	0	0	3
	割合	7.1%	0.0%	0.0%	4.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
13 無回答	人数	0	0	0	0	0	1	8	0	9
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	13.8%	0.0%	5.5%
合計	人数	37	12	21	54	32	99	131	0	386
	割合	22.4%	7.3%	12.7%	32.7%	19.4%	60.0%	79.4%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 ライフステージに合わせた健康づくりの推進	人数	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
2 成人以降のライフステージに応じた健康に関する情報や学習機会の提供	人数	1	0	2	0	0	0	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%
3 自分の健康を保持促進するために自ら運動を行う習慣をもつこと	人数	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	20.0%
4 妊娠、出産、避妊、中絶、感染症などに関する情報提供	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
5 女性が性生活について主体的・総合的に判断できる力を身につけること	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
6 受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
7 心身にわたる様々な悩みに対応する相談体制の充実	人数	1	0	3	0	0	1	0	0	5
	割合	50.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%
8 不妊に関する悩みを専門医に対応する相談機関の充実	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 学校における人権尊重及び健康の視点に立った性教育の実施	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	20.0%
10 特になし	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11 わからない	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	10.0%
12 その他	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%
13 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	6	0	10	0	0	5	1	0	22
	割合	60.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	

◆ハラスメントについて

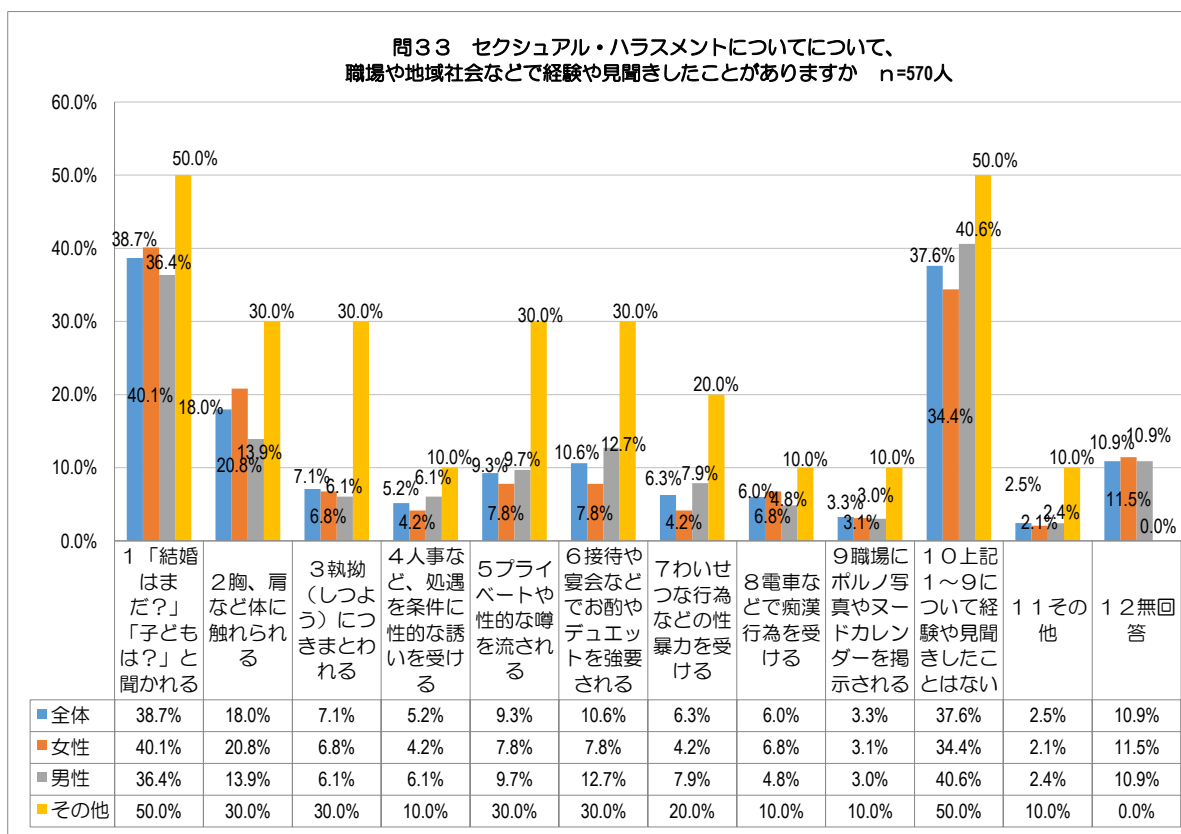
問33 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）について、職場や地域社会などで経験や見聞きしたことがありますか。（あてはまるものすべて）

	全体		女性		男性		その他		前回全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1「結婚はまだ?」「子どもは?」と聞かれる	142	38.7%	77	40.1%	60	36.4%	5	50.0%	39.6%
2胸、肩など体に触れられる	66	18.0%	40	20.8%	23	13.9%	3	30.0%	22.4%
3執拗（しつよう）につきまとわれる	26	7.1%	13	6.8%	10	6.1%	3	30.0%	8.2%
4人事など、処遇を条件に性的な誘いを受ける	19	5.2%	8	4.2%	10	6.1%	1	10.0%	4.9%
5プライベートや性的な噂を流される	34	9.3%	15	7.8%	16	9.7%	3	30.0%	8.6%
6接待や宴会などでお酌やデュエットを強要される	39	10.6%	15	7.8%	21	12.7%	3	30.0%	15.4%
7わいせつな行為などの性暴力を受ける	23	6.3%	8	4.2%	13	7.9%	2	20.0%	4.7%
8電車などで痴漢行為を受ける	22	6.0%	13	6.8%	8	4.8%	1	10.0%	7.9%
9職場にポルノ写真やヌードカレンダーを掲示される	12	3.3%	6	3.1%	5	3.0%	1	10.0%	2.3%
10上記1～9について経験や見聞きしたことはない	138	37.6%	66	34.4%	67	40.6%	5	50.0%	29.8%
11 その他	9	2.5%	4	2.1%	4	2.4%	1	10.0%	2.1%
12 無回答	40	10.9%	22	11.5%	18	10.9%	0	0.0%	13.8%
合計	570		287		255		28		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・昔はあったが今はない。
- ・専業主婦であるので職場で経験がない
- ・家に来ようとする
- ・言葉を聞いたことがある
- ・身体の特徴について（太っているとか）
- ・盗撮される。しつこく連絡がくる。



「セクシュアル・ハラスメントについて職場や地域社会などで経験や見聞きしたことがありますか」について、全体では「結婚はまだ?子どもは?と聞かれる」と回答した人が38.7%で最も多く、次に「上記1～9について経験や見聞きしたことはない」と回答した人が37.6%となっています。

女性は「結婚はまだ?子どもは?と聞かれる」と回答した人が40.1%で最も多く、男性は「上記1～9について経験や見聞きしたことはない」と回答した人が40.6%で最も多くなっています。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1「結婚はまだ?」「子どもは?」と聞かれる	人数	2	5	10	14	13	11	22	0	77
	割合	12.5%	55.6%	45.5%	51.9%	46.4%	40.7%	34.9%	0.0%	40.1%
2胸、肩など体に触れられる	人数	2	3	3	7	6	6	13	0	40
	割合	12.5%	33.3%	13.6%	25.9%	21.4%	22.2%	20.6%	0.0%	20.8%
3執拗(しつよう)につきまとわれる	人数	1	3	2	1	1	1	4	0	13
	割合	6.3%	33.3%	9.1%	3.7%	3.6%	3.7%	6.3%	0.0%	6.8%
4人事など、処遇を条件に性的な誘いを受ける	人数	1	0	1	0	2	1	3	0	8
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	0.0%	7.1%	3.7%	4.8%	0.0%	4.2%
5プライベートや性的な噂を流される	人数	1	1	3	2	1	1	6	0	15
	割合	6.3%	11.1%	13.6%	7.4%	3.6%	3.7%	9.5%	0.0%	7.8%
6接待や宴会などでお酌やデュエットを強要される	人数	0	1	4	1	2	3	4	0	15
	割合	0.0%	11.1%	18.2%	3.7%	7.1%	11.1%	6.3%	0.0%	7.8%
7わいせつな行為などの性暴力を受ける	人数	1	0	3	1	1	0	2	0	8
	割合	6.3%	0.0%	13.6%	3.7%	3.6%	0.0%	3.2%	0.0%	4.2%
8電車などで痴漢行為を受ける	人数	1	2	2	1	1	2	4	0	13
	割合	6.3%	22.2%	9.1%	3.7%	3.6%	7.4%	6.3%	0.0%	6.8%
9職場にポルノ写真やヌードカレンダーを掲示される	人数	0	0	1	0	1	0	4	0	6
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	3.6%	0.0%	6.3%	0.0%	3.1%
10上記1～9について経験や見聞きしたことはない	人数	10	2	11	10	9	9	15	0	66
	割合	62.5%	22.2%	50.0%	37.0%	32.1%	33.3%	23.8%	0.0%	34.4%
11その他	人数	0	0	1	0	1	0	2	0	4
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	3.6%	0.0%	3.2%	0.0%	2.1%
12無回答	人数	0	0	0	0	4	2	16	0	22
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.4%	25.4%	0.0%	11.5%
合計	人数	19	17	41	37	42	36	95	0	287
	割合	9.9%	8.9%	21.4%	19.3%	21.9%	18.8%	49.5%	0.0%	

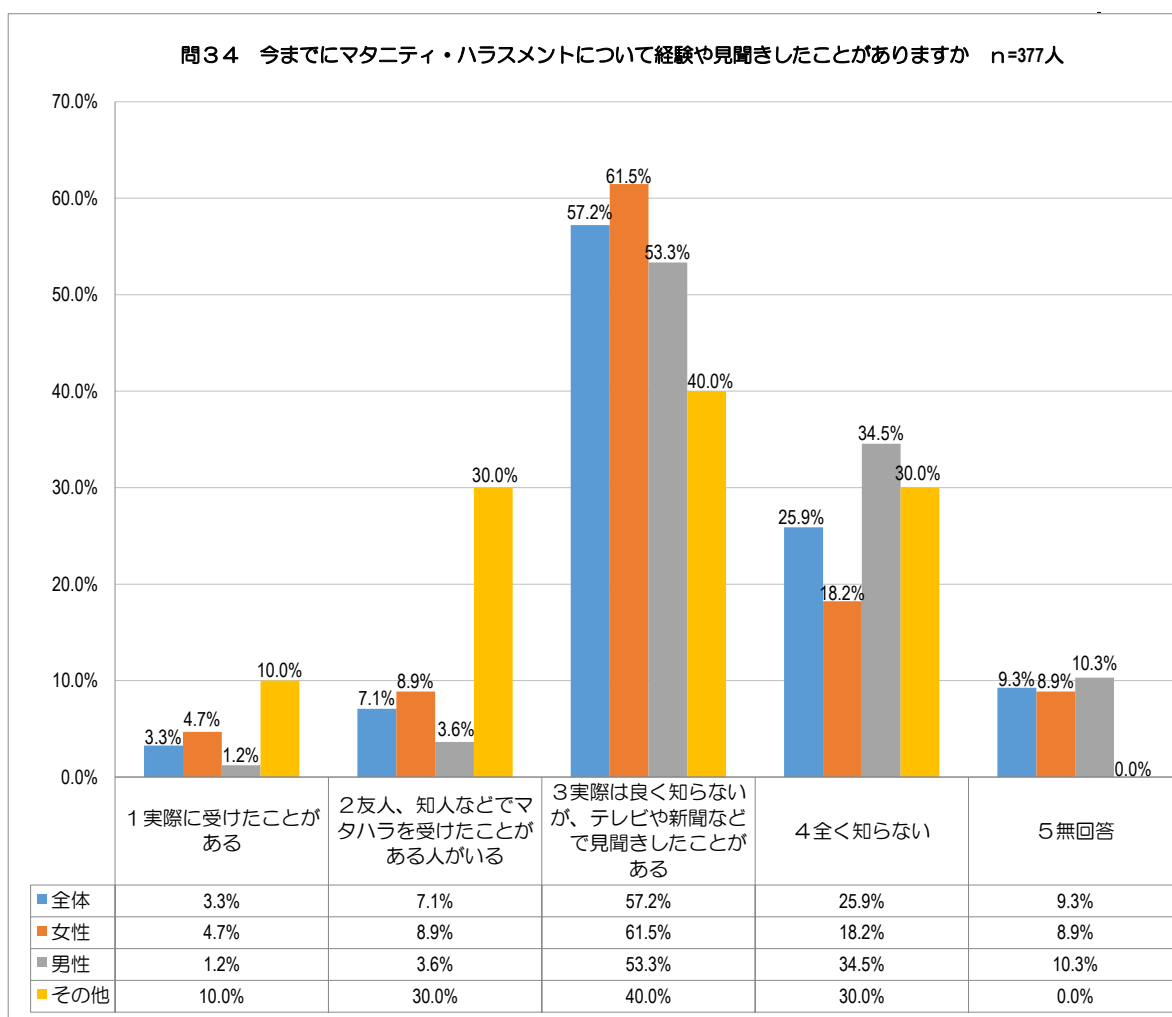
【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1「結婚はまだ?」「子どもは?」と聞かれる	人数	2	2	7	13	4	13	19	0	60
	割合	14.3%	40.0%	70.0%	56.5%	25.0%	33.3%	32.8%	0.0%	36.4%
2胸、肩など体に触れられる	人数	3	0	1	4	1	5	9	0	23
	割合	21.4%	0.0%	10.0%	17.4%	6.3%	12.8%	15.5%	0.0%	13.9%
3執拗(しつよう)につきまとわれる	人数	2	0	2	0	0	6	0	0	10
	割合	14.3%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	6.1%
4人事など、処遇を条件に性的な誘いを受ける	人数	3	0	1	1	1	4	0	0	10
	割合	21.4%	0.0%	10.0%	4.3%	6.3%	10.3%	0.0%	0.0%	6.1%
5プライベートや性的な噂を流される	人数	2	0	2	2	1	5	4	0	16
	割合	14.3%	0.0%	20.0%	8.7%	6.3%	12.8%	6.9%	0.0%	9.7%
6接待や宴会などでお酌やデュエットを強要される	人数	1	0	3	2	0	5	10	0	21
	割合	7.1%	0.0%	30.0%	8.7%	0.0%	12.8%	17.2%	0.0%	12.7%
7わいせつな行為などの性暴力を受ける	人数	1	0	1	2	1	7	1	0	13
	割合	7.1%	0.0%	10.0%	8.7%	6.3%	17.9%	1.7%	0.0%	7.9%
8電車などで痴漢行為を受ける	人数	1	0	1	0	1	5	0	0	8
	割合	7.1%	0.0%	10.0%	0.0%	6.3%	12.8%	0.0%	0.0%	4.8%
9職場にポルノ写真やヌードカレンダーを掲示される	人数	1	0	1	0	0	2	1	0	5
	割合	7.1%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	5.1%	1.7%	0.0%	3.0%
10上記1～9について経験や見聞きしたことはない	人数	10	2	2	8	8	16	21	0	67
	割合	71.4%	40.0%	20.0%	34.8%	50.0%	41.0%	36.2%	0.0%	40.6%
11その他	人数	0	0	0	0	2	0	2	0	4
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	3.4%	0.0%	2.4%
12無回答	人数	0	1	0	0	0	5	12	0	18
	割合	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	20.7%	0.0%	10.9%
合計	人数	26	5	21	32	19	73	79	0	255
	割合	15.8%	3.0%	12.7%	19.4%	11.5%	44.2%	47.9%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1「結婚はまだ?」「子どもは?」と聞かれる	人数	0	0	3	0	1	1	0	0	5
	割合	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%
2胸、肩など体に触れられる	人数	0	0	2	0	0	1	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
3執拗(しつよう)につきまとわれる	人数	0	0	2	0	0	1	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
4人事など、処遇を条件に性的な誘いを受ける	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
5プライベートや性的な噂を流される	人数	0	0	2	0	0	1	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
6接待や宴会などでお酌やチュエットを強要される	人数	0	0	2	0	0	1	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
7わいせつな行為などの性暴力を受ける	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	20.0%
8電車などで痴漢行為を受ける	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
9職場にポルノ写真やヌードカレンダーを掲示される	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	10.0%
10上記1~9について経験や見聞きしたことはない	人数	2	0	1	0	2	0	0	0	5
	割合	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
11その他	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
12無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	16	0	3	7	0	0	28
	割合	20.0%	0.0%	160.0%	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	

問34 今までにマタニティ・ハラスメント（マタハラ）についての経験や聞きしたことがありますか。
（複数回答）

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 実際に受けたことがある	12	3.3%	9	4.7%	2	1.2%	1	10.0%	1.2%
2 友人、知人などでマタハラを受けたことがある人がある	26	7.1%	17	8.9%	6	3.6%	3	30.0%	5.6%
3 実際は良く知らないが、テレビや新聞などで聞きしたことがある	210	57.2%	118	61.5%	88	53.3%	4	40.0%	68.5%
4 全く知らない	95	25.9%	35	18.2%	57	34.5%	3	30.0%	18.9%
5 無回答	34	9.3%	17	8.9%	17	10.3%	0	0.0%	7.2%
合計	377		196		170		11		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「今までにマタニティ・ハラスメント（マタハラ）について、経験や聞きしたことがありますか」について、全体では「実際は良く知らないが、テレビや新聞などで聞きしたことがある」と回答した人が57.2%で最も多く、次に「全く知らない」と回答した人が25.9%となっています。

女性・男性ともに「実際はよく知らないが、テレビや新聞などで聞きしたことがある」と回答した人が最も多く、女性が61.5%、男性が53.3%という結果になっています。

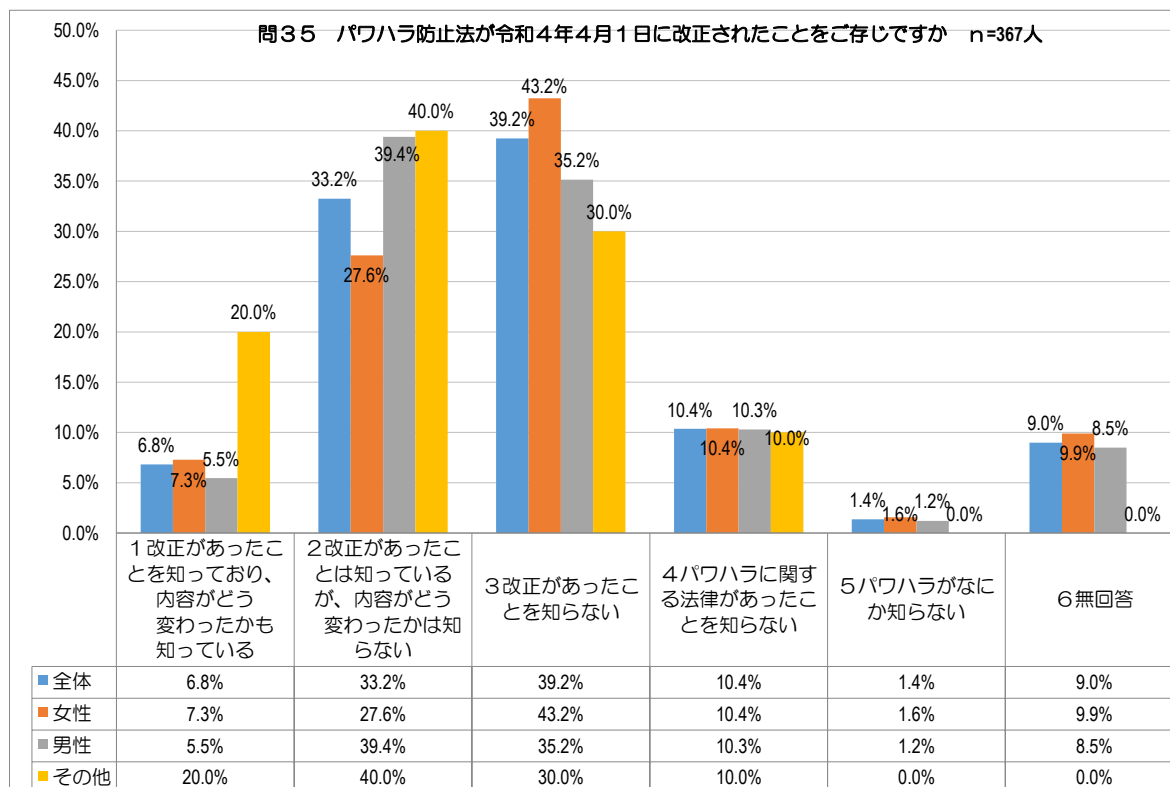
今後も企業や各種団体等の研修会、学習会等を通じて啓発活動に努めていくことが大切です。

			1 実際に 受けたこと がある	2 友人・ 知人など 受けたこと がある 人がいる	3 聞いた ことはあ るが内容 は知らない	4 全く知 らない	5 無回答	合計
18~19歳	1女性	人	0	1	10	5	0	16
		割合	0.0%	6.3%	62.5%	31.3%	0.0%	8.3%
	2男性	人	0	0	4	10	0	14
		割合	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	8.5%
	3その他	人	0	0	1	1	0	2
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	20.0%
20~29歳	1女性	人	0	1	5	3	0	9
		割合	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	4.7%
	2男性	人	0	0	3	2	0	5
		割合	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	3.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30~39歳	1女性	人	2	4	17	0	0	23
		割合	9.1%	18.2%	77.3%	0.0%	0.0%	12.0%
	2男性	人	0	0	6	3	1	10
		割合	0.0%	0.0%	60.0%	30.0%	10.0%	6.1%
	3その他	人	0	2	2	0	0	4
		割合	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	40.0%
40~49歳	1女性	人	3	2	20	3	0	28
		割合	11.1%	7.4%	74.1%	11.1%	0.0%	14.6%
	2男性	人	1	1	17	5	0	24
		割合	4.3%	4.3%	73.9%	21.7%	0.0%	14.5%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50~59歳	1女性	人	1	3	12	9	3	28
		割合	3.6%	10.7%	42.9%	32.1%	10.7%	14.6%
	2男性	人	0	0	7	9	0	16
		割合	0.0%	0.0%	43.8%	56.3%	0.0%	9.7%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60~69歳	1女性	人	1	3	17	6	1	28
		割合	3.7%	11.1%	63.0%	22.2%	3.7%	14.6%
	2男性	人	1	5	22	13	2	43
		割合	2.6%	12.8%	56.4%	33.3%	5.1%	26.1%
	3その他	人	0	0	1	2	0	3
		割合	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	30.0%
70歳以上	1女性	人	2	3	37	9	13	64
		割合	3.2%	4.8%	58.7%	14.3%	20.6%	33.3%
	2男性	人	0	0	29	15	14	58
		割合	0.0%	0.0%	50.0%	25.9%	24.1%	35.2%
	3その他	人	1	1	0	0	0	2
		割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
無回答	1女性	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2男性	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3その他	人	0	0	0	0	0	0
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1女性	人	9	17	118	35	17	196
		割合	4.7%	8.9%	61.5%	18.2%	8.9%	
	2男性	人	2	6	88	57	17	170
		割合	1.2%	3.6%	53.3%	34.5%	10.3%	
	3その他	人	1	3	4	3	0	11
		割合	10.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%	

★問35 あなたは、労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」（パワハラ防止法）が令和4年4月1日に改正されたことをご存じですか。（1つだけ）

	全体		女性		男性		その他	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
1 改正があったことを知っており、内容がどう変わったかも知っている	25	6.8%	14	7.3%	9	5.5%	2	20.0%
2 改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない	122	33.2%	53	27.6%	65	39.4%	4	40.0%
3 改正があったことを知らない	144	39.2%	83	43.2%	58	35.2%	3	30.0%
4 パワハラに関する法律があったことを知らない	38	10.4%	20	10.4%	17	10.3%	1	10.0%
5 パワハラがなにか知らない	5	1.4%	3	1.6%	2	1.2%	0	0.0%
6 無回答	33	9.0%	19	9.9%	14	8.5%	0	0.0%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「パワハラ防止法が令和4年4月1日に改正されたことをご存じですか」について、全体では「改正があったことを知らない」と回答した人が39.2%で最も多く、次に「改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない」と回答した人が33.2%となっています。

改正があったことを知っている人は約4割という結果となりました。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 改正があったことを知っており、内容がどう変わったかも知っている	人数	0	1	3	1	2	3	4	0	14
	割合	0.0%	11.1%	13.6%	3.7%	7.1%	11.1%	6.3%	0.0%	7.3%
2 改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない	人数	2	2	4	10	10	9	16	0	53
	割合	12.5%	22.2%	18.2%	37.0%	35.7%	33.3%	25.4%	0.0%	27.6%
3 改正があったことを知らない	人数	10	5	13	14	11	8	22	0	83
	割合	62.5%	55.6%	59.1%	51.9%	39.3%	29.6%	34.9%	0.0%	43.2%
4 パワハラに関する法律があったことを知らない	人数	4	1	2	2	2	4	5	0	20
	割合	25.0%	11.1%	9.1%	7.4%	7.1%	14.8%	7.9%	0.0%	10.4%
5 パワハラがなにか知らない	人数	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	3.2%	0.0%	1.6%
6 無回答	人数	0	0	0	0	3	2	14	0	19
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	7.4%	22.2%	0.0%	9.9%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	8.3%	4.7%	11.5%	14.1%	14.6%	14.1%	32.8%	0.0%	100.0%

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 改正があったことを知っており、内容がどう変わったかも知っている	人数	0	0	0	3	0	3	3	0	9
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	7.7%	5.2%	0.0%	5.5%
2 改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない	人数	4	3	2	11	5	16	24	0	65
	割合	28.6%	60.0%	20.0%	47.8%	31.3%	41.0%	41.4%	0.0%	39.4%
3 改正があったことを知らない	人数	5	2	5	8	8	17	13	0	58
	割合	35.7%	40.0%	50.0%	34.8%	50.0%	43.6%	22.4%	0.0%	35.2%
4 パワハラに関する法律があったことを知らない	人数	5	0	2	1	3	2	4	0	17
	割合	35.7%	0.0%	20.0%	4.3%	18.8%	5.1%	6.9%	0.0%	10.3%
5 パワハラがなにか知らない	人数	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.2%
6 無回答	人数	0	0	1	0	0	1	12	0	14
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	2.6%	20.7%	0.0%	8.5%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	8.5%	3.0%	6.1%	13.9%	9.7%	23.6%	35.2%	0.0%	100.0%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 改正があったことを知っており、内容がどう変わったかも知っている	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%
2 改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない	人数	1	0	2	0	0	1	0	0	4
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	40.0%
3 改正があったことを知らない	人数	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	30.0%
4 パワハラに関する法律があったことを知らない	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
5 パワハラがなにか知らない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%

労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」（パワハラ防止法）とは？



■労働施策総合推進法（第三十条の二）

事業主は、職場において行われる優越的な関係を背景とした言動であつて、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、その雇用する労働者の就業環境が害されることのないよう当該労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備その他の雇用管理上必要な措置を講じなければならない。

令和2年6月1日に大企業に「改正 労働施策総合推進法」が施行されましたが



つまり・・・

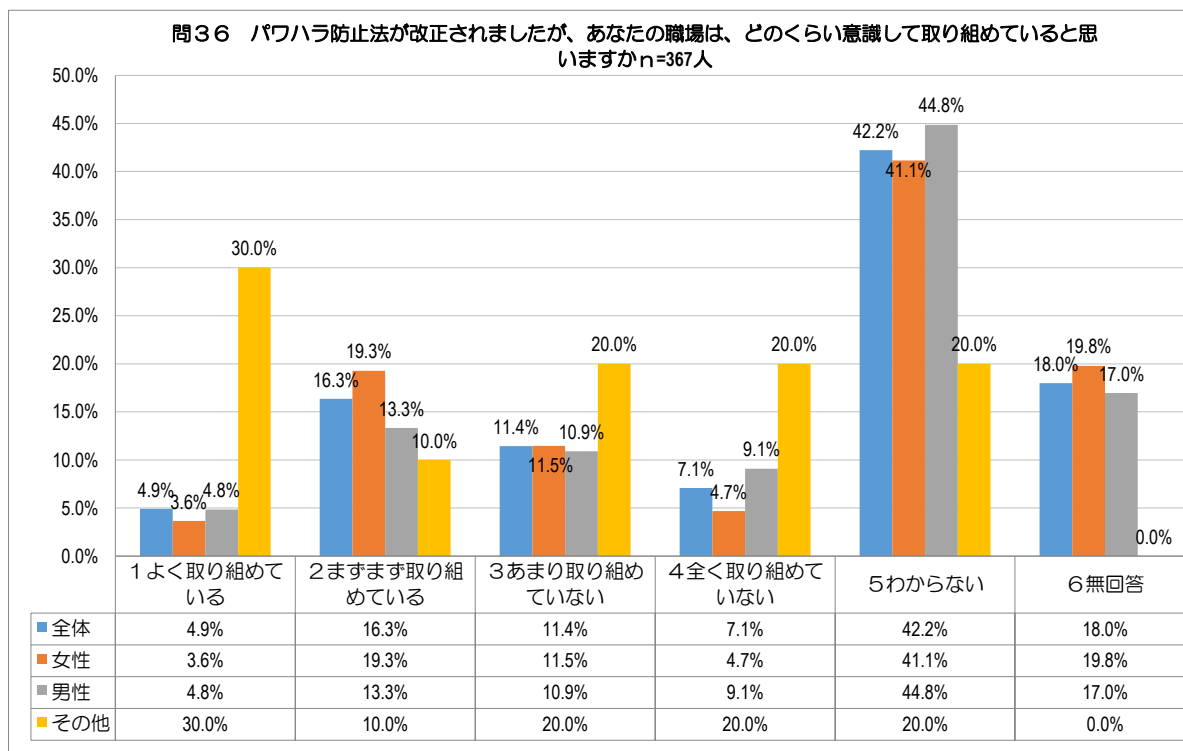
職場で行われる、①～③の要素を全て満たす行為が「パワーハラスメント」と定義されます。

- ①優越的な関係を背景とした言動
- ②業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの
- ③労働者の就業環境が害されるもの

★問36 労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」（パワハラ防止法）が改正されましたが、あなたの職場は、どのくらい意識して取り組んでいると思いますか。（1つだけ）

	全体		女性		男性		その他	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
1よく取り組んでいる	18	4.9%	7	3.6%	8	4.8%	3	30.0%
2ますます取り組んでいる	60	16.3%	37	19.3%	22	13.3%	1	10.0%
3あまり取り組めていない	42	11.4%	22	11.5%	18	10.9%	2	20.0%
4全く取り組めていない	26	7.1%	9	4.7%	15	9.1%	2	20.0%
5わからない	155	42.2%	79	41.1%	74	44.8%	2	20.0%
6無回答	66	18.0%	38	19.8%	28	17.0%	0	0.0%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「パワハラ防止法が改正されましたが、あなたの職場は、どのくらい意識して取り組んでいると思いますか」について、全体では「わからない」と回答した人が42.2%で最も多く、次に「無回答」が18.0%となっています。

問35でパワハラ防止法の改正があったことを知らなかった人が約6割いたことから、職場の取組状況がわからないと答える人が多くを占めました。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1よく取り組んでいる	人数	0	1	0	2	2	2	0	0	7
	割合	0.0%	11.1%	0.0%	7.4%	7.1%	7.4%	0.0%	0.0%	3.6%
2ますます取り組んでいる	人数	3	2	8	8	7	7	2	0	37
	割合	18.8%	22.2%	36.4%	29.6%	25.0%	25.9%	3.2%	0.0%	19.3%
3あまり取り組んでいない	人数	1	0	3	4	6	6	2	0	22
	割合	6.3%	0.0%	13.6%	14.8%	21.4%	22.2%	3.2%	0.0%	11.5%
4全く取り組んでいない	人数	1	1	1	4	1	0	1	0	9
	割合	6.3%	11.1%	4.5%	14.8%	3.6%	0.0%	1.6%	0.0%	4.7%
5わからない	人数	11	5	10	8	7	8	30	0	79
	割合	68.8%	55.6%	45.5%	29.6%	25.0%	29.6%	47.6%	0.0%	41.1%
6無回答	人数	0	0	0	1	5	4	28	0	38
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	17.9%	14.8%	44.4%	0.0%	19.8%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	8.3%	4.7%	11.5%	14.1%	14.6%	14.1%	32.8%	0.0%	100.0%

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1よく取り組んでいる	人数	0	0	0	0	3	3	2	0	8
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	7.7%	3.4%	0.0%	4.8%
2ますます取り組んでいる	人数	2	2	0	8	1	5	4	0	22
	割合	14.3%	40.0%	0.0%	34.8%	6.3%	12.8%	6.9%	0.0%	13.3%
3あまり取り組んでいない	人数	0	1	2	6	3	3	3	0	18
	割合	0.0%	20.0%	20.0%	26.1%	18.8%	7.7%	5.2%	0.0%	10.9%
4全く取り組んでいない	人数	0	0	2	5	4	3	1	0	15
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	21.7%	25.0%	7.7%	1.7%	0.0%	9.1%
5わからない	人数	12	2	5	4	4	20	27	0	74
	割合	85.7%	40.0%	50.0%	17.4%	25.0%	51.3%	46.6%	0.0%	44.8%
6無回答	人数	0	0	1	0	1	5	21	0	28
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	6.3%	12.8%	36.2%	0.0%	17.0%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	8.5%	3.0%	6.1%	13.9%	9.7%	23.6%	35.2%	0.0%	100.0%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1よく取り組んでいる	人数	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	30.0%
2ますます取り組んでいる	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	10.0%
3あまり取り組んでいない	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%
4全く取り組んでいない	人数	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
5わからない	人数	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	20.0%
6無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%

◆ドメスティック・バイオレンス：DV（夫婦間・恋人間の暴力について）

問37 配偶者（恋人間も含む）から受けた精神的、肉体的苦痛について、この1年までに経験したことがありますか。（複数回答）

全体		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
a 身体的暴力 たたかれる、なぐられる、けられる、物を投げつけられる、首をしめられる、刃物などでおどされる など	人数	14	34	282	37	367
	割合(%)	3.8%	9%	77%	10%	100%
b 精神的暴力 無視される、大声でどなられる、人前でバカにされる、人格を否定されるような暴言を吐かれる、脅迫される など	人数	44	55	228	40	367
	割合(%)	12.0%	15.0%	62.1%	10.9%	100%
c 性的暴力 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる、性的行為を強要される、避妊に協力してくれない など	人数	8	25	292	42	367
	割合(%)	2.2%	6.8%	79.6%	11.4%	100%
d 経済的暴力 生活費を渡さない・使わせない、借金を強要される、「誰のおかげで生活できるんだ」などと見下し言われる など	人数	13	20	291	43	367
	割合(%)	3.5%	5.4%	79.3%	11.7%	100%
e 社会的暴力 外出を制限される、交友関係・電話やメールを細かくチェックされる など	人数	14	17	296	40	367
	割合(%)	3.8%	4.6%	80.7%	10.9%	100%

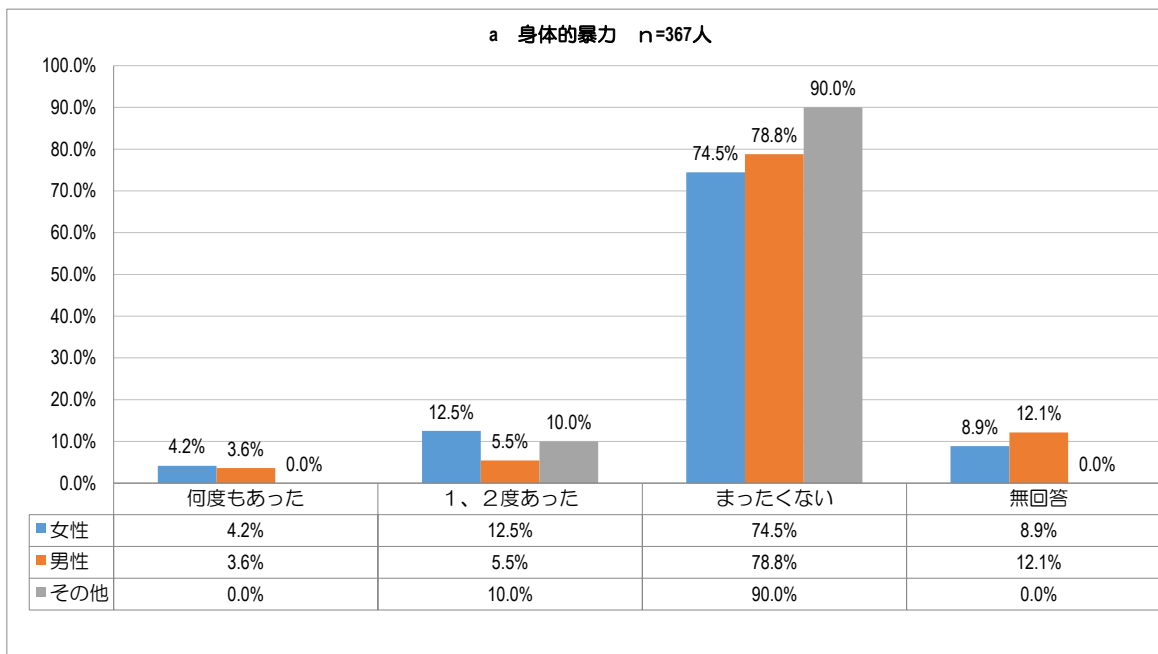
※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

「配偶者（恋人間も含む）から受けた精神的、肉体的苦痛について、この1年までに経験したことがありますか」について、a～e全てで「全くない」と回答した人が最も多くなっています。

その中で経験したことがある項目は「精神的暴力」と回答した人が最も多く、27.0%となっています。

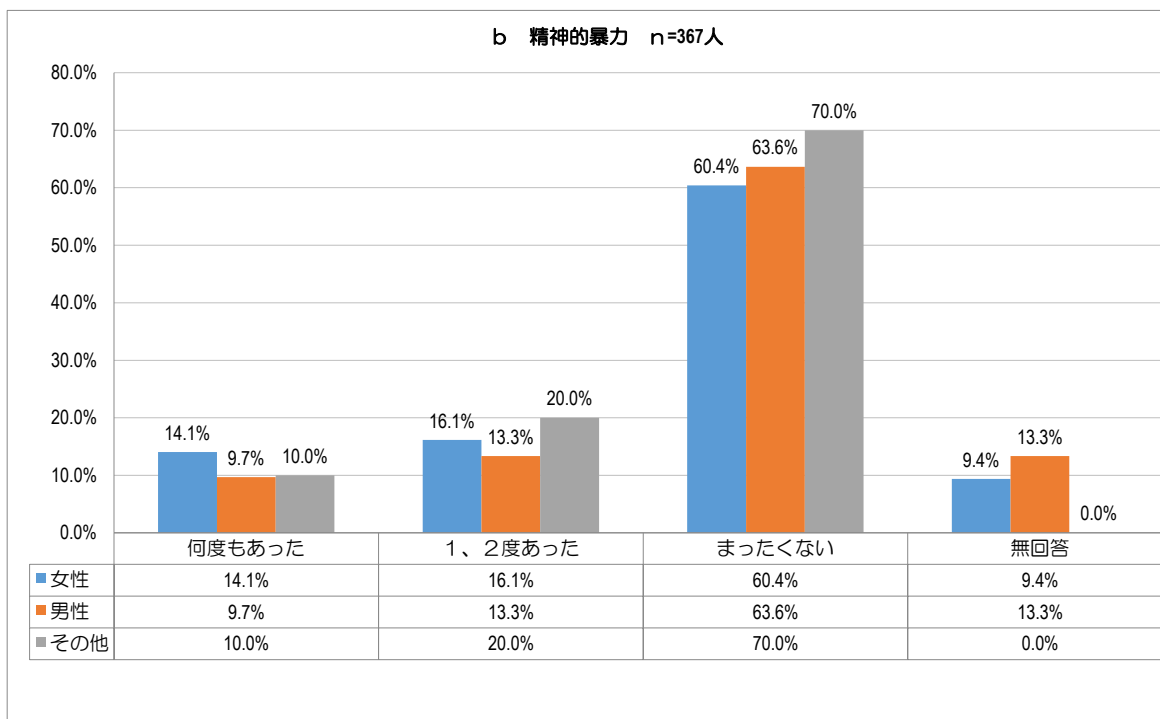
a 身体的暴力

		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
女性	人数	8	24	143	17	192
	割合(%)	4.2%	12.5%	74.5%	8.9%	100%
男性	人数	6	9	130	20	165
	割合(%)	3.6%	5.5%	78.8%	12.1%	100%
その他	人数	0	1	9	0	10
	割合(%)	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	100%
合計	人数	14	34	282	37	367
	割合(%)	3.8%	9.3%	76.8%	10.1%	100%



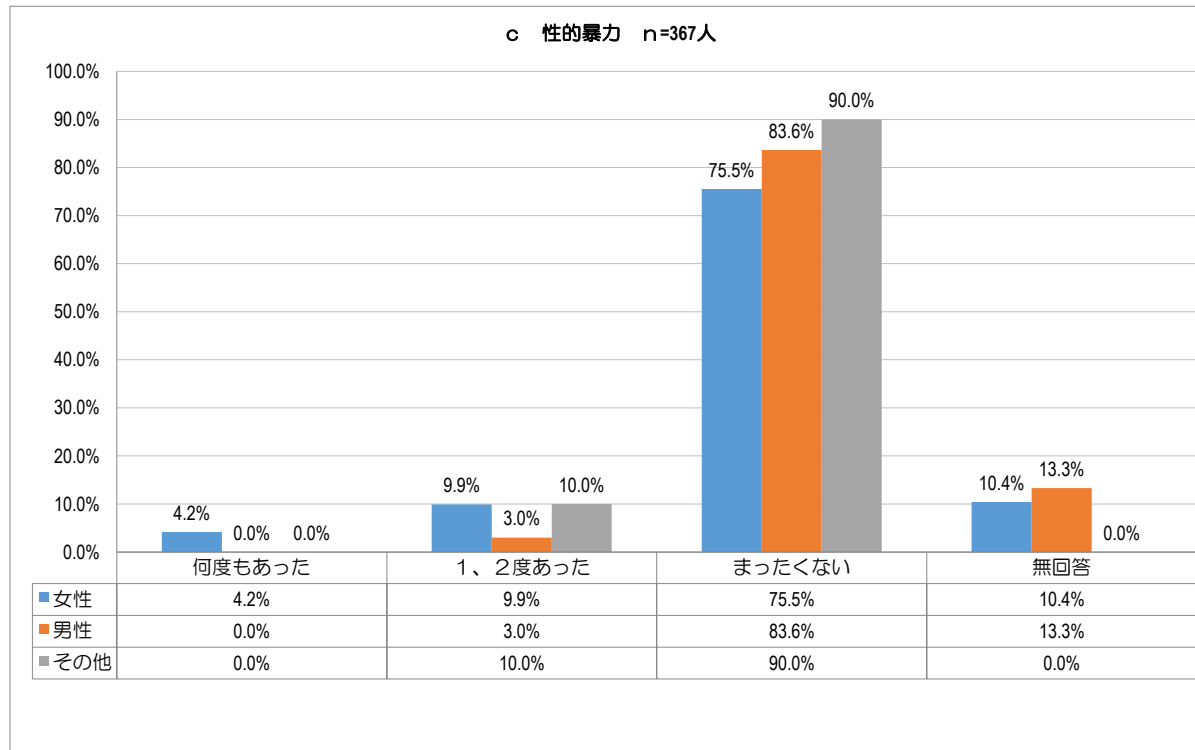
b 精神的暴力

		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
女性	人数	27	31	116	18	192
	割合(%)	14.1%	16.1%	60.4%	9.4%	100%
男性	人数	16	22	105	22	165
	割合(%)	9.7%	13.3%	63.6%	13.3%	100%
その他	人数	1	2	7	0	10
	割合(%)	10.0%	20.0%	70.0%	0.0%	100%
合計	人数	44	55	228	40	367
	割合(%)	12.0%	15.0%	62.1%	10.9%	100%



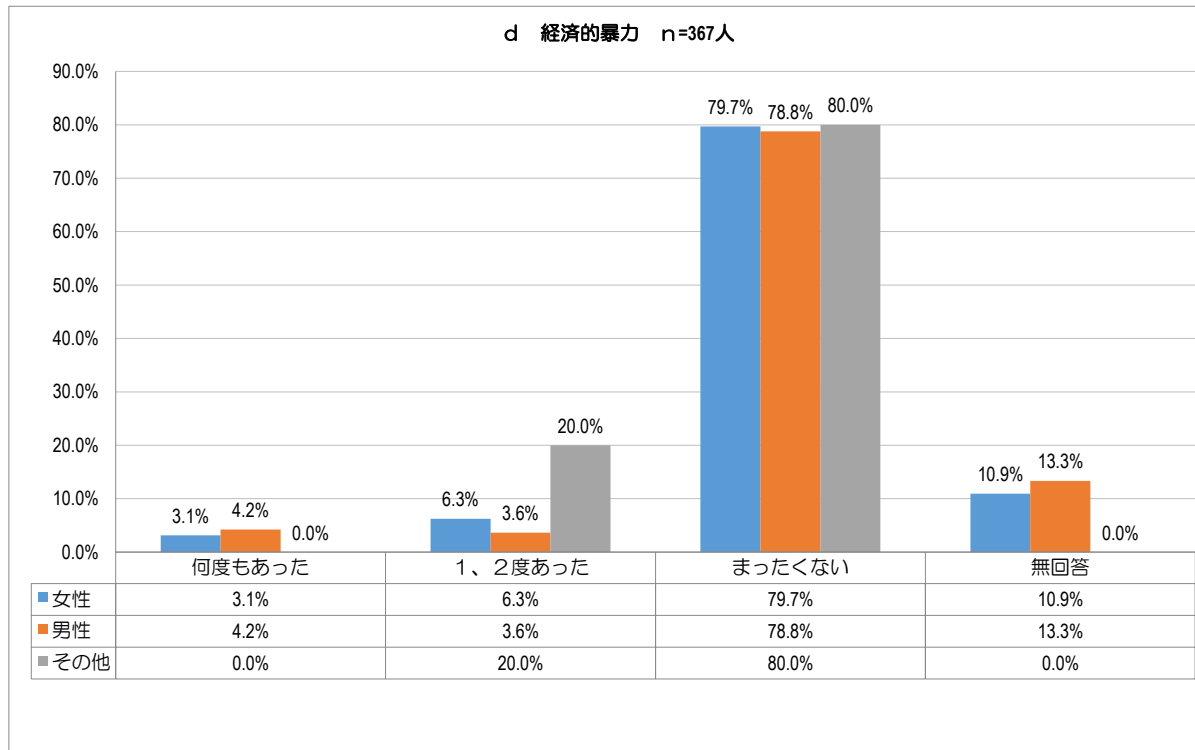
c 性的暴力

		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
女性	人数	8	19	145	20	192
	割合(%)	4.2%	9.9%	75.5%	10.4%	100%
男性	人数	0	5	138	22	165
	割合(%)	0.0%	3.0%	83.6%	13.3%	100%
その他	人数	0	1	9	0	10
	割合(%)	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	100%
合計	人数	8	25	292	42	367
	割合(%)	2.2%	6.8%	79.6%	11.4%	100%



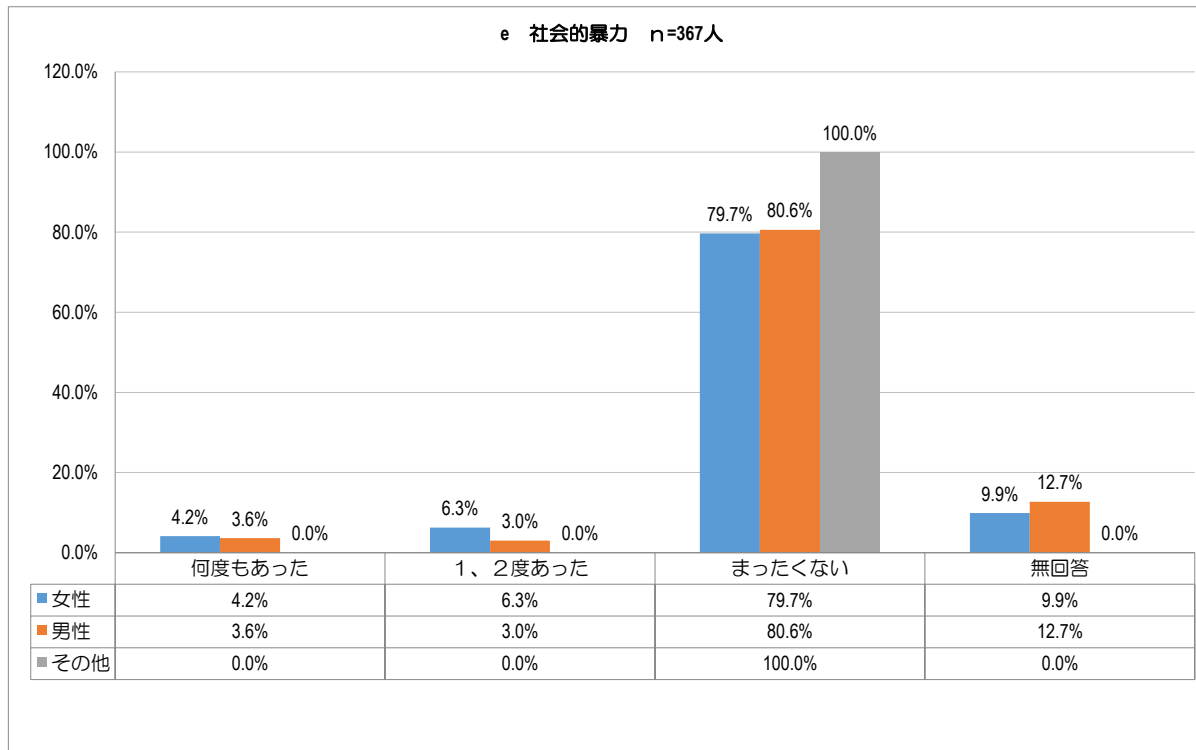
d 経済的暴力

		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
女性	人数	6	12	153	21	192
	割合(%)	3.1%	6.3%	79.7%	10.9%	100%
男性	人数	7	6	130	22	165
	割合(%)	4.2%	3.6%	78.8%	13.3%	100%
その他	人数	0	2	8	0	10
	割合(%)	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	100%
合計	人数	13	20	291	43	367
	割合(%)	3.5%	5.4%	79.3%	11.7%	100%



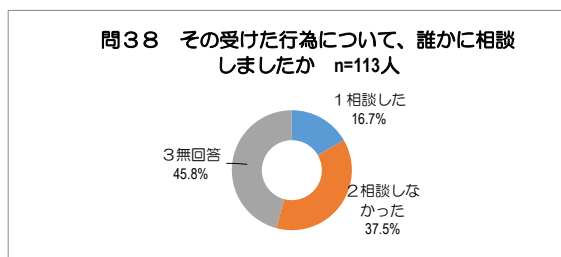
e 社会的暴力

		何度もあった	1、2度あった	まったくない	無回答	合計
女性	人数	8	12	153	19	192
	割合(%)	4.2%	6.3%	79.7%	9.9%	100%
男性	人数	6	5	133	21	165
	割合(%)	3.6%	3.0%	80.6%	12.7%	100%
その他	人数	0	0	10	0	10
	割合(%)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
合計	人数	14	17	296	40	367
	割合(%)	3.8%	4.6%	80.7%	10.9%	100%



問38 問37で1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と答えた方におたずねします。
その受けた行為について誰かに相談しましたか。

	人数	割合	前回
1 相談した	34	30.1%	16.7%
2 相談しなかった（できなかった）	69	61.1%	37.5%
3 無回答	10	8.8%	45.8%
合計	113	100.0%	100.0%



※分母は問37にて1つでも「何度もあった」または「1、2度あった」と回答した229人として割合を算出

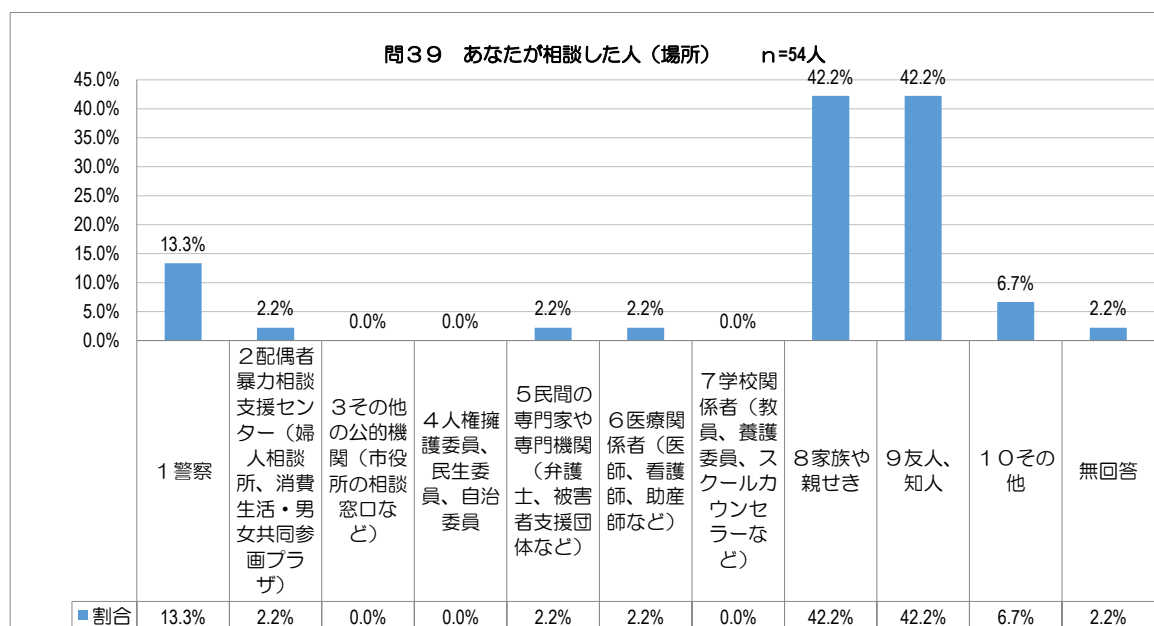
「その受けた行為について、誰かに相談しましたか」について「相談しなかった（できなかった）」が61.1%で最も多く、次に「相談した」と回答した人が30.1%となっています。

前回と比較しますと「相談した」と回答した人が13.4%多くとなっています。

問39 問38であなたが相談した人（場所）を教えてください。（複数回答）

	人数	割合	前回
1 警察	6	13.3%	4.4%
2 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所、消費生活・男女共同参画プラザ）	1	2.2%	0.0%
3 その他の公的機関（市役所の相談窓口など）	0	0.0%	2.2%
4 人権擁護委員、民生委員、自治委員	0	0.0%	2.2%
5 民間の専門家や専門機関（弁護士、被害者支援団体など）	1	2.2%	2.2%
6 医療関係者（医師、看護師、助産師など）	1	2.2%	0.0%
7 学校関係者（教員、養護委員、スクールカウンセラーなど）	0	0.0%	—
8 家族や親せき	19	42.2%	20.0%
9 友人、知人	19	42.2%	20.0%
10 その他	3	6.7%	0.0%
無回答	1	2.2%	68.9%
合計	51	100.0%	120.0%

※相談した人（12）と無回答の（33）をたして45人で割合を算出



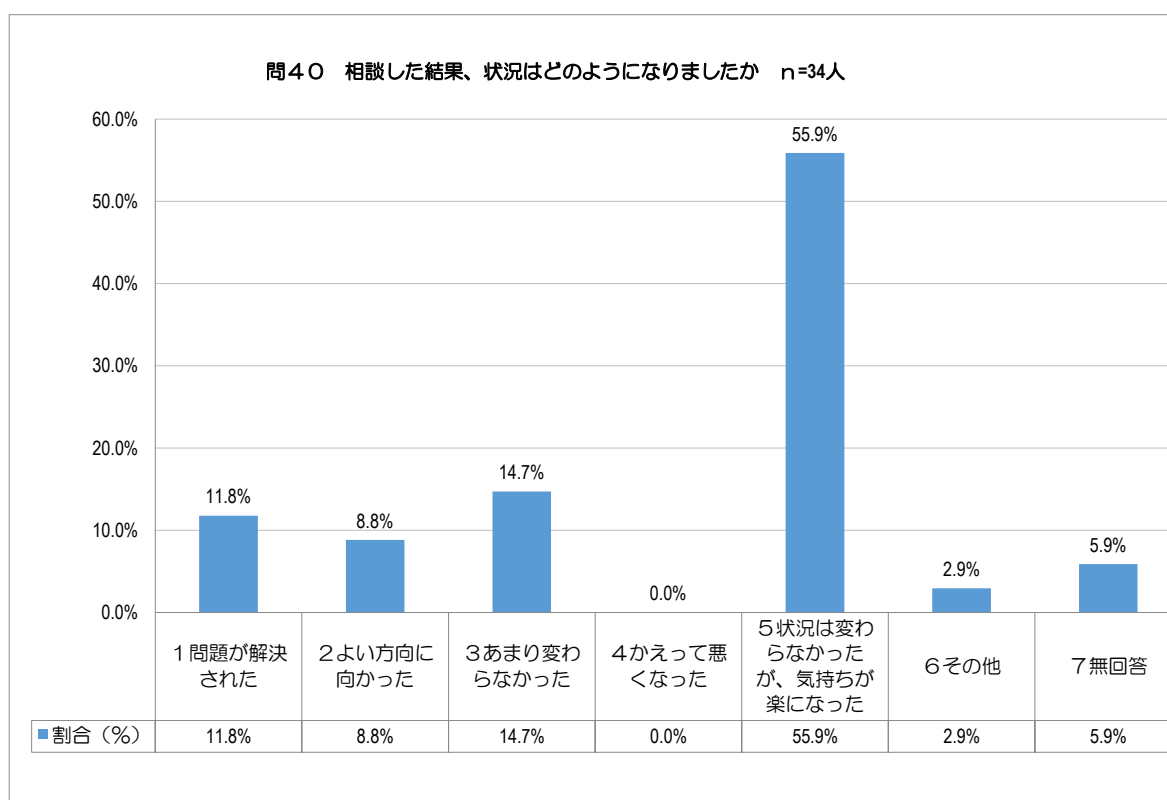
問38で「あなたが相談した人（場所）」について「家族や親せき」と「友人・知人」と回答した人が42.2%となっています。

まずは身近な人に相談する人が多いようです。

問40 問38で「相談した」と回答した人で、相談した結果、状況はどのようになりましたか。(1つ)

	人数	割合	前回
1 問題が解決された	4	11.8%	2.2%
2 よい方向に向かった	3	8.8%	11.1%
3 あまり変わらなかった	5	14.7%	2.2%
4 かえって悪くなった	0	0.0%	2.2%
5 状況は変わらなかったが、気持ちが楽になった	19	55.9%	13.3%
6 その他	1	2.9%	2.2%
7 無回答	2	5.9%	66.7%
合計	34	100.0%	100.0%

※分母は問38で「相談した」(34人)とし割合を算出



「相談した結果、状況はどのようになりましたか」について「状況は変わらなかったが、気持ちが楽になった」が55.9%で最も多くなっており、「問題が解決された」、「よい方向に向かった」とあわせると70%以上となります。

被害を受けた場合に、相談することの大切さがわかる結果となっています。また、被害者がすぐに相談できる相談窓口の拡充や、相談員のスキルアップのための研修等、支援体制を充実させることも重要です。

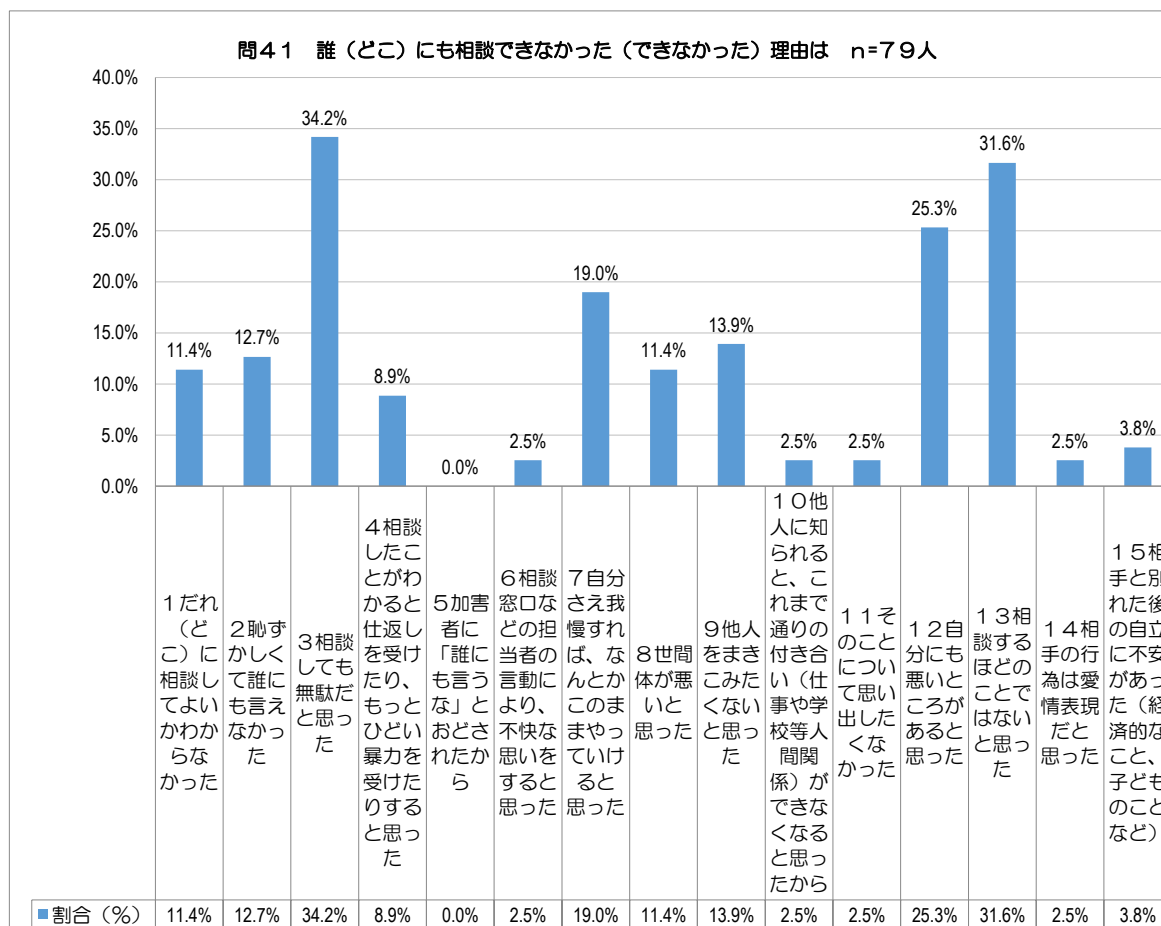
問4 1 誰（どこ）にも相談しなかった（できなかつた）理由はどのようなことですか。（複数回答）

	人数	割合	前回
1 だれ（どこ）に相談してよいかわからなかつた	9	11.4%	24.4%
2 恥ずかしくて誰にも言えなかつた	10	12.7%	11.1%
3 相談しても無駄だと思つた	27	34.2%	24.4%
4 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思つた	7	8.9%	6.7%
5 加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	0	0.0%	—
6 相談窓口などの担当者の言動により、不快な思いをすすると思つた	2	2.5%	15.0%
7 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっているとす思つた	15	19.0%	10.0%
8 世間体が悪いと思つた	9	11.4%	5.0%
9 他人をまきこみたくないとす思つた	11	13.9%	5.0%
10 他人に知られると、これまで通りの付き合い（仕事や学校等人間関係）ができなくなるとす思つたから	2	2.5%	5.0%
11 そのことについて思い出したくなかつた	2	2.5%	20.0%
12 自分にも悪いところがあると思つた	20	25.3%	—
13 相談するほどのことではないと思つた	25	31.6%	—
14 相手の行為は愛情表現だと思つた	2	2.5%	5.0%
15 相手と別れた後の自立に不安があつた（経済的なこと、子どものことなど）	3	3.8%	0.0%
16 その他	3	3.8%	—
無回答	5	6.3%	—
合計	152		100.0%

※分母は問38にて「2相談しなかつた」と回答した69人と「3無回答」の10人の計79人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・あきらめ



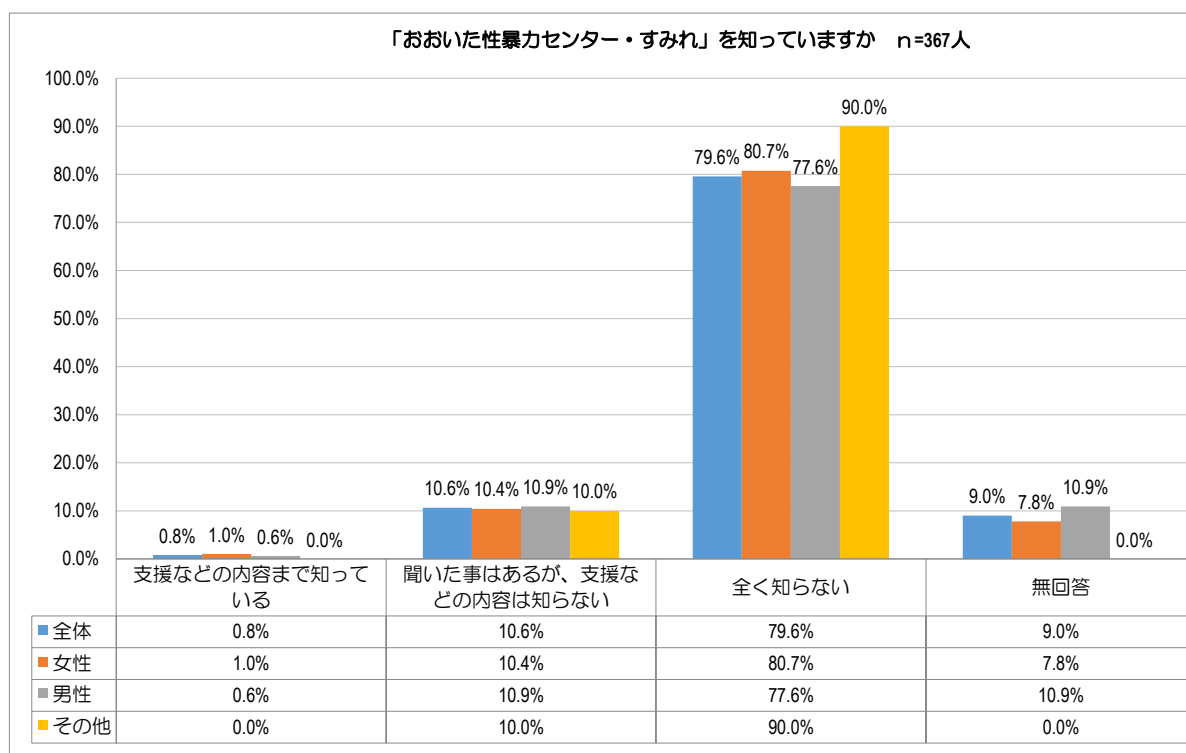
誰（どこ）にも相談しなかつた（できなかつた）理由はどのようなことですか」について、「相談しても無駄だと思つた」と回答した人が34.2%と最も多く、次に「相談するほどのことでもないと思つた」と回答した人が31.6%となっています。

問40より、「相談することで気持ちが楽になつた」等よい結果が得られることも多いので、被害を受けた場合に、相談するように周知していくことが大切になります。また、気軽に相談できる窓口体制の充実や啓発活動も重要となります。

★問42 「おおいた性暴力センター・すみれ」を知っていますか。(1つ)

	全体		女性		男性		その他	
	人	割合(%)	人	割合(%)	人	割合(%)	人	割合(%)
支援などの内容まで知っている	3	0.8%	2	1.0%	1	0.6%	0	0.0%
聞いた事はあるが、支援などの内容は知らない	39	10.6%	20	10.4%	18	10.9%	1	10.0%
全く知らない	292	79.6%	155	80.7%	128	77.6%	9	90.0%
無回答	33	9.0%	15	7.8%	18	10.9%	0	0.0%
合計	367	1.0	192	1.0	165	1.0	10	1.0

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出



「おおいた性暴力センター・すみれを知っていますか」について「全く知らない」が79.6%とほとんどの人が知らないという結果となりました。

「おおいた性暴力支援センターすみれ」とは！

大分県が協力医療機関や臨床心理士、弁護士等関係機関と連携して設置する、性暴力被害にあわれた方への総合的な支援を行う機関です。

専門の相談員による電話や面接での相談のほか、被害にあわれた方の意見を尊重しながら、医療やカウンセリング、弁護士法律相談など必要な支援につなげています。

(詳細は、ホームページにて <https://oita-sumire.jp>)

- 相談専用電話 097-532-0330
- 相談時間 24時間365日
- ※夜間(20:00~翌朝9:00)、土日祝、年末年始はコールセンターが対応します
- 相談は無料です
- 秘密は守られます、安心してご相談ください
- 男性の被害者の方のご相談もお受けします



		支援などの 内容まで 知っている	聞いたこと はあるが、 支援など の内容まで は知らない	全く知らな い	無回答	合計	
18～19歳	女性	人数	0	1	15	0	16
		割合(%)	0.0%	0.5%	7.8%	0.0%	8.3%
	男性	人数	0	1	13	0	14
		割合(%)	0.0%	0.6%	7.9%	0.0%	0.1
	その他	人数	0	0	2	0	2
		割合(%)	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.2
20～29歳	女性	人数	0	1	8	0	9
		割合(%)	0.0%	0.5%	4.2%	0.0%	4.7%
	男性	人数	0	1	4	0	5
		割合(%)	0.0%	0.6%	2.4%	0.0%	0.0
	その他	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
30～39歳	女性	人数	0	2	20	0	22
		割合(%)	0.0%	1.0%	10.4%	0.0%	11.5%
	男性	人数	0	1	8	1	10
		割合(%)	0.0%	0.6%	4.8%	0.6%	0.1
	その他	人数	0	0	4	0	4
		割合(%)	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.4
40～49歳	女性	人数	0	3	24	0	27
		割合(%)	0.0%	1.6%	12.5%	0.0%	14.1%
	男性	人数	0	1	20	2	23
		割合(%)	0.0%	0.6%	12.1%	1.2%	0.1
	その他	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
50～59歳	女性	人数	1	3	22	2	28
		割合(%)	0.5%	1.6%	11.5%	1.0%	14.6%
	男性	人数	0	2	13	1	16
		割合(%)	0.0%	1.2%	7.9%	0.6%	0.1
	その他	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
60～69歳	女性	人数	0	3	23	1	27
		割合(%)	0.0%	1.6%	12.0%	0.5%	14.1%
	男性	人数	1	4	32	2	39
		割合(%)	0.6%	2.4%	19.4%	1.2%	0.2
	その他	人数	0	0	3	0	3
		割合(%)	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.3
70歳以上	女性	人数	1	7	43	12	63
		割合(%)	0.5%	3.6%	22.4%	6.3%	32.8%
	男性	人数	0	8	38	12	58
		割合(%)	0.0%	4.8%	23.0%	7.3%	0.4
	その他	人数	0	1	0	0	1
		割合(%)	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.1
無回答	女性	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
	その他	人数	0	0	0	0	0
		割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0
合計	女性	人数	2	20	155	15	192
		割合(%)	1.0%	10.4%	80.7%	7.8%	100.0%
	男性	人数	1	18	128	18	165
		割合(%)	0.6%	10.9%	77.6%	10.9%	100.0%
	その他	人数	0	1	9	0	10
		割合(%)	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%

問43 性犯罪、売春、買春（援助交際を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為をなくすためにどのようにしたらよいと思いますか。（複数回答）

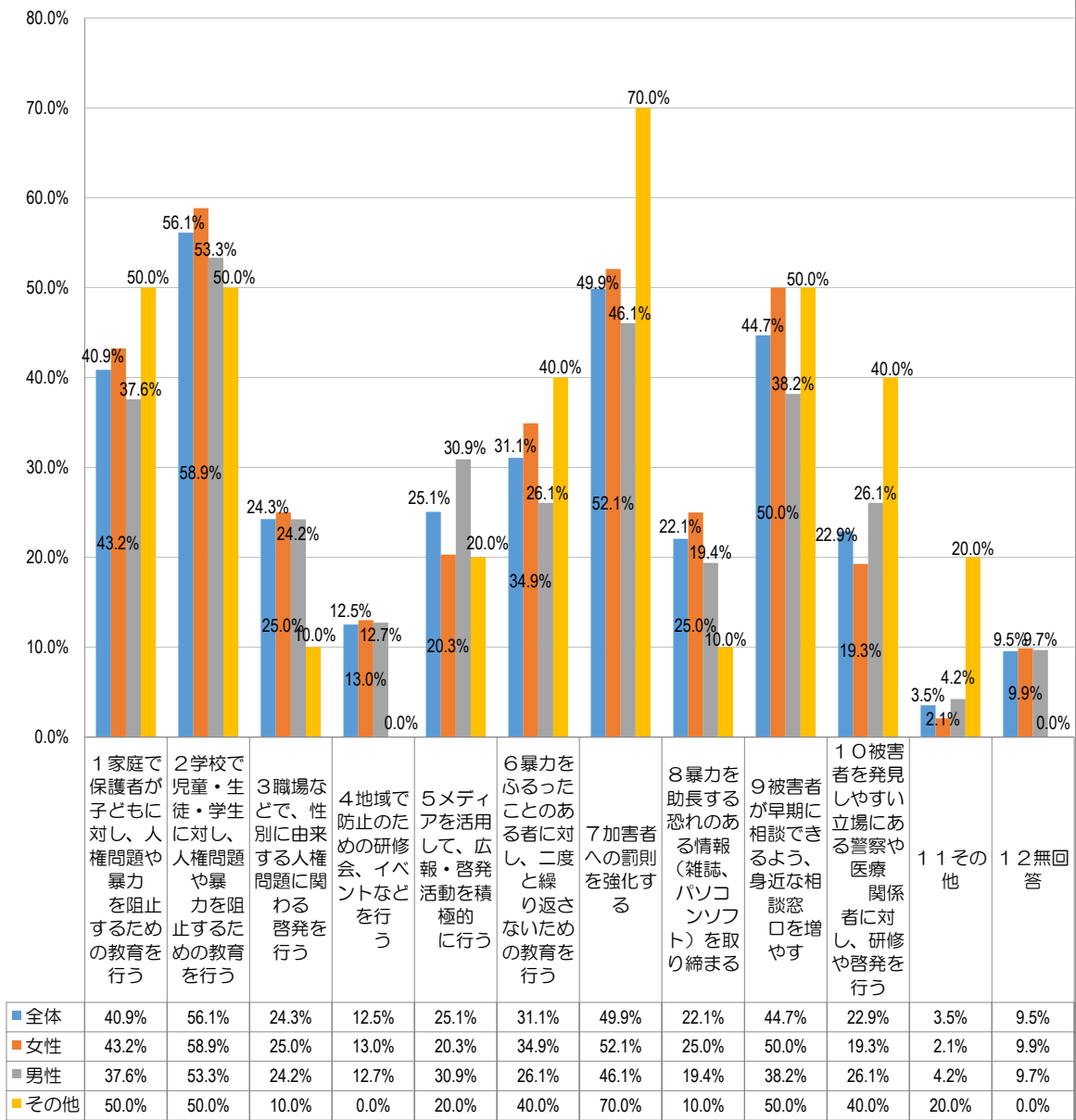
	全体		女性		男性		その他		全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を阻止するための教育を行う	150	40.9%	83	43.2%	62	37.6%	5	50.0%	47.6%
2 学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を阻止するための教育を行う	206	56.1%	113	58.9%	88	53.3%	5	50.0%	57.8%
3 職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う	89	24.3%	48	25.0%	40	24.2%	1	10.0%	22.8%
4 地域で防止のための研修会、イベントなどを行う	46	12.5%	25	13.0%	21	12.7%	0	0.0%	16.1%
5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	92	25.1%	39	20.3%	51	30.9%	2	20.0%	25.6%
6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	114	31.1%	67	34.9%	43	26.1%	4	40.0%	25.2%
7 加害者への罰則を強化する	183	49.9%	100	52.1%	76	46.1%	7	70.0%	46.2%
8 暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、パソコンソフト）を取り締まる	81	22.1%	48	25.0%	32	19.4%	1	10.0%	26.1%
9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	164	44.7%	96	50.0%	63	38.2%	5	50.0%	49.9%
10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	84	22.9%	37	19.3%	43	26.1%	4	40.0%	24.7%
11 その他	13	3.5%	4	2.1%	7	4.2%	2	20.0%	4.7%
12 無回答	35	9.5%	19	9.9%	16	9.7%	0	0.0%	10.3%
合計	1,257		679		542		36		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・加害者になりうる人にも原因があるので（教育・経済）そういった家庭の両親への教育
- ・シェルターに逃げても他県に引っ越しても、行政の連携がうまくいってないと移転先をバラされたりして事件になったりするんで、プライバシー保護をもっと徹底して行政専門家にとりくんでもらいたい。
- ・病気なので広報やイベントでは治らないと思う。
- ・無理。ない。これから増える。
- ・子供たちの経済的な貧困をなくす
- ・いくら教育してもまじめにとらえないと意味が無い。本気で受けとめないと解決しない。
- ・「三つ子の魂百まで」魂を磨く。美しい心
- ・難しいと思う
- ・時代の流れ。上記の内容ではなくなる。個人の性格の問題が大きいと思う。
- ・みんなお金持ちにしてください。貧乏だからするのです。
- ・「加害者」へのカウンセリング
- ・社会全体として学習する。政府が変わらなければいけない。

問43 性犯罪、売春、買春、DV、セクハラ、ストーカー行為をなくすためには n=1257人



「性犯罪、売春、買春（援助交際を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為をなくすためにどのようにしたらよいと思いますか」について、全体では「学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を阻止するための教育を行う」と回答した人が56.1%で最も多く、次に「加害者への罰則を強化する」と回答した人が49.9%となっています。

性別でも「学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を阻止するための教育を行う」と回答した人が女性58.9%、男性53.3%と最も多くなっており、教育が必要だと思っている人が多いようです。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	2	5	11	13	10	16	26	0	83
	割合	12.5%	55.6%	50.0%	48.1%	35.7%	59.3%	41.3%	0.0%	43.2%
2 学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	6	4	18	17	14	20	34	0	113
	割合	37.5%	44.4%	81.8%	63.0%	50.0%	74.1%	54.0%	0.0%	58.9%
3 職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う	人数	1	0	7	8	9	8	15	0	48
	割合	6.3%	0.0%	31.8%	29.6%	32.1%	29.6%	23.8%	0.0%	25.0%
4 地域で防止のための研修会、イベントなどを行う	人数	1	0	3	1	1	6	13	0	25
	割合	6.3%	0.0%	13.6%	3.7%	3.6%	22.2%	20.6%	0.0%	13.0%
5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	人数	3	2	1	10	5	7	11	0	39
	割合	18.8%	22.2%	4.5%	37.0%	17.9%	25.9%	17.5%	0.0%	20.3%
6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	人数	8	3	10	10	6	12	18	0	67
	割合	50.0%	33.3%	45.5%	37.0%	21.4%	44.4%	28.6%	0.0%	34.9%
7 加害者への罰則を強化する	人数	11	7	14	19	12	12	25	0	100
	割合	68.8%	77.8%	63.6%	70.4%	42.9%	44.4%	39.7%	0.0%	52.1%
8 暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、パソコンソフト）を取り締まる	人数	4	3	3	9	2	6	21	0	48
	割合	25.0%	33.3%	13.6%	33.3%	7.1%	22.2%	33.3%	0.0%	25.0%
9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	人数	8	3	7	12	12	20	34	0	96
	割合	50.0%	33.3%	31.8%	44.4%	42.9%	74.1%	54.0%	0.0%	50.0%
10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	人数	2	3	4	4	6	7	11	0	37
	割合	12.5%	33.3%	18.2%	14.8%	21.4%	25.9%	17.5%	0.0%	19.3%
11 その他	人数	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	7.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
12 無回答	人数	0	0	0	0	4	2	13	0	19
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.4%	20.6%	0.0%	9.9%
合計	人数	46	30	79	105	82	116	221	0	679
	割合	24.0%	15.6%	41.1%	54.7%	42.7%	60.4%	115.1%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	7	1	1	10	5	18	20	0	62
	割合	50.0%	20.0%	10.0%	43.5%	31.3%	46.2%	34.5%	0.0%	32.3%
2 学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	7	1	4	12	8	22	34	0	88
	割合	50.0%	20.0%	40.0%	52.2%	50.0%	56.4%	58.6%	0.0%	45.8%
3 職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う	人数	3	1	2	6	4	12	12	0	40
	割合	21.4%	20.0%	20.0%	26.1%	25.0%	30.8%	20.7%	0.0%	20.8%
4 地域で防止のための研修会、イベントなどを行う	人数	3	0	3	2	0	5	8	0	21
	割合	21.4%	0.0%	30.0%	8.7%	0.0%	12.8%	13.8%	0.0%	10.9%
5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	人数	4	0	1	10	3	15	18	0	51
	割合	28.6%	0.0%	10.0%	43.5%	18.8%	38.5%	31.0%	0.0%	26.6%
6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	人数	4	1	4	10	4	13	7	0	43
	割合	28.6%	20.0%	40.0%	43.5%	25.0%	33.3%	12.1%	0.0%	22.4%
7 加害者への罰則を強化する	人数	6	4	5	14	6	19	22	0	76
	割合	42.9%	80.0%	50.0%	60.9%	37.5%	48.7%	37.9%	0.0%	39.6%
8 暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、パソコンソフト）を取り締まる	人数	1	1	1	4	2	12	11	0	32
	割合	7.1%	20.0%	10.0%	17.4%	12.5%	30.8%	19.0%	0.0%	16.7%
9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	人数	5	2	4	10	7	12	23	0	63
	割合	35.7%	40.0%	40.0%	43.5%	43.8%	30.8%	39.7%	0.0%	32.8%
10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	人数	4	3	3	10	5	10	8	0	43
	割合	28.6%	60.0%	30.0%	43.5%	31.3%	25.6%	13.8%	0.0%	22.4%
11 その他	人数	0	0	0	1	4	1	1	0	7
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	25.0%	2.6%	1.7%	0.0%	3.6%
12 無回答	人数	0	0	1	0	1	2	12	0	16
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	6.3%	5.1%	20.7%	0.0%	8.3%
合計	人数	44	14	29	89	49	141	176	0	542
	割合	26.7%	8.5%	17.6%	53.9%	29.7%	85.5%	106.7%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 家庭で保護者が子どもに対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	1	0	2	0	0	2	0	0	5
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	2.6%
2 学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を防止するための教育を行う	人数	2	0	2	0	0	1	0	0	5
	割合	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.6%
3 職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
4 地域で防止のための研修会、イベントなどを行う	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
6 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	人数	1	0	2	0	0	1	0	0	4
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.1%
7 加害者への罰則を強化する	人数	2	0	3	0	0	2	0	0	7
	割合	100.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	3.6%
8 暴力を助長する恐れのある情報（雑誌、パソコンソフト）を取り締まる	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.5%
9 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	人数	2	0	2	0	0	1	0	0	5
	割合	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.6%
10 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	人数	2	0	1	0	0	1	0	0	4
	割合	100.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.1%
11 その他	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1.0%
12 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	12	0	14	0	0	9	1	0	36
	割合	120.0%	0.0%	140.0%	0.0%	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	

◆女性の参画や施策への要望等について

問4.4 自治会や町内会、PTAなどの役職、議員や行政委員への女性の進出が進まない原因は何だと思いますか。（3つまで）

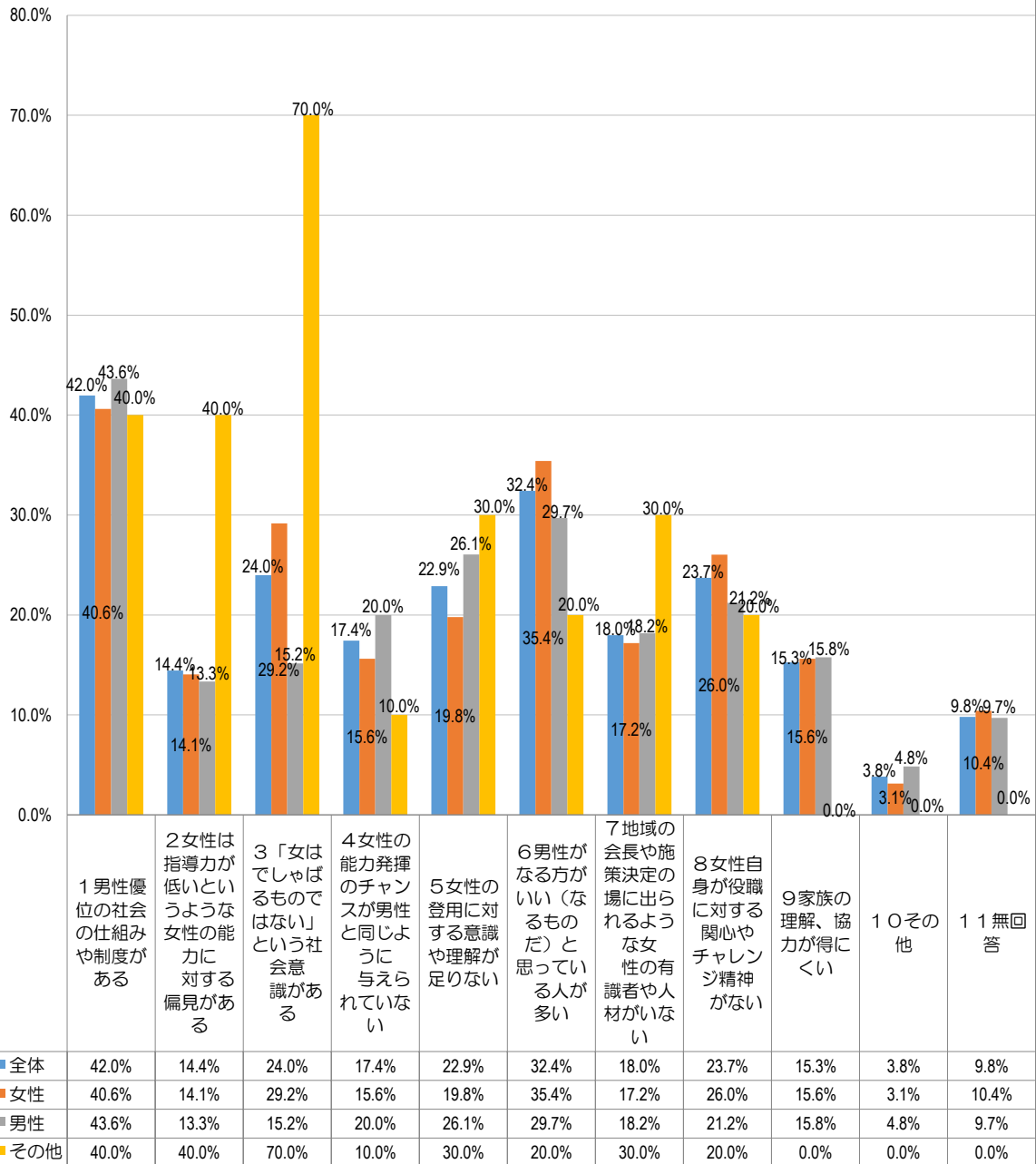
	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 男性優位の社会の仕組みや制度がある	154	42.0%	78	40.6%	72	43.6%	4	40.0%	38.2%
2 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	53	14.4%	27	14.1%	22	13.3%	4	40.0%	14.0%
3 「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある	88	24.0%	56	29.2%	25	15.2%	7	70.0%	24.9%
4 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない	64	17.4%	30	15.6%	33	20.0%	1	10.0%	18.4%
5 女性の登用に対する意識や理解が足りない	84	22.9%	38	19.8%	43	26.1%	3	30.0%	16.3%
6 男性になる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い	119	32.4%	68	35.4%	49	29.7%	2	20.0%	39.9%
7 地域の会長や施策決定の場に出られるような女性の有識者や人材が少ない	66	18.0%	33	17.2%	30	18.2%	3	30.0%	9.6%
8 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない	87	23.7%	50	26.0%	35	21.2%	2	20.0%	28.7%
9 家族の理解、協力が得にくい	56	15.3%	30	15.6%	26	15.8%	0	0.0%	20.7%
10 その他	14	3.8%	6	3.1%	8	4.8%	0	0.0%	3.7%
11 無回答	36	9.8%	20	10.4%	16	9.7%	0	0.0%	10.5%
合計	821		436		359		26		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- ・ 仕事持ちや家族協力無しだと進出しにくいのが原因だと思います。
- ・ できっこない。無理な話です。
- ・ 学校の役員などは最近女性も多いと思う
- ・ 育児や家事に追われて参加しにくい
- ・ 女性は家事全般を担っている事が多い為、役職を全うする時間がないと思います。
- ・ やりたくないから
- ・ 女性自身そこまで進出したいと思っている人が少ないから。
意欲的な女性は進出しているし、その環境は今できている。
- ・ 組織の多くが男性で形成されている場合、考え方が異なる。女性は排除したほうが楽だから。
- ・ 会などにかかわる男性の無知
- ・ 進んでいないとは思わない
- ・ 女性のやる気がない
- ・ 政府、自民党を他の政党に替えなければ日本は未来永劫徐栄の社会進出はない。

問44 自治会等の役職への女性の進出が進まない原因は n=821人



「自治会や町内会、PTAなどの役職、議員や行政委員への女性の進出が進まない原因は何だと思いますか」について、全体では「男性優位の社会の仕組みや制度がある」と回答した人が42.0%で最も多く、次に「男性がなる方がいい(なるものだ)と思っている人が多い」と回答した人が32.4%となっています。

女性では「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある」と回答した人が男性より14.0%多く、男性がなる方がいい(なるものだ)と思っている人が多い」と回答した人が男性より5.7%多くなっています。

男性では「女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない」と回答した人が女性より4.4%多く、「女性の登用に対する意識や理解が足りない」と回答した人が6.3%多くなっています。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 男性優位の社会の仕組みや制度がある	人数	4	3	12	16	15	8	20	0	78
	割合	25.0%	33.3%	54.5%	59.3%	53.6%	29.6%	31.7%	0.0%	40.6%
2 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	人数	2	2	2	2	3	5	11	0	27
	割合	12.5%	22.2%	9.1%	7.4%	10.7%	18.5%	17.5%	0.0%	14.1%
3 「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある	人数	5	2	7	11	7	5	19	0	56
	割合	31.3%	22.2%	31.8%	40.7%	25.0%	18.5%	30.2%	0.0%	29.2%
4 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない	人数	3	1	4	6	3	6	7	0	30
	割合	18.8%	11.1%	18.2%	22.2%	10.7%	22.2%	11.1%	0.0%	15.6%
5 女性の登用に対する意識や理解が足りない	人数	2	1	4	7	4	6	14	0	38
	割合	12.5%	11.1%	18.2%	25.9%	14.3%	22.2%	22.2%	0.0%	19.8%
6 男性になる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い	人数	6	5	7	11	7	15	17	0	68
	割合	37.5%	55.6%	31.8%	40.7%	25.0%	55.6%	27.0%	0.0%	35.4%
7 地域の会長や施策決定の場に出られるような女性の有識者や人材が少ない	人数	3	1	2	7	6	5	9	0	33
	割合	18.8%	11.1%	9.1%	25.9%	21.4%	18.5%	14.3%	0.0%	17.2%
8 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない	人数	5	4	6	5	7	6	17	0	50
	割合	31.3%	44.4%	27.3%	18.5%	25.0%	22.2%	27.0%	0.0%	26.0%
9 家族の理解、協力が得にくい	人数	1	3	2	4	6	6	8	0	30
	割合	6.3%	33.3%	9.1%	14.8%	21.4%	22.2%	12.7%	0.0%	15.6%
10 その他	人数	0	1	1	0	2	1	1	0	6
	割合	0.0%	11.1%	4.5%	0.0%	7.1%	3.7%	1.6%	0.0%	3.1%
11 無回答	人数	2	0	1	0	2	1	14	0	20
	割合	12.5%	0.0%	4.5%	0.0%	7.1%	3.7%	22.2%	0.0%	10.4%
合計	人数	33	23	48	69	62	64	137	0	436
	割合	17.2%	12.0%	25.0%	35.9%	32.3%	33.3%	71.4%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
1 男性優位の社会の仕組みや制度がある	人数	4	2	2	11	8	22	23	0	72
	割合	28.6%	40.0%	20.0%	47.8%	50.0%	56.4%	39.7%	0.0%	37.5%
2 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	人数	4	0	2	5	1	5	5	0	22
	割合	28.6%	0.0%	20.0%	21.7%	6.3%	12.8%	8.6%	0.0%	11.5%
3 「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある	人数	0	1	1	7	3	8	5	0	25
	割合	0.0%	20.0%	10.0%	30.4%	18.8%	20.5%	8.6%	0.0%	13.0%
4 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない	人数	4	1	2	6	2	7	11	0	33
	割合	28.6%	20.0%	20.0%	26.1%	12.5%	17.9%	19.0%	0.0%	17.2%
5 女性の登用に対する意識や理解が足りない	人数	1	3	4	2	4	12	17	0	43
	割合	7.1%	60.0%	40.0%	8.7%	25.0%	30.8%	29.3%	0.0%	22.4%
6 男性になる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い	人数	4	2	3	6	5	12	17	0	49
	割合	28.6%	40.0%	30.0%	26.1%	31.3%	30.8%	29.3%	0.0%	25.5%
7 地域の会長や施策決定の場に出られるような女性の有識者や人材が少ない	人数	2	0	1	6	3	6	12	0	30
	割合	14.3%	0.0%	10.0%	26.1%	18.8%	15.4%	20.7%	0.0%	15.6%
8 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない	人数	3	0	0	9	2	6	15	0	35
	割合	21.4%	0.0%	0.0%	39.1%	12.5%	15.4%	25.9%	0.0%	18.2%
9 家族の理解、協力が得にくい	人数	1	1	3	5	3	6	7	0	26
	割合	7.1%	20.0%	30.0%	21.7%	18.8%	15.4%	12.1%	0.0%	13.5%
10 その他	人数	1	1	2	0	1	0	3	0	8
	割合	7.1%	20.0%	20.0%	0.0%	6.3%	0.0%	5.2%	0.0%	4.2%
11 無回答	人数	0	0	1	0	2	2	11	0	16
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	12.5%	5.1%	19.0%	0.0%	8.3%
合計	人数	24	11	21	57	34	86	126	0	359
	割合	14.5%	6.7%	12.7%	34.5%	20.6%	52.1%	76.4%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 男性優位の社会の仕組みや制度がある	人数	0	0	3	0	0	0	1	0	4
	割合	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	2.1%
2 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある	人数	2	0	2	0	0	0	0	0	4
	割合	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
3 「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある	人数	1	0	4	0	0	1	1	0	7
	割合	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	3.6%
4 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
5 女性の登用に対する意識や理解が足りない	人数	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	割合	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	1.6%
6 男性がなる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
7 地域の会長や施策決定の場に出られるような女性の有識者や人材が少ない	人数	0	0	1	0	0	2	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	1.6%
8 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない	人数	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	1.0%
9 家族の理解、協力が得にくい	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10 その他	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	6	0	11	0	0	6	3	0	26
	割合	60.0%	0.0%	110.0%	0.0%	0.0%	60.0%	30.0%	0.0%	

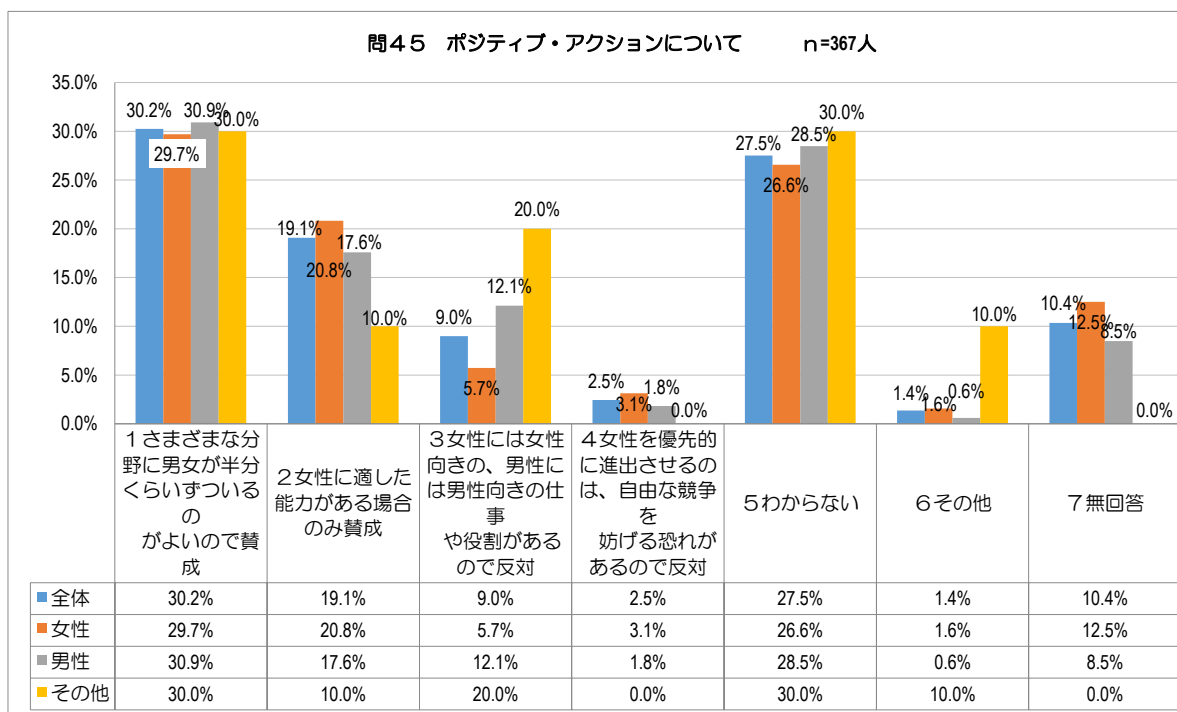
問45 ポジティブ・アクション（積極的格差是正処置）について、どのように思いますか。（1つ）

	全体		女性		男性		その他		前回全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成	111	30.2%	57	29.7%	51	30.9%	3	30.0%	27.3%
2 女性に適した能力がある場合のみ賛成	70	19.1%	40	20.8%	29	17.6%	1	10.0%	23.5%
3 女性には女性向きの、男性には男性向きの仕事や役割があるので反対	33	9.0%	11	5.7%	20	12.1%	2	20.0%	11.7%
4 女性を優先的に進出させるのは、自由な競争を妨げる恐れがあるので反対	9	2.5%	6	3.1%	3	1.8%	0	0.0%	2.8%
5 わからない	101	27.5%	51	26.6%	47	28.5%	3	30.0%	24.9%
6 その他	5	1.4%	3	1.6%	1	0.6%	1	10.0%	4.2%
7 無回答	38	10.4%	24	12.5%	14	8.5%	0	0.0%	7.9%
合計	367	100.0%	192	100.0%	165	100.0%	10	100.0%	102.3%

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- 男女関わらず自らが手を挙げて行っているのなら賛成。
- 「男尊女卑」の考え方がなくなる限り、何をやっても変わらない。
- 等しく機会を与えるのは良いが人数を合わせるのとは平等ではないと思う
- 男女の比率に関係なく適材適所が望ましい



「ポジティブ・アクション（積極的格差是正処置）」について、全体では「さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成」と回答した人が30.2%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が27.5%となっています。

女性男性ともに「さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成」と回答した人が女性29.7%、男性30.9%で最も多い結果となりました。

男女がともに自立し活躍できる環境づくりも重要です。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成	人数	2	6	7	10	9	7	16	0	57
	割合	12.5%	66.7%	31.8%	37.0%	32.1%	25.9%	25.4%	0.0%	29.7%
2 女性に適した能力がある場合のみ賛成	人数	3	3	3	8	5	8	10	0	40
	割合	18.8%	33.3%	13.6%	29.6%	17.9%	29.6%	15.9%	0.0%	20.8%
3 女性には女性向きの、男性には男性向きの仕事や役割があるので反対	人数	1	0	1	3	1	1	4	0	11
	割合	6.3%	0.0%	4.5%	11.1%	3.6%	3.7%	6.3%	0.0%	5.7%
4 女性を優先的に進出させるのは、自由な競争を妨げる恐れがあるので反対	人数	2	0	0	2	0	0	2	0	6
	割合	12.5%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.1%
5 わからない	人数	8	0	10	3	10	5	15	0	51
	割合	50.0%	0.0%	45.5%	11.1%	35.7%	18.5%	23.8%	0.0%	26.6%
6 その他	人数	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	4.5%	3.7%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
7 無回答	人数	0	0	0	0	2	6	16	0	24
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	22.2%	25.4%	0.0%	12.5%
合計	人数	16	9	22	27	28	27	63	0	192
	割合	8.3%	4.7%	11.5%	14.1%	14.6%	14.1%	32.8%	0.0%	100.0%

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成	人数	7	1	1	6	5	16	15	0	51
	割合	50.0%	20.0%	10.0%	26.1%	31.3%	41.0%	25.9%	0.0%	26.6%
2 女性に適した能力がある場合のみ賛成	人数	2	1	1	8	3	5	9	0	29
	割合	14.3%	20.0%	10.0%	34.8%	18.8%	12.8%	15.5%	0.0%	15.1%
3 女性には女性向きの、男性には男性向きの仕事や役割があるので反対	人数	2	2	2	2	5	3	4	0	20
	割合	14.3%	40.0%	20.0%	8.7%	31.3%	7.7%	6.9%	0.0%	10.4%
4 女性を優先的に進出させるのは、自由な競争を妨げる恐れがあるので反対	人数	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	3.4%	0.0%	1.6%
5 わからない	人数	3	1	5	7	2	11	18	0	47
	割合	21.4%	20.0%	50.0%	30.4%	12.5%	28.2%	31.0%	0.0%	24.5%
6 その他	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.5%
7 無回答	人数	0	0	1	0	1	2	10	0	14
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	6.3%	5.1%	17.2%	0.0%	7.3%
合計	人数	14	5	10	23	16	39	58	0	165
	割合	8.5%	3.0%	6.1%	13.9%	9.7%	23.6%	35.2%	0.0%	85.9%

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのがよいので賛成	人数	0	0	2	0	0	0	1	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1.6%
2 女性に適した能力がある場合のみ賛成	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.5%
3 女性には女性向きの、男性には男性向きの仕事や役割があるので反対	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
4 女性を優先的に進出させるのは、自由な競争を妨げる恐れがあるので反対	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 わからない	人数	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	1.6%
6 その他	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.5%
7 無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	人数	2	0	4	0	0	3	1	0	10
	割合	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	5.2%

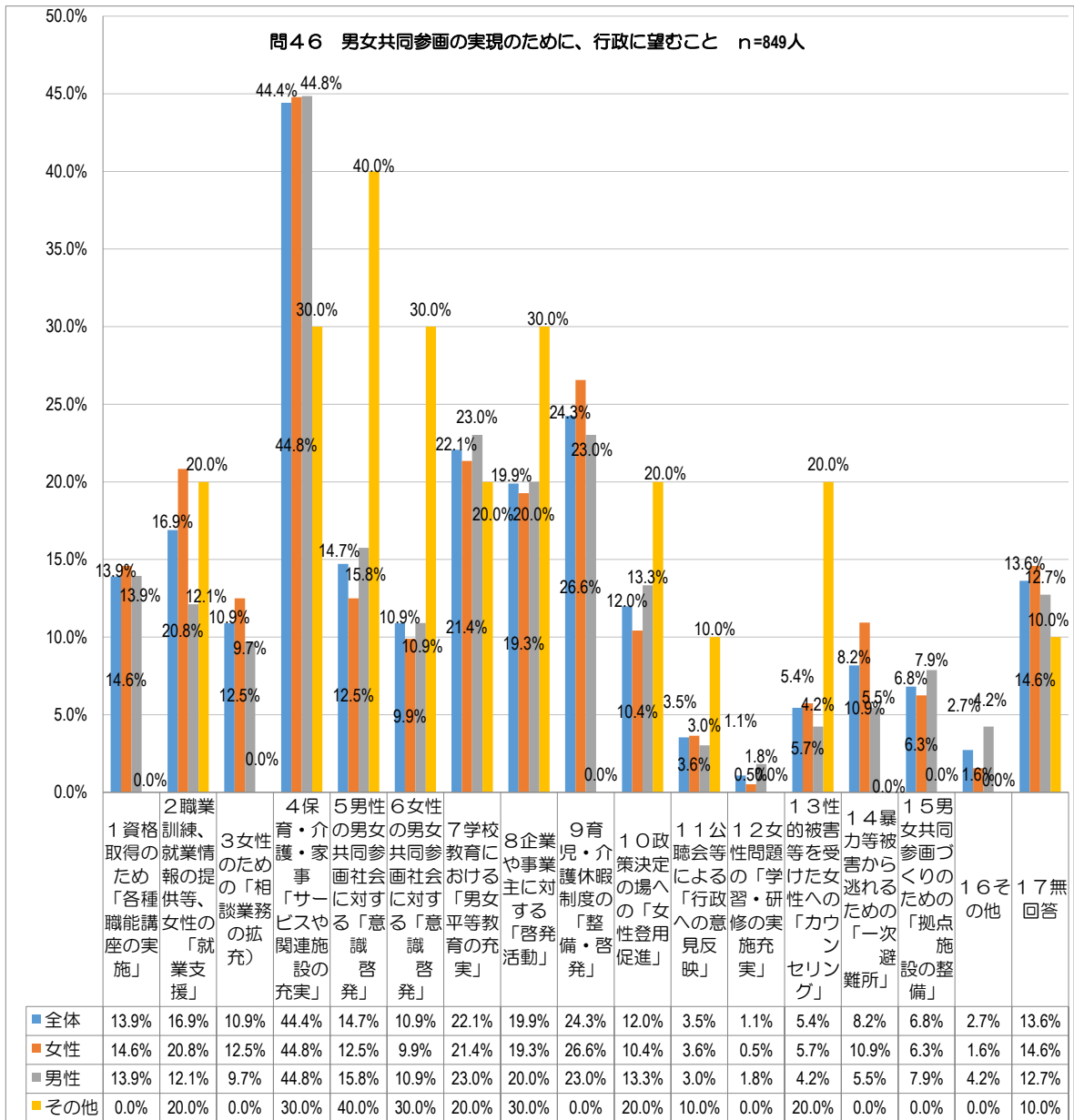
問46 男女共同参画社会の実現のために、行政にどのようなことを望みますか。(3つまで)

	全体		女性		男性		その他		前回 全体
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	
1 資格取得のため「各種職能講座の実施」	51	13.9%	28	14.6%	23	13.9%	0	0.0%	17.2%
2 職業訓練、就業情報の提供等、女性の「就業支援」	62	16.9%	40	20.8%	20	12.1%	2	20.0%	18.9%
3 女性のための「相談業務の拡充」	40	10.9%	24	12.5%	16	9.7%	0	0.0%	10.0%
4 保育・介護・家事「サービスや関連施設の充実」	163	44.4%	86	44.8%	74	44.8%	3	30.0%	45.9%
5 男性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	54	14.7%	24	12.5%	26	15.8%	4	40.0%	13.1%
6 女性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	40	10.9%	19	9.9%	18	10.9%	3	30.0%	9.1%
7 学校教育における「男女平等教育の充実」	81	22.1%	41	21.4%	38	23.0%	2	20.0%	21.4%
8 企業や事業主に対する「啓発活動」	73	19.9%	37	19.3%	33	20.0%	3	30.0%	25.6%
9 育児・介護休暇制度の「整備・啓発」	89	24.3%	51	26.6%	38	23.0%	0	0.0%	25.9%
10 政策決定の場への「女性登用促進」	44	12.0%	20	10.4%	22	13.3%	2	20.0%	8.4%
11 1 公聴会等による「行政への意見反映」	13	3.5%	7	3.6%	5	3.0%	1	10.0%	3.5%
11 2 女性問題の「学習・研修の実施充実」	4	1.1%	1	0.5%	3	1.8%	0	0.0%	2.6%
11 3 性的被害等を受けた女性への「カウンセリング」	20	5.4%	11	5.7%	7	4.2%	2	20.0%	1.9%
11 4 暴力等被害から逃れるための「一次避難所」	30	8.2%	21	10.9%	9	5.5%	0	0.0%	7.0%
11 5 男女共同参画づくりのための「拠点施設の整備」	25	6.8%	12	6.3%	13	7.9%	0	0.0%	11.2%
11 6 その他	10	2.7%	3	1.6%	7	4.2%	0	0.0%	1.2%
11 7 無回答	50	13.6%	28	14.6%	21	12.7%	1	10.0%	12.1%
合計	849		453		373		23		

※分母は全体を367人、女性は192人、男性は165人、その他は10人とし割合を算出

【その他の意見】

- 総じてどの部分も名ばかりで期待できない。全て推し進めれば良い。
- 上に立つ立場の男性が多く、年配の方が多いため、男尊女卑の意識が根付いているため女性を多く管理職や上に立つ立場になれるようにしなければ、あまり変化はないと思う。まずは管理職の半数が女性となれるようにすべき。
- 無理。不可能。
- 行政から行動を示すこと。なぜか窓口の担当者に女性が多いのですが、ここも平等に同じ人数にするなど。
- 今まで通り頑張ってください
- 男性が子供を産める体になったら男女共同参画社会が実現できるを思います
- ポジティブ・アクション
- ここで女性支援の話しか選択肢にないことが既に論外
- 中津市結婚新生活支援事業補助金制度に反対する。・理由：国の経済政策により、就職氷河期世代が生じ当世代の者が本制度においても置き去りにされている。人でなし制度だ。
- 市民全員に話を聞いて困っていることを助けて下さい。



「男女共同参画社会の実現のために、行政にどのようなことを望みますか」について、全体、女性、男性ともに最も多かったのが「保育・介護・家事サービスや関連施設の充実」と回答した人が全体では44.4%、女性では44.8%、男性では44.8%となっています。

【女性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 資格取得のため「各種職能講座の実施」	人数	0	2	4	6	7	3	6	0	28
	割合	0.0%	22.2%	18.2%	22.2%	25.0%	11.1%	9.5%	0.0%	14.6%
2 職業訓練、就業情報の提供等、女性の「就業支援」	人数	2	1	3	11	6	5	12	0	40
	割合	12.5%	11.1%	13.6%	40.7%	21.4%	18.5%	19.0%	0.0%	20.8%
3 女性のための「相談業務の拡充」	人数	1	0	2	7	2	4	8	0	24
	割合	6.3%	0.0%	9.1%	25.9%	7.1%	14.8%	12.7%	0.0%	12.5%
4 保育・介護・家事「サービスや関連施設の充実」	人数	8	5	9	17	12	13	22	0	86
	割合	50.0%	55.6%	40.9%	63.0%	42.9%	48.1%	34.9%	0.0%	44.8%
5 男性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	1	0	5	4	4	0	10	0	24
	割合	6.3%	0.0%	22.7%	14.8%	14.3%	0.0%	15.9%	0.0%	12.5%
6 女性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	0	0	3	1	3	2	10	0	19
	割合	0.0%	0.0%	13.6%	3.7%	10.7%	7.4%	15.9%	0.0%	9.9%
7 学校教育における「男女平等教育の充実」	人数	1	2	3	5	8	6	16	0	41
	割合	6.3%	22.2%	13.6%	18.5%	28.6%	22.2%	25.4%	0.0%	21.4%
8 企業や事業主に対する「啓発活動」	人数	5	2	2	8	3	8	9	0	37
	割合	31.3%	22.2%	9.1%	29.6%	10.7%	29.6%	14.3%	0.0%	19.3%
9 育児・介護休暇制度の「整備・啓発」	人数	3	4	8	10	9	10	7	0	51
	割合	18.8%	44.4%	36.4%	37.0%	32.1%	37.0%	11.1%	0.0%	26.6%
10 政策決定の場への「女性登用促進」	人数	1	2	3	3	4	1	6	0	20
	割合	6.3%	22.2%	13.6%	11.1%	14.3%	3.7%	9.5%	0.0%	10.4%
11 公聴会等による「行政への意見反映」	人数	1	2	1	0	0	0	3	0	7
	割合	6.3%	22.2%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	3.6%
12 女性問題の「学習・研修の実施充実」	人数	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
13 性的被害等を受けた女性への「カウンセリング」	人数	3	2	0	1	0	4	1	0	11
	割合	18.8%	22.2%	0.0%	3.7%	0.0%	14.8%	1.6%	0.0%	5.7%
14 暴力等被害から逃れるための「一次避難所」	人数	4	2	6	1	3	1	4	0	21
	割合	25.0%	22.2%	27.3%	3.7%	10.7%	3.7%	6.3%	0.0%	10.9%
15 男女共同参画づくりのための「拠点施設の整備」	人数	2	0	0	1	1	4	4	0	12
	割合	12.5%	0.0%	0.0%	3.7%	3.6%	14.8%	6.3%	0.0%	6.3%
16 その他	人数	0	0	2	0	1	0	0	0	3
	割合	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
17 無回答	人数	2	0	0	1	2	4	19	0	28
	割合	12.5%	0.0%	0.0%	3.7%	7.1%	14.8%	30.2%	0.0%	14.6%
合計	人数	34	24	51	76	66	65	137	0	453
	割合	17.7%	12.5%	26.6%	39.6%	34.4%	33.9%	71.4%	0.0%	

【男性】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 資格取得のため「各種職能講座の実施」	人数	5	1	0	3	5	6	3	0	23
	割合	35.7%	20.0%	0.0%	13.0%	31.3%	15.4%	5.2%	0.0%	12.0%
2 職業訓練、就業情報の提供等、女性の「就業支援」	人数	0	2	0	4	3	6	5	0	20
	割合	0.0%	40.0%	0.0%	17.4%	18.8%	15.4%	8.6%	0.0%	10.4%
3 女性のための「相談業務の拡充」	人数	2	1	2	3	1	2	5	0	16
	割合	14.3%	20.0%	20.0%	13.0%	6.3%	5.1%	8.6%	0.0%	8.3%
4 保育・介護・家事「サービスや関連施設の充実」	人数	5	4	5	11	7	20	22	0	74
	割合	35.7%	80.0%	50.0%	47.8%	43.8%	51.3%	37.9%	0.0%	38.5%
5 男性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	4	0	1	6	0	7	8	0	26
	割合	28.6%	0.0%	10.0%	26.1%	0.0%	17.9%	13.8%	0.0%	13.5%
6 女性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	4	0	0	4	1	4	5	0	18
	割合	28.6%	0.0%	0.0%	17.4%	6.3%	10.3%	8.6%	0.0%	9.4%
7 学校教育における「男女平等教育の充実」	人数	3	0	2	8	4	6	15	0	38
	割合	21.4%	0.0%	20.0%	34.8%	25.0%	15.4%	25.9%	0.0%	19.8%
8 企業や事業主に対する「啓発活動」	人数	2	0	1	6	3	8	13	0	33
	割合	14.3%	0.0%	10.0%	26.1%	18.8%	20.5%	22.4%	0.0%	17.2%
9 育児・介護休暇制度の「整備・啓発」	人数	2	0	3	8	3	10	12	0	38
	割合	14.3%	0.0%	30.0%	34.8%	18.8%	25.6%	20.7%	0.0%	19.8%
10 政策決定の場への「女性登用促進」	人数	2	0	1	2	1	8	8	0	22
	割合	14.3%	0.0%	10.0%	8.7%	6.3%	20.5%	13.8%	0.0%	11.5%
11 公聴会等による「行政への意見反映」	人数	0	0	0	1	1	1	2	0	5
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	6.3%	2.6%	3.4%	0.0%	2.6%
12 女性問題の「学習・研修の実施充実」	人数	0	0	1	0	0	0	2	0	3
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	1.6%
13 性的被害等を受けた女性への「カウンセリング」	人数	1	0	2	2	0	1	1	0	7
	割合	7.1%	0.0%	20.0%	8.7%	0.0%	2.6%	1.7%	0.0%	3.6%
14 暴力等被害から逃れるための「一次避難所」	人数	0	0	2	0	1	4	2	0	9
	割合	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	6.3%	10.3%	3.4%	0.0%	4.7%
15 男女共同参画づくりのための「拠点施設の整備」	人数	0	0	0	3	2	3	5	0	13
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	12.5%	7.7%	8.6%	0.0%	6.8%
16 その他	人数	0	0	1	1	2	1	2	0	7
	割合	0.0%	0.0%	10.0%	4.3%	12.5%	2.6%	3.4%	0.0%	3.6%
17 無回答	人数	0	1	1	0	2	3	14	0	21
	割合	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	12.5%	7.7%	24.1%	0.0%	10.9%
合計	人数	30	9	22	62	36	90	124	0	373
	割合	18.2%	5.5%	13.3%	37.6%	21.8%	54.5%	75.2%	0.0%	

【その他】性別による年代ごと	年齢	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	合計
1 資格取得のため「各種職能講座の実施」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 職業訓練、就業情報の提供等、女性の「就業支援」	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	1.0%
3 女性のための「相談業務の拡充」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 保育・介護・家事「サービスや関連施設の充実」	人数	0	0	2	0	0	0	1	0	3
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1.6%
5 男性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	1	0	2	0	0	1	0	0	4
	割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.1%
6 女性の男女共同参画社会に対する「意識啓発」	人数	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	割合	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	1.6%
7 学校教育における「男女平等教育の充実」	人数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	1.0%
8 企業や事業主に対する「啓発活動」	人数	0	0	1	0	0	1	1	0	3
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	1.6%
9 育児・介護休暇制度の「整備・啓発」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10 政策決定の場への「女性登用促進」	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1.0%
11 公聴会等による「行政への意見反映」	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.5%
12 女性問題の「学習・研修の実施充実」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13 性的被害等を受けた女性への「カウンセリング」	人数	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
14 暴力等被害から逃れるための「一次避難所」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15 男女共同参画づくりのための「拠点施設の整備」	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16 その他	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
17 無回答	人数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
合計	人数	4	0	10	0	0	6	3	0	23
	割合	40.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	30.0%	0.0%	

◆「男女共同参画社会の実現に向けて」ご意見やご要望について

「男女共同参画社会の実現に向けて」ご意見やご要望などございましたら、【自由欄】にご記入ください。

【自由欄】

1	<ul style="list-style-type: none"> 平成生まれの私からすると、昭和の話を聞くと正直驚く事ばかりです。令和になった現在でも、まだまだ男女差別用語を耳にする時があります。恥じるべきだと思いますが、やはり年配の方には現状言いつらいのが、事実です。 	30代女性
2	<ul style="list-style-type: none"> 保育園に子供を預けて働く女性も多いが、子供の体調などにより、早退や欠勤を余儀なくされる。働いている本人も肩身が狭い思いをしたり、職場も対応に追われる。この問題を少しでも解決できる方法があれば、出産後の女性ももっと働きやすくなるだろうと思う。 	50代女性
3	<ul style="list-style-type: none"> 私は89才を過ぎた者です。年齢を考えて調査の手紙を出されてはどうでしょうか。また、出すにしても設問が多すぎます。時間と労力が大変でした。 	70代以上女性
4	<ul style="list-style-type: none"> 無職のためあまり答えが（はっきり）できなかったと思います。77才の意見を言っているが仕事の時の思い出しながら〇をつけました。 	70代以上女性
5	<ul style="list-style-type: none"> 私の職場は補正の所長です。だからか分かりませんが、子育て中の女性の急な休みや行事等での休みの調整等、こちらが申し訳なく思うことなく気軽に相談できています。子育て中の子供の病気等は仕方ないことで、あずける先が無い方も沢山います。まずは職場での意識や環境等を整え、意識を変えることは重要だと思います。おかげ様で22年勤められています。 	60代女性
6	<ul style="list-style-type: none"> 政治が変わらないと同じ！ 	70代女性
7	<ul style="list-style-type: none"> アンケートについて年齢層をある程度限定されてはいかがでしょうか。私の年齢からしますと、参加したくてもできない身体の事情があります。多々あると思います。アンケートの良し悪しは理解できますが、今更と思う面もあります。理想では納得いきましてもこれから先本当に良くなっていくのだろうかという思いは大です。でも、孫、その先の為大いに頑張ってください。 	70代女性
8	<ul style="list-style-type: none"> このアンケートがくだらない 	40代女性
9	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークにて転職先を探していたのですが、基本性別を理由とする差別はしてはいけないはずですが、どの求人も給与や役職が良いものは男性ばかりが採用されるようでした。企業の体制や根本的なしくみから変化が必要だと感じました。やはり収入が少ないと自信は出ません。弱気にもなります。男性に対する差は確実に根付きます。 	30代女性
10	<ul style="list-style-type: none"> 男女すべて平等なのは理想ですが、身体的には性差があるため中々平等にできない所もあると思います。政策があっても、田舎などはまだ男性優位のような考え方をされている人が多いと思うので、その意識が変わるとより良くなるのかなと思います。 	30代女性
11	<ul style="list-style-type: none"> 男か女かとかではなく、1人1人が自分の能力を最大限発揮できる様な社会がつけられると良いと思います。社会は老若男女、男女というだけでは表現出来ない場合があります。多様な人を受け入れられる自分になりたいと思います。 	70代以上女性
12	<ul style="list-style-type: none"> 時の流れに身をまかせというのが今の思いでしょうか？ 恵まれすぎていることがいいのか、あたりまえになってしまって感謝がなくなっているような気がします。何とかしようとこんなアンケートをして取り組んで下さっている方々に感謝します。ありがとうございます。 	70代以上女性
13	<ul style="list-style-type: none"> なんで今、この回答、状況がすべて違います。私たちの青春時代の考え、子育ての考え、同居の考え、老後の考え全てが違います。どこにいけばいいのかさっぱりわからない。夢のような想像のところもありました。質問に対して私のこの回答はなんともむずかしい。使えないです。 	60代女性
14	<ul style="list-style-type: none"> 男性と女性は体力も脳のしくみも全然違います。平等平等といいますが、女性が例えばトラックの運転をするよりも料理や家事をする方が家族が喜ぶのではないのでしょうか。全てを平等にするのではなく、男女のそれぞれの能力に合った平等を目指して下さい。（武田邦彦先生がおっしゃっています。専門の先生のお話を参考にして下さい） 	70代以上女性

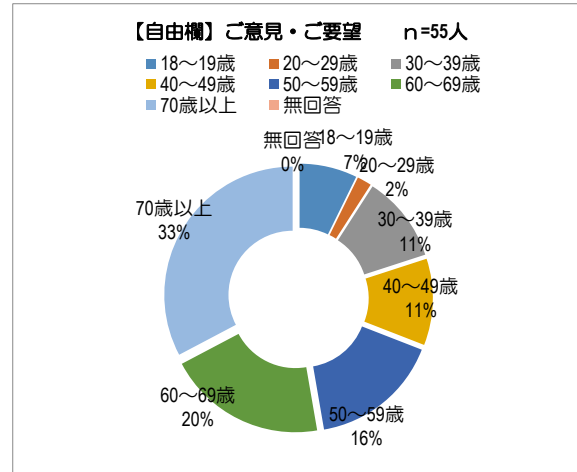
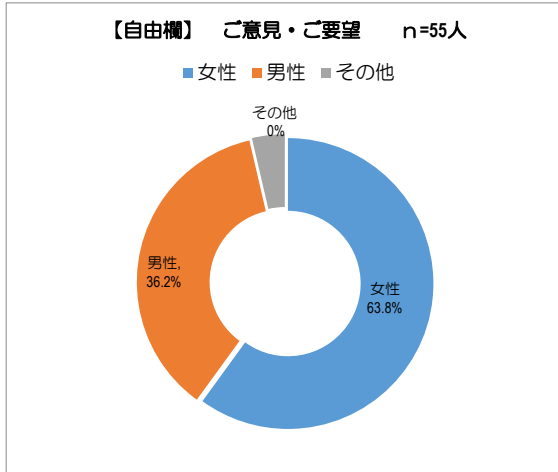
15	<ul style="list-style-type: none"> ・青春時代は昭和20年代。姑さんからは「共働きはするな」と恥の様に言われた時代でした。良い時代になりましたね。 女性がのびのびとして自由に発言出来て良い時代になりました。明るい時代になって幸せに思います。職場では（銀行員）結婚したら辞職する様に一方的に言われました。 	70代以上女性
16	<ul style="list-style-type: none"> ・古くから続いた男尊女卑の意識、習慣が強く、若い世代になるにつれて徐々に変わっていかなければいけない。社会の仕組みを変えてほしい。 	60代女性
17	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	40代女性
18	<ul style="list-style-type: none"> ・問26の学歴については最低限高校までとし、男女共将来仕事、資格等必要な人がそれぞれ学ぶ目的を持って進学すれば良いと思っています。 	70代以上女性
19	<ul style="list-style-type: none"> ・何を書けばよいかわかりません。もう年ですし、これからの人生を楽しく過ごすことです。 	70代以上女性
20	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも男女共同参画社会というタイトルからしていかなものか？おひとり様でも社会・地域に参画しているし、育休はあるのに介護休は存在しない！ 女性だから家事、男性だから仕事とせまい古い考え方をすて、性別にとられない家庭の形をつくり、まわりも認めれば良いと思う。妻・夫という呼び名ではなく、パートナーとして一緒に生きるのであれば、男性同士・女性同士でもありだと思ふ。そうなれば家事分担や介護、子育ても女性（妻）がやるべきだということもなく、時間が空いてる方がやる、得意な方がやる、交代にやるなどいろいろな形ができると思う。 	50代女性
21	<ul style="list-style-type: none"> ・何個か分からない所があったので親と一緒にしました。 	10代女性
22	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎は高齢者の男性がまだ強いイメージなので、出来れば若者の意見を聞いて、若者のすることを見守ってほしい。これからの地区をささえるのは若者だと思います。 あとは出産一時金の42万円はうれしいですが、実際は足りません。宇佐などのように1人暮らしに祝金があれば、少子が減ると思います。 	30代女性
23	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃の教育が大切だと思います。 人の心を思いやる子供に育てよう家庭、学校、職場での啓発が大切だと思っています。 	70代以上女性
24	<ul style="list-style-type: none"> ・行政は男性（特に高齢者）が多い為、こう言った意見を吸い上げる「器」が小さいと感じる。若い人材育成と適度な人事入れ替えが必要だと思う。アンケートが活用できているのかと感じる。 	50代女性
25	<ul style="list-style-type: none"> ・男女で区別するのでなく、適正な場所に適正な人員がいるのが理想であるとおもいます。ただ、現状では性別の格差があるのは間違いない。もっと、育児でも介護でも地域サービスを拡充して全員で社会を回せると皆のゆとりができると思う。 	40代女性
26	<ul style="list-style-type: none"> ・古いしきたり、風習の残っている（色濃い）中津市ではなかなか大変な課題であると感じています。 年寄り（75～80才以上）の方の頭の中を変える事は非常に難しく、その方々の思考は変えられない（理解のある方も多々いらっしゃいますが）難問です。 まず、若い方が意見を言う事のできる場から作ることが大切。 	60代女性
27	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、わからないと答えたのは本人が長期入院を続けているため社会と接する機会があまりないので以上のような回答となりました。 	70代以上女性
28	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳でこの世に別れを告げたい。女・男と考えることがおかしい。 	30代女性
29	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって年齢層が色々あるのでそれも考慮したらよいと思う。 	60代女性
30	<ul style="list-style-type: none"> ・実現に向けて、職場や家庭内から意識を変えていく事は個々の意見はあるとは思いますが、研修の充実や様々な情報による啓蒙活動を続けることで徐々に実現可能と思われるが、次のステップの具体性のある指針があれば良いと思う。特に社会性においては、どのような機会を得て活かしていけるのか意識としては理解出来るが、現実問題としての身近な実現可能な企画や参加可能な機会を設けて頂き、徐々に意識改革が進んで行けば良いと思う。 	50代女性

31	<ul style="list-style-type: none"> ・最近が高齢者も女性も大事な労働力になりつつあります。かなり多様性が認められてきましたが、まだまだ意識が変わるには長い時間がかかるようです。女性が子育てしても働けるように、また育児中も専念できるように、社会全体の意識が変わると良いと思います。教育や制度の充実も必要ではないでしょうか。また、現金を配るよりも医療費や学費などを下げる方が、より効果があると思います。 	70代以上女性
32	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、女性共に参画社会に対する意識啓発が重要。そのための研修の場をもつことが必要だと思います。 	70代以上女性
33	<ul style="list-style-type: none"> ・女性も働く時代になってから、日本経済の発展に繋がっていると思う。但し、その側面では大切な物を犠牲にして働かなければならない環境だったり、しきたりが少なからず残っていると思う。 1人1人置かれている立場への理解や尊重、配慮がなされればもっと安心して働いて暮らせる社会になるのではないかと思います。もっと働き方改革に力を入れ、地方創生への取り組みも強化して欲しいと思います。 	40代女性
34	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力による適材適所があり、身体的な能力差もある。性別を考えず能力を判断するということが難しい風潮があると思います。特に50代以上。今の時代、共働きは当たり前だし、女性だからといって差別的な対応をすることは家庭ではない。また逆に女性の方でも「食事を奢ってもらうのが当たり前」だとか「女性だったらここまでしかできない」など女性自身に意識の問題があることもあります。 そのような世代への意識改革なしに男女共同参画社会の実現は難しいと思います。 男性が主夫になってもいい。女性でも生涯独身でもいい。PTAの母親代表は父親代表でもいい。保育士が男性でもいい。世の中には無意識のうちに男女平等を妨げているものが多くあり、その存在が男女共同参画社会を阻害しているように思います。 まずは本当の意味での男女平等を実現することが先決だと考えます。 	40代男性
35	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会ということに関しては若い世代ほど無意識のうちに進んでいると思います。むしろそのような活動をすることに、意味を感じていないかもしれません。 古い世代ほど、男性はこうあるべき、女性はこうあるべきという意識が存在しており、そのような意識が男女共同参画社会の実現の足枷になっていると思います。 現に生活の中でそれを痛感する場面に出会います。例えば、お店で買い物する際にも年配の男性が「女性じゃ話にならんから、男性を呼んで」ということを平気で言ったり、自宅の訪問者が「ご主人はいらっしゃいますか？」と言って自宅を訪ねてきたり。なぜ女性ではだめなのか意味が分かりません。 	40代男性
36	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう 	10代男性
37	<ul style="list-style-type: none"> ・育児に関しては、どうしても母親の方が関わりやすいことは否めないが、それ以外であれば男女に優位性があるべきではないと思う。意識と制度がより良いものになれば、誰もが生きやすい社会になるはず。個人的には、男らしさ、女らしさは全く不要であるとは思わない。大切なことは相手を思いやる心持ち。それほど難しいことではないと思うが、心に余裕がないときは厳しいかもしれない。 	50代男性
38	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません！ 	10代男性
39	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばって 	20代男性
40	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症です。ほとんどのことがわかりません。 	70代以上男性
41	<ul style="list-style-type: none"> ・法律で10%、20%、30%と乱暴であるが決める。 	60代男性
42	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会では、いまだに男性が役員をするという考えがあるが、男性にとっては大きな負担。さまざまな場面での意識改革を行わないと、本当の男女共同参画の実現は難しいと思います。 男女の能力は同じなのだから、女性の社会進出を望みます。 	70代以上男性
43	<ul style="list-style-type: none"> ・男女にはそれぞれ特性があるので、共に理解し合い協力の心を育てることが必要と思う。 	60代男性
44	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	60代男性
45	<ul style="list-style-type: none"> ・平等ではなく女性が上でいいと思います。 男は母（女性）にはこれからも尊敬できる社会であってほしいと思っています。 結婚して25年給料全額渡しています！私のお小遣いは月1万円です。男性も頑張っています。 男は危険をかえりみず！衣食住を確保！女は家庭を守る守護神様です！ 	50代男性
46	<ul style="list-style-type: none"> ・実現に向けて、適材適所を見極め行動して頂きたいと考えます。 	70代以上男性

47	<ul style="list-style-type: none"> ・ちまたに古い体質（脳質）の方がまだまだ非常に多い中で、市役所の皆さんが地道に活動していこうとする姿勢を評価したいと思います。 化石化した方々の事はスルーして、市民一人ひとりが心おだやかに楽しく暮らせる中津市にしてください。 	50代男性
48	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて聞く内容も多く勉強になりました。 個人的には非正規公務員（女性）の待遇改善を強く望みます。 	50代男性
49	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、女性支援策や女性優位の社会情勢（親権や痴漢、痴漢冤罪など）により性差（筋肉量といった生物学上どうしようもない差）と同等あるいはそれ以上の権利を女性も有している状況下でいったい何を目的にこのアンケートを取っているのか理解に苦しむ。男女共同参画を謳っている組織は現状を何も理解せずとりあえず女性が有利になるように活動さえすれば評価されるので楽な仕事だなあと感じる。男性だから無茶出来る、体力があるからと過剰な残業をさせられ、男性だからと甲斐性を要求される現実を直視せず男女平等とは何かを理解していない組織には何も期待しない。 	30代男性
50	<ul style="list-style-type: none"> ・長すぎる！ 	60代男性
51	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と今は違うのはわかります。 シャニース問題のようになればと思います。 	50代男性
52	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブ・アクションで各分野に男女が半数近くにする方向に賛成します。経済の追及だけでなく、都市と地方の格差是正と、年齢構成で若い人が少なく、労働人口のバランスが悪すぎる。 低所得層の割合を考えたら先行き不安です。子育て、教育に力を入れて住みやすい政治を願望します。 	70代以上男性
53	<ul style="list-style-type: none"> ・命と人権は大切です。人権のほうが大切かもしれません。 人権を守る市民の集いとかを市はやっているみたいですけどバスで動員して人を集めるだけの集会はやめて下さい（毎年同じ人をよぶだけ）お金のむだです。 中津市はなぜ市政モニター制度がないのですか？市民の意見を直接聞きましょう。逃げないで！！こんなアンケート意味ないよ。聞いてください市民の声なき声を！！ 	60代男性
54	<ul style="list-style-type: none"> ・男性だから…や、女性だから…などを根拠なく言うのは良くないと思うが、男女共同参画社会を無理に進めるのも良くないと思う。みんなが意見を言えてその声が行政に届く社会を作ってほしい。 	10代
55	<ul style="list-style-type: none"> ・中津市の取組等を広く示してほしい。一般的に情報がまったく入ってこない。 	60代

性別ごと	女性		男性		その他		合計	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
【自由欄】 ご意見・ご要望	33	60.0%	20	36.4%	2	3.6%	55	100.0%

年代ごと	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	合計
	【自由欄】 ご意見・ご要望	人数	4	1	6	6	9	11	18	0
	割合	7.3%	1.8%	10.9%	10.9%	16.4%	20.0%	32.7%	0.0%	100.0%



1、回収状況

○令和5年8月31日時点の中津市選挙人名簿より男女1,000人を無作為に抽出しました。

・回答率 36.7% (前回：平成29年10月実施 43.2%)

○前回より、調査項目を3項目追加し、2項目削除しました(計46項目)
新たな設問につきましては★印を付しています。

2、調査対象者の概要

◇問1

あなたの性別は

女性が52.3%、男性が45.0%、その他が2.7%となっています。

前回より、女性が4.3%少なく、男性が3.7%多くなっています。

その他の内訳は「女性が男性が答えることに抵抗を感じる」9名、「無回答」1名となっています。

◇問2

あなたの年齢は

全体では70歳以上の方が28.7%で最も多く、次に60歳代が18.4%、50歳代が16.3%、40歳代が12.1%、30歳代が8.9%、20歳代が7.7%、18～19歳が7.0%となっています。若い世代ほど回答が少ない状況にあります。

◇問3.4

あなたは現在、結婚していますか

現在、結婚していますかについて「結婚している」と回答した人が62.4%で最も多く、次に「結婚していない」と回答した人が21.3%となっています。

前回より「結婚している」と回答した人が2.2%少なくなっております。

結婚をしている人で「あなたは共働きですか」について「共働きである」と回答した人が47.6%で最も多く、次に「夫婦共に働いていない」と回答した人が26.2%となっています。前回より「共働き世帯」が3.7%多くなっています。

◇問5

現在、一緒に住んでいる家族の構成は

家族構成について、前回までは家族構成について問う設問でしたが、誰と同居しているかを問う設問に内容を変更しました。

ひとり暮らしが15.8%、配偶者と同居が31.6%、子どもと同居が6.3%、親と同居が12.3%、配偶者・子どもと同居が24.0%、配偶者・親と同居が1.4%、子ども・親と同居が1.1%、配偶者・子ども・親と同居が1.9%、その他4.9%、無回答0.8%となっています。

◇問6

あなたの職業は

職業について、全体では「無職」と回答した人が19.6%で最も多く、次に「企業・団体の正社員、正職員」と回答した人が19.3%となっています。

女性では「家事専従」と回答した人が26.6%で最も多く、次に「臨時・パート・アルバイト」と回答した人が22.4%となっています。男性では「無職」と回答した人が29.7%で最も多く、次に「企業・団体の正社員、正職員」と回答した人が26.7%となっています。

3、男女の意識について

◇問8

「男は仕事、女は家庭」といった性別によって役割を固定する考えについて

全体では「反対」と回答した人が46.3%で最も多く、次に「どちらともいえない」と回答した人が42.2%となっています。

前回より「賛成」と回答した人が2.9%少なく、「反対」と回答した人が6.9%多くなっているものの、女性・男性ともに約4割の人が「どちらともいえない」と回答していることから、役割を固定する考え方を解消する啓発が引き続き必要です。

◇問9

a家庭生活

「家庭生活」において男女の地位は平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した人が43.8%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が24.0%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が男性より8.6%多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より10.2%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

b職場

「職場」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば優遇されている」と回答した人が35.1%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が21.5%となっています。

c学校教育の場

「学校教育の場」において男女の地位は平等になっていますかについて、全体では「平等である」と回答した人が最も多く48.8%で、次に「わからない」と回答した人が21.8%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より13.1%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

d政治の場

「政治の場」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が36.2%で最も多く、次に「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が33.2%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が男性より12.6%多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より13.6%多いことから、問9の調査項目において、特に「男性の方が優遇されている」と感じている女性が多いようです。

e法律や制度上

「法律や制度上」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が23.9%で最も多く、次に「平等である」と回答した人が23.2%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より18.2%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

f社会通念・習慣・しきたり

「社会通念・習慣・しきたり」において男女の地位が平等になっていますかについて、全体では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が46.3%で最も多く、次に「男性の方が非常に優遇されている」と回答した人が24.3%となっています。

女性では「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が男性より多く、男性では「平等である」と回答した人が女性より10.1%多いことから、男女間の認識で差があることがわかります。

◇問10

あなたの地域について

「あなたの地域では集会や催し物などの男性、女性の参加状況」について、全体では「集会などのお茶くみ・調理等は女性がする」と回答した人が58.6%で最も多く、次に「祭りや葬儀などは男性が取り仕切る」と回答した人が49.3%となっています。

前回より、「集会でのお茶くみ・調理等は女性がする」と回答した人が12.0%少なくなっており、他の項目も全体的に前回より少なくなっています。少しずつ地域の中でも女性・男性のあり方が変化しつつあることがわかります。

◇問11

家事・育児・介護等への男性の参加を進めるために必要なことは

前回調査より、選択肢を全て変更しています。

「家事・育児・介護等への男性の参加を進めるために必要なこと」について、全体では「夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかること」と回答した人が65.7%で最も多く、次に「職場の中で理解を深め、支援すること」と回答した人が58.9%となっています。

男女別の場合でも、上記2つの項目が多くなっています。男女ともに家族間のコミュニケーションが大切と思っている人が多いことがわかります。

◇問12

結婚して配偶者と同居されている方、家庭での役割分担について

①現状では

「食料品等の買い物」「食事のしたく」「食事の片づけ」「掃除・洗濯等」については、6割以上の方が『主に妻』と回答しています。また「子どもの教育としつけ」や「町内行事等の参加」については、約3割の人が『夫婦共同』と回答しています。家庭での役割分担について、現状では、女性の負担がかなり多いことがわかります。

②理想では

家事、育児、介護全般において『夫婦共同』と回答した人が最も多く、夫婦がともに支え合って家事、育児、介護等に参加できる環境が理想だと考えています。また、家庭の都合により「帰宅時間が遅いため家事・育児が女性が主体になってしまう」という意見もあります。

4、防災について

◇問13

地域や職場での防災活動（避難訓練や備蓄など）への参画について

「地域や職場での防災活動への参加」について、全体では「頼まれれば参加してもよい」と回答した人が50.1%で最も多く、次に「できれば参画したくない」と回答した人が20.2%となっています。

女性では「頼まれれば参加してもよい」と回答した人が45.8%で最も多く、男性も「頼まれれば参画してもよい」と回答した人が53.3%と最も多くなっています。

防災活動に参加したくても病気や高齢のため参加できないという現状もあるようです。

◇問14

地域や職場での防災活動について、女性の意見（観点）について

「地域や職場での防災活動について女性の意見（観点）は必要だと思いますか」について、全体では「そう思う」と回答した人が62.4%で最も多く、次に「ややそう思う」と回答した人が27.5%となっています。

前回より「そう思う」と回答した人が、全体で4.8%増えており、「ややそう思う」と回答した人が3.0%増えています。

地域や職場での防災活動において、女性の意見（観点）が必要だと思っている男性が多くなっています。

◇問15

被災後の避難所生活について、女性の意見（観点）について

「被災後の避難所生活について女性の意見（観点）は必要だと思いますか」について、全体では「そう思う」と回答した人が74.9%で最も多く、次に「ややそう思う」と回答した人が17.4%となっています。

女性・男性ともに「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人が大半を占めています。

女性・男性ともに「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人が大半を占めており、避難所生活において、女性の意見（観点）が必要だと思っている人が多くなっていることがわかります。

5、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

◇問16

あなたの現在の就業状況について

「職場で実際にあるものはどれですか」について

①現状では

『ある』の項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が48.5%で最も多く、『ない』の項目では「女性は結婚したら退社する慣習がある」と回答した人が71.1%で最も多くなっています。

②理想では

『改善すべき』の項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が52.6%で最も多く、『今のままでよい』の項目では「女性だけがお茶くみ、清掃などを行う」と回答した人が40.2%で最も多くなっています。

◇問17

現在、働いている方で、あなたの職場で実際にあるものはどれですか

①現状では

『ある』の項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が38.2%で最も多く、『ない』の項目では「女性は結婚したら退社する慣習がある」と回答した人が56.1%で最も多くなっています。

②理想では

『改善すべき』項目では「男性は育児休暇を取得しにくい」と回答した人が41.5%で最も多く、『今のままでよい』の項目では「女性だけがお茶くみ、清掃などを行う」と回答した人が31.7%で最も多くなっています。

◇問18

現在、働いていない方で、今後のご自身のことについて

「今後のご自身のこと」について、「働くつもりはない」と回答した人が51.5%で最も多く、次に「将来働きたい」が16.8%となっています。

◇問19

現在、就職活動をされていない理由について

「すぐに働きたいが、まだ就職活動をおこなっていない」や「将来働きたい」と回答した人について、就職活動をしていない理由で「大学や専門学校等へ通っているため」が38.9%最も多く、次に「病気やけがのため働けない」と回答した人が16.7%となっています。

◇問20

女性が仕事をもつことについて

「女性が仕事をもつこと」について、全体では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けた方がよい」と回答した人が49.9%で最も多く、次に「子どもが生まれたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就いた方がよい」と回答した人が20.2%となっています。

女性が生涯を通じて、仕事を続けたほうがよいという認識は多くの人にあるようです。また、その他の意見として「本人の考え次第」、「自分が好きなようにしたらいい」、「こうあるべきだと社会が決めるのはよくない」等個人の判断を尊重するべきという意見が多くみられました。

◇問21

女性が生涯にわたり仕事を続けるための支援や改善について

「女性が生涯にわたって仕事を続けるための支援や改善」について、全体では「子育て後などの再就職・再雇用制度の充実」と回答した人が43.3%で最も多く、次に「企業における育児・介護休暇制度等の充実」と回答した人が40.9%となっています。

こちら2つの項目は前回調査でも回答割合が高く、今後女性が生涯にわたって長く働くための大きな課題といえそうです。

◇問22

仕事の面で、女性はどのような存在になっていますか

「仕事の面で、女性はどのような存在になっていますか」について、全体では「女性と男性は対等なパートナー」と回答した人が37.9%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.2%となっています。

また「女性と男性は対等なパートナー」と回答した人は女性が31.8%、男性が43.0%、「生理、妊娠、出産など仕事に支障を持つ存在」と回答した人は女性が17.2%、男性が3.6%となっています。

◇問23

男性が育児・介護休業を取得することについて

「男性が育児・介護休業を取得すること」について、全体では「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人が54.0%で最も多く、次に「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が33.5%となっています。

前回より、「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が13.2%増えています。年代別では女性・男性ともに40代が「男性も育児・介護休業を積極的に取るべきである」と回答した人が少なく、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人が多くなっています。

制度上、育児・介護休暇が取れる環境にあっても取りづらい現状があるようです。一人ひとりが意識を変えることが職場環境の改善につながるのではないかと考えられます。

◇問24

問23で「男性も育児・介護休業を取得することは賛成だが現実には取りづらいと思う」と回答した人で、現実に取りづらい理由について

「男性の育児・介護休業を取得することは賛成だが現実には取りづらい理由」について、全体では「取ると仕事上周りの人に迷惑がかかる」と回答した人が46.5%で最も多く、次に「職場に取りやすい雰囲気がない」と回答した人が37.9%となっています。

前回より、「過去に職場で取った男性がいない」と回答した人が9.7%少なくなっており、「取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる」と回答した人が5.7%多くなっています。

年代別では、女性・男性ともに10代～30代が「職場に取りやすい雰囲気がない」、「仕事が忙しい」と回答した人が多く、40代以降は「取ると仕事上、周りの人に迷惑がかかる」と回答した人が多くなっています。

年代ごとに意識の違いはありますが、男性の育児・介護休業を取得できる職場環境の改善と一人ひとりの意識を変えることが大切です。

6、子どもについて

◇問25

子育てでどんなことが一番重要だと思いますか

「子育てでどんなことが一番重要だと思いますか」について、「男の子」の項目では「礼儀正しさ」と回答した人が33.2%で最も多く、次に「協調性」と回答した人が35.1%となっています。

「女の子」の項目では「優しさ」と回答した人が42.0%で最も多く、次に「礼儀正しさ」と回答した人が35.1%となっています。

◇問26

子どもの学歴はどこまで必要だと思いますか

「子どもの学歴はどこまで必要だと思いますか」について、男の子では「大学以上」と回答した人が42.5%で最も多く、次に「高等学校」と回答した人が25.6%となっています。

その他の意見では、「本人の希望次第」と回答した人が多かったです。

◇問27

少子化が進む主な原因について

「少子化が進む主な原因はどのようなことだと思いますか」について、全体では「子育ての経済的負担が大きいから」と回答した人が59.4%で最も多く、次に「結婚しない人が増えたから」と回答した人が43.6%となっています。

前回より「子育ての経済的負担が大きいから」と回答した人は9.7%増えており、子育て世帯への経済的支援が必要とされています。一方で「結婚年齢が高くなったから」と回答した人は10.5%減っており、「仕事を重視する男性や女性が増えたから」と回答した人は8.0%減っています。少子化の進む原因が変化しつつあることがわかります。

◇問28

子育てに必要な支援はどのようなことだと思いますか

「子育てに必要な支援はどのようなことだと思いますか」について、全体では「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」と回答した人が57.8%で最も多く、次に「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」と回答した人が45.2%となっています。

女性は男性と比べて「保育サービスの充実」、「子育て中の柔軟な勤務形態の普及」と回答した人が多く、男性は女性と比べて「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」と回答した人が10.9%多くなっています。

家族の役割を話し合い、お互いに支え合うことが大切です。

7、介護について

◇問29

家庭での介護について

「家庭での介護についてどのように対応したいと思いますか」について、全体では「男性も女性と等しく介護すべきである」と回答した人が71.7%と最も多く、次に「女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない」と回答した人が16.6%となっています。

前回より「男性も女性と等しく介護すべきである」と回答した人が10.4%増えており、「女性のみ負担させることは好ましくないが現状ではしかたない」と回答した人が12.1%減っています。

女性が介護をしなくてはならないという意識は減りつつあることがわかります。介護については、一人に負担がかからないよう家庭内で十分に話し合うことが大切です。

◇問30

介護に必要な支援は

「介護に必要な支援はどのようなことだと思いますか」について、全体では「介護に対する経済的な支援の充実」と回答した人が67.0%で最も多く、次に「介護サービスの充実」と回答した人が51.8%となっています。

女性、男性ともに「介護に対する経済的な支援の充実」と回答した人が最も多くなっています。

どの年代においても、多くの人が「介護に対する経済的な支援の充実」や「介護サービスの充実」など、介護に支援が必要だと考えていることがうかがえます。

地域の助け合いや公的援助、施設を利用することで介護する人も、介護される人も安心して毎日を過ごせることが大切です。

8、女性について

◇問31

次の「a～e」について、どのように思いますか

a「男は男らしく、女は女らしくという考え方」

女性では「どちらかと言えば賛成」と回答した人が28.1%で最も多く、次に「賛成」と回答した人が24.0%となっています。男性では「どちらかといえば賛成」と回答した人が44.1%で最も多く、次に「賛成」と回答した人が20.3%となっています。

b「女性の幸福は、結婚にあるのだから結婚する方がよい」

女性では「反対」と回答した人が28.1%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.6%となっています。男性では「わからない」と回答した人が31.5%で最も多く、次に「反対」と回答した人が20.0%となっています。

c「女性が仕事を持つのは良いが家事、育児はきちんとするのが当然である」

女性では「反対」と回答した人が34.4%で最も多く、次に「どちらかといえば反対」と回答した人が23.4%となっています。男性では「どちらかといえば賛成」と回答した人が29.7%で最も多く、次に「どちらかといえば反対」と回答した人が22.4%となっています。

女性のみ負担がかからないよう、家庭内で十分に話し合うことが大切です。

d「結婚したら子どもをもうけるのは当然である」

女性では「反対」と回答した人が29.2%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が26.0%となっています。男性では「どちらかと言えば賛成」と回答した人が25.5%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が24.2%となっています。女性も男性も同じ考えのようです。

e 「女性は結婚したら夫の姓に変えるのが当然である」

女性では「どちらかといえば賛成」や「わからない」と回答した人が28.8%で最も多く、次に「反対」と回答した人が13.6%となっています。男性では「どちらかといえば賛成」と回答した人が37.9%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が21.5%となっています。

f 「結婚して子どもがいる場合、配偶者との関係が悪くても、離婚しない方がよい」

女性では「反対」と回答した人が29.2%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が31.3%となっています。男性では「わからない」と回答した人が27.9%で最も多く、次に「反対」と回答した人が23.0%となっています。

g 「パートナーは同姓であっても受け入れられるべきである」

女性では「わからない」と回答した人が32.3%で最も多く、次に「賛成」と回答した人が26.0%となっています。男性では「わからない」と回答した人が30.3%で最も多く、次に「どちらかと言えば賛成」と回答した人が18.2%となっています。

◇問32

女性が生涯にわたり心身ともに健康であるためには

「女性が生涯にわたり心身ともに健康であるためにはどのようなことが大切だと思いますか」について、全体では「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」と回答した人が45.8%で最も多く、次に「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」と回答した人が35.7%となっています。

女性・男性ともに「受診機会の少ない女性が、気軽に健康診断を受診できるような環境づくり」と回答した人が最も多くなっています。

女性がいくつになっても健康で、生き活きと毎日を通り越せるよう公的支援や気軽に健康診断を受診できるような環境づくりが大切です。

9、ハラスメントについて

◇問33

セクシュアル・ハラスメントについて、職場や地域社会などで経験や見聞きしたことについて

「職場や地域社会などで、経験や見聞きしたことがありますか」について、全体では「結婚はまだ？子どもは？と聞かれる」と回答した人が38.7%で最も多く、次に「上記1～9について経験や見聞きしたことはない」と回答した人が37.6%となっています。

女性では「結婚はまだ？子どもは？と聞かれる」と回答した人が40.1%で最も多く、男性は「上記1～9について経験や見聞きしたことはない」と回答した人が40.6%で最も多くなっています。

◇問34

今までにマタニティ・ハラスメントについて経験や見聞きしたことについて

「今までにマタニティ・ハラスメントについての経験や見聞きしたことがありますか」について、全体では「実際はよく知らないが、テレビや新聞などで見聞きしたことがある」と回答した人が57.2%で最も多く、次に「全く知らない」と回答した人が25.9%となっています。

女性・男性ともに「実際はよく知らないが、テレビや新聞などで見聞きしたことがある」と回答した人が最も多く、女性が61.5%、男性が53.3%という結果になっています。

今後も企業や各種団体等の研修会、学習会等を通じて啓発活動に努めていくことが大切です。

★問35

パワハラ防止法が令和4年4月1日に改正されたことをご存じですか

「パワハラ防止法が令和4年4月1日に改正されたことをご存じですか」について、全体では「改正があったことを知らない」と回答した人が39.2%で最も多く、次に「改正があったことは知っているが、内容がどう変わったかは知らない」と回答した人が33.2%となっています。

改正があったことを知っている人は約4割という結果となりました。

★問36

パワハラ防止法が改正されましたが、あなたの職場は、どのくらい意識して取り組んでいると思いますか

「パワハラ防止法が改正されましたが、あなたの職場は、どのくらい意識して取り組んでいると思いますか」について、全体では「わからない」と回答した人が42.2%で最も多く、次に「無回答」が18.0%となっています。

問35でパワハラ防止法の改正があったことを知らなかった人が約6割いたことから、職場の取組状況がわからないと答える人が多くを占める結果となりました。

10、ドメスティック・バイオレンス：DV（夫婦間・恋人間の暴力について）

◇問37

配偶者（恋人間も含む）から受けた精神的、肉体的苦痛について

「配偶者（恋人間も含む）から受けた精神的、肉体的苦痛について、この1年までに経験したことがありますか」について、a～e全てで「全くない」と回答した人が最も多くなっています。

その中で経験したことがある項目は「精神的暴力」と回答した人が最も多く、27.0%となっています。

◇問38

その受けた行為について誰かに相談しましたか

「その受けた行為について、誰かに相談しましたか」について、「相談しなかった（できなかった）」と回答した人が61.1%で最も多く、次に「相談した」と回答した方が30.1%となっています。

前回と比較しますと「相談した」と回答した人が13.4%多くなっています。

◇問39

あなたが相談した人（場所）を教えてください

「あなたが相談した人（場所）」について、「無回答」が68.9%で最も多く、次に「家族、親せき」や「友人、知人」と回答した人が20.0%となっています。

まずは身近な人に相談する人が多いようです。

◇問40

相談した結果、状況はどのようになりましたか

「相談した結果、状況はどのようになりましたか」について、「状況は変わらなかったが、気持ちが楽になった」が55.9%で最も多くなっており、「問題が解決された」、「よい方向に向かった」とあわせると70%以上となります。

被害を受けた場合に、相談することの大切さがわかる結果となっています。また、被害者がすぐに相談できる相談窓口の拡充や、相談員のスキルアップのための研修等、支援体制を充実させることも重要です。

◇問41

誰（どこ）にも相談しなかった（できなかった）理由はどのようなことですか

誰（どこ）にも相談しなかった（できなかった）理由はどのようなことですか」について、「相談しても無駄だと思った」と回答した人が34.2%と最も多く、次に「相談するほどのことでもないと思った」と回答した人が31.6%となっています。

問40より、「相談することで気持ちが楽になった」等よい結果が得られることも多いので、被害を受けた場合に、相談するように周知していくことが大切になります。また、気軽に相談できる窓口体制の充実や啓発活動も重要となります。

★問42

「おおいた性暴力センター・すみれ」を知っていますか。

「おおいた性暴力センター・すみれを知っていますか」について、「全く知らない」が79.6%とほとんどの人が知らないという結果となりました。

◇問43

性犯罪、売春、買春（援助交際を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為をなくすためには

「性犯罪、売春、買春（援助交際を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為をなくすためにどのようにしたらよいと思いますか」について、全体では「学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を阻止するための教育を行う」と回答した人が56.1%で最も多く、次に「加害者への罰則を強化する」と回答した人が49.9%となっています。

性別でも「学校で児童・生徒・学生に対し人権問題や暴力を阻止するための教育を行う」と回答した人が女性58.9%、男性53.3%と最も多くなっており、教育が必要だと思っている人が多いようです。

11、女性の参画や施策への要望について

◇問44

自治会や町内会、PTAなどの役員、議員や行政委員への女性の進出が進まない原因は

「自治会や町内会、PTAなどの役職、議員や行政委員への女性の進出が進まない原因は何だと思いますか」について、全体では「男性優位の社会の仕組みや制度がある」と回答した人が42.0%で最も多く、次に「男性になる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い」と回答した人が32.4%となっています。

女性では「女はでしゃばるものではない」という社会意識がある」と回答した人が男性より14.0%多く、男性になる方がいい（なるものだ）と思っている人が多い」と回答した人が男性より5.7%多くなっています。

男性では「女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない」と回答した人が女性より4.4%多く、「女性の登用に対する意識や理解が足りない」と回答した人が6.3%多くなっています。

◇問45

ポジティブ・アクション（積極的格差是正処置）について

ポジティブ・アクション（積極的格差是正処置）について、全体では「さまざまな分野に男女が半分くらいずついるのでよい」と回答した人が30.2%で最も多く、次に「わからない」と回答した人が27.5%となっています。

女性男性ともに「さまざまな分野に男女が半分ずついるのがよいので賛成」と回答した人が女性29.7%、男性30.9%と最も多い結果となりました。

男女がともに自立し活躍できる環境づくりも重要です。

◇問46

男女共同参画社会の実現のために、行政にどのようなことを望みますか

男女共同参画社会の実現のために行政にどのようなことを望みますかについて、全体、女性、男性ともに「保育・介護・家事サービスや関連施設の充実」と回答した人が全体では44.4%、女性が44.8%、男性が44.8%と最も多くなっています。

前回に引き続き「保育・介護・家事サービスや関連施設の充実」と回答した人が最も多い結果となっています。

◆おわりに

男性はこうあるべき、女性はこうあるべきといった「性別による役割分担」に関しては、徐々にではありますが、減少傾向にあると感じました。

逆に社会的地位や経済面に関しては、男女間でまだまだ差があるのが現状のようです。こちらは個人の努力だけで解決することは困難であり、会社や社会が変化していく必要があります。

今回の調査のように市民の皆様の声を実際に聞いて、「男女間の格差はまだこれだけあります」と発信し続けることで、会社や社会全体が常に意識することが大切だと考えます。

年代別に見てみると、高齢者の方が男女共同参画の考え方が進んでいない傾向があるようでした。逆に若い世代は無意識に取り組んでいるという意見もありました。先日中津市で行った男女共同参画週間記念講演会においても、60代以降の参加者が大多数を占め、若い世代の参加者はわずかでした。「自分たちは取り組んでいるから大丈夫」という気持ちがあるのかもしれませんが。

今後は高齢者の方への啓発はもちろんのこと、若い世代も「昔はこうだったかもしれませんが、今はこういう考え方になってきています」と高齢者に現代の男女の在り方を共有し、男女共同参画社会と一緒に目指していくことが理想ではないかと考えます。

中津市としては現在男女共同参画記念講演会の開催や市民意識調査等男女共同参画に向けた取り組みを行っています。今後も世代を問わず、関心を持ってもらえるよう取り組んでいきたいと思っております。引き続き懇話会委員の皆様と一緒に男女共同参画社会の推進に取り組みたいと思っております。

令和5年度
『中津市男女共同参画社会の実現にむけて』市民意識調査報告書

発行：令和6年3月
中津市総務部 人権・同和対策課
〒871-8501 中津市豊田町14番地3
TEL：0979-22-1229（内線282）